

2002(平成14)年度

講義内容

仏教学部

人駒澤大學

講 義 内 容

目 次

I	全 学 共 通 科 目	
1	宗 教 教 育 科 目	9
2	教 養 教 育 科 目	21
(1)	人 文 分 野	21
(2)	社 会 分 野	37
(3)	自 然 分 野	44
(4)	綜 合 分 野	67
3	外 国 語 科 目	85
4	保 健 体 育 科 目	201
II	専 門 教 育 科 目	239
III	他 学 部 履 修 科 目	303
IV	短 大 仏 教 科 開 設 科 目	385
V	「日本語」・「日本事情」科目	391
VI	随 意 科 目	405

全 学 共 通 科 目	宗教教育 科目
	人文分野
	社会分野
	自然分野
科 目	総合分野
	外国語科目
科 目	保健体育 科目
科 目	専門教育 科目
履 修 科 目	他学部
開 設 科 目	短大仏教科
「 日 本 事 情 」	「日本語」
随 意 科 目	随意科目

I 全学共通科目

1. 宗教教育科目

1. 宗教教育科目

仏教と人間（ 禅 ）	〈田 上 太 秀〉	9
仏教と人間（ 仏 ）	〈長谷部 八 朗〉	9
仏教と人間〔再クラス〕	〈熊 本 英 人〉	9
仏教と人間〔再クラス〕	〈木 村 誠 司〉	10
仏教と人間〔再クラス〕	〈田 中 良 昭〉	10
仏教と人間〔再クラス〕	〈晴 山 俊 英〉	11
文 化 と 宗 教	〈長谷部 八 朗〉	11
社 会 と 宗 教	〈池 上 良 正〉	12
自 然 と 宗 教	〈小 川 順 敬〉	12
坐 禅	〈木村 誠治・熊本 英人〉	13

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間	<small>た が み たいしゆう</small> 田 上 太 秀	禅 1 必	4

講義のねらい

禅学科の学生対象であるので、禅思想の流れをインド・中国・日本にわたって講ずる。

履修上の留意点

出席カードを配り、出欠を取る。また、夏期休暇中、宿題を与え、レポートを作成させ成績点の一部に加える。

成績評価の方法

レポート・期末テスト・出欠点の三つを合して評価する。

教科書

田上太秀著『禅の思想』東京書籍刊1,429円

参考書等

田上太秀著『禅語散策』（東書選書104）東京書籍刊1,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間	<small>は せ べ は ち ろ う</small> 長 谷 部 八 朗	仏 教 1 必	4

講義のねらい

仏教の教えや我が国の歴史上の主要な仏教者の思想や行動を通して、人間の精神生活に果たす仏教さらには宗教の意義を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

前期には、原始仏教段階から大乘仏教にいたる仏教の展開史を、それらの教えの主要な特徴にふれながらたどり、仏教の歴史と現勢を概観する。
後期には、日本仏教に着目し、空海、道元、日蓮、親鸞ほか、主に平安から鎌倉期にかけての仏教諸宗派の祖師に対する民衆の信仰の姿を浮きぼりにして、仏教と人間・社会との係りを探る。

成績評価の方法

成績評価の仕方は未定だが、授業で1、2回小論文を書いてもらい、評価に盛り込む予定である。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の中で、適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	<small>く ま も と え い に ん</small> 熊 本 英 人	全 学 科	4

講義のねらい

日本における宗教とは何か、仏教を中心に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

仏教史を概観したうえで、日本の仏教および宗教の現在を考える。
仏教に限らず、宗教は、社会の変容と相互関係をもって展開してきた。特に、明治維新以後の日本の近代化における仏教の功罪や、第二次世界大戦後の地域社会や家の変容に対して、仏教は何をしてきたかなどについてもみてみたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験。随時レポートを課す。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	木 村 誠 治	全 学 科	4

講義のねらい

仏教の教えから、生命観や自己存在の意義を確認し、自己自身の生き方を探ることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えを明らかにして行く。出家に至るまでの課題が一人釈尊に限られるものではなく、生死の課題は人間の実存として関わっていることを学ぶ。成道後に展開された縁起の教えから、心と存在の在りようを学ぶ。

履修上の留意点

静粛を第一とし、雑談は禁止する。教科書は特に用意しないので、講義内容の記録が定期試験の鍵となる。

成績評価の方法

定期試験と出席率による。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

授業において紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	田 中 良 昭	全 学 科	4

講義のねらい

本講座は、本学の建学の理念である仏教の教義と曹洞宗立宗の精神について、学生諸君に理解を深めてもらうために開設されたものであり、仏教や曹洞宗の教えが、現代に生きる私達人間にとって、いかなる意味を持ち、いかなる役割を果たすかを中心に検討し考察するものである。

講義の内容・
授業スケジュール

仏教や曹洞宗学を理解するための前提として、宗教全般に関する考察を第Ⅰ部とし、仏教の基本的立場や教えの特色、その歴史や文化的特質等を第Ⅱ部とし、仏教の実践道として独自の展開をした中国禅や日本の曹洞宗の教えやその特色を第Ⅲ部とし、最後に第Ⅳ部として、仏教や曹洞宗の教えが、現代に生きる私達人間の様々な問題に対して、どのような解答を用意しうるかを考えてみることにしたい。

履修上の留意点

本講座は、他の大学では聞くことのできない本学独自の講座であり、本学の特色を理解する重要な科目である。再クラスという事情もあり、卒業単位を充たす上からも、授業への積極的参加を期待したい。

成績評価の方法

学年末に実施する学年末試験を中心とするが、平常の授業への出席も重視して評価する。

教 科 書

特に指定せず、ノートを使用するので必ず用意していただきたい。必要事項をノートに取った後、その内容についての種々の角度から解説を加え、理解を深めるようにしたい。

参 考 書 等

駒澤大学仏教学部研究室編『宗教学Ⅰ』『宗教学Ⅱ』（更生社）や、水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）等が、世界の宗教、仏教、禅、曹洞宗学の全般について論述しているので便利である。尚、近刊の田中良昭『やさしい仏教・禅入門』も、入門書として有益である。

そ の 他

授業の方法は講義であり、ノートを使用し、必要に応じて内容について詳細な説明を加えていく。特にその時その時に起きる宗教問題についても、取り上げていきたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	は れ や ま し ゅ ん え い 晴 山 俊 英	全 学 科	4

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・
授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が内在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況を加味して評価する。

参 考 書 等

授業において適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化と宗教	は せ べ は ち ろ う 長 谷 部 八 朗	禅・仏教選	4

講義のねらい

本講義は、我が国の近代以降、各時代状況の中で、宗教が社会とどのようにかわり、近・現代の精神文化の形成に影響を及ぼしたかを、仏教を中心にみていく。具体的には、寺院の中でもいわゆる教会・結社組織に焦点を据え、それらが、仏教と民衆をつなぐ接点として果たしてきた役割を探ってみる。仏教諸宗派の中でも教会・結社活動の盛んであった曹洞宗や日蓮宗を主軸に講述する。

また、そうした教会・結社と新宗教・新新宗教を比較検討し、両者に対する民衆のニーズとそれに対する対応の仕方の類似点および相違点を明らかにしていきたい。

成績評価の方法

未定である。授業時に1、2回小論文を課し、評価の一部に加える予定である。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

授業の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会と宗教	いけがみ よしまさ 池 上 良 正	禅・仏教選	4

講義のねらい

宗教学・宗教社会学などの理論的成果をふまえて、「近代社会と宗教」というテーマを中心に講義する。近代という特異な時代が成立する過程において宗教はどのような関わりをもったのか、様々な問題を抱えた近現代社会のなかで宗教はどのような形態で存続し、またどのような意義や役割を担っているのか、といった問題を考える手がかりを探ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、宗教が近代社会の形成に果たした役割についての考察からスタートして、世俗化論、私事化論などの検討する。後期は、現代世界における宗教の動態的理解、近代日本の社会変動と民衆宗教の展開、といった問題を考える。近年の精神世界ブームや新宗教の動向などにも触れる予定。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然と宗教	おがわ としゆき 小 川 順 敬	禅・仏教選	4

講義のねらい

人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拜の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。

この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりを諸相を紹介していくことにしたいと思います。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日の評価・議論を概観、紹介する予定です。

成績評価の方法

評価は原則として年度末の筆記試験により行います。なお、夏休休暇前にレポート課題を出しますが、提出は受講者の自由意志とします。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

原則として教科書は用いません。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
坐禅（前期）（後期）	きむら せいじ くまもと えいじん 木村 誠治・熊本 英人	禅・仏教選	2

講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思い、この授業を進めるものです。

今、私たちの回りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を拠り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはごこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしょう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。禅が作り出したさまざまな文化にも触れるよう進めます。

講義の内容・
授業スケジュール

半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3「坐禅の作法指導」（坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法と修得）

4～13「坐禅実習」（1回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です。）

（道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『普勸坐禅儀』・『正法眼蔵一坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます。また、禅の世界をより深い理解のため、各祖師方の語録も参求してみたいと思っています。）

履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。また、まじめに授業を受けられることを要望します。

成績評価の方法

レポート、出席態度、出席数を総合して成績評価とします。

教科書

適宜、プリントにて配布します。

参考書等

『坐禅—講本—』（更生社）2,226円

2. 教養教育科目

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

文学〔日本文学「古典」〕〈島田伸一郎〉	21
歴史学〔日本中世史〕〈栗原修〉	21
芸術学(1)〔日本美術〕〈松田誠一郎〉	22
芸術学(2)〔西洋美術〕〈矢野陽子〉	22
芸術学(3)〔音楽〕〈赤羽由規子〉	23
哲学〔西洋思想の源流〕〈及川和剛〉	23
論理学〔科学方法論と現代論理学〕〈河谷淳〉	24
論理学〔科学方法論と現代論理学〕〈鈴木聡〉	24
論理学〔知の技法〕〈箭野浩司〉	25
論理学〔知の技法〕〈伊古田理〉	25
科学史〔科学と技術〕〈小宮山隆〉	26
倫理学(1)〔人間観〕〈古田知章〉	26
倫理学(2)〔応用倫理学〕〈黒崎剛〉	27
倫理学(3)〔価値観〕〈及川和剛〉	27
倫理学(4)〔応用倫理学〕〈箭野浩司〉	28
倫理学(5)〔制度とモラル〕〈久保陽一〉	28
倫理学(6)〔東洋倫理〕〈末木恭彦〉	29
宗教学(1)〔比較宗教文化〕〈池上良正〉	29
宗教学(2)〔聖と俗〕〈田中かの子〉	30
宗教学(3)〔思想と儀礼〕〈小川順敬〉	30
宗教学(4)〔組織と運動〕〈洗建〉	31
人文地理学(1)(2)〔風土と文化〕〈竹林和彦〉	32
人文地理学(3)(4)〔空間と行動〕〈伊藤勝久〉	32
※教育の思想〈豊田千代子〉	33
※教育の思想〈北村三子〉	33
※教育と社会〈豊田千代子〉	34
※教育と社会〈北村三子〉	34
※発達と学習の心理学〈大浜幾久子〉	35
※発達と学習の心理学〈角野善司〉	35
※カリキュラムと学習〈大浜幾久子〉	36
※カリキュラムと学習〈角野善司〉	36

(2) 社会分野

社会学〔社会生活を考える〕〈小畑和〉	37
統計学〔社会現象の統計的分析〕〈稲葉敏夫〉	37
文化人類学〔文化と人間〕〈藤崎康彦〉	38
法学・憲法〔法と社会生活〕〈長谷川日出世〉	38
法学・憲法〔法と権利〕—夏季集中—〈西修〉	39
政治学〔社会生活とデモクラシー〕〈井戸正伸〉	40
経済学〔現代経済と人間〕〈瀬戸岡紘〉	40
社会科学論〔社会認識の思想〕〈大石雄爾〉	41
教育学〔デス・エデュケーション〕〈柳堀素雅子〉	42
教育心理〔大学生の心理—教育臨床心理学の立場から—〕〈野中弘敏〉	43

(3) 自然分野

生物学〔生物と環境〕〈中村 敏枝〉	44
地球科学〔変動帯としての日本列島〕〈藤井 享〉	45
自然環境論〔環境と保全〕〈山縣 毅〉	46
自然環境論〔自然史と環境〕〈藤井 享〉	47
自然環境論〔環境と保全〕－夏季集中－〈山縣 毅〉	48
自然誌(1)〔現代の自然像〕〈清水善和・篠原正雄・持丸真里・山縣毅〉	49
数学(1)〔微積分学入門〕〈小沢 誠〉	50
数学(2)〔線形代数学入門〕〈小沢 誠〉	50
数学(3)〔現代数学入門〕〈福田 賢一〉	51
情報数学〔情報と論理〕〈高橋 一嘉〉	51
物理学〔光と物質〕〈篠原正雄〉	52
化学(2)〔衣食住の化学〕〈持丸真里〉	53
宇宙科学〔星と銀河〕〈篠原正雄〉	53
コンピュータ基礎(1)(4)(6)(9)〔コンピュータの実際〕〈小沢 誠〉	54
コンピュータ基礎(2)(7)(23)(24)〔コンピュータの実際〕〈山本博信〉	55
コンピュータ基礎(3)(8)〔コンピュータの実際〕〈小川健次郎〉	56
コンピュータ基礎(20)(22)〔コンピュータの実際〕－夏季集中－〈小川健次郎〉	57
コンピュータ基礎(5)(10)〔コンピュータの実際〕〈竹田洋一〉	58
コンピュータ基礎(11)(15)〔コンピュータの実際〕－夏季集中－〈竹田洋一〉	59
コンピュータ基礎(12)〔コンピュータの実際〕－夏季集中－〈小沢 誠〉	60
コンピュータ基礎(16)〔コンピュータの実際〕－夏季集中－〈高橋 一嘉〉	61
コンピュータ基礎(13)(17)〔コンピュータの実際〕－夏季集中－〈山本博信〉	62
コンピュータ基礎(14)(18)(19)(21)〔コンピュータの実際〕－夏季集中－〈長坂浩史〉	63
コンピュータ応用(1)(2)〔コンピュータの原理〕〈今泉 淳〉	64
人類学〔人類の進化〕〈遠藤 万里〉	65
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕〈高橋 良博〉	65
心理学〔心を科学する〕－夏季集中－〈堀内 正彦〉	66

(4) 総合分野

総合Ⅰ	〈 休 講 〉		
総合Ⅱ	〈 休 講 〉		
総合Ⅲ(1)	〈 休 講 〉		
総合Ⅲ(2)	〔欧米の教育と日本の教育〕	〈岡崎 寿一郎〉	67
総合Ⅲ(3)	〔フランス現代思想〕	〈桑田 禮彰〉	67
総合Ⅳ(1)	〔現代アメリカ事情〕	〈林 明人〉	68
総合Ⅳ(3)	〔ポスト・モダンの世界〕	〈丸小 哲雄〉	68
総合Ⅴ(1)	〔イギリス文化探訪〕	〈川股 陽太郎〉	69
総合Ⅵ(1)	〔民族とは何か〕	〈大野 祐二〉	70
総合Ⅵ(2)	〔イスラム〕	〈前期：青柳かおる 後期：吉田京子〉	70
総合Ⅵ(3)	〔フェミニズム・ジェンダー〕	〈早川 紀代〉	71
総合Ⅶ(1)	〔トラブルと法的解決〕		
		〈北野かほる・小木 曾綾・王 志安 金子 昇平・佐藤多美夫・西 修〉	72
総合Ⅶ(2)	〔都市論〕	〈早川 純貴・品田 知美・中野 裕二 保坂 尚郎〉	73
総合Ⅷ	〈 休 講 〉		

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 〔日本文学「古典」〕	しまだ しんいちろう 島田 伸一郎	禅・仏教選	4

講義のねらい

「人はなぜ歌うか」「どのような時に歌いたくなるのか」をテーマとし、和歌を読みながらその歌に込められた思いについて考えていく。そして現代の我々にも通じる、人の心の諸相を見ていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

『万葉集』の歌を読む。毎時、一首から数首を取り上げ、語句の意味や歌の理解に必要な背景などを説明しながら解釈を行い、歌われている心情を考察していく。

履修上の留意点

取り上げる歌は出来る限る分かりやすいものとする。特に予習の必要はないが、あらかじめ声に出して読んで来ること。

成績評価の方法

前期終了後のレポート提出と年度末の定期試験に出席状況を加味して評価する。

教科書

小野寛 『新選万葉集抄』（笠間書院）1,600円

その他

講義形式による。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 〔日本中世史〕	くりはら おさむ 栗原 修	禅・仏教選	4

講義のねらい

中世の歴史を講義する。とくに中世後期の社会について、地域史の視点を通して見ていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

歴史学の基礎的な方法論を、史料批判、古文書読解などを通じて身につけていく。そのうえで、戦国大名の領国支配についての検討を行いながら、中世後期の社会を理解していきたい。

成績評価の方法

学年末試験と平常点などにより総合的に評価する。

参考書等

その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
芸術学(1) 〔日本美術〕	まつだ せいいちろう 松 田 誠一郎	全 学 科 選	4

講義のねらい

飛鳥時代〔538～710〕から天平時代前期〔710～753〕にいたる仏教彫塑の歴史を詳しく講義する。講義では、関連史料を講読して、作品が造られた歴史的背景をたどる一方、時代ごとの表現や技法の特徴を指摘し、その歴史の変遷や研究上の問題点を説明する。また、中国や朝鮮半島の作品との比較を通して、日本的な美意識の問題についても論究する。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】	【後期】
第 1 回 ガイダンス	第 1-3 回 5. 興福寺仏頭と薬師寺金堂本尊
第 2-4 回 1. 法隆寺金堂と釈迦三尊像	第 4-5 回 6. 法隆寺五重塔の塑像
第 5-7 回 2. 救世観音像と百済観音像	第 6-8 回 7. 興福寺の十羅漢・八部衆像
第 8-9 回 3. 法隆寺再建期の童顔童形像	第 9-10 回 8. 東大寺法華堂の乾漆像
第 10-12 回 4. 広隆寺と中宮寺の	第 11-12 回 9. 東大寺・新薬師寺の塑像
第 13-15 回 進度調整のための予備日	第 13-15 回 進度調整のための予備日

履修上の留意点

仏像の本当のよさは、スライドを見ているだけではわからない。教室で講義を受けるだけでなく、できるだけ履修期間中に東京国立博物館の法隆寺宝物室や奈良・京都の古寺を訪れて、仏像に接する機会を積極的につくるように努力すること。

成績評価の方法

後期末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

教 科 書

水野敬三郎著 『奈良・京都の古寺めぐりー仏像の見かたー』 1985年 (岩波書店) 650円

参 考 書 等

水野敬三郎監修 『カラー版 日本仏像史』 2001年 (美術出版社) 2,500円

そ の 他

毎回スライドを使用する。参考文献については、講義ごとに指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
芸術学(2) 〔西洋美術〕	や の ようこ 矢 野 陽 子	全 学 科 選	4

講義のねらい

この授業では15世紀から18世紀までのヨーロッパ諸地域の美術を対象とし、まずその主要な流れを理解することを目的とする。そして表現内容と様式、芸術家とパトロン、美術理論などを踏まえて、美術作品がどのように制作され享受されたか、美術が社会の中で占めていた位置、さらに各国の美術の特質、地域間での影響関係について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は15・16世紀、すなわち初期ルネサンスからマニエリスム美術を、後期は17・18世紀、すなわちバロック・ロココ美術を扱う予定である。

履修上の留意点

教科書を毎回持参すること。スライドで作品を見ながら時代順に講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席するようにしてほしい。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験とを合わせて評価する。

教 科 書

高階秀爾監修 『カラー版 西洋美術史』 (美術出版社) 1,900円

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

そ の 他

授業では毎回スライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
芸術学(3) 〔音楽〕	あ か ば ゆ き こ 赤 羽 由 規 子	全 学 科 選	4

講義のねらい

前期 民族音楽学—日本人の伝統的な音感覚について考えていく。焼き芋屋さんの売り声や子ども遊びの歌から芸術音楽にまで共通する日本のメロディーについて考察し、それらと外国の歌との共通性、異質性について具体的に音を聴きながら学び、音楽とは何かを考えていきたい。
後期 20世紀と音楽—20世紀における音楽に関する様々な新しい動きを追って行き、「ポスト・モダン」といわれる今日の音楽の在り方について考えて行く。音や映像を用いて、わかりやすく進めて行くつもりである。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

夏期レポートと学年末試験で採点する。

教科書

印牧由規子著 『現代からの音楽史』 (公論社) 2,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲学 〔西洋思想の源流〕	お い か わ か ず よ し 及 川 和 剛	禪・仏教選	4

講義のねらい

哲学の議論は分かりにくい。ではなぜ分かりにくいのか。それは、哲学の言葉づかいが難しいため、また、哲学の問いの意図が分かりにくいためであるとまずは考えられる。そこでこの授業では、哲学の母体である古代・中世の哲学史を通覧することを通じて二つの作業をしていくことを目標とする。一つは、哲学の用語に慣れ親しみそれを使いこなせるようにすること。もう一つは、それぞれの哲学者がなぜそのような問いを立てたのかを明らかにしていくことである。

講義の内容・授業スケジュール

主に次のような題材を取扱う予定である。
①古代前期 (1) ソクラテス以前の人々 (2) ソクラテス (3) プラトン
②古代後期 (4) アリストテレス (5) ヘレニズム期の哲学
③中世 (6) 教父哲学 (7) スコラ哲学

履修上の留意点

哲学書を一冊は読んだ経験があることが望ましい。(例えば、岩波文庫から出ているプラトンの対話篇など。)

成績評価の方法

年2回(夏期と年度末)の試験、およびレポートで評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』(公論社)

参考書等

その都度授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	かわたに 河 谷 淳	禅・仏教選	4

講義のねらい

日常において私たちがまとまった文章を書いたりまとまった話をする場合、そこでは思考の何らかの「流れ」が要請されている。また、何気なく発せられた単発の文（命題）にしてみても、反省してみれば、それもまた暗黙の前提命題からの「流れ」の帰結であることに気づく場合がある。アリストテレス以来の歴史を持つ論理学とはそうした「流れ」の妥当な形式とは何かを考える学だといえることができよう。本講義の目的は、論理的であるとは一体どういうことなのかを考え、さらにそれを身につける訓練をつむことである。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では概ね次のような内容を取り扱う。
 (a) 論理学の基本概念、(b) 演繹推理（三段論法）、(c) 帰納推理、(d) 命題論理、
 (e) 述語論理

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

講義においてその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	すずき 鈴 木 聡	禅・仏教選	4

講義のねらい

論理学の初歩の講義を、できるだけ丁寧にわかりやすく行う。我々は日常生活において様々な文を用いて様々なタイプの推論を行う。多種多様な姿を持つ文にも、実は或る一定の構造が存在する。その構造を見極めることが論理学の課題である。また多種多様に見える推論にも、実は或る一定のタイプが存在する。この推論のタイプについての研究が論理学の主要課題である。論理学の習得は、正しい推論結果を導出するために、すべての学問において重要なことである。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は次のものを予定している。
 1. 文論理
 (a) 文論理の意味論 (b) 文論理の統語論
 2. 第一階量化論理
 (a) 第一階量化論理の意味論 (b) 第一階量化論理の統語論
 3. 伝統的論理学と記号論理学との比較
 4. メタ論理
 (a) 健全性定理の意義 (b) 完全性定理の意義

履修上の留意点

毎回の出席が望ましい。

成績評価の方法

成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。

教 科 書

配布プリント

そ の 他

本講義は講義→小テスト（質問）→前回の講義の復習→小テストの解説・・・という形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
論理学 〔知の技法〕	や 箭 の ひ ろ し 野 浩 司	全 学 科 選	4

講義のねらい

日本の教育制度はディベートやディスカッションの技術を教えない。同様に、レポートや小論文の書き方についても、それを教える学校は少ない。しかし社会人として、あるいは国際社会の一員として生きてゆくためには、考えを言語化してコミュニケーションをとることは必要不可欠なスキルである。

この授業は、各国の言論文化の違いに留意しながら、話すことと書くことに重点を置いて思考表現とコミュニケーションのスキルを向上させることをめざす。参加者は、表現する前に、恥ずかしい、言うことがない、意見がない、何も思いつかないといった状況に直面することになるが、それを乗り越えることも目的の一つとする。

講義の内容・
授業スケジュール

以下のような思考表現の技術について解説し、トレーニングを行う。ディベート、ディスカッション、プレゼンテーション、小論文、クリティカル・シンキング、情報分析等。

履修上の留意点

単位よりも能力が欲しいことを参加条件とする。ほぼ毎回、何かしゃべってもらうことになる。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、やる気、スキルの修得度等で評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
論理学 〔知の技法〕	い こ た まさる 伊古田 理	全 学 科 選	4

講義のねらい

本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際のノウハウの習得を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。

履修上の留意点

以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。

成績評価の方法

随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々：年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。翌週提出厳守）のほか、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はいっさい実施しない。

教科書

本年度は、テーマとして「道徳の理由（なぜ道徳なんてものに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。

教科書：大庭他著 『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版）

副読本：野矢茂樹 『論理トレーニング』（産業図書）

参考書等

そのつど指示する。

そ の 他

上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
科学史 〔科学と技術〕	<small>こみやま</small> 小宮山 <small>たかし</small> 隆	禅・仏教選	4

講義のねらい

科学・技術の進歩の道筋は紆余曲折にみちたものであり、その成功だけでなく躓きも、われわれにとって示唆に富む内容を含んでいる。
そこで、いくつかの事例を取り上げ、具体的な科学理論の歴史的展開を、技術の進歩や各時代の支配的な思潮との相関のなかでとらえ、現代のわれわれにとっての意味を考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

今日の物理学、化学、生物学がそれぞれ近代科学として成立する過程を中心に、現代への展開を含めて概観する。

履修上の留意点

講義に対する積極的な取り組みが受講の要件であり、それ以外に自然科学的な知識等、予備知識は一切必要としない。

成績評価の方法

前・後期の試験と夏のレポートで評価する。

教科書

八杉龍一『図解・科学の歴史』（東京教学社）

参考書等

講義の際に、その都度紹介する。

その他

通常の講義形式をとるが、教科書掲載の図版をはじめ、できるだけ多くの図版・図表等ももちいて講義を進めたい。必要に応じてビデオ等も使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫理学(1) 〔人間観〕	<small>ふるた</small> 古田 <small>ともあき</small> 知章	全学科選	4

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

西洋倫理学の代表的学説を、古代ギリシアから現代への流れに沿って時代ごとに紹介し、「人間」、あるいは、この「人間」という名称を与えられる「私」や「自己」という概念が、どのように、「行為」や「善」などのその他の倫理学の主題とともに論じられてきたのかを考察する。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学(2) 〔応用倫理学〕	<small>くろさき つよし</small> 黒崎 剛	全学科選	4

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」——「価値」や「義務」、「習慣」といった——の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものとなしなして多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にともなつて提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定
1. 生命の倫理——講義の課題概説
 2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
 3. 人工妊娠中絶
 4. 安楽死と尊厳死
 5. 脳死と臓器移植
 6. 「生殖革命」——人工生殖の現状と問題点
 7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学(3) 〔価値観〕	<small>おいかわ かずよし</small> 及川 和剛	全学科選	4

講義のねらい

「私はどうしたらいいのか」「ままたらぬこの自分とはなんであるのか」といった問いは思春期にいる少年少女だけに特有のものではない。それはおそらく一生続きうる問いである。この授業では、それぞれの人生で繰り返し立ち現われ問い返される“私”や“自分”とはなんであるのかということ論じる。そうして行く中で、“私”はどのような“感情”に支配されてしまっている、ということがクローズアップされてくるであろう。そこで次に、その“感情”とはなんであるのかということ論じる。（この問題は＜自由＞の問題につながるはずである。）他方、“私”は自分一人で生きていけるわけではなく、他の“私”達とともに生きているという事実にも着目しなければなるまい。そこでまた、その“他者”とはなんであるのかということも論じたい。（この問題は＜規範＞の問題につながるはずである。）

講義の内容・授業スケジュール

- おおかた次のような内容を取り扱う。
- I 現代の日本で“私”について論じている人々
 - II 「心の受動」としての“感情”
 - III ウィトゲンシュタインと“他者”の問題

成績評価の方法

年2回（夏期と年度末）の試験、およびレポートで評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

北明子『メヌ・ド・ピランの世界 経験する＜私＞の哲学』（劉草書房）
野矢茂樹『心と他者』（劉草書房）
その他についてはその都度授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫理学(4) 〔応用倫理学〕	や 箭 の ひろし 野 浩 司	全 学 科 選	4

講義のねらい

倫理学は、哲学の主要な一部門であり、人間がいかに生き、何をなすべきかを探求する学問である。言い換えれば、問題の多い世界の中で生き方を模索する哲学である。

われわれが自己の生き方を決めるためには、知識を習得するとともに、自分の力で考えねばならない。応用倫理学の<応用>という言葉は、理論の応用という意味ではなく、具体的な問題に参入して、意思決定のシュミレーションを行うことを意味する。この授業は、テクノロジー、医療、宗教、メディア、教育、環境破壊、テロ、人口圧、多様な価値観の共存など、さまざまな問題と向き合って、どうすべきかを考え、自分の意見を持ち、判断を下すこと、言い換えれば、生きてゆくための知を構築することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

問題の多くはビデオで提示する。身近な問題から始めて、別の場所で起きている問題や未来に起きる問題にまで射程を広げてゆく。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教 科 書

開講時に指定する。

参 考 書 等

その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫理学(5) 〔制度とモラル〕	く 久 保 陽 一 ぼ よう い ち	全 学 科 選	4

講義のねらい

最近、簡単に人を殺害したり、職業倫理を無視したりする事件があとを断たない。あらためて何が正しいかが問われている。そこで本講義では「正義」について、倫理思想の歴史をたどり、今日の問題を考える参考にしてもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 近代以前の正義
 - (1) 古代ギリシア (ギリシア悲劇・プラトン・アリストテレス・ストア派)
 - (2) キリスト教
- II 近代の正義
 - (1) 人権と社会契約の思想 (ホッブス・ロック・ルソー・カント)
 - (2) ヘーゲルの法哲学
 - (3) 功利主義
- III 現代の正義
 - (4) 社会主義と社会権
 - (5) ロールズとテイラー
 - (6) 生命倫理と環境倫理

履修上の留意点

よく出席し、ノートを取ることを。私語や途中退室はつつしむこと。

成績評価の方法

中間試験、レポート、期末試験と出席状況。

教 科 書

河谷・久保編 『原典による哲学の歴史』 (公論社)

参 考 書 等

高木・末延・宮沢編 『人権宣言集』 (岩波文庫)
シンガー 『私たちはどう生きるべきか』 (法律文化社)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫理学(6) 〔東洋倫理〕	す え き や す ひ こ 末 木 恭 彦	全 学 科 選	4

講義のねらい

漢文古典はすべて「倫理」学と言っても過言ではない。それらを産み出した人々の主要な関心は、人と人の間で如何に生きるかにあった。従って、漢文古典を考えれば、自ずと倫理学となる。又、漢文古典が示す人の生き方は、東アジアの人々に等しく人生の指針であった。先人の積みあげた歴史の上に我々はいる。漢文古典の世界を知るとは、決して他人事ではなく、我々の心の奥底を知ることである。これを知るとは、我々の未来の生き方を開くことにもなる。このような重要な意味を担う我々先人達の人生の思想を問い直し、そこから未来の手掛りを掴む——ここにこの講義の目標はある。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、東洋古典の智慧がどれだけ現代の問題を考えるのに役立つか検討を試みたい。環境倫理——環境問題にいかに対処してゆかかという問題を取り上げ、この問題に東洋の智慧がどのように光を投げかけるかを見てみたい。教科書は、このような問題意識に基いて開かれたシンポジウムの報告論文集である。講義は、教科書に収められた論文の中から講師が重要と考える論文を選び、順次読み進めながら考察を深めてゆく。

履修上の留意点

ノートは確実にとること。

成績評価の方法

基本は年二回以上の試験あるいはレポートにより判断する。それに、出席状況・受講への積極性(質問の有無—質問は原則書面で提出して貰う)などを加味して最終的な成績をつける。

教科書

『東洋的環境思想の現代的意義』(農山漁村文化協会)

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗教学(1) 〔比較宗教文化〕	い け が み よ し ま さ 池 上 良 正	全 学 科 選	4

講義のねらい

宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」(マックス・ミュラー)という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

大きなテーマとして、次の三つを考えている。①近代宗教学の成立とその意義。②宗教の比較類型論の試み。③民俗・民衆宗教研究の展開。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗教学(2) 〔聖と俗〕	た な か の こ 田 中 かの子	全 学 科 選	4

講義のねらい

「聖と俗」という対立概念は、ある宗教的世界観のなかで生きる人間が「日常から非日常」「不浄から清浄」「苦悩から救い」「罪からの改悛」「離叛から和解」「死から再生」などのプロセスを体験するために仮設する自己一新の装置である。人格的「神」や非人格的「法」などに由来する「聖」なるものの完全さ・神秘性・絶対的力は、至らぬ無力な自己をおのずと「俗」なる領域に押しやるかにみえる。しかし実際には、「聖」なる人間性を志向してやまない日々の宗教生活そのものが既に、「聖」なる領域のなかに取り込まれて一体化しているのである。

講義の内容・授業スケジュール

I. 宗教学とは何か、II. 宗教生活の原初形態（「いのち」の発見）、III. 宗教の類型論（ひとつの宗教の諸相・さまざまな宗教の比較）、IV. 「聖なるもの」をめぐる諸宗教の構成要素一覽、V. 芸術と聖なるもの、VI. 宗教の人間観、VII. 宗教の世界観、VIII. 本講の後半では、ゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教の歴史・思想・文化を解説し、それぞれの現代的意義を考える。

履修上の留意点

板書を写すだけでは、本当にノートを取ったことにはならない。工夫してみよう。

成績評価の方法

各自の創意工夫と知識の応用力を問う論述式の学年末試験、レポート、出席状況。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

脇本平也著 『宗教学入門』（講談社学術文庫）

その他

講義担当者の現地調査に拠るスライドと録音テープを活用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗教学(3) 〔思想と儀礼〕	お が わ と し ゆ き 小 川 順 敬	全 学 科 選	4

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分ければ良いと言えるのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なのでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその思想について考えていこうと思えます。一見、不可解な行動に見えても、その背後の思想を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずです。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。

成績評価の方法

評価は原則として年度末の筆記試験により行います。なお、夏期休暇前にレポート課題を出しますが、提出は受講者の自由意思とします。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

未定。授業開始後、紹介します。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗教学 (4) 〔組織と運動〕	あらい 洗 けん 建	全 学 科 選	4

講義のねらい

宗教学は、宗教現象の実証的研究を通じて宗教の客観的理解を目指す学問である。宗教現象は、文化、社会、個人の人格などの各次元にわたって展開するが、この講義では宗教の社会的展開を中心に考察する。宗教は個人の内面において、単なる知識としてではなく、情意的にも真実として把握された世界認識である。しかし、それはまったく個人的な信念にとどまるものではなく、多くの人々に共有された文化として存在する。そして宗教を共有する人々は、集団を作り、共に礼拝その他の宗教的実践をするのが一般的である。そこに社会現象としての宗教の問題が生ずる。社会現象としての宗教には、どのような集団が形成されるのかという、集団内部の組織の問題と、宗教集団の活動が、外部の一般社会とどのような関係を生ずるのかという宗教運動の問題とがある。これらの問題を事実即して考察し、宗教現象の理解を目指したい。

 講義の内容・
授業スケジュール

わが国の宗教伝統を形成する神道、仏教、儒教など、なかでもその基層をなしている神道的なものが、わが国の社会や文化の形成に、いかにかかわっているのかを考察したい。

履修上の留意点

受講者の人数にもよるが、事実を覚えることより、問題を理解し共に考えることを目指したいと思っているので、とにかく出席して受講して貰いたい。原則として出席をとる。

成績評価の方法

定期試験と、出席点を総合評価する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学 (1) (2) 〔風土と文化〕	たけばやし かずひこ 竹 林 和 彦	全 学 科 選	4

講義のねらい

人文地理学の基本的概念や思考対象について、具体的な事例を取り上げながら検討してゆく。特に本講義のサブテーマである「風土と文化」について、文化地理学のアプローチを紹介しながら検討していく。講義でアジアを主に取り上げていくが、適宜ヨーロッパ・アメリカ等の地域と比較検討する。講義は、スライドやOHP等を使用し、事例として取り上げる地域を具体的にイメージできるように進める。

講義の内容・授業スケジュール

1. ガイダンス
2. 人文地理学の学問的性格
3. 人文地理学の基本概念
4. 人文地理学の思考対象とその方法
5. 人文地理学と地誌学
6. 地理学にとって文化とは何か？
7. 地域とは（地域の概念）
8. 文化地域
9. 文化生態～主に人間と自然環境のかかわり～
10. 文化景観
11. 文化伝播
12. 東南アジアの風土と文化
13. 東アジアの風土と文化
14. 市場の風景
15. 都市での居住（都市の文化）
16. 都市と農村
17. まとめ

履修上の留意点

授業には必ず地図帳（中学・高校で使用したものでもよい）を持参すること。

成績評価の方法

定期試験80%、平常点20%

教科書

特に指定しない。必要に応じて講義中に指示する。

参考書等

特になし。必要に応じて講義中にプリントにて配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学 (3) (4) 〔空間と行動〕	いとう かつひさ 伊 藤 勝 久	全 学 科 選	4

講義のねらい

社会科学全般の動向を眺みつつ、その中での人文地理学における空間論／行動論の展開と変化を概観する。

講義の内容・授業スケジュール

一般的な流れとしては、伝統的地理学から機能主義的地理学、歴史主義的地理学、批判主義的地理学、人間主義的地理学等の多様な空間観を把握しつつ、ポストモダニズムの空間論まで網羅する予定。具体的な授業スケジュールは講義初日に配布するシラバスに詳述する。

履修上の留意点

受講者には「データを収集し批判的に分析しつつ持論を展開する」というアカデミアの基本的態度を要望する。従って本講義では、受講者が各講義で得た知識を如何に使い、あるいは論理的に批判する事ができるかを重視したい。その具体的方法に関しては、授業の中で逐次教授する。

成績評価の方法

出席30%、中間試験（小論文）35%、期末試験（小論文）35%の総合点で評価する。

教科書

教科書は講義初日に配布するシラバスにて指示する。

参考書等

参考書等は講義初日に配布するシラバスにて指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想（前期）	とよた ちよこ 豊田千代子	禅・仏教？選	2

講義のねらい

この授業では、「子どもの権利条約を思想として読む」ことをめざす。1989年に国連で採択された「子どもの権利条約」は、ポーランドによって提案された。この背景の一つには、第一次世界大戦および第二次世界大戦下で多くのポーランドの子どもたちが戦争の犠牲になった（第二次大戦では、とくにユダヤ系ポーランド人の子どもたちの人権が守られなかった）という歴史的事実とそのことへの反省がある。

ユダヤ系ポーランド人の教育者であり医者であり、また作家でもあったヤヌシュ・コルチャック（本名ヘンリク・ゴルドシュミット、1878～1942）は、当時、孤児院の子どもたちのくらしや教育に携わっていたが、それらにみられる「コルチャック先生」の教育の思想、とりわけその核をなす子ども観は、子どもの権利条約の思想的基礎となっているとも言われている。

このようなコルチャック先生の教育の思想を土台にしつつ、わが国の教育をめぐる子どもたちの現状について考えたり、子どもの権利条約を読んでみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ・自分たちの受けてきた教育のふり返り
- ・教育をめぐる子どもたちの現状
- ・コルチャック先生の思想
- ・子どもの権利条約とコルチャック先生

成績評価の方法

出席点、レポート等によって成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

樋渡直哉 『子どもの権利条約とコルチャック先生』（ほるぷ出版）

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想（前期）	きたむら みつこ 北村三子	禅・仏教？選	2

講義のねらい

今日の日本の教育制度の理念や思想について深く理解するために、その源流となる西洋近代の教育思想を学んでいきます。あわせて、今日の教育をめぐる諸問題を乗り越えていけるような新たな教育思想のあり方を探っていききたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- ①近代教育思想の特徴…18世紀の啓蒙思想、19世紀後半から20世紀にかけて発展をみる教育学や発達論など、近代社会・国家の成立と手を携えて近代学校制度を生み出したもののうち、代表的なものをいくつか取り上げて検討します。
- ②近代教育思想の再考…今日の不登校や学級崩壊などの現象は、近代学校システムが機能不全になりつつあることを暗示していますが、それはまた近代教育思想の行き詰まりを意味しています。そこで近代教育思想から何を受け取り、何を変革しなくてはならないのかを探るために、近代では周辺のだった教育思想や実践を検討します。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

試験（あるいはそれに代わるレポート）

参考書等

教場で指示。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会（後期）	とよたちよこ 豊田千代子	禅・仏教?選	2

講義のねらい

教育と社会とは、相互に緊密な関係にある。教育は社会のあり方に影響を受けるとともに、社会にも影響を及ぼしている。したがって、教育を考える場合、それを社会と切り離して考えることはできず、社会の中での教育・教育の中にみられる社会という視点からの検討が不可欠であろう。授業では、現代における教育の諸問題を総合的にとらえる力を形成するために、このような視点を養うことをめざしたい。

講義の内容・授業スケジュール

自分たちが受けてきた教育をふり返り、その中でみえてきた教育のさまざまな問題を、社会の歴史や構造等との関連で検討する。また、障害者、女性、在日外国人、義務教育未修了者などの教育に焦点を当て、それらの教育と社会との関係を考える。

成績評価の方法

出席点、レポート等によって成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会（後期）	きたむらみつこ 北村三子	禅・仏教?選	2

講義のねらい

教育のあり方と社会のあり方との間には密接な関係がありますが、本講義では、とりわけ、近代社会と教育との関係を中心に考察してゆきます。今まで体験してきた学校教育をもう少し広い視野から捉えなおし、自分達がどのように社会的に形成されてきたのかを改めて考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- ①近代学校システムの特質……近代学校システムの成立とその特徴について論じます。
- ②近代学校システムを越えて……不登校その他の具体的な問題を通して近代学校システムの矛盾について考察し、今後の教育のありかたを探ります。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

試験（またはそれに代わるレポート）

参考書等

教場で指示

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学（前期）	おおはま きくこ 大 浜 幾 久 子	禅・仏教2選	2

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。その際、基礎的な心理学実験の実習も試みたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした平常点評価の予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学（前期）	すみの ぜんじ 角 野 善 司	禅・仏教2選	2

講義のねらい

教育心理学は、教育場面对して心理学的にアプローチする学問です。すなわち、教師が、生徒を理解し、効果的な教育を行うためにはどうしたらよいかを、多様な観点から心理学的に考えようとするものです。この科目では、教育心理学の中でも、特に発達と学習に焦点を当てています。講義を通じて学び、考えたことを、教育場面で生徒と接するにあたっての1つのヒントにしてほしいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

- 以下を中心テーマとして進めます。
- ①人間の生涯にわたる発達
 - ②生徒の学習、および学習に対する教授過程
 - ③学習への動機づけ
 - ④教育場面における評価の目的やあり方

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意思で教員免許や社会教育主事などの資格の取得を目指す以上は、毎回講義に出席するのはもちろんのこと、受け身で授業を聴くのではなく、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。ただ毎回教室にいるというだけでは単位が取れません。また、教養教育科目としても履修可能ですが、それらの学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思しますので、それを承知の上で、受講したい人は受講してください。

成績評価の方法

出席・授業内課題・学期末テスト・学期末レポートの4つから、評価する予定です。免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準は甘くするわけにはいきません。したがって、4つのうちどれか1つでも合格水準に達していなければ、単位を与えません。

教科書

使用しません。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせて、適時紹介します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
カリキュラムと学習（後期）	おおはま きくこ 大 浜 幾 久 子	禅・仏教Ⅱ選	2

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした平常点評価の予定である。

参考書等

『(小学校・中学校・高等学校)学習指導要領』(文部科学省)
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

そ の 他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。
この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
カリキュラムと学習（後期）	すみの ぜんし 角 野 善 司	禅・仏教Ⅱ選	2

講義のねらい

この科目では、カリキュラム編成を中心テーマとして取上げ、それが生徒の学習をどう導いていくかを検討していきます。自分が受けてきた教育がどのようなカリキュラムに則って行われていたのかを省みつつ、これからの教育がどのようなカリキュラムで行われていくべきかを、各自考えてほしいと願っています。

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意思で教員免許や社会教育主事などの資格の取得を目指す以上は、毎回講義に出席するのはもちろんのこと、受け身で授業を聴くのではなく、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。ただ毎回教室にいるというだけでは単位は取れません。また、教養教育科目としても履修可能ですが、それらの学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思しますので、それを承知の上で、受講したい人は受講してください。

成績評価の方法

出席・授業内課題・学期末テスト・学期末レポートの4つから、評価する予定です。免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準は甘くするわけにはいきません。したがって、4つのうちどれか一つでも、合格水準に達していなければ、単位を与えません。

教科書

使用しません。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせ、適時紹介します。

そ の 他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。
この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学 〔社会生活を考える〕	おぼた かず 小 畑 和	禅・仏教選	4

講義のねらい

社会学はつかみどころのない学問と言われますが、その理由は、社会学が「社会人の形式として社会関係や社会集団を研究するだけでなく、家族、人口、経済、法律、政治、企業、教育…等々の領域を一切適切に包み込んだ社会全体を研究する学問だからです。それ故に幅広く、内容も多種多様で、明確な統一の立場を見出だし難い性格を持っています。

講義では、生産力と消費力の2つのキー概念を用いて現代社会の構造を捉え、人々の社会生活が生産と消費の社会的環境の中でどのように影響されているかを明らかにしたい。また講義を通して「巨視的 (Macroscopic) なものの見方」を身に付けて貰いたい。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では「ゆたかさは人間を幸せにしたか」を主テーマに、人々の社会生活を誕生から老後に至る過程を追いつながりながら次の7つの要因について講義する。

- ①マクロ的要因 (現代の生産の意味、生産力と消費力の関係が個人の社会生活にどのような影響を与えるかを中心に現代社会 (少子社会) を総合的に講義する。)
 - ②誕生に関する要因 (出生・墮胎・殺児…)
 - ③幼児・子供の成長に関する要因 (育児・保育・遊び・いじめ・体罰・塾・進学…)
 - ④家庭生活に関する要因 (核家族化、晩婚晩産化、生涯独身、パート、共働き、残業、余暇、離婚の増大…)
 - ⑤消費生活に関する要因 (広告・宣伝・ローン、消費者教育、自己破産、ホームレス問題、ゴミ問題等の消費者問題…)
 - ⑥会社生活に関する要因 (入社、転職、失業、終身雇用制の崩壊…)
 - ⑦老後の生活に関する要因 (年金、介護、生きがい、死の問題…)などを講義する。
- この7つの要因を通して、全体として現代社会の社会生活を考えて見たいと思います。

履修上の留意点

初回の講義で説明する。

成績評価の方法

五段階2乗方式によるが、そのやり方は初回の講義で説明する。

教科書

初回の講義で説明する。

参考書等

初回の講義で説明する。

その他

上記授業のスケジュールは進度によって多少の変更がある。またビデオの使用あり。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
統計学 〔社会現象の統計的分析〕	いなば としお 稲 葉 敏 夫	禅・仏教選	4

講義のねらい

情報化時代においては、情報洪水の中で何が必要な情報で、何が不必要かの適切な選択が益々大切となってくる。どの様にしたら統計を適切に利用できるかを主眼に授業を進める。

講義の内容・授業スケジュール

前期は基本的な概念を説明する。平均値、標準偏差、2変量間の関係を表す相関係数、そして回帰直線を扱う。また、確率概念を導入することによって、平均値、標準偏差をとらえ直す。後期は統計的推測の基礎を講義する。世論調査における政党支持率の変化は統計的に意味があるのか、新薬は旧薬よりもはたして効き目があるのかなど、身近な例を取り上げる。

成績評価の方法

平常点とレポートによって評価する。再試験は実施しない。

教科書

稲葉三男・稲葉敏夫・稲葉和夫著『経済・経営 統計入門』(共立出版) 2,100円

その他

授業は講義の形態をとるが、時々ごく簡単な計算を受講者にもしてもらおう。数式の使用はできるだけ避け、主として図や表を使用して説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文化人類学 〔文化と人間〕	ふじさき やすひこ 藤 崎 康 彦	禅・仏教選	4

講義のねらい

文化人類学全般に渡り概説的な講義を行う。ヒトは生物学的な共通性を持ちながらも文化を身につけることで多様な生活を組み立てて来た。「文化と人間」についてその「普遍と特殊」の観点から考えたい。私の研究上の背景は心理人類学的なものであるため、文化を様々なコミュニケーションとしてみる立場から説きたい。同時に社会人類学的な考え方もバランス良く取り込みたい。又、日本の民俗文化を人類学的な広がりで見ると考える時間も適当に組み込むことを考えている。

講義の内容・授業スケジュール

次の項目の中から講義をする。

1. 文化の概念
2. 言語とコミュニケーション
3. 家族・親族・婚姻
4. 妖術・呪術・シャーマニズム
5. 心理人類学
6. 経済の技術・生活の技術
7. 法と政治の人類学
8. 日本の民俗文化再考
9. 性と年齢による社会構造
10. ジェンダーと文化
11. その他のテーマ

履修上の留意点

質問や意見は歓迎する。積極的に参加していただきたい。しかし私語等の身勝手な行動には極めて厳しい態度で臨む積もりである。

成績評価の方法

基本的に学年末のテストに基づいて評価を行うが、随時行うミニテストの成績や出席状況も一定の範囲で反映させる。学習状況が思わしくない学生にはレポートを特別に課することもある。

教科書

特になし。講義にはプリントを用意する。

参考書等

テーマごとの参考文献は各回の講義時に紹介する。

その他

- ・ビデオ等の映像資料は随時用いる。
- ・講義の項目は予定であり、総てを同じ比重で講義するわけではない。今年度は上記の中から3、4、9、10などに力点をおいて講義するつもりである。
- ・成績評価は「加点法」で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法学・憲法 〔法と社会生活〕	はせがわ ひでよ 長谷川 日出世	禅・仏教選	4

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわりあいを検討する。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の習得を目指す。具体的には法と道德の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。

後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に、日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）

参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法学・憲法 〔法と権利〕 (夏季集中)	にし 西 おさむ 修	全 学 科 選	4

講義のねらい

何年か前に発表された日米教育比較に関する米側専門家の報告書によると、日本の大学教育は完全に失敗していると診断しています。「授業は貧弱で、大学生はいたって不勉強」というのがその結論です。日本の大学改革が叫ばれているいま、このような診断が誤りであることを証明する必要があります。

私は、次のような授業方針でのぞみますので、了解されたい。

- ① 私の教師になってからのモットーは「授業は休まず、遅く始めず、早く終わらず」というものです。したがって、受講者諸君は講義には必ず出席し、かつ授業時間に遅れないように。
- ② あらかじめ講義計画（シラバス）を立て、その計画にそって授業を進めます。この講義計画は別に配布しますが、キーポイントと参考文献が示してあるので、理想的には予習・復習するのが望ましい。
- ③ 授業中の私語・遅刻は、他人の迷惑になるので、絶対に慎んでほしい。
- ④ 成績は平常点を重視。私が独自に作成した出席カードを利用し（質問欄あり）、双方向性を大切に授業内容にします。
- ⑤ 授業内容は、コピーの配布、ビデオ、スライド、OHPなどの活用をはかり、できるかぎり理解を容易にするよう工夫をこらします。
- ⑥ 成績評価の目安は、おおむね以下のとおり。
前期試験30%、後期試験40%、出席・レポート30%
要するに、講義内容を活き活きしたものにし、受講者から知的関心を引き出し、知的満足感をもって終了するというのが、最大のねらいです。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義は「法学・憲法」という二つの標題になっていますが、「法と人権」を主たるテーマにしたいと思っています。日本国憲法のみならず、世界を視野において幅広い視点から考察をこころみます。日本国憲法における人権については、判例を中心に検討したいと考えています。取り扱うおもなテーマは、つぎのとおり。

- ① 「法と人権」を学ぶにあたって
- ② 人権の生成と発展（国際的視野にたつて）
- ③ 国民主権の意味
- ④ 平和と人権
- ⑤ 日本国憲法第3章における人権の意味と限界（法の下での平等、参政権、精神的自由、経済的自由、社会権など）
- ⑥ 西洋における人権観とアジアにおける人権観
- ⑦ 社会主義諸国における人権
- ⑧ イスラム諸国における人権
- ⑨ 「共生の権利」を求めて

開講時に指示。

教 科 書

そ の 他

授業日程
法学・憲法

前半	1	2	3	4	5	6	7	後半	1	2	3	4	5	6	7
8月1日 木	○	○	○	○	○			8月20日 火	△	△	△	△	△		
8月2日 金	○	○	○	○	○			8月21日 水							
8月5日 月	○	○	○	○	○			8月22日 木							
8月6日 火	○	○	○	○	○			8月23日 金							
8月7日 水	○	○	○	○	○			8月26日 月							
8月8日 木	○	○	○	○	○			8月27日 火							

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 〔社会生活とデモクラシー〕	井戸正伸 <small>いどまさのぶ</small>	禅・仏教選	4

講義のねらい

グローバリゼーション、高齢化が進む今日、先進国の福祉国家はいかなる問題に直面しているのか？各国は、この重要な政策課題に対して、いかなる対応をしてきているのか？これらの政策対応に各国間の相違は存在しているのか？この講義では、これらの問題について考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

講義は次のスケジュールにしたがって、進めていきます。なお、最初に、よりくわしいシラバスを配りますので、そちらも参照してください。

1. 福祉国家の背景要因：社会連合、制度、グローバリゼーション、高齢化
2. 年金レ짐ムとは何か？
3. 労働市場レ짐ムとは何か？
4. イギリスの福祉国家
5. アメリカの福祉国家
6. スウェーデンの福祉国家
7. ドイツの福祉国家
8. フランスの福祉国家
9. まとめ：先進国における福祉国家の将来

履修上の留意点

授業中にプリントを配布しますので、授業には出てください。

成績評価の方法

出席、中間試験、期末試験をもとにして、総合的に判断する。

教科書

久塚・岡沢『世界の福祉』（早稲田大学出版会）2,800円

参考書等

その都度、プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学 〔現代経済と人間〕	瀬戸岡 紘 <small>せとおか ひろし</small>	禅・仏教選	4

講義のねらい

現代経済のしくみの概観し、あわせて現代経済の諸現象を人間の目をとおしてながめること。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容として以下を予定していますが、受講者の希望により随時追加・割愛します。

《前期》現代経済の基本的なしくみ：◇資本主義経済のしくみ、◇資本主義の前史、◇等価交換のもとで利潤はなぜ生まれるか、◇価格のメカニズム、◇なぜ違う先進国と後進国の価格格差、◇景気循環のメカニズム、◇技術革新と構造的転換、など

《後期》人間の目をとおして現代経済をながめる：◇制度と人間—人間にとって大切なものは人間そのもの、◇要らないものまで欲しが—働きすぎの構図、◇クルマ社会の問題点、◇戦争と経済◇大量生産・大量販売・大量消費・大量廃棄の経済、◇食料と資源、◇適度な規制かそれとも自由と規制緩和か、◇いつおこってもおかしくない国際金融恐慌、など

履修上の留意点

原則として1回ごとに独立したひとつのテーマをとりあげます。毎回の講義では、まず、テーマに即した最新のニュースを話題にするところから話をはじめ、ついでそれぞれのテーマを理解するための基礎的な事実とキーワードを具体的な資料やデータにもとづいて解説します。

成績評価の方法

年間をとおして随時、受講者のみなさんに小論を書いてもらい、それをもって成績評価をします。この平常点重視のためまえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しない方向です。また、この成績評価のためまえから、再試験も実施いたしません。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。日々のニュースとみなさんの周囲にあるさまざまな文献の全体が、いわばテキストです。よい文献などの紹介は随時いたします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	お お い し ゆ う じ 大 石 雄 爾	全 学 科 選	4

講義のねらい

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はいまだに「複合不況」とよばれる深刻な経済スランプから抜け出せていません。近年、危機に見まわれたアジア諸国の人々も、貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も大きくゆらいでいます。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようと前向きな姿勢を示しているときに、他方では、中東などの地域には戦闘の火だねが残っているのです。こうした問題を私たちはどのように捉えればよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることをとおして、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。複雑きわまりない現代社会の諸問題の原因をさぐり、問題解決への展望をさし示すことが求められている、といつてよいでしょう。

社会科学は、17世紀におけるイギリス資本主義経済の発展とともに芽生え、19世紀、機械成大工業の確立とともに体系的なものへと発展してきました。社会の変化とともに、社会を支配する法則の認識も発展してきたのです。

この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点をあてて、社会的諸関係を把握する方法について考えてゆきます。とくに、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および思想をとり上げて、現代的な意味について考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 社会科学とは何か
2. 社会の歴史的発展と社会思想
3. 社会科学の生誕：ホブズとロック
4. 資本主義経済の把握：スミスとリスト
5. 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
6. 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
7. 資本主義と民族
8. 現代社会の思想的諸潮流

なお、現代社会の時事的な諸問題についても、随時とり上げてみるつもりです。

履修上の留意点

この講義は、年間の講義をとおして聞くことではじめて社会科学の意味とおもしろさが理解できるように組み立てられています。また、講義を聴きながらノートをとるという作業を1年間続けることによって、皆さんの理解力、書写能力も飛躍的に高まります。講義には毎回出席することが前提です。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成してもらうことがあります。成績は、この小レポートと後期に行なわれる定期試験の点数の合計点で評価します。追再試を実施します。

参 考 書 等

- 高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）
 平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）
 城塚登編著『社会思想史の構図』（八千代出版）
 大石雄爾『商品の価値と価格』（創風社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教育学 〔デス・エデュケーション〕	やなぎぼり すがこ 柳 堀 素雅子	全 学 科 選	4

講義のねらい

20世紀は医療が急速に進歩した時代であった。医学、医療が進めば、病気の治療も進み、これまで治療不可能と考えられてきた病気が、どんどん治療可能になってきた。現代医療のメリットだけを見ていれば夢と希望にあふれているが、デメリット、現代医療の影の部分、悪い部分にも目を向けることを忘れてはならないだろう。

たとえばヒトゲノム（人間の全遺伝子）が解読されたことは、オーダーメイド医療の普及や新薬の開発につながる可能性は大きい。しかし遺伝子情報は個人のプライバシーに触れるため、情報の管理がきちんとしていなければ重大な人権侵害となる。あるいは「脳死は死である」という社会的な合意が成立していない現時点で、脳死になった人からの臓器を勝手に摘出して他人に移植することは許されない。また植物状態になった人の人工呼吸器ははずしてもいいのか否かといった問題などもある。

現代医療の進歩にともなって、人間の生と死をめぐる新たな問題が噴出してきた。いずれも根本的解決には至っていない。以上のような人間の生と死をめぐるさまざまな問題について考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

現代の医療をめぐる状況
 バイオエシックスとは何か
 生命をめぐる新しい視点
 人権の保護と生命の尊厳との相剋など

履修上の留意点

新聞等の医療問題記事には、なるべく目を通して欲しい

成績評価の方法

出席、レポート提出等を総合的に評価する

教科書

なし

参考書等

必要なものをその都度紹介します

その他

授業の方法－講義、ビデオ、OHP、討論

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教育心理 〔大学生の心理-教育臨床 心理学の立場から-〕	の な か ひ ろ と し 野 中 弘 敏	全 学 科 選	4

講義のねらい

「心の健康」なる言葉を耳にすることがありますが、人がいろいろな意味でできる限り「豊かに」生きていこうとするのはなかなか大変なことのようです。そして様々ないきさつから、人が「心のつまずき」を経験することも少なからずあるようですし、それぞれ生い立ちや出会った人々、とりまく環境も様々な人間の「心を理解する」といっても、それについてただ一つの公式があるというわけでもなさそうです。

「心理学」と一口に言っても、人間の心の作用や行動などに関して、焦点を当てる領域や研究方法はきわめて多岐にわたっています。この講義では、主に臨床心理学の立場から、「心のつまずき」に対する広い意味での「心理臨床的援助」の実際と、そのような援助の手がかりとなる基本的な考え方を紹介したいと思います。また、心理臨床的援助の実際のありようを通じて、人のこころや他者との関係の構造・成り立ち・はたらきについて、これまでの理論でどのような仮説が与えられてきたか、などをお話しできればと思います。

講義の中で紹介する理論や話題を、自分の体験や身の回りで触れる出来事などについて考えてみるきっかけに生かしてもらえたら幸いです。

講義の内容・
授業スケジュール

おおむね以下のトピックを取りあげる予定です。

- ・「心理的異常」の考え方をめぐって
- ・人間の心理-社会的発達
- ・人格の構造と機能
- ・心理臨床的アセスメント（心理検査など）
- ・心理療法の基本的考え方
- ・さまざまな心理臨床現場での実際

成績評価の方法

夏休み（前）のレポートと年度末の試験（持込不可）とを併せて考慮します。

参 考 書 等

一読をお勧めしたい文献などは、その都度の講義の中で紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生物学 〔生物と環境〕	な か む ら と し え 中 村 敏 枝	禪・仏教選	4

講義のねらい

米国同時多発テロ事件が起きた2001年9月、国内では狂牛病問題が浮上した。狂牛病は牛の致死性の感染症であるが、病原体がプリオンというたんぱく質であること、ヒトおよび他の生物に種の壁を越えて感染することが、生物学的には興味深い。英国でこれが蔓延したのは罹患した牛の屍体を飼料（肉骨粉）として用いたことによるという。つまり、経済性・効率性の追及の結果である資源の有効利用が、草食動物である牛に肉食、しかもとも食いをさせたため生じた、人災なのである。人間の生産活動は、生物と環境にいま何をもたらしているのだろうか。

講義の内容・
授業スケジュール

1. はじめに 地球の歴史・生命の誕生
2. 生物の生活
 - a. 生命の維持
 - b. 植物の物質生産
 - c. 植物の生産過程
 - d. 植物の相互作用
 - e. 植物群落の遷移
 - f. 動物の個体群
 - g. 個体群の内部構造生殖行動
 - h. 生殖行動
 - i. 動物の種間関係
3. 生態系
 - a. 物質循環とエネルギーの流れ
 - b. 生態系の安定性
4. 人間の活動と地球環境
 - ・化学物質の功罪
 - a. 化学物質と生物
 - b. ダイオキシン
 - c. 内分泌攪乱化学物質（環境ホルモン）
 - ・生物学
 - d. 遺伝子組み換え生物
 - e. クローンと動物工場
 - f. 生殖医療
 - ・地球環境問題
 - g. 開発による自然の改変
 - h. オゾン層の破壊
 - i. 地球温暖化
 - j. 原子力利用の諸問題
 - k. 食料と人口・人類の未来

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科はじめ各教科の知識を本講義の前提とする。
意見発表の場を設けたいので、積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

期末試験と平常点で総合評価します。

教 科 書

赤堀他著『生物学 - 地球に生きるいのちを考える』（宣協社）

参 考 書 等

その都度紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地球科学 〔変動帯としての日本列島〕	ふじい すずむ 藤 井 享	禅・仏教選	4

講義のねらい

地球科学は、地形、岩石、地質、火山、地震、重力など地球に関するさまざまな現象を研究する分野であるが、地殻の変動や地形・地質の形成史を究明することが特に重要である。日本列島はユーラシア大陸と太平洋に挟まれており、島弧-海溝系（海溝を伴う弧状列島）の変動帯である。日本列島付近は4種類のプレートが衝突しあっており、火山活動、地震が多発、地形の起伏が大きく地質構造も複雑である。したがって、日本列島は世界でも第一級の変動帯といって過言ではない。

日本列島は火山活動や地震の頻発する自然条件下にあるため、否応なしにそれらに遭遇することも止むを得ない。したがって、これらの自然現象を正しく理解し、日頃から関心を抱くとともにその対策を講じることが重要である。本講義は、以下のような変動地形と日本列島の地形の由来を十分理解できるように展開したいと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は地図を多用して、世界で最も活動的な変動帯としての日本列島の地形を多角的に扱ってみたい。主な内容とスケジュールは次のとおりである。

- ① 地球上の変動帯とプレートテクトニクス
- ② 弧-海溝系の変動帯と日本列島
- ③ 島弧と火山帯
- ④ 第四紀の地殻変動（曲動地形、断層地形等）
- ⑤ 日本列島の活断層
- ⑥ 日本列島の巨大地震と変動地形
- ⑦ 火山活動と火山地形
- ⑧ 最終氷期と後氷期の日本列島

履修上の留意点

「地球科学」は、地球の内部や地表で行われる自然現象を扱うために、地図を多用する。そのため、「地図帳」（高校で使用したもので可）を準備すること。また、講義ノートをとることは重要。地図やその他の図を書くことが多いので、色鉛筆（12色）を準備してほしい。

成績評価の方法

テスト、レポート、出席状況を総合して評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

貝塚爽平著『日本の地形-特質と由来』（岩波新書）1977年
その他の参考書、文献等は講義の中で紹介する。

その他

講義形式であるが、必要によりビデオ、スライド等を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論 〔環境と保全〕	やまがた 山 縣 毅	禪・仏教選	4

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきています。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が自然環境に与える影響、環境保全の意義について考えてもらうことを目標としています。実生活で体験したり、各種報道により伝えられる地球環境に関する諸事象を正しく理解するための教養を、受講者に身につけてもらえるように、講義を進めていきます。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 地球表層の環境変遷とその要因
2. 人間活動による環境変化
(地球温暖化、大気酸性化、オゾン層の破壊)
3. 資源・エネルギーと環境
4. 地質変動による環境変化と自然災害
(地震、火山活動、崖崩れ)
5. 地球環境に対する海の影響
6. 環境保全

成績評価の方法

定期試験と出席状況により評価します。

教 科 書

特に定めない。

参 考 書 等

講義の中で紹介します。

そ の 他

OHP、スライド等を使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論 〔自然史と環境〕	藤 井 享 <small>ふじい すすむ</small>	禅・仏教選	4

講義のねらい

最新の地質時代を第四紀というが、この時代は約170万年前にはじまり寒冷な氷期と比較的温暖な間氷期を繰り返した時代である。この170万年間には少なくとも6回の氷期が確認されているが、このうち最終の氷期を「ヴェルム氷期」と呼ぶ。ヴェルム氷期は約72,000年前にはじまり約1万年前までの62,000年間継続したとみられる。つまり、長く続いた氷河時代の、最後の氷期が終わったのはごく最近のことなのである。私たちは今、最終氷期のあとの、束の間の温暖期に生きているのである。

ヴェルム氷期の中でも、約2万年前から約18,000年前は特に寒かった時代であり、現在の氷河分布面積の約3倍にあたるおよそ4,900万km³もの氷河が陸地を覆っていたとみられる。北半球についてみると、それらの大部分は北緯40°以北に分布していた。

では、その頃の日本列島はどのような自然環境下にあったのであろうか。本講義は最終氷期以後の気候や植生、地形など気候変動に伴う自然環境の変化について考えてみたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

授業は最終氷期（ヴェルム氷期）と現在、後氷期（最温暖期）と現在の各気候、海面変化、植生、地形等の自然環境を比較しながら進めたいと思う。その内容とスケジュールは下記のとおりである。

- ① 第四紀の編年と氷期・間氷期
- ② ケッペンの気候分類と寒冷高緯度地域の気候
- ③ 日本列島周辺の気候と植生分布
- ④ 最終氷期の気候と植生変化
- ⑤ 日本海の古環境
- ⑥ 海面変動と地形の変化
- ⑦ 後氷期の自然と環境

履修上の留意点

この講義は、大気汚染、水質汚濁、地球温暖化等の「地球環境問題」を論ずるものではなく、最終氷期から後氷期に至る気候や地形、植生等の自然変遷史を考察するものである。したがって、ヴェルム氷期以後の自然史を扱うので、留意してほしい。

講義の中で地図を多用するので、講義ノートとともに地図帳を準備してほしい。

成績評価の方法

テスト、レポート、出席状況を総合して評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

講義の中で紹介する。

その他

講義形式であるが、必要によりビデオ、スライド等を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論 〔環境と保全〕 (夏季集中)	やまがた 山 縣 たけし 毅	全 学 科 選	4

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきています。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が自然環境に与える影響、環境保全の意義について考えてもらうことを目標としています。実生活で体験したり、各種報道により伝えられる地球環境に関する諸事象を正しく理解するための教養を、受講者に身につけてもらえるように、講義を進めていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 地球表層の環境変遷とその要因
2. 人間活動による環境変化
(地球温暖化、大気酸性化、オゾン層の破壊)
3. 資源・エネルギーと環境
4. 地質変動による環境変化と自然災害
(地震、火山活動、崖崩れ)
5. 地球環境に対する海の影響
6. 環境保全

成績評価の方法

定期試験と出席状況により評価します。

教 科 書

特に定めない。

参 考 書 等

講義の中で紹介します。

そ の 他

OHP、スライド等を使用します。

授業日程

自然環境論〔環境と保全〕

前半	1	2	3	4	5	6	7	後半	1	2	3	4	5	6	7
8月1日 木	○	○	○	○	○			8月20日 火							
8月2日 金	○	○	○	○	○			8月21日 水							
8月5日 月	○	○	○	○	○			8月22日 木							
8月6日 火	○	○	○	○	○			8月23日 金							
8月7日 水	○	○	○	○	○			8月26日 月							
8月8日 木	○	○	○	○	○			8月27日 火							

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然誌 (1) 〔現代の自然像〕	清水 善和・篠原 正雄 持丸 真里・山縣 毅	禅・仏教選	4

講義のねらい

我々は何者か、なぜ、今ここにいるのか？ 大宇宙の中で人類存在の意味を問う本質的には哲学的なこの問いに対して、20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは、我々を取り巻く自然環境が100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえないものであることを語っている。一方で、今世紀の科学技術の発展は、このかけがえない自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえない。社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。

本講義では自然科学教室の専門を異にする4人の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。それは自然界全体を総合的、統一的にとらえるナチュラル・ヒストリー（博物学、自然誌）の伝統を現代的に蘇らせる試みでもある。地球の未来に向けいかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてほしい。

講義の内容・ 授業スケジュール

自然科学教室の専任教員4人により、1人6回程度の輪講形式で行われる。宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、21世紀の重要課題となる地球環境問題の本質とその解決の方向についても考察する。

- 第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄
- (1) 宇宙の起源（自然の階層構造、膨張する宇宙、ビッグバンと元素の起源）
 - (2) 星の進化と物質の進化（星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域）
 - (3) 太陽系と地球の起源（太陽系起源仮説、牡牛座T型星、宇宙の有機化合物）
 - (4) 太陽と地球の進化（地球の核の形成、大気と海の起源、太陽の進化と地球環境）
 - (5) 宇宙の中の地球（太陽放射の変動、地球軌道の変化、隕石、銀河系）
- 第2講 生命の起源と進化 清水善和
- (1) 生命の起源（生物体を作る物質、遺伝暗号とタンパク質合成、生命起源仮説）
 - (2) 生物の進化と進化論（生物進化40億年の歴史、進化のメカニズム、現代進化論）
 - (3) 人類の進化（霊長類の系統、ヒトの発展段階、ホミニゼーション）
 - (4) 生物の多様性（分類体系、生物多様性、植生帯、動植物の分布）
- 第3講 地球環境形成の歴史 山縣毅
- (1) 地球環境の変遷（プレュームテクトニクスからプレートテクトニクス）
 - (2) 地震のメカニズムとその災害
 - (3) 火山活動のメカニズムとその災害
 - (4) 大陸移動による気候変化
- 第4講 産業の発達と環境の変化 持丸真里
- (1) 化石燃料の消費と大気の変化（地球温暖化、大気汚染）
 - (2) 環境問題の歴史（公害から環境基本法制定まで）
 - (3) 石油化学工業の発達と生態系への影響
 - (4) 未来へ向けて-石油代替エネルギーの開発とその評価

履修上の留意点

本科目は1年間の継続的な講義を通じて総合的な自然像を養うことを目的としているので、毎回出席するのが困難な卒業年次生や運動部員等は履修を控えてほしい。一般の通年科目と異なり、4回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

成績評価の方法

各担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に4人の採点を合算して成績評価とする。

教科書

特になし。

参考書等

各担当者がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
数学(1) 〔微積分学入門〕	おざわ まこと 小 沢 誠	全 学 科 選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである微積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

前期に、一変数関数・一変数関数の微分・一変数関数の積分を、後期に、二変数関数・二変数関数の微分・二変数関数の積分を扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教 科 書

石村園子 『やさしく学べる微積分』 (共立出版) 2,000円

参 考 書 等

石村園子 『やさしく学べる基礎数学 線形代数・微積分』 (共立出版) 2,000円

そ の 他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
数学(2) 〔線形代数学入門〕	おざわ まこと 小 沢 誠	全 学 科 選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである線形代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

前期に、行列・連立一次方程式・行列式を、後期に、空間ベクトル・線形空間・内積空間を扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教 科 書

石村園子 『やさしく学べる線形代数』 (共立出版) 2,000円

参 考 書 等

石村園子 『やさしく学べる基礎数学 線形代数・微積分』 (共立出版) 2,000円

そ の 他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学(3) 〔現代数学入門〕	福田賢一	全学科選	4

講義のねらい

現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会現象に応用例を求め具体的事例から無理のない抽象化を計り、理論体系の理解、実的な応用力の養成を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 論理の基礎 2. 論理の応用 3. 線型代数 4. 線型計画法 5. 幾何学 6. 微分法
7. 積分法 8. 微積分法とその応用 9. 確率現象とその捉え方 10. 種々の応用

履修上の留意点

高校2年程度の平均的な学力があれば十分理解できるが、数学は系統性の強い学問であるから、基本的な事項を確実に理解する必要がある。

成績評価の方法

期末試験、レポート、小テスト等の結果を総合的に判定する。

教科書

使用しない。プリントを配布する。

参考書等

その都度指示する。

自然分野

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報数学 〔情報と論理〕	高橋一嘉	全学科選	4

講義のねらい

コンピュータ科学やコンピュータによる情報処理などについて学ぶ際に必要な基礎数学を解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

本年度は初歩的な初等整数論から始めて、公開鍵暗号のひとつであるRSA暗号について解説する予定である。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、出題された演習を必ず解いているものとする。

成績評価の方法

評価は原則として前期末と後期末の2回の試験によって行う。

教科書

楫元著『情報数理解シリーズA-5 工科系のための初等整数論入門-公開鍵暗号をめざして-』(培風館) 2,400円を使用する。

参考書等

必要に応じて紹介する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
物理学 〔光と物質〕	しのほら まさお 篠原正雄	禅・仏教選	4

講義のねらい

地上の天文学者は天体から来る光を分析して、手の届かない天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取る。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきた。

本講では「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げる。「光学」に限定されず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及ぶ。

講義の目的は、光について学ぶことを通して、物理学的な目で世界を見ることを体験していただくことにある。数式は物理学に不可欠な言葉ではあるが、大切なのは数式により表現された意味である。数式の使用は極力避け、用いる場合はその意味をできるだけ平易に説明するので、数学的な予備知識は必要としない。

講義の内容・ 授業スケジュール

次のような項目について講義する。

波としての光

光線 影 鏡 蟹気楼 透明人間

光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色

色とは何か

色即是波長？ 虹は七色か 三原色 茶色い光の波長？

電磁波としての光

電気と磁気 電磁波 光の速度と電磁気 電波望遠鏡 X線とガンマ線

光子 熱と光 星の色 人の光 原子構造と光 光波は粒子・電子は波
光と宇宙

光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光の旅

履修上の留意点

十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めする。

成績評価の方法

数回のテストを含む平常点を主に評価する。ただし、単位取得を希望する者は簡単な期末試験も受けていただく。

教科書

藤城敏幸著『生活の中の物理』（東京教学社）1,800円

参考書等

本間三郎・山田作衛著『電気の謎をさぐる』（岩波新書）563円
その他、講義の中で適宜紹介する。

その他

講義を中心とするが、理解を深めるためにはほぼ毎回問題を考えてもらう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
化学(2) 〔衣食住の化学〕	もちまる まり 持丸 真里	全学科選	4

講義のねらい

現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

はじめに、生体への化学物質の作用を理解するために必要な有機化学及び生化学の基礎について講義する。

その後、衣食住の化学として、以下のような各論の解説を行う予定である。

- ①衣の化学：合成繊維
合成洗剤（酵素化学の基礎、水質汚染問題も含む）
- ②食の化学：遺伝子組換え食品（遺伝子工学の基礎を含む）
食品の安全性
- ③住の化学：ダイオキシン問題
内分泌攪乱物質
フロン類によるオゾン層破壊 など

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修すること。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

教科書

なし

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宇宙科学 〔星と銀河〕	しのはら まさお 篠原 正雄	禅・仏教選	4

講義のねらい

観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展している。本講では現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介する。

宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期は恒星について講義する。初めに最もよく知られた恒星である太陽について、構造やエネルギー源を調べる。次に恒星一般について、研究の方法、恒星の分類、その結果わかってきた恒星の進化についてのべる。最後に、太陽系の起源について最近の説を紹介する。

後期は銀河系および宇宙の起源と進化について講義する。銀河系の中で、星間物質から星々が生まれては、再び星間物質へと戻っていくことを繰り返す中で、物質が進化してきた。この過程の重要な現場である星生成領域の研究を紹介しつつ、前期に触れた恒星の進化を銀河系の進化の側面から捉えなおす。

星と銀河についての知識はほとんどすべて20世紀になって明らかにされたものである。前世紀の成果をふり返り、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進めたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験による。平常点を加味する。

教科書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』（地人書館）1,800円

その他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (1)(4)(6)(9) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	お ぎ わ 小 沢 ま こと 誠	禪・仏教選	2

講義のねらい

HTML (Hypertext Markup Language) 及びCSS (Cascading Style Sheet) を学ぶ。同時に、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようにする。最終的に、自分のホームページを公開できるようにすることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

まず前半部分にHTML、後半部分にCSSの基礎を学ぶ。HTMLでは基本構造・テキスト・スタイル・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・表示形式と配置方法・リストを扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。

成績評価の方法

レポートで評価する。HTML・CSS・内容の三点を重視する。

教 科 書

HTML 4.01 Specification (<http://www.w3.org/TR/html4/>)、Cascading Style Sheets, level 2 (<http://www.w3.org/TR/REC-CSS2/>)

参 考 書 等

The World Wide Web Consortium (<http://www.w3.org/>)

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (2)(7)(23)(24) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	やまもと ひろのぶ 山 本 博 信	禅・仏教選	2

講義のねらい

EUCを念頭に置いた“コンピュータリテラシ”および“情報リテラシ”を実習を通じて理解する。特に、インターネットの原理や原則を学ぶ。インターネット上で実現されている様々なサービスを実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

パソコンの高性能化やLANの普及により、ユーザは自分たちで情報を収集し処理加工して利用することができる。(1) 表現手段としてのコンピュータ、(2) 情報処理手段としてのコンピュータ、(3) コミュニケーション手段としてのコンピュータ、それぞれについて実習を通じて理解を深める。電子メールやWWWなどのインターネットのサービスを、できる限り具体的に技術的・倫理的側面などを加味した上で活用する。

- ・コンピュータによる情報処理
- ・コンピュータ・リテラシの理解
- ・Windowsの環境（個人情報の自己管理）
- ・電子メールの利用
- ・文章の作成技法（自己の主張と他社の発言の区別、引用などのスタイル）、文章の編集
- ・文章の構成（構造的文書作成とドキュメント管理）
- ・インターネットの基本
- ・Webページの作成
- ・インターネットの諸サービス
- ・インターネットの利用（情報収集と文書作成）
- ・情報発信の法的・倫理的責任（知的財産権、個人情報保護法、モラル）

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業期間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

教科書

未定

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (3)(8) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	お が わ けんじろう 小 川 健次郎	禅・仏教選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。利用申請は、授業の中で適宜行う。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて紹介する。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (20)(22) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	おがわ けんじろう 小 川 健 次 郎	禅・仏教選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何が出来るか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。利用申請は、授業の中で適宜行う。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて紹介する。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

自然分野

授業日程

コンピュータ基礎 (20)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○					8月20日	火							
8月2日	金	○	○	○					8月21日	水							
8月5日	月	○	○	○					8月22日	木							
8月6日	火	○	○	○					8月23日	金							
8月7日	水	○	○	○					8月26日	月							
8月8日	木	△	△	△					8月27日	火							

△は予備日

コンピュータ基礎 (22)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木				○	○	○		8月20日	火							
8月2日	金				○	○	○		8月21日	水							
8月5日	月				○	○	○		8月22日	木							
8月6日	火				○	○	○		8月23日	金							
8月7日	水				○	○	○		8月26日	月							
8月8日	木				△	△	△		8月27日	火							

△は予備日

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (5)(10) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	た け だ よ う い ち 竹 田 洋 一	禪・仏教選	2

講義のねらい

これまでコンピュータにあまり接したことの無い初心者を対象にして、ビジネス社会に出たときに戸惑わない程度までの初歩的なパソコンでの情報処理能力を実習を通して身につけることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

情報教育センターのパソコン(OSはWindows)で主としてワープロソフト(WORD)と表計算ソフト(EXCEL)を用いる実習を行う。Windowsの基本的操作、日本語入力の仕方、基礎的な文書装飾、基本的な表計算とデータ処理、などを扱う予定である。

履修上の留意点

一人一台のパソコンを使用する授業であるが教場のパソコン台数には限りがあるので受講希望者多数の場合は抽選を行う。また授業での学習だけでは不十分なので積極的な自主学習(自宅または情報センターの自習室などのパソコンで)を並行して行うことが強く望まれる。

成績評価の方法

毎回の出席状況、提出してもらう課題、そして筆記テストの三つを総合的に判断して最終的な成績評価を行う。

教 科 書

教科書は使用しない。そのかわり毎回プリントを配布する。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて適宜授業の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (11)(15) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	た け だ よ う い ち 竹 田 洋 一	禅・仏教選	2

講義のねらい

これまでコンピュータにあまり接したことの無い初心者を対象にして、ビジネス社会に出たときに戸惑わない程度までの初歩的なパソコンでの情報処理能力を実習を通して身につけることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

情報教育センターのパソコン（OSはWindows）で主としてワープロソフト（WORD）と表計算ソフト（EXCEL）を用いる実習を行う。Windowsの基本的操作、日本語入力の仕方、基礎的な文書装飾、基本的な表計算とデータ処理、などを扱う予定である。

履修上の留意点

一人一台のパソコンを使用する授業であるが教場のパソコン台数には限りがあるので受講希望者多数の場合は抽選を行う。また授業での学習だけでは不十分なので積極的な自主学習（自宅または情報センターの自習室などのパソコンで）を並行して行うことが強く望まれる。

成績評価の方法

毎回の出席状況、提出してもらった課題、そして筆記テストの三つを総合的に判断して最終的な成績評価を行う。

教 科 書

教科書は使用しない。そのかわり毎回プリントを配布する。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて適宜授業の中で紹介する。

そ の 他

授業日程
コンピュータ基礎（11）

前半	1	2	3	4	5	6	7	後半	1	2	3	4	5	6	7
8月1日 木	○	○	○					8月20日 火							
8月2日 金	○	○	○					8月21日 水							
8月5日 月	○	○	○					8月22日 木							
8月6日 火	○	○	○					8月23日 金							
8月7日 水	○	○	○					8月26日 月							
8月8日 木	△	△	△					8月27日 火							

△は予備日

コンピュータ基礎（15）

前半	1	2	3	4	5	6	7	後半	1	2	3	4	5	6	7
8月1日 木				○	○	○		8月20日 火							
8月2日 金				○	○	○		8月21日 水							
8月5日 月				○	○	○		8月22日 木							
8月6日 火				○	○	○		8月23日 金							
8月7日 水				○	○	○		8月26日 月							
8月8日 木				△	△	△		8月27日 火							

△は予備日

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (12) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	おざわ まこと 小 沢 誠	禪・仏教選	2

講義のねらい

HTML (Hypertext Markup Language) 及びCSS (Cascading Style Sheet) を学ぶ。同時に、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようにする。最終的に、自分のホームページを公開できるようにすることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

まず前半部分にHTML、後半部分にCSSの基礎を学ぶ。HTMLでは基本構造・テキスト・スタイル・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・表示形式と配置方法・リストを扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。

成績評価の方法

レポートで評価する。HTML・CSS・内容の三点を重視する。

教 科 書

HTML 4.01 Specification (<http://www.w3.org/TR/html4/>)、Cascading Style Sheets, level 2 (<http://www.w3.org/TR/REC-CSS2/>)

参 考 書 等

The World Wide Web Consortium (<http://www.w3.org/>)

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎 (12)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○					8月20日	火							
8月2日	金	○	○	○					8月21日	水							
8月5日	月	○	○	○					8月22日	木							
8月6日	火	○	○	○					8月23日	金							
8月7日	水	○	○	○					8月26日	月							
8月8日	木	△	△	△					8月27日	火							

△は予備日

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (16) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	た か ほ し か ん ぞ よ し 高 橋 一 嘉	禅・仏教選	2

講義のねらい

コンピュータに対する基礎知識を習得し、基本的なソフトウェアやHTML言語の実習などを通じて、コンピュータでの情報処理能力を養うことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

コンピュータに対する基礎知識（構成要素・動作原理等）の解説から始めて、ハードウェアとソフトウェアの役割、プログラム言語とプログラミング等の簡単な解説をし、それぞれについてコンピュータを操作する実習を行う。具体的には、基本的なソフトウェア（ワープロ、表計算、インターネットアクセス等）とHTML言語の実習及び簡単なプログラミングの演習を行いたい。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、集中講義なので講義には毎日必ず出席すること。
講義開始日までに駒澤大学総合情報センターのコンピュータ利用申請を済ませておくこと。
なお、本講義はコンピュータ初心者対象である。

成績評価の方法

評価は授業時間中に行う演習やレポートによって行う。

教 科 書

必要に応じて適宜指定する予定である。

参 考 書 等

必要に応じて紹介する予定である。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎 (16)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木				○	○	○		8月20日	火							
8月2日	金				○	○	○		8月21日	水							
8月5日	月				○	○	○		8月22日	木							
8月6日	火				○	○	○		8月23日	金							
8月7日	水				○	○	○		8月26日	月							
8月8日	木				△	△	△		8月27日	火							

△は予備日

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (13)(17) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	やまもと ひろのぶ 山 本 博 信	禅・仏教選	2

講義のねらい

EUCを念頭に置いた”コンピュータリテラシ”および”情報リテラシ”を実習を通じて理解する。特に、インターネットの原理や原則を学ぶ。インターネット上で実現されている様々なサービスを実習を通じて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

パソコンの高性能化やLANの普及により、ユーザは自分たちで情報を収集し処理加工して利用することができる。電子メールやWWWなどのインターネットのサービスを、できる限り具体的に技術的・倫理的側面などを加味した上で活用する。あらかじめ収集、蓄積した情報を分析することによって問題を解決する(グループ演習によって行う)。

- ・コンピュータによる情報処理
- ・コンピュータ・リテラシの理解
- ・表計算処理の概念

(1) 行・列の計算 (2) ファイル形式 (3) 並べ替え、平均、集計、分散 (4) データの視覚化 (5) 統合的利用(ワープロ文書への表・グラフの埋め込み) (6) マクロ機能

- ・Windowsの環境(個人情報管理)
- ・電子メールの利用
- ・インターネットの利用(情報収集と文書作成)
- ・Webページの作成(内容の構造化、表現および技術)
- ・情報発信の法的・倫理的責任(知的財産権、個人情報保護法、モラル)
- ・情報生産のプロセスの演習

(1) 演習の方法 (2) メディアを利用したグループ演習 (3) 情報システムの活用について

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業期間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

教 科 書

未定

参 考 書 等

参考書は必要に応じて紹介する。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎 (13)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○					8月20日	火							
8月2日	金	△							8月21日	水							
8月5日	月	○	○	○					8月22日	木							
8月6日	火	○	○	○					8月23日	金							
8月7日	水	○	○	○					8月26日	月							
8月8日	木	○	○	○					8月27日	火							

△は予備日

コンピュータ基礎 (17)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木								8月20日	火	○	○	○				
8月2日	金								8月21日	水	○	○	○				
8月5日	月								8月22日	木	○	○	○				
8月6日	火								8月23日	金							
8月7日	水								8月26日	月	○	○	○				
8月8日	木								8月27日	火	○	○	○				

△は予備日

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (14)(18)(19)(21) [コンピュータの実際] (夏季集中)	ながさか ひろふみ 長 坂 浩 史	禅・仏教選	2

講義のねらい

初心者を対象にして、コンピュータの概要の把握、一通りの基本的な操作能力の習得を目標とする。
また、社会に出たとき必ず要求されると思われる「入手した情報を自分なりに整理し、体裁を整えて他者に伝える」ということの基礎を学んでもらう。

講義の内容・
授業スケジュール

情報教育センターのパソコン（OSはWindows）を使用し、実習を行う。ワープロソフト、表計算、データ処理、インターネット上のサービス利用（電子メール、WWW）等を一通り体験したあと、これらを総合した簡単な資料の作成してもらつつもり。この資料はウェブページの体裁で作成してもらうので、ウェブページ作成のための基本も学ぶことになる。

履修上の留意点

初心者を対象としていることに注意。
予備知識は仮定しないが、短期集中講義なので毎回出席し、課題は必ず提出すること。
課題は基本的にファイルの形で提出してもらつ予定だが、各自バックアップ用に、初日からフロッピーディスクを持参すること。

成績評価の方法

課題に対する提出物によって判断する。
実習という授業の性質上、毎日の基本課題をクリアしていれば、概ね厳しい評定はつかないと思つてよい。

教 科 書

前半は主に情報教育センターから配布されるガイドに沿って実習を行うが、その場で簡単な資料を配布する予定。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎 (14)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○					8月20日	火							
8月2日	金	○	○	○					8月21日	水							
8月5日	月	○	○	○					8月22日	木							
8月6日	火	○	○	○					8月23日	金							
8月7日	水	○	○	○					8月26日	月							
8月8日	木	△	△	△					8月27日	火							

△は予備日

コンピュータ基礎 (18)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木				○	○	○		8月20日	火							
8月2日	金				○	○	○		8月21日	水							
8月5日	月				○	○	○		8月22日	木							
8月6日	火				○	○	○		8月23日	金							
8月7日	水				○	○	○		8月26日	月							
8月8日	木				△	△	△		8月27日	火							

△は予備日

コンピュータ基礎 (19)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木								8月20日	火	△	△	△				
8月2日	金								8月21日	水	○	○	○				
8月5日	月								8月22日	木	○	○	○				
8月6日	火								8月23日	金	○	○	○				
8月7日	水								8月26日	月	○	○	○				
8月8日	木								8月27日	火	○	○	○				

△は予備日

コンピュータ基礎 (21)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木								8月20日	火				△	△	△	
8月2日	金								8月21日	水				○	○	○	
8月5日	月								8月22日	木				○	○	○	
8月6日	火								8月23日	金				○	○	○	
8月7日	水								8月26日	月				○	○	○	
8月8日	木								8月27日	火				○	○	○	

△は予備日

自然分野

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ応用 (1)(2) 〔コンピュータの原理〕	いまいずみ 今 泉 じゆん 淳	禅・仏教選	4

講義のねらい

コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また「効率のよいプログラム」とは何かを知る。

講義の内容・
授業スケジュール

コンピュータとは、単純な動作をたくさん積み重ねることで、さまざまな処理を行うことができる機械であることを知る。実際にまとまった処理を行う場合には、こうした単純な動作を目的に応じて組み合わせること（これを「プログラミング」とよぶ）が必要になる。そこでプログラミングの基礎を学ぶ。また、特定の問題を解決するためには「解決の手順」が必要になるが、同じ問題であっても異なる「解決の手順」があり、それらの比較を通じて「効率の良い解決手段」について学ぶ。

履修上の留意点

プログラミングに対する予備知識は仮定しないが、必要最低限のコンピュータの操作（ウィンドウ操作、電子メール、WWWの利用など）はマスターしていること。なお、駒澤大学の総合情報センターの利用申請と電子メールのアカウント取得は必須である。また、プログラミングで使用するコンピュータ言語はPascalである。本授業は一回でも欠席すると以後の授業についてこれなくなる可能性が非常に高く、欠席は厳禁である。

成績評価の方法

毎回の出席と適宜出題されるレポート課題の点数の総合評価によって行う。

教 科 書

山崎秀記 『Delphiによるプログラミング入門』（培風館）2,100円

参 考 書 等

随時紹介する。

そ の 他

授業は全て実習形式で、計算機室で行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人類学 〔人類の進化〕	えんどう ぼんり 遠 藤 萬 里	禅・仏教選	4

講義のねらい

人類を理解し、その進化を知るには骨やその化石のことを聞くだけではほとんど意味をなさない。生物としてのヒトが自然界でどういう位置にあり、どのように分類され、身体の構造や機能がどうなっているかをきちんと考えることが重要である。進化史は年々書き替えられているが、このような基礎が不十分なためもある。しっかりとした基礎知識を持つように期待する。

講義の内容・
授業スケジュール

ヒトが生物のなかでどのような位置にあり、動物としてどこに分類されるか、現在のようになったヒトの特異性とは何か、身体のみならず構造・機能にどのような特徴があるのか、文化も含めてどのように進化してきたと現在考えられているのか等について進めて行く。毎年新しい知識が加わるので注意。

履修上の留意点

できるだけ出席すること。内容の進行に応じて時々小テストを行なう。これは理解度を知るためでもある。なお、体育系運動部の学生であり出席できない学生には、この講義の一部についてのレポートを提出してもらい採点したいので、学年度初めに申出ること。

成績評価の方法

成績は年度末試験と小テストで行なう。また上記の学生はレポートで加点する。

教 科 書

遠藤万里編 『人類生物学入門』 (てらべいあ)

参 考 書 等

進化については
遠藤万里 『人類学百話一話』 (てらべいあ) 2,000円、アンドリュース・ストリンガーイラスト・ガイド 『私たちヒトの進化』 (てらべいあ) 2,400円
他の分野については難しすぎるか、古すぎるので紹介しない。

そ の 他

スライドを多く使い、身近な例を引き合いに出して楽しく進めたい。質問は歓迎する。これまでの人体や人類進化の通俗的常識は通用しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心理学 〔ヒューマン・ウォッチング〕	たかはし よしひろ 高 橋 良 博	禅・仏教選	4

講義のねらい

基礎的な心理学の概論を学ぶ人を対象にして、日常的な問題に即しながら、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間の行動生物学的研究や、環境心理学的研究などのトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなども織り込み、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学の人間行動に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点(講義への出席状況や、参加度)など総合して評価を行う。

教 科 書

講義の中で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心理学 〔心を科学する〕 (夏季集中)	ほりうち まさひこ 堀 内 正 彦	全 学 科 選	4

講義のねらい

人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、そればかりではなく、人間が一般的にもつ特性を知ることを含む。例えば、物の見え方や判断の仕方などのような様々な場面で何気なく行なっている活動全般について理解するということである。

講義の内容・
授業スケジュール

心理学の概略、行動の基本様式、感覚・知覚、記憶、学習、思考、発達、社会的行動などについて講義する予定である。

履修上の留意点

この講義に限らず何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいうべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。なお、その他の細かい点については以下の通りである。

- ① 私語は厳禁である。
- ② 講義中に分からないことがあった場合には、講義をさえぎって質問してもよい。また、E-mailでの質問も受け付ける。
- ③ 1回の講義において2回目以降に私語を中止された学生は、その講義に限り退場とする。

成績評価の方法

試験の結果を重視する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

講義の中で紹介する。

そ の 他

授業日程
心理学

前半								後半							
	1	2	3	4	5	6	7		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○	○	○		8月20日	火		△	△			
8月2日	金	○	○	○	○	○		8月21日	水						
8月5日	月	○	○	○	○	○		8月22日	木						
8月6日	火	○	○	○	○	○		8月23日	金						
8月7日	水	○	○	○	○	○		8月26日	月						
8月8日	木	○	○	○	○	○		8月27日	火						

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合Ⅲ（２） 〔欧米の教育と日本の教育〕	<small>おかざき</small> 岡 崎 <small>としいちろう</small> 寿 一 郎	全 学 科 選	4

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって変更されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのバカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

総合分野

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合Ⅲ（３） 〔フランス現代思想〕	<small>くわた</small> 桑 田 <small>のりあき</small> 禮 彰	全 学 科 選	4

講義のねらい

今日に至るまでフランスは、世界の思想界をリードしてきました。この講義では、特に二十世紀に照準を絞って、その豊かな成果を皆さんにご紹介します。重要な思想家を、おおむね時間順序に従って取り上げていきながら、時代背景も説明するつもりです。でも思想の最大の魅力は、スリリングと言ってもいいような鋭い洞察に触れる点にありますから、ときには、そうした著作の一節を一緒に読んでみましょう。また、「フランス現代思想」とは言っても、孤立しているわけではないので、ドイツ・イギリス・アメリカなど諸外国の思想について触れることもあります。わくわくするような「知の冒険」のガイドになればと思います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 講義概要
 2. 生の哲学とバルクソン
 3. 実存主義とサルトル
 4. 現象学とメルロ＝ポンティ
 5. 構造主義(1)レヴィ＝ストロース
 6. 構造主義(2)ロラン・バルト
 7. 構造主義(3)ラカン
 8. 構造主義(4)アルチュセール
 9. フーコー
 10. ブルデュー
 11. デリダ
 12. まとめ
- （2～11は、各2～3回ずつを予定）

履修上の留意点

フランス語の知識は必要ありません。

成績評価の方法

成績評価は、学年末の試験で行います。

教科書

特に指定しません。

参考書等

講義の中で、その都度指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合Ⅳ(1) 〔現代アメリカ事情〕	はやし 林 明 人	全 学 科 選	4

講義の内容・
授業スケジュール

現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード (abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Law等) を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

成績評価の方法

前・後期のレポート、出席の総合評価。

教 科 書

プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合Ⅳ(3) 〔ポスト・モダンの世界〕	まるこ 丸 小 哲 雄	全 学 科 選	4

講義のねらい

本講義の狙いは、近代化の批判と自己組織の確立を目指すことにあります。「大きな物語」が終息して、ポストモダンの世界は建築、視覚芸術、映画、文学、文学理論、歴史、哲学、宗教、経済、政治などのさまざまな分野で、さまざまな意味をこめて解釈されています。ポスト学際的な知の最前線として、固有なものに出会うために批判の方法によって権力の座(特権化された場所)を移動・転倒させつつ、歴史的過渡期の思想的表現としての近現代史を思想化(帝国主義と植民地化にたいする批判)することがあります。いわば、この講義の狙いは、自ら置かれている歴史的過渡期の時代状況とその意識を捉えて「自分探し」をすること、他者(=文化)をどう捉え、どう身体的に受け止めて、主体性をどう確立するかということに尽きます。

講義の内容・
授業スケジュール

講義に際して、関連文献リストを配布し、事前に読むテキストを指示します。また、クラス外では文庫本・新書版を読んでもらいます。講義の骨子は以下の通りです。

1. 前置き: 「変わるものと変わらないもの」について
2. 現代という時代の捉え方: 「今ここ」における事故言及のパラドックスについて
3. 「モダン」の語源と定義について: ポストモダンの特質について
4. ソシユールの言語観: 言語の恣意性、ラングとパロールなどについて
5. テキストの遍在性とディスコースについて
6. 人間観、宇宙観、社会観の変化について
7. 西洋の理性批判について: ソクラテス、デカルト、ヘーゲルとマルクス: とりわけニーチェのルサンチマン哲学による理性批判としての『道徳の系譜』: を取り扱う。
8. マックス・ヴェーバーの問題について: 合理的理性批判について
9. フーコーなどを中心にしてモダン批判: 外部の力と内部の力について
10. トランスモダン(横断的近代: アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対するナショナル意識とリージョナル意識との対抗性について)
11. レヴュー: 冷戦後における自己組織と反省的人間の特質について

成績評価の方法

出席、ターム・ペーパー(レポート作成)などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。さらに、前期、後期に配布された関連文献リストからそれぞれ1冊を選び、そのテキストの読み・解釈・批評を盛り込んだレポート作成。

教 科 書

- ・読書リスト配布
- ・プリント配布

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総合Ⅴ(1) 〔イギリス文化探訪〕	<small>かわまた ようたろう</small> 川 股 陽 太 郎	全 学 科 選	4

講義のねらい

ある民族の文化、ある国の文化を理解するのはそうたやすいことではない。日本とは、日本人とはと問われたとき、あなたがたはどう説明しますか。イギリスとは、イギリス人とはということをごく限られた時間で、しかしできる限り様々な視点から見ていこうと思う。

講義の内容・ 授業スケジュール

現代のイギリス人およびイギリスの文化を、現代から過去へ、過去から現代へ行きつ戻りつしながら、「イギリス」というものを文化的側面から眺めてみたい。ある民族の文化を理解しようとするとき、その民族の言語・風俗・習慣を知る必要がある。

例えば、「イギリス」というものを、地理的な面と人種的な面から眺めてみるとしよう。イングランド、スコットランド、ウェールズ、コーンウォール、シェットランド・オークニー諸島、ヘブリディーズ諸島という地理的側面から、またイングランド人、シェットランド人、ウェールズ人、コーンウォール人とか、シーズナルハンター、ピクト人、ケルト人、ローマ人、アングロサクソン人、デーン人、バイキング、ノルマン人という人種的側面から理解してみるのも一つのやり方である。

イギリス人は自分たちを「混血」（ミックスチャー）であるという。人がどの部族に属するか、どの人種に属するかを決定するのは「血」もさることながら、土地と無縁でないし、地域の文化（言語、風俗、習慣）と無縁ではない。しかしそれを決定するのはあくまでその人間の「所属意識」である。

ケルトの時代、ローマの植民地時代、キリスト教の普及、アングロサクソン人、デーン人、バイキングの侵入、ノルマン人のイングランド征服等、また封建社会の特異性をその崩壊過程、大英帝国の出現、産業革命、中産階級の出現等をテーマ別にみながら、今日のイギリスおよびイギリス人が持つ多様性を理解するように努める。

また、一つの文化を理解しようとするとき、同じテーマで日本とイギリスを比較・検討することで、よりいっそう明確にその差異を認識することができる。それは、自分の所属する社会と別の社会を比較することによって、それぞれの文化がもつ性格をいっそう明確に認識するということである。

「日本の常識は世界の非常識」であることが多いのも事実である。これは己と他を比較して初めて認識できるものである。いわゆる「国際化」の時代にあって、もっとも大切なことの一つは、己と他の違いを認識し、理解し、尊重できるように自己を訓練しておくことである。そのためには、まず自国の文化を理解し、そして他国の文化を理解することが重要である。

履修上の留意点

イギリスの文化を含め、「文化」そのものに興味がある学生を、特に「文明」と「文化」に関心のある学生を歓迎する。

成績評価の方法

レポートによる。レポート用紙10枚程度のものを、年1回提出。レポートには「参考文献名」を記入し、「引用文」には注）を付し、書名とページ数を記入すること。

教 科 書

教科書は使用しない。必要に応じ講義要録、参考資料等を適宜配布する。

参 考 書 等

講義形式をとる。パソコン、ビデオ、書画カメラを用い、映像、写真、絵図、史料を提示しつつ講義を進める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ(1) 〔民族とは何か〕	おのの ゆうじ 大野 祐二	全学科選	4

講義のねらい

この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論（文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など）についてが中心になります。

後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。

履修上の留意点

講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとりまします。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。

成績評価の方法

前後期の定期試験（またはレポート）、および小テストで評価します。

教科書

詳細については授業中にプリントで伝える予定です。

参考書等

原尻英樹著 『コリアンタウンの民族誌』（筑摩書房）
吉野耕作者 『文化ナショナリズムの社会学』（名古屋大学出版会）
李孝徳著 『表象空間の近代』（新曜社）

総合分野

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ(2) 〔イスラム〕	前期：青柳 かおる 後期：吉田 京子	全学科選	4

講義のねらい

現在、最も注目される思想、文化体系としてのイスラムに関して、日本人の知識は非常に低く、その結果誤った解釈や理解による偏見が生まれる可能性が大きい。国際社会への一員として最低限知っておくべき教養としての範囲のイスラムに関する知識を習得することが本講義の最大の目的である。イスラムを語る場合、あらゆる側面では、もっとも基本的な「イスラム」という語を持つすべての領域における共通理念とも言える、イスラムの宗教的側面、信仰の概略、思想の根本に焦点をあてた授業を行う予定である。従って国際関係論的、政治学的、社会学的視座に基づくイスラム概説とは異なる点に注意されたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期、後期において異なる教育による授業となるが、内容、問題意識等は一貫したものとす。前期、後期を通じ、イスラムの信仰の核である。クルアーン、預言者ムハンマド、イスラム法学、イスラム神学、歴史的分派、スーフイズム等々の点から概論的授業を行う。

履修上の留意点

宗教学的、基礎的側面からのイスラム論なので、社会学的、歴史学的、政治学的、国際関係論的、アプローチの前提となるような内容であるため、そのような意味でのイスラム論を期待する学生には不適當である場合もある。

成績評価の方法

年間を通じ、出席率と、前期の提出物、後期末の試験により成績を決定する。

教科書

特になし

参考書等

授業中紹介

その他

数回のビデオ上映を予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総合Ⅵ(3) 〔フェミニズム ・ジェンダー〕	はやかわのりよ 早川紀代	全 学 科 選	4

講義のねらい

改正雇用機会均等法が施行されて3年たちましたが、依然新卒男女学生の就職率は格差があります。なぜこうした格差が生まれるのだろうか？世間の男と女の座標軸はいったいどのようなようにつくられているのだろうか？こうした疑問を私たちがくらしている、さまざまな場面をとりあげて、経済学や社会学、歴史学の成果を土台にして考えます。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1年間の講義を4期にわけます。
- a ジェンダーってなんだ？
フェミニズムの歴史とフェミニズムの歴史のなかから生まれたジェンダーという考え方について。
 - b 自分らしく働いて自分を高く売るってどういうこと？
雇用のなかの男女の分離、男性の会社人生、女性の会社人生？改正雇用機会均等法
男も女も自分らしく働く
 - c 家族ってなんだ？
家族の人間関係と機能、近代家族と現代家族、家族のなかのいろいろな問題
どんな家族を創りたい？シングルの選択。
 - d セクシュアリティってなに？
オスの性と男の性、性における男性支配、セクシュアリティの歴史、援助交際は自分の
考えで性をうるからいいの？人間らしい性関係ってなに？

成績評価の方法

論述試験。再試験は実施しない。

教 科 書

教科書は指定しない。講義にあわせて資料を配布する。また参考書を随時紹介するので、そのうち1冊は読むこと。映画やビデオの上映もする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合Ⅶ(1) 〔トラブルと法的解決〕	北野かほる・金子昇平 西修・王志安 小木曾綾・佐藤多美夫	全学科選	4

講義のねらい

人間の日常生活は、常に順調であるとは限らない。社会生活にはトラブルがつきまとう。トラブルには様々な形で解決を試みることが考えられるが、法的な解決は最も効力のある解決方法である。しかしその類型は一様でなく、社会生活の様々な側面において様々なトラブルの類型とその法的解決方法がある。

法的トラブルにはどのようなパターンが考えられるか。法的トラブルに遭遇したらどのように解決すればよいのか。あるいは法的トラブルを未然に防ぐにはどのようにすべきなのか。これらの点についてマクロ及びミクロの観点から分析し、法治国家の市民として知っておくべき法的知識やトラブル解決の糸口について考えていきたい。

昨年度までは民事法的領域について考察したが、今年度は、公法と呼ばれる領域に焦点を当て、我々の社会生活の各側面から考えられる法的なトラブルとその解決方法について考える。

講義は6名の教員が交替で行う。講義の具体的内容については担当教員がそれぞれの開講の際に開示する。

講義の内容・ 授業スケジュール

- (1) 「トラブルと法概論」北野かほる
- (2) 「憲法裁判からみたトラブルと法的解決」西修
- (3) 「行政事件を巡るトラブルと法的解決」金子昇平
- (4) 「現代型犯罪と法的解決」佐藤多美夫
- (5) 「犯罪と刑罰（犯罪の実情と捜査・刑事裁判の諸原則、被害者支援など）」小木曾綾
- (6) 「国家間紛争と国際裁判の役割」王志安

履修上の留意点

各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。

成績評価の方法

各担当教員がそれぞれの担当枠の最後に実施する試験の成績を総合して評価する。講義に出席するほか、試験は必ず受けること。

教科書

特に指定しない。

参考書等

各担当教員が講義に際して必要の都度開示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総合Ⅶ(2) 〔都市論〕	早川 純貴・品田 知美 中野 裕二・保坂 尚郎	全 学 科 選	4

講義のねらい

いま大都市は多くの問題を抱えている。しかしそれは独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返す都市社会が示す多様な表象にほかならない。都市の現状を政治学や経済学、あるいは社会学の観点から概観し、都市の将来を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は4名の講師により、各々6回ずつ行う。その順序/時期と講義内容は以下の通り。
早川純貴『都市論』のガイダンス(1回/4月)

品田知美 「都市の変容と生活様式」(6回/4・5月)——都市には、多くの人々が集う場として独特の社会的現実が見いだせる。本講義では、日本の大都市の変容過程を主に2つの視点からたどっていく。①環境：都市の構造は、エネルギーや資源の消費と関係が深い。②家族：都市は次々と新しい家族生活のかたちを生み出してきた。変貌しつづける都市家族にみられる光と影。これら2つの視点を生活様式というキーワードで結びつけながら、近未来の都市のゆくえを考えたい。

保坂尚郎 「都市と労働」(6回/6・7月)——労働による肉体的負担は、労働時間に通勤時間、乗り物の混雑なども加わり、都市部ほどその負担が大きい。また都市では居住環境の制約から核家族が多く、両親が就労しながら子育てする場合、保育施設の設備が不可欠であるが、現実には絶対数が不足している。この講義では、裁量労働制、時差通勤、SOHOワークなどの新たな働き方と駅周辺保育施設の整備などを組み合わせ、快適・効率的で、子育てと両立できる都市労働のあり方を考える。

早川純貴 「『まちづくり』と住民参加」(6回/9月・10月)——いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取り組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。

中野裕二 「移民問題とフランスの苦悩」(6回/11・12月)——移民や外国人労働者の問題は先進諸国で等しく見られるが、その問題の起こり方は国によって様々だろう。講義ではフランスの移民問題を概観した後、住宅や教育そして地域生活への参加に焦点を当て、フランスに特徴的な点を浮き彫りにする。さらにはこれらの点を中心に日本との比較を試みたい。

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判定し、それらを早川が総合して評価する。

成績評価の方法

3. 外国語科目

3. 外国語科目

《必修・選択必修科目》

〔英 語〕

英語	I	A	(禪)	〈笹 倉 貞 夫〉	85
英語	I	A	(禪)	〈照 山 雄 彦〉	85
英語	I	A	(禪)	〈高 橋 寛〉	86
英語	I	A	(仏)	〈鈴 木 美貴子〉	86
英語	I	A	(仏)	〈逢 見 明 久〉	86
英語	I	A	(仏)	〈西 村 祐 子〉	87
英語	I	B	(禪)	〈岡 崎 寿一郎〉	87
英語	I	B	(禪)	〈前 田 脩〉	88
英語	I	B	(禪)	〈亀 田 三重子〉	88
英語	I	B	(仏)	〈国 見 晃 子〉	88
英語	I	B	(仏)	〈本 間 章 郎〉	89
英語	I	B	(仏)	〈沼 田 綾 子〉	89
英語	II	A	(禪)	〈前期：矢島直子 後期：丹治弘昌〉	90
英語	II	A	(禪)	〈佐 藤 勝〉	90
英語	II	A	(仏)	〈芝 田 興太郎〉	91
英語	II	A	(仏)	〈宇都宮 秀 和〉	91
英語	II	A	(仏)	〈武 藤 久 緒〉	91
英語	II	B	(禪)	〈井 出 功 一〉	92
英語	II	B	(禪)	〈川 崎 笑 佳〉	92
英語	II	B	(仏)	〈川 崎 笑 佳〉	92
英語	II	B	(仏)	〈高 柳 文 江〉	93
英語	II	B	(仏)	〈落 合 和 昭〉	93
英 會 話			I	〈コブレーマッキー, D.S.〉	94
英 會 話			I	〈ウェルズ, J.K.〉	95
英 會 話			I	〈ソルタ, P.N.F.〉	95
英 會 話			I	〈デンドウ, G.〉	96
英 會 話			I	〈ハバード, W.D.〉	96
英 會 話			I	〈ジトウィッツ, P.D.〉	97
英 會 話			I	〈プラスキー, J.C.〉	97
英語	L	L	I	〈甲 斐 捷 子〉	98
英語	L	L	I	〈搞 美智子〉	98
英語	L	L	I	〈西 村 祐 子〉	99
英語	L	L	I	〈加 藤 佐和子〉	99
英語	L	L	I	〈中 林 正 身〉	100
英語	L	L	I	〈久 保 ひさ子〉	100

〔ドイツ語〕

ドイツ語ⅠA (禅・仏) 〈松岡 晋〉	101
ドイツ語ⅠA (禅・仏) 〈野島 利彰〉	101
ドイツ語ⅠB (禅・仏) 〈栗原 万修〉	101
ドイツ語ⅠB (禅・仏) 〈岡本 時子〉	102
ドイツ語ⅡA (禅・仏) 〈野島 利彰〉	102
ドイツ語ⅡA (禅・仏) 〈薮下 紘一〉	102
ドイツ語ⅡB (禅・仏) 〈河上 和史〉	102

〔フランス語〕

フランス語ⅠA (禅・仏) 〈佐藤 久美子〉	103
フランス語ⅠA (禅・仏) 〈芦原 脊〉	103
フランス語ⅠA (禅・仏) 〈遠山 博雄〉	103
フランス語ⅠB (禅・仏) 〈前田 祝一〉	104
フランス語ⅠB (禅・仏) 〈桑田 禮彰〉	104
フランス語ⅠB (禅・仏) 〈浜崎 設夫〉	104
フランス語ⅡA (禅・仏) 〈畑中 千晶〉	105
フランス語ⅡA (禅・仏) 〈遠山 博雄〉	105
フランス語ⅡA (禅・仏) 〈谷川 かおる〉	105
フランス語ⅡB (禅・仏) 〈菅谷 暁〉	106

〔中国語〕

中国語ⅠA・ⅠB (禅・仏) 〈小川 隆〉	108
中国語ⅠA・ⅠB (禅・仏) 〈関口加津子・胡玉華〉	109
中国語ⅠA・ⅠB (禅・仏) 〈工藤早恵・布施直子〉	109
中国語ⅠA・ⅠB (禅・仏) 〈前川 亨〉	109
中国語ⅠA・ⅠB (禅・仏) 〈天野節・下出宣子〉	110
中国語ⅠA・ⅠB (禅・仏) 〈戸張嘉勝・釜屋修〉	110
中国語ⅠA・ⅠB (禅・仏) 〈佐藤 普美子〉	110
中国語ⅡA (禅・仏) 〈釜屋 修〉	111
中国語ⅡA (禅・仏) 〈櫻庭 和典〉	111
中国語ⅡA (禅・仏) 〈李 雲〉	111
中国語ⅡA (禅・仏) 〈松本 丁俊〉	112
中国語ⅡB (禅・仏) 〈陳 洲 拳〉	112
中国語ⅡB (禅・仏) 〈平石 淑子〉	112
中国語ⅡB (禅・仏) 〈弘兼 加奈子〉	113

〔スペイン語〕

スペイン語ⅠA (禅・仏) 〈ナバローポロ, L.S.〉	114
スペイン語ⅠA (禅・仏) 〈ルイズティノコ, C.〉	114
スペイン語ⅠA (禅・仏) 〈上野 勝広〉	115
スペイン語ⅠB (禅・仏) 〈米田 博美〉	115
スペイン語ⅠB (禅・仏) 〈佐藤 麻里乃〉	116
スペイン語ⅠB (禅・仏) 〈荻野 雅司〉	116
スペイン語ⅡA (禅・仏) 〈大岩 功〉	117
スペイン語ⅡA (禅・仏) 〈福本 久美子〉	117
スペイン語ⅡB (禅・仏) 〈宮地 達郎〉	117

[ロ シ ア 語]

ロシア語ⅠA (禪・仏)〈佐野朝子〉	118
ロシア語ⅠB (禪・仏)〈廣田英靖〉	119
ロシア語ⅡA (禪・仏)〈佐野朝子〉	119
ロシア語ⅡB (禪・仏)〈木村英明〉	120

《再履修クラス》

〔英 語〕

英語 I A	〔再クラス〕	〈西 村 祐 子〉	121
英語 I A	〔再クラス〕	〈川 股 陽太郎〉	121
英語 I A	〔再クラス〕	〈広 川 治〉	121
英語 I A	〔再クラス〕	〈太 田 美智子〉	122
英語 I A	〔再クラス〕	〈伊 藤 美代子〉	122
英語 I A	〔再クラス〕	〈高 橋 寛〉	122
英語 I A	〔再クラス〕	〈吉 江 正 雄〉	123
英語 I A	〔再クラス〕	〈前期：八十木裕幸 後期：中尾俊光〉	123
英語 I A	〔再クラス〕	〈塚 本 利 男〉	123
英語 I A	〔再クラス〕	〈川 島 弘 之〉	124
英語 I A	〔再クラス〕	〈尾 上 典 子〉	124
英語 I A	〔再クラス〕	〈太 田 由紀子〉	125
英語 I A	〔再クラス〕	〈高 柳 文 江〉	125
英語 I A	〔再クラス〕	〈山 縣 裕〉	125
英語 I A	〔再クラス〕	〈森 田 隆 光〉	126
英語 I A	〔再クラス〕	〈岩 原 康 夫〉	126
英語 I A	〔再クラス〕	〈西 原 克 政〉	126
英語 I B	〔再クラス〕	〈牧 野 輝 良〉	127
英語 I B	〔再クラス〕	〈木 村 克 彦〉	127
英語 I B	〔再クラス〕	〈武 藤 久 緒〉	127
英語 I B	〔再クラス〕	〈手 島 敬 子〉	128
英語 I B	〔再クラス〕	〈田 中 保〉	128
英語 I B	〔再クラス〕	〈前 田 脩〉	128
英語 I B	〔再クラス〕	〈太 田 由紀子〉	129
英語 I B	〔再クラス〕	〈井 出 功 一〉	129
英語 I B	〔再クラス〕	〈神 戸 春 樹〉	130
英語 I B	〔再クラス〕	〈松 堂 啓 子〉	130
英語 I B	〔再クラス〕	〈三 浦 眞 理〉	130
英語 I B	〔再クラス〕	〈飯 沼 好 永〉	131
英語 I B	〔再クラス〕	〈甲 斐 捷 子〉	131
英語 II A	〔再クラス〕	〈牧 野 輝 良〉	131
英語 II A	〔再クラス〕	〈佐 藤 明 子〉	132
英語 II A	〔再クラス〕	〈宇都宮 秀 和〉	132
英語 II A	〔再クラス〕	〈今 井 夏 彦〉	132
英語 II A	〔再クラス〕	〈江 田 幸 子〉	133
英語 II A	〔再クラス〕	〈笹 倉 貞 夫〉	133
英語 II A	〔再クラス〕	〈井 伊 順 彦〉	133
英語 II A	〔再クラス〕	〈小笠原 隆 元〉	134
英語 II A	〔再クラス〕	〈八十木 裕 幸〉	134
英語 II A	〔再クラス〕	〈外 池 一 子〉	134
英語 II A	〔再クラス〕	〈岩 田 洋 子〉	135
英語 II A	〔再クラス〕	〈山 岸 二 郎〉	135
英語 II B	〔再クラス〕	〈山 縣 裕〉	135
英語 II B	〔再クラス〕	〈小布施 圭佐三〉	136
英語 II B	〔再クラス〕	〈岩 井 洋 美〉	136

英語ⅡB〔再クラス〕	〈川手浩一〉	136
英語ⅡB〔再クラス〕	〈太田美智子〉	137
英語ⅡB〔再クラス〕	〈落合和昭〉	137
英語ⅡB〔再クラス〕	〈川股陽太郎〉	137
英語ⅡB〔再クラス〕	〈河内賢隆〉	138
英語ⅡB〔再クラス〕	〈本間俊一〉	138
英語ⅡB〔再クラス〕	〈朝川真紀〉	138
英語ⅡB〔再クラス〕	〈西田義和〉	139

〔ドイツ語〕

ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈柴野博子〉	139
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈野島利彰〉	139
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈織田繁美〉	140
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈栗原万修〉	140
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈五十嵐信子〉	140
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈薮下紘一〉	141
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈松岡晋〉	141
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈薮下紘一〉	141
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈杉本正俊〉	142
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈柴野博子〉	142
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈本橋右京〉	142
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈杉本正俊〉	143
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	〈薮下紘一〉	143
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	〈百濟勇〉	143
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	〈本橋右京〉	144

〔フランス語〕

フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈菅谷暁〉	144
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈芦原眷〉	144
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈竹田正純〉	145
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈小玉齊夫〉	145
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈長谷川光明〉	145
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈前田祝一〉	146
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈今関アーン〉	146
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈森本信子〉	146
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈長谷川光明〉	147
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈谷川かおる〉	147
フランス語ⅡA〔再クラス〕	〈畑中千晶〉	147
フランス語ⅡA〔再クラス〕	〈沼倉広子〉	148
フランス語ⅡA〔再クラス〕	〈谷川かおる〉	148
フランス語ⅡB〔再クラス〕	〈遠山博雄〉	148
フランス語ⅡB〔再クラス〕	〈沼倉広子〉	149
フランス語ⅡB〔再クラス〕	〈長谷川光明〉	149

〔 中 国 語 〕

中国語 I A・I B [再クラス]	〈胡 玉 華〉	150
中国語 I A・I B [再クラス]	〈平 石 淑 子〉	150
中国語 I A・I B [再クラス]	〈松 本 丁 俊〉	150
中国語 I A・I B [再クラス]	〈釜 屋 修 修〉	151
中国語 I A・I B [再クラス]	〈佐 藤 普美子〉	151
中国語 I A・I B [再クラス]	〈天 野 節 節〉	151
中国語 I A・I B [再クラス]	〈根 岸 政 子〉	152
中国語 I A・I B [再クラス]	〈櫻 庭 和 典〉	152
中国語 I A・I B [再クラス]	〈曹 泰 和 和〉	152
中国語 I A・I B [再クラス]	〈李 雲 雲〉	153
中国語 I A・I B [再クラス]	〈工 藤 早 恵〉	153
中国語 I A・I B [再クラス]	〈小 川 隆 隆〉	153
中国語 I A・I B [再クラス]	〈塩 旗 伸一郎〉	154
中国語 I A・I B [再クラス]	〈秋 元 翼 翼〉	154
中国語 I A・I B [再クラス]	〈蘭 明 明〉	154
中国語 II A [再クラス]	〈江 林 英 基 基〉	155
中国語 II A [再クラス]	〈宮 本 厚 子 子〉	155
中国語 II A [再クラス]	〈天 野 節 節〉	155
中国語 II A [再クラス]	〈三田村 圭 子 子〉	156
中国語 II B [再クラス]	〈李 雲 雲〉	156
中国語 II B [再クラス]	〈宮 本 厚 子 子〉	156
中国語 II B [再クラス]	〈蘭 明 明〉	157

〔 ス ペ イ ン 語 〕

スペイン語 I A・I B [再クラス]	〈宮 地 達 郎 郎〉	157
スペイン語 I A・I B [再クラス]	〈大 岩 功 功〉	157
スペイン語 I A・I B [再クラス]	〈上 野 勝 広 広〉	158
スペイン語 I A・I B [再クラス]	〈佐 藤 紘 子 子〉	158
スペイン語 I A・I B [再クラス]	〈佐 藤 麻里乃 乃〉	158
スペイン語 II A・II B [再クラス]	〈福 本 久美子 子〉	159
スペイン語 II A・II B [再クラス]	〈大 岩 功 功〉	159
スペイン語 II A・II B [再クラス]	〈佐 藤 紘 子 子〉	159

〔 ロ シ ア 語 〕

ロシア語 I A・I B [再クラス]	〈廣 田 英 靖 靖〉	160
ロシア語 I A・I B [再クラス]	〈佐 野 朝 子 子〉	160
ロシア語 I A・I B [再クラス]	〈木 村 英 明 明〉	160
ロシア語 I A・I B [再クラス]	〈安 徳 ニーナ ーナ〉	161
ロシア語 II A・II B [再クラス]	〈クロチコフ, Y. Y.〉	161
ロシア語 II A・II B [再クラス]	〈安 徳 ニーナ ーナ〉	161

《 選 択 科 目 》

英 文 講 読	〈林 明 人〉	162
英 文 講 読	〈前 田 脩〉	162
英 文 講 読	〈牧 野 輝 良〉	162
時 事 英 語 研 究	〈竹 村 恵 都 子〉	163
時 事 英 語 研 究	〈林 明 人〉	163
時 事 英 語 研 究	〈川 手 浩 一〉	163
マルチ・メデイア	〈落 合 和 昭〉	164
マルチ・メデイア	〈大 庭 直 樹〉	165
マルチ・メデイア	〈町 田 尚 子〉	166
英 会 話 II	〈プラスキー, J.C.〉	167
英 会 話 II	〈ジトウィッツ, P.D.〉	167
英 会 話 II - 夏 季 集 中 -	〈ピアス, D.M.〉	168
英 会 話 III	〈ウエルズ, J.K.〉	169
英 会 話 III	〈ハバード, W.D.〉	169
英 会 話 III - 夏 季 集 中 -	〈レーン, C. M.〉	170
英 語 L L II	〈西 村 祐 子〉	171
英 語 L L II	〈町 田 尚 子〉	172
英 語 L L II	〈太 田 雅 子〉	172
英 語 L L III	〈井 伊 順 彦〉	173
英 語 L L III	〈西 村 祐 子〉	173
英 語 L L III	〈久 保 ひ さ 子〉	174
ド イ ツ 語 外 国 書 講 読	〈柴 野 博 子〉	174
時 事 ド イ ツ 語	〈野 島 利 彰〉	174
上 級 ド イ ツ 語	〈栗 原 万 修〉	174
ド イ ツ 語 L L I	〈小林ゲアリンデ〉	175
ド イ ツ 語 L L II	〈小林ゲアリンデ〉	175
ド イ ツ 語 I A (選)	〈栗 原 万 修〉	175
ド イ ツ 語 I B (選)	〈織 田 繁 美〉	176
ド イ ツ 語 II (選)	〈百 濟 勇〉	176
フ ラ ン ス 語 外 国 書 講 読	〈竹 田 正 純〉	176
時 事 フ ラ ン ス 語	〈桑 田 禮 彰〉	177
上 級 フ ラ ン ス 語	〈小 玉 齊 夫〉	177
フ ラ ン ス 語 L L I	〈ラリア・三倉, M.〉	177
フ ラ ン ス 語 L L II	〈ラリア・三倉, M.〉	178
フ ラ ン ス 語 I A (選)	〈井 田 清 子〉	178
フ ラ ン ス 語 I B (選)	〈桑 田 禮 彰〉	178
フ ラ ン ス 語 II (選)	〈小 玉 齊 夫〉	179
中 国 語 外 国 書 講 読	〈岩 崎 皇〉	179
時 事 中 国 語	〈塩 旗 伸 一 郎〉	179
上 級 中 国 語	〈釜 屋 修〉	180
中 国 語 L L I	〈佐 藤 普 美 子〉	180
中 国 語 L L II	〈小 川 隆〉	180
中 国 語 I A (選)	〈釜 屋 修〉	181
中 国 語 I B (選)	〈佐 藤 普 美 子〉	181
中 国 語 II (選)	〈岩 崎 皇〉	181
ス ペ イ ン 語 外 国 書 講 読	〈上 野 勝 広〉	182

時事スペイン語〈瓜谷アウロラ〉	182
上級スペイン語〈宮地達郎〉	182
スペイン語LLI〈ナバロ, ホワンJ.〉	183
スペイン語LLII〈ナバロ, ホワンJ.〉	183
スペイン語IA(選)〈ナバローポロ, L.S.〉	183
スペイン語IB(選)〈瓜谷アウロラ〉	184
スペイン語II(選)〈荻野雅司〉	184
ロシア語外国書講読〈廣田英靖〉	184
時事ロシア語〈木村英明〉	185
上級ロシア語〈クロチコフ, Y.〉	185
ロシア語LLI〈安德ニーナ〉	185
ロシア語LLII〈安德ニーナ〉	186
ロシア語IA(選)〈クロチコフ, Y.〉	186
ロシア語IB(選)〈木村英明〉	187
ロシア語II(選)〈安德ニーナ〉	187
朝鮮語IA(選)〈宋美玲〉	187
朝鮮語IB(選)〈宋美玲〉	187

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I A	<small>さ さ く ら さ だ お</small> 笹 倉 貞 夫	禅 1 必	2

講義のねらい

近年ますます国際化・ボーダーレス化していく現代社会に即応し得るような洗練された国際感覚の育成とともに、実践的な英語運用力の伸長をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

平易な現代アメリカ英語で書かれたテキストを用いて、英語による文章表現を学びながら、実践的な英語表現能力の育成に努めたい。

履修上の留意点

予習・出席重視、常時英和辞典持参。

成績評価の方法

前・後期末テストの他、内容要約のレポートを随時提出していただき、出席状況等々も勘案しながら総合的に最終評価を出す。

教 科 書

Milton Mayeroff 『On Caring』 (太陽社) 1,200円

外国語科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I A	<small>て る や ま ゆ う ひ こ</small> 照 山 雄 彦	禅 1 必	2

講義のねらい

高校までに修得した英語の文法構造や語彙の知識を基に、平易な英語表現と読解を身につける授業を行う。そのためには多くの英文に触れながら、できるだけ暗記し実際にその表現を身につける努力を重ね、さらに読解力も身につけるように授業をすすめていく。

講義の内容・授業スケジュール

上記の内容を達成するために、前半は最重要動詞、最重要名詞、また基礎となる文型をいくつかの例題を使った文章を暗記し習得していく。後半はそれを応用し、やや難解と思われる文章に接していく。

履修上の留意点

宿題を多く出すので、必ずやってくること。

成績評価の方法

毎時間授業を始める前にテストを行うので、その結果と授業の態度、出席状況を考慮して評価を行う。

教 科 書

照山雄彦著 『総合英語』 (上武印刷) (株)

参 考 書 等

その都度必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠA	た か は し 高 橋 寛	禅 1 必	2

講義のねらい

英会話を学ぶには語彙力や文法的知識を身につけることはもとより、口語体特有の言い回しも覚える必要があります。本講義では特に後者に力点を置き、なるべく多く会話に役立つ表現を覚え、それを実際に使う練習を行っていきます。

講義に臨む際、こちらがあらかじめ指定した部分については必ず予習をしておいてください。予習を怠ったもの、テキストを持ってこないものは欠席とみなします。

成績評価の方法

評価は出席点と定期試験の結果を合わせて出します。

教 科 書

『Terrific Talk』(金星堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠA	す ず き み ぎ こ 鈴 木 美 貴 子	仏 教 1 必	2

講義のねらい

英文法の復習をしながら正しいセンテンスを書けるようになることを目指す。

履修上の留意点

毎時間、学習意欲をもって英作文の基礎力をしっかり身に付けていただきたい。

成績評価の方法

出席状況、前・後期試験により総合的に評価する。

教 科 書

鈴木卓『Basic Writing Drills with Hints & Examples ヒント・例文で学べる英作文ドリル』(松柏社) 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠA	お う み あ き ひ さ 逢 見 明 久	仏 教 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

インターネットの英字新聞の記事・小説・詩・戯曲・映画など、様々な表現形式の英語に触れて、文語体と口語体の違いを確認し、音声面から口語体の表現を捉えて英語の聞き取りの力を養成することを目標にします。

履修上の留意点

平常点の比重が大きいため、欠席は成績評価に大きく影響します。遅刻した場合、発表の機会を失うことがあるので要注意。予習は必須で、少なくとも、未知の単語は調べておくように。発言は正誤に関わらず、事前に調べてきた成果を発表できている場合は、評価します。

成績評価の方法

評価の割合は、平常授業での発表や受講態度、及びレポートの合計をおおよそ60%までとし、前後期の試験の結果の合計を40%とします。

教 科 書

随時プリントを配布しますので、テキストを購入する必要はありません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠA	にしむら ゆうこ 西村 祐子	仏教Ⅰ必	2

講義のねらい

コンピュータ教場を使用し、インターネットを利用して書く力を中心をおいた総合的な英語力をつけるための訓練をおこなう。コンピュータ初歩とインターネットの使い方指導、英語でかく電子メールの初歩をまなぶ。そして教場で毎回実際に課題をこなし、電子メールで提出してもらいながら添削を送りかえし、練習をかさねていくことで英文電子メールやインターネットの英語サイトになれていく。

 講義の内容・
授業スケジュール

前期：自己紹介の仕方、確認、問い合わせ、お礼の英文メールなど基本的な英語表現を学ぶ。
後期：インターネットのウェブサイトをつかって実際に問い合わせ、サイトの感想のメールなどをかいてみる。

成績評価の方法

成績評価は、ほとんど隔週ごとに課題が与えられ、電子メールでの課題提出があるため、電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。なお、出欠はすべてその場での電子メール送付によって課題提出という形態での確認となるため、学生は全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。

教科書

『Subject:E-mail:writing effective messages』（南雲堂）

その他

学生への要望：電子メールアドレスは商業プロバイダーのものを持ちてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際必要なもので、事前におこなっておくこと。なお、携帯電話の電子メールは長文の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。タッチタイピング修得用にフロッピーディスクを用いるので、はじめの授業から、かならず一枚持参のこと。

英 語 I B

<英語ⅠBの授業内容と履修上の留意点>

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening)：入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠB	おかざき としいちろう 岡崎 寿一郎	禅Ⅰ必	2

講義のねらい

語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育課程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）の総合評価とします。

教科書

富永育次郎他編註 『現代の英米小説』（南雲堂） 1,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I B	まえだ おさむ 前 田 脩	禅 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

授業のはじめに10～15分程度リスニングを行います。テキストは毎回あてますので予習は必須となります。前期はリスニングに力を入れ、後期はテキストの読みのスピードをはやめ、しかも正確に内容を把握できるようにします。時には英字新聞のコピーを使用することがあります。

成績評価の方法

授業中の発表等、日常評価と出席率、前期、後期テストを総合評価します。

教 科 書

- 1) 『そして誰もいなくなって』 (開文社出版) 1,400円
2) 『大学生の基礎リスニングテスト』 (金星堂) 950円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I B	かめだ みえこ 亀 田 三重子	禅 1 必	2

講義のねらい

現代、友人や親しい人との間で、電子メールのやり取りが増えて来た。又、当然、外国人との付き合いも電子メールで、という事になり、パソコンを用いて英語のE-mailを読んでみよう、又、自分も書いてみたい、という学生も増えてきたように思う。その為の基本的な英文の読み方、書き方を行う。時間があればlisteningも加え、生きた英語を身につける事を主眼とした。

成績評価の方法

- ・前期と後期と中間テスト2回の試験結果50%
- ・出席数と授業での発表50%

教 科 書

『Writing College English E-mail』 (南雲堂) 1,600円+税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I B	くにみ あきこ 国 見 晃 子	仏 教 1 必	2

講義のねらい

- ①日常生活で必要とされる基本的な英語情報を処理する聴き取り能力の向上をめざす。
- ②まとまった情報内容のある比較的短く簡易な英語を読み、概要が的確に理解できるようにする。

履修上の留意点

全授業の3分の2以上の出席が必要。(つまり欠席は前期・後期あわせて8回までしか認められない。遅刻は3回で1回の欠席とみなす)。

成績評価の方法

授業内での参加度、課題提出状況、前期・後期の試験、出席。

教 科 書

テキストは開講時に指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I B	ほんま あきお 本 間 章 郎	仏 教 1 必	2

講義のねらい

今まで勉強してきた英語の文法、構文の知識を確認しながら、英語の読解力を高めていきたいと思ひます。特に、一定の長さの英文をできるだけ短い時間で読み、内容を的確にまとめることを目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回、テキストを進めていきます。リスニングの能力の確認と向上のために、小テストなどもおこないます。

履修上の留意点

授業では、できるだけたくさんの授業出席者に質問をしていきます。内容を把握しているかどうかということが、成績評価に大きく影響します。

成績評価の方法

上述したように、授業における小テストと質問に対する返答、前期と後期とにおこなう試験によって成績を評価します。

教 科 書

ジョアン・バロケティ他著 『Bountiful Economics (繁栄する経済社会)』 (南雲堂)
1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I B	ぬまた あやこ 沼 田 綾 子	仏 教 1 必	2

講義のねらい

映画、ロブ・ライナー『恋人たちの予感』- “When Harry Met Sally” をとりあげます。1989年公開のロマンチック・コメディで男女の恋愛感の違いをユーモラスに描いた作品です。英語の本を読むのが苦手な人でも、映画なら字幕スーパーなしでも少しは楽しみながら英語表現を学べるのではないのでしょうか。主役の二人（ビリー・クリステルとメグ・ライアン）の英語も早口ですが割とわかりやすいと思ひます。とくにハリーの会話は面白いです。アメリカの風俗、習慣にも言及したいと考えています。ちなみにロブ・ライナーはあのスティーブン・キング原作の“Stand By Me” を監督した人です。

履修上の留意点

ビデオとサウンドトラックのテープを使用しながら表現読解の過程で文法などの説明をします。かならず予習をしてください。練習問題は宿題です。

成績評価の方法

出席率と前期後期の筆記試験と平常時の態度。6回以上欠席のひとはレポート提出のこと。

教 科 書

『恋人たちの予感』 - “When Harry Met Sakky” (松柏社)

英 語 Ⅱ A

〈英語ⅡAの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA	前期：矢島直子 後期：丹治弘昌	禅 2 年	2

講義のねらい

基本的な英語とその次の段階を目指す。英語を書き慣れるようにし、各種の表現に慣れたら、一度はフリー・コンポジション (題を与えて、英語で自由に書いてもらう) を行う。

履修上の留意点

どんどん書いてもらうから、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

成績評価は3分の2以上の出席と、それぞれの期末試験によって行う。

教 科 書

太田垣正義、ジェニファー・ハンセン、『状況・機能英作文』 (南雲堂) 1,533円+税

参 考 書 等

その都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA	佐藤 勝	禅 2 年	2

講義のねらい

インターネット時代を迎えた現在の日本では英作文力は実用英語の面で非常に重要と言えます。基本英作文を踏まえた正確な英作文力の充実を図ります。まとまった量の英作文演習も年に何度か行ないたい。

講義の内容・授業スケジュール

2回で1章ずつ進む予定です。その他随時プリントを使用します。

履修上の留意点

予習をしてください。辞書を持参下さい。年度初回の授業ガイダンスで本授業の詳細を述べます。

成績評価の方法

平常点 (出席状況・授業態度・小テスト) + レポート + 定期試験。

教 科 書

石黒 編著 『大学英文法の基礎演習』 (桐原書店) 1,400円

参 考 書 等

推薦辞書： 『ジーニアス英和辞典』 (大修館書店)、 『プログレッシブ英和中辞典』 (小学館)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA	し ば た こうたろう 芝 田 興太郎	仏 教 2 年	2

講義のねらい

言いたいこと、思っていることをのびのびと書いてみよう。英語で発表してみよう。表現しようとする意欲と表現できた達成感を育ててゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

(A) 幾つかのテーマの中から自由に選択し、年間3~4篇のESSAY(自由作文)を書き上げる。
(B) 併行して和文英訳演習プリントを継続的に使用。基礎力を増進する。

履修上の留意点

表現しようとする意欲を最重視する。欠席、遅刻、駒澤大学学生にふさわしくないマナーには厳しく対処するつもり。辞書必携。

成績評価の方法

定期試験は行わず。ESSAY、小テスト、平常の積極性、出席率を総合的に判断する。

教 科 書

テキスト、参考書は使わない予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA	う つ の み や ひ で か ず 宇 都 宮 秀 和	仏 教 2 年	2

講義のねらい

使用するテキストの著者が指摘しているように「長年英語を教えていると、学生たちがきまって同じような誤りを犯す」ことに気がつく。

それはただ単に言語の相違から生じるのではなく、物の考え方、宗教の相違など、根深い部分相違から生じている。

だからただ単に文を暗記しただけでは上達はのぞめない。以上の文化的相違を考えながら、われわれ日本人がきまって犯す誤りを考えていきたい。

成績評価の方法

期末試験は行わない。平常点で成績を評価する。出席をかなり重んじる。3分の2以上。

教 科 書

Haruo Kizuka/Roger Northridge著 『英作文の盲点200(第3版)』 (マクミラン ランゲージハウス) 1,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA	む と う ひ さ お 武 藤 久 緒	仏 教 2 年	2

講義のねらい

英語で書いて話せる実践的能力の強化を目標とします。従って平易な英文を文法理解を基礎に正しく書く訓練が授業の中心となります。

講義の内容・授業スケジュール

現在・過去・未来、仮定・使役・許可、依頼・勧誘、提案、意図・決定、推量、原因・理由、目的・結果、譲歩・様態、比較、強調など発想別に16の概念の型と表現方法を学習します。習得した知識を応用、特定のテーマで作文し、前後期一回づつ提出してもらいます。

前期 第1課から第8課まで

後期 第9課から第16課まで

履修上の留意点

毎回、受講者に順次、作文を板書発表してもらいますので必ず予習をして下さい。

成績評価の方法

成績評価は前後期のテスト、授業中の発表、作文レポート、出席状況などを考慮して行う。

教 科 書

岸野英治著 『大学生のための表現英文法・英作文』 (英宝社)

英 語 Ⅱ B

〈英語ⅡBの授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading：ⅡBを基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB	井 出 功 一	禅 2 年	2

講義のねらい

テキストは『巨視的な立場での経済学入門』とでも訳すべき教材で、人々のくらしは個人だけでなく、'Everybody'との関わりの中で動いているという趣旨で書かれている。

講義の内容・授業スケジュール

内容は『価格、賃金、所得、税金…』などを人間にとっての立場で描いてある。ラーナー氏はミシガン大学の教授で、とくに「機能財政学」では屈指の学者である。なお、テキストの英文は平易な上にも味のある表現に溢れ、英作文、英文法の力をつけるにも絶好なモデルである。また、英語の表現力を養うため、情報化社会に向けて書かれた文法書も使う予定。

履修上の留意点

全授業日数の3分の2以上の出席、予習、辞書の携帯が必要。

成績評価の方法

前後期テスト、平常テスト、レポート、出席による総合評価。

教 科 書

『Everybody's Business (みんなの経済)』 (南雲堂)
『新しい学習英文法』 (研究社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB	川 崎 笑 佳	禅・仏教2年	2

講義のねらい

1年次の読解力を基礎として、speed readingの上達および英語長文の正確な内容把握を目標とする。授業は基本的にはテキスト中心で行うが、必要に応じてTOEIC、TOEFL等の教材も利用する。

履修上の留意点

予習を前提として授業を進める。

成績評価の方法

3分の2以上の出席と授業態度(発表を含む)、期末試験の結果をもとに総合的に評価する。

教 科 書

『英文読解スキルビルダー』(成美堂) 1,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB	たかやなぎ ふみえ 高 柳 文 江	仏 教 2 年	2

講義のねらい

この授業においては、世界の中で現在生じている様々な問題について書かれた簡潔な文章を基に、まずそのListeningとComprehensionを行います。その後、章毎のトピクス文の中の語彙、慣用句、文法を演習を通して理解します。更に、それを基に、writing, speaking 両面から文書を作る事もめざします。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には、2/3以上の出席が要求されます。前期後半、より慣用表現の演習が課されます。

成績評価の方法

試験（前期試験・後期試験）60%
日常点（出席、演習テスト等）40%

教 科 書

『World Today—文化の諸相』（鳳書房） 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB	おちあい かずあき 落 合 和 昭	仏 教 2 年	5

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は、そのなかで、使用されている慣用表現の意味を、テキストを通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、その会話を再現する。

履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の積極的な参加を前提に進める。

成績評価の方法

前・後期定期試験は40%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%（課題は年間10回程度提出。授業中の発表等に関しては、全員に一回の授業に最低一回は当てるつもりでいる）。出席率は三分の二を超えなければ、成績は「不可」とする。

教 科 書

- 1) 『ネイティブ英語の慣用表現(1)』（マクラミン） 1,800円
- 2) 『機能別英語表現演習』（英宝社） 1,700円

英 会 話 I

〈英会話 I の授業内容と履修上の留意点〉

基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL のスコアー450点、TOEIC のスコアー500点程度。I A の振り替え選択科目です。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

1 クラスの受講人数に制限があるので、希望通りに選択できない場合もあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話 I	コブレマッキー、D. S.	禅・仏教 1 年	2

講義のねらい

To develop the students' ability to understand and use spoken English in everyday contexts.

講義の内容・ 授業スケジュール

- April : Introductions, greetings, asking for information
Talking and asking about families
- May : Asking about and describing people
Asking and answering questions about personal history
Review
Test
- June : Welcoming, making offers, accepting & refusing
Asking about and telling prices, paying for goods
Asking about & identifying locations (inside), giving directions
Describing procedures, narrating a sequence
- July : Review
Test
- September: Routines & schedules, telling time
Ordering food & drink, asking for information
- October : Inviting, making excuses
Making suggestions, talking about the weather
Review
Test
- November : Likes & Dislikes, gift giving
Suggestions, objections
Describing people & jobs
Asking & talking about past events
- December : Review
Test
- January : Presentations & Discussion

履修上の留意点

Must be active learners, using English individually, in pairs, and in groups. Weekly use of Internet resources will also be required.

成績評価の方法

Students will be assessed by homework, interview, role-play simulations and written tests. There will be two formal tests each semester.

教 科 書

The main text used will be "Expressions: Book 1", by David Nunan, published by Heinle & Heinle Cam (price apx. ¥2,400). Students will also need acquire the accompanying cassette tapes or CD.

参 考 書 等

Supplementary materials may also be supplied by the teacher.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話 I	ウェルズ, J. K.	禅・仏教 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

WELCOME to my class! The following is an example of my class.

- ・ quizzes 25%
- ・ tests 25%
- ・ attendance 50%

Assignments will be given weekly, with emphasis on group or pairwork

No one will be able to miss more than 3 classes

Let's have fun !

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話 I	ソルタ, P. N. F.	禅・仏教 1 年	2

講義のねらい

English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates, who have studied English for six years in secondary school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. The course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communication in natural spoken English. The course builds up students' speaking and listening skills, and improves their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

講義の内容・
授業スケジュール

A textbook and a workbook, each with 15 units, and the instructors worksheets, will be used as sources of classroom material. The course is based on the belief that language acquisition requires a lot of practical experience in using the language, and cannot be achieved by studying about it. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening practice. Students will usually do exercises with another student (this is called pairwork) to give all students the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

履修上の留意点

It will be assumed that students taking this course have studied English language at secondary school level for six years. Students must be willing to take a class where the instructor will speak only English. Students should note that only two absence per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be a prerequisite for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

A final grade will be based on three measures: a mid-year exam (30%), an end-of-year exam(30%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year(40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used.

教 科 書

Communicate: Book 1a / David Paul / Macmillan LanguageHouse. Student's Book 1a (¥1,230)& Workbook 1a (¥880).

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話 I	デンドウ, G.	禅・仏教1年	2

講義のねらい

This course will concentrate on improving the communicative skills of students. Students will be taught functional English used in social situations, interviews, and international communication.

講義の内容・授業スケジュール

Classes will begin with review and practice of the previous week's lesson. Students will be expected to demonstrate fluency and accuracy in the assigned materials. New materials will be introduced and practiced every week. Some of the areas covered will include social communication, job interviews, international communication and describing Japan. Supplementary materials such as Eiken will also be used.

履修上の留意点

Regular attendance and active participation are absolutely necessary. When a student is absent from class, it is his / her responsibility to get the assignment from the teacher or a classmate. Failure to do so will result in poor class performance.

成績評価の方法

Grades will be based on daily class performance, attendance and interviews.

教科書

No text will be used.

参考書等

Handouts from various sources will be distributed to the students.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話 I	ハバード, W. D.	禅・仏教1年	2

講義のねらい

Goal: students are expected to acquire a basic ability to express themselves in day today conversations.

講義の内容・授業スケジュール

This course includes oral/listening practice, role playing, pair practice, question and answer work, opportunities to exchange opinions and share information as well as other activities to improve student conversations skills in expressing topics of various interests.

履修上の留意点

Requirements: This is an introductory course for students who are not used to conversing in English.

成績評価の方法

Grading: Final grades will be based on attendance, class participation, preparation, and tests,

教科書

『i Talk』 by Dale Fuller and Timothy Kiggell, Macmillan LanguageHouse, Tokyo (I also request a copy teacher's manual and textbook cassette for myself)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話 I	ジトウィッツ, P. D.	禅・仏教1年	2

講義のねらい

English 1 is designed to give students confidence in speaking English. This will be done by giving students practice in every day English speaking situations and with intensive listening practice. Basic structures in conversation, vocabulary acquisition, and listening skills will be stressed. These exercises should make students better English communicators.

履修上の留意点

Students are expected to come to class weekly and four absences in one semester will result in failure.

教 科 書

Students will be given a variety of handouts to give them practice in listening, speaking, reading and writing. They will also have the opportunity to gain access to the instructor's English language practice web site.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話 I	プラスキー, J. C.	禅・仏教1年	2

講義のねらい

The goal of this course is for students to reach a basic level of oral proficiency about topics with which they are familiar.

講義の内容・
授業スケジュール

Basic grammar will be reviewed in a communicative context. Vocabulary development will be introduced through speaking activities primarily with other students. Pronunciation, intonation and listening practice will be incorporated through dictation exercises and tapes/CDs.

履修上の留意点

Conversations will be practiced with other students through pair discussions and dialogues.

成績評価の方法

Assessment will be a combination of class participation (50%), homework (30%) and a final oral test (20%).

教 科 書

None.

英 語 L L I

〈英語 LL I の授業内容と履修上の留意点〉

ランゲジ・ラボラトリ（1号館3・4階LL教場）を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検2級合格、TOEFLのスコア450点、TOEICのスコア500点程度を達成目標とする初級レベルです。I A の振り替え選択科目なので、各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。1クラスの定員が30名ですから、希望通りに選択できない場合もあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 LL I	甲 斐 捷 子	禅・仏教1年	2

講義の内容・授業スケジュール

テキストは日本人の留学生がアメリカの家庭、教育現場を通してアメリカ社会に馴染んでゆく過程を写したビデオ教材です。様々な意思伝達の現場をビデオで見ながらコミュニケーションのための英語運用能力を高めることを目的とします。徹底的に「聞き」「話す」授業の中で、基本的な発音の矯正も適宜行います。

履修上の留意点

授業としては週1回ですが、練習科目の成否は学習量で決まりますから、最低週2回は、LL自習室で復習して下さい。また1単元終了時には小テストを行います。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達しなかった場合、欠席が1/3を超えた場合、及び前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意して下さい。

教科書

『Viva!San Francisco』（マクミランランゲージハウス） 2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 LL I	はなわ 美智子	禅・仏教1年	2

講義のねらい

英語の実力の養成に関して口頭によるコミュニケーションの重要性が指摘されている。聞き、話す能力が要求されているのである。本LL教室ではリスニングの力をつけると共に英語の発音等を徹底的に練習し明確な英語を話すことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

単語の発音、アクセント、イントネーション等を重点的に取り入れ練習問題等をこなしていく。ヒアリング能力を高めるため日常的な会話を取り入れ簡単な文章の暗記、口頭練習を通して英語に慣れていく。

履修上の留意点

テキストは忘れないこと。必ず復習を行う。テープに入れた音等を家でも聞き声に出して練習する。

成績評価の方法

出席率、普段の授業態度、小テスト、前・後期試験等の総合評価で行う。

教科書

『Perfect Listning（パーフェクト・リスニング）－TOEICテスト対応問題付－』（朝日出版） 2,000円

参考書等

日常的な情景を集めた会話のビデオを見てヒアリング・オーラル・プラクティスを数多くこなすためにプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 L L I	にしむら ゆうこ 西 村 祐 子	禅・仏教1年	2

講義のねらい

基本的な表現をつかってまず「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語で話してみることから始める。後期は日常的速度で話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。英語と日本語を半分程度づつ用いるが、後期にはほとんどの授業を英語ですすめるようになる。英検2級程度の実力獲得をめざす。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。
電子メールアドレスは商業プロバイダーのものを持ちてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピューター教場の使用の際にも必要なので、事前におこなっておく。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。はじめの授業からききとり力をつけるためにテープ録音をするので、カセットテープ（90分程度）をもってくること。

成績評価の方法

ほとんど毎回英語でのサマリーをおこなう短い課題が与えられ、電子メールでの課題提出がある。電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。

参 考 書 等

サバイバルイングリッシュ（朝日出版）1、2をおもに使用するが、特に購入しなくともよい。
使用ビデオ：Grapevine1, 2, 3, Survival English1, 2. など

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 L L I	かとう さわこ 加 藤 佐 和 子	禅・仏教1年	2

講義のねらい

発音・アクセント・イントネーションを学習し、ネイティブ・スピーカーとのコミュニケーションが円滑にとれるようにする。TOEICスコア500を目標にする。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回テキストを1 Lesson進む。更に、ヒットソング・映画の一場面・ニュース報道などのディクテーションをし、スピーキング・リスニングの力をつけていく。TOEIC受験のための学習も行う。

履修上の留意点

各自カセット・テープを用意すること。必ず復習をすること。

成績評価の方法

毎回の小テスト・授業参加度等で評価する。

教 科 書

『アメリカ英語の発音教本』（研究社）
『10分間TOEIC リスニング演習』（桐原書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語LLI	なかばやし まさみ 中 林 正 身	禅・仏教1年	2

講義のねらい

英語の発音、アクセント、イントネーション等の理解と習得。ほくたちが母語である日本語を習得してきたのと同じように、このクラスでは音声技能（リスニングとスピーキング）の習得に眼目を置く。英語の母音や子音の正しい発音を身につけて、英語の基本的な音を正しく発音できるようになり、また正しく聞き分けることができるようになってもらうことがこのクラスの第一のねらいである。第二のねらいは、多量の英語を聞き取り、リスニング能力を増強させることである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、英語の特徴を掴みながら、とくにフレーズ、文章などのリスニングを重点的にやってもらう。この作業のなかで学生諸君他人には、日本語のアクセントはピッチ・アクセントであるのに対して、英語のアクセントはストレス・アクセントであるとか、日本語が各音節をほぼ等しい時間で発音することによってリズムをつくる言語であるのに対して、英語はほぼ等しい間隔でストレスを置くことによってリズムをつくる言語であるというようなことを実体験とおして知ってもらう。後期には、とにかく多種多様の英語をドンドン聞いて、英語の音に慣れてもらう。

履修上の留意点

上述したような能力をつけるためには、週に一回の授業では当然不十分である。従って諸君には何らかの課題を毎週課し、翌週の授業までの一週間に家などでその課題のためにそれ相応の時間を割いてもらうことになることを覚悟してもらいたい。そして、その結果を確認するためのテストを毎週行うつもりである。授業時間外での復習は必須である。

成績評価の方法

出席状況と授業への参加態度と毎回の確認テストを総合的に評価する。

教科書

最初の授業時に指示する。

参考書等

最初の授業時に指示する。

その他

家庭やLL自習室を利用したの予習復習は、毎週課せられることを認識して履修してもらいたい。

外国語科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語LLI	くぼ ひさこ 久 保 ひ さ 子	禅・仏教1年	2

講義のねらい

レクチュアが、聞き取れ、ディスカッションできる程度をめざしたい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを、聞き取り、書き取り、反復練習、録音、再生する。スピーチやビデオやディスカッションも含む。

履修上の留意点

LL授業は、ラボによる実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

試験と授業実習点

教科書

World Times of Japan 『Michigan Action English Step 6』

【ドイツ語】

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠA	<small>まつおか</small> 松岡 <small>すすむ</small> 晋	禅・仏教1年	2

講義のねらい

下の「教科書」に記した教科書を用いて一年間でドイツ語の初等文法を学習します。

講義の内容・ 授業スケジュール

ドイツ語の文字、発音規則の説明から始めて徐々に積み重ね、一年後には簡単なドイツ語の文章を読めるレベルに到達できれば、と考えております。授業では文法規則の説明が中心になりますが、それ以外に各課ごとに例文を列挙したコピーを配布し、実際のドイツ文に慣れていただきます。また、発音も重視して、随時、反復練習をおこないます。

履修上の留意点

文法学習は積み重ねですから、定期的に出席することを切に望みます。また、教科書以外に、最初の時間に何種類か示す中型の「独和辞典」のうちの一冊を必ず購入してもらい、それを毎回持参していただきます。

成績評価の方法

成績評価は、最低二回以上おこなう筆記試験の結果および平常点（出席率、授業に取り組む姿勢など）によっておこないます。したがって、試験結果もさることながら、定期的出席、授業中の熱意なども重視します。

教科書

在間進ほか著『明るく楽しくドイツ語を [改訂版]』（三修社） 1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠA	<small>のじま</small> 野島 <small>としあき</small> 利彰	禅・仏教1年	2

講義のねらい

日本語にも文法があり、私たちはそれに沿って日本語を話しています。ドイツ語を理解するためにもやはり文法が必要です。この文法を基礎から学びます。英語の文法との共通点もありますが、むしろそうでない未知の部分の方が面白いかもしれません。

講義の内容・ 授業スケジュール

1回の授業で1課進みます。練習問題に多くの時間を使い、残りの時間を説明に当てます。

成績評価の方法

授業は毎回練習問題から始まります。各問題を指名して答えてもらうので、予習しておくことが大事です。成績評価は予習をしているか否かと、二回の定期試験、および随時行う小テストの結果を見て総合的に判断します。

教科書

大岩信太郎『快速ドイツ文法』（朝日出版） 2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠB	<small>くりはら</small> 栗原 <small>かずのぶ</small> 万修	禅・仏教1年	2

講義のねらい

ドイツ語履修では、IA文法、IBは講読となっていますが、このクラスは初歩の実用的な会話を中心に授業をすすめます。ただし、初習の外国語は継続してやらないと力になりませんので、授業への出席を条件とします。欠席をしないように。欠席がつづくと名簿から名前を抹消し、再履修となります。

成績評価の方法

成績評価は、テストのほか、平常の授業中の学習意欲、さらに出欠なども考慮しながら総合的に判断します。

教科書

入谷他 『ドイツ語コミュニケーション』（三修社） 2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅠB	<small>おかもと と き こ</small> 岡 本 時 子	禪・仏教1年	2

講義のねらい

初心者を対象に、ドイツ語が使えるようになるための基礎的学力、知識の養成を目指し、併せてドイツ語圏の文化、社会、歴史等についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期はドイツ語の発音・文法の基礎を中心に簡単な挨拶や文が言えるようにする。後期は辞書を引きながら平易なドイツ語の文章を読むようにし、口頭では複文や重文が組み立てられるようにする。

履修上の留意点

受身に「教わる」授業ではなく、積極的に自分から「学び、考える」授業にしたい。

成績評価の方法

期末筆記試験・授業への出席・参加等を総合して評価する。

教科書

教科書は開講時までに指定する。

参考書等

参考書・辞書等については第一回目の授業で説明する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅡA	<small>のじま としあき</small> 野 島 利 彰	禪・仏教2年	2

講義のねらい

前期は簡単な読み物を、後期は少し内容の高度な論文的なものを読みます。毎回テキストの文法解説をし、辞書が引きやすいようにした上で、訳を宿題として提出させます。授業はその訳を講評しつつ進めます。

成績評価の方法

提出した訳の総合成績と定期試験の成績により成績評価をします。

教科書

大岩信太郎『初級後期ドイツ語(5)』(三修社) 1,262円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅡA	<small>やぶした こういち</small> 藪 下 紘 一	禪・仏教2年	2

講義のねらい

中級文法を学びましょう。

成績評価の方法

成績は普段教室で、皆さんに発表してもらおう平常点と、7月及び1月の試験の成績の合計で評価します。

教科書

大谷弘道『ドイツ人に答えてみよう!』(三修社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅡB	<small>かわかみ かずひと</small> 河 上 和 史	禪・仏教2年	2

講義の内容・授業スケジュール

2年生は学力にかなり差があるので、最初の授業の時に幾つかの「授業プラン」を示して、学生諸君と話し合い、一年間の勉強の予定を決めます。
いずれにしても初めのうちは、一年で学んだ「文法」の復習に、相当時間を割くつもりです。諸君の積極性に期待します。

[フランス語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA	佐藤久美子	禅・仏教1年	2

講義のねらい

フランス語を初めて学ぶ学生を対象とし、アルファベ（アルファベット）から始めて、1年間で文法の基礎を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

発音練習に続いて文法解説を行う。習ったばかりの事項の確認のため、すぐ練習問題に取り組んでもらう。フランス語になるべく多く接してもらうために宿題を頻繁に課す。

履修上の留意点

出席を重視する。年間授業回数の三分の一以上欠席した場合は評価の対象からはずす。ただし出席さえしていればよいというのではなく、積極的に授業に参加することが肝要。そのために予習（最低限新しい単語を調べておく）が不可欠。

成績評価の方法

前・後期の試験の結果、授業への参加度、宿題の提出状況などから総合的に判断する。

教科書

佐藤著『フロレゾン』（白水社） 定価2,100円

参考書等

仏和辞典（初回の授業で紹介）を授業時に必ず持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA	芦原 眷	禅・仏教1年	2

講義のねらい

1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようになります。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

教科書

安田悦子 『ヴィット・メ・ビヤン』（白水社） 1,631円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA	遠山博雄	禅・仏教1年	2

講義のねらい

基礎的な文法知識をきちんと身につけること。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに詳しい説明をし、その後で、練習問題をやります。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で問題に取り組む姿勢が必要です。遅刻をして説明を聞きもらさないこと。

成績評価の方法

3回の筆記試験を行ないます。動詞活用の書き取りもあります。

教科書

天羽均他著『初級フランス語文法（改訂2002年度版）』（朝日出版社） 2,000円

参考書等

最初の授業で仏和辞典のガイダンスをします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅠB	まえだのりかず 前 田 祝 一	禪・仏教1年	2

講義のねらい	音としてのフランス語の学習を主眼にして、この新しい外国語に慣れ親しんでもらいます。
講義の内容・ 授業スケジュール	もちろん、すでに学んだ文法事項を基礎にして、応用能力も養います。
履修上の留意点	毎日が新しいことの連続で、すでに学んだことが理解できていることを前提に、次の授業を行いますので、絶対に欠席しないこと。
成績評価の方法	前・後期末のペーパー・テストで成績評価をしますが、授業中の課題・出席状況も考慮します。
教 科 書	野村二郎編『ミニ・フランセ』<改訂版> (白水社) 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅠB	くわたのりあき 桑 田 禮 彰	禪・仏教1年	2

講義のねらい	フランス語の基礎の習得
講義の内容・ 授業スケジュール	まず発音の基本をしっかり確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。
履修上の留意点	発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
成績評価の方法	ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。
教 科 書	滑川明彦、前川泰子『ポケットにフランス語』(第三書房)
参 考 書 等	そのつど授業で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅠB	はまさきせつお 浜 崎 設 夫	禪・仏教1年	2

講義のねらい	文法読本の教科書を使い、文法を復習しつつ初級の文章を読解できるようにする。またフランス文化に対する関心を強めてもらう。
講義の内容・ 授業スケジュール	発音の練習から始めて、約20回の授業で、最終段階の接続法まで進みたい。1課ごとにまず文法を説明し、文章の和訳と練習問題を宿題にする。レポートを2度出してもらう。
履修上の留意点	なるべく遅刻欠席をしないこと。必ず復習すること(予習は必要なし)。ノートを用意すること。毎回辞書を持って来ること。辞書は最初の授業で紹介する。
成績評価の方法	出席回数、宿題をやって来た回数、前後期の試験の成績、レポートの内容等に基づいて評価する。
教 科 書	滑川『ポケットにフランス語』(第三書房)
参 考 書 等	前もって買う必要はない。授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA	<small>は た な が ち あ き</small> 畑 中 千 晶	禅・仏教2年	2

講義のねらい

子ども向けに書かれたフランス語新聞を読むことを通じて、辞書を片手にまとまったフランス語の文章を読み解く力をつける。話題は、科学・医療・環境・教育など多岐にわたっており、さらにヨーロッパあるいはアジアなどの最近の話題も盛り込まれているため、今後、自分の力でフランス語の新聞・雑誌記事を読む際に必要な語彙を増やすことができる。

成績評価の方法

宿題などの提出物、小テスト、前期末・学年末テストなどを総合して評価する。

教 科 書

龍川好庸・ガブリエル・メランベルジェ・東多鶴恵編著『やさしいフランス語新聞(3)』(第三書房) 1,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA	<small>と お や ま ひ ろ お</small> 遠 山 博 雄	禅・仏教2年	2

講義のねらい

辞書を使ってやさしいフランス語の文章を読み、発音すること。

講義の内容・
授業スケジュール

1年次でやり残した文法事項の説明をまずすませ、その他の文法事項は復習したり追加しながら、辞書を片手に熟読していきます。後期は短い読み物に挑戦します。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席すること。

成績評価の方法

2回の筆記試験を行ないます。リスニングも含まれます。

教 科 書

野村訓子他著『アニエスの日々』(駿河台出版社) 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA	<small>た に か わ</small> 谷 川 か お る	禅・仏教2年	2

講義のねらい

フランス語中級

講義の内容・
授業スケジュール

1年次で学んだフランス語の基礎を復習・確認しながら、日常的なフランス語の文章を読み、フランス語の理解を深めます。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教 科 書

牛場由紀子著『小説への旅立ち』(朝日出版社) 2,100円

参 考 書 等

そのつど授業で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡB	菅 ^が 谷 ^{さとる} 暁	禪・仏教2年	2

講義のねらい

教科書はフランスの最近の新聞や雑誌の記事をやさしく書き直したものです。フランス語を読む力を養うとともに、フランスの社会や文化についての理解を深めます。

成績評価の方法

前期末と後期末の試験によります。

教 科 書

ボームルー著『時事フランス語（2002年度版）』（朝日出版社） 1,800円

そ の 他

毎回数人の担当者をあらかじめ決めておくので、その者は担当部分を正しく発音し、訳せるようにしておいてください。なお必要な文法事項は詳しく説明し、発音はカセットテープを利用して練習します。

中 国 語

中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・文型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

I A - I B という週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。I A - I B の組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けで乗り切るということは絶対に不可能である。

中国語ⅡA

I A - I B の学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

授業は、各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、中国の社会や文化の理解に役立つもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1～2編の、まとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中程度程度の語彙・文法・文型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

中国語ⅡB

I A - I B の学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のⅡAに対し、ⅡBの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記I A - I B に準ずる。

【辞書について】

○1年次必修科目の学習しか想定しない場合

- ・相原茂『はじめての中国語学習辞典』（朝日出版社）2,600円
- ・上野恵司『標準中国語辞典〔第2版〕』（白帝社）2,300円

これらは初学者向けの語法解説を充実させているほか、例文にもピンインが付いており、単語の意味を調べるだけでなく文中での使われ方を会得するのに役立つ。ぜひ例文を音読したり書き写したりしてほしい。

○2年次まで学習する場合

- ・松岡榮志ほか『クラウン中日辞典』（三省堂） 4,000円
- ・上野恵司『基礎中国語辞典』（NHK 出版） 3,500円
- ・武信彰『プログレッシブ中国語辞典』（小学館） 3,500円
- ・長谷川良一ほか『講談社中日辞典〔第2版〕』（講談社） 6,800円

ここに挙げた以外にも、同規模あるいはさらに小型の、また中日・日中を1冊で間に合わせるような辞書が幾つか出版されているが、内容が粗雑であったり、古かったり、学習に必要な配慮を欠いていたりで、薦められない。なお、日中辞典は必携ではないが、以下のものが手元にあれば重宝するであろう。

- ・北京・対外経済貿易大学『日中辞典〔第2版〕』（小学館） 7,000円 2002年
- ・倉石武四郎、折敷瀬興『岩波 日中辞典〔第2版〕』（岩波書店） 5,000円 2001年

○2年次以降も継続して学習する場合は、以下のうち、実際に手に取ってみて気に入ったものを選ぶとよい。かなり値が張るものが多いが、じっくりと親しみ使い込むほどに、大枚を叩いた以上の恩恵が身にしみるのもこれらの書である。

- ・長谷川良一ほか『講談社中日辞典〔第2版〕』（講談社） 6,800円
- ・伊地智善継『白水社中国語辞典』（白水社） 7,800円
- ・商務印書館・小学館『中日辞典』（小学館） 6,800円
- ・愛知大学『中日辞典〔増訂第2版〕』（大修館書店） 8,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅠA	小 川 隆	禅・仏教1年	2
中国語ⅠB	小 川 隆		2

講義の内容・
授業スケジュール

ⅠAとⅠBとで特に内容を分けず、週2回の授業で、ともかくどんどん頭から学んでゆく。本文は比較的易しい会話体で、その後に文法解説用の例文と練習問題が続く。授業時間中は音読練習の機会をなるべく多く設け、漢字に頼らず、音声そのものを通して中国語を理解し表現できるようにしてゆきたい。

成績評価の方法

教科書は全15課で、3～4課に1度くらいの割合でテストを行い、解答はすべてピンイン（ローマ字・声調記号）で書いてもらう。出席最重視。毎回、復習と練習問題をやって来ることが必要。授業進行の為の最低限のルールとマナーを守れない人には、受講をお断りする。

教 科 書

荒川・周・塩山『キャンパスライフ中国語』（白帝社）2,400円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA	関 口 加津子	禅・仏教1年	2
中国語ⅠB	胡 玉 華		2

講義のねらい

中国語で「読む」「書く」「聞く」「話す」能力、つまりコミュニケーション能力を育てるための基礎固めをする。

講義の内容・授業スケジュール

中国語の音節構造を理解し、音声として中国語を捉えられるようにする。音声を表記するため、中国語式ローマ字表記法（ピンイン表記）をマスターする。中国語の正しい発音を身につける。中国語の基礎的な文法構造を学ぶ。年間学習単語数約600語。

履修上の留意点

常に予習、復習を心がけ、音声教材などを活用して、聞き取り力を高める努力をすること。授業中は積極的に発話し、自ら発音の矯正に努めること。遅刻をしないこと。

成績評価の方法

年間3、4回行う試験の成績、通常の授業中に行う小テストの成績、授業態度、出席状況などをもとに総合的に評価する。

教科書

渡辺晴夫・楊幸雄・高村麻美著『フレッシュ中国語』（改訂版）（白水社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA	工 藤 早 恵	禅・仏教1年	2
中国語ⅠB	布 施 直 子		2

講義のねらい

中国語の初級段階の学習を内容とする。中国語の発音のしかたを覚え、中国語の文の構造を理解することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

学年初めの一ヶ月間は発音入門にあて、そののち基本的な文の構造を学びつつ、会話を通して、語彙を広げる。同一の教科書を二人の教員が担当し、連携して授業をすすめる。

履修上の留意点

授業への出席を第一にしてもらいたい。反復練習をまじめにすることを通して必ず進歩がある。

成績評価の方法

年数回のテストと出席状況によって評価する。担当教員のそれぞれが評価を出す。

教科書

相原茂著『語学三十六景』（東方書店）2,400円

参考書等

授業時に紹介する。

その他

学習した例文を暗記できるまで、くり返し学習することに努めたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA	前 川 亨	禅・仏教1年	2
中国語ⅠB	前 川 亨		2

講義のねらい

まず発音を学び、その後初級文法の習得を目指す。比較的易しい文章が読め、簡単な聞きとりと会話ができるようになるのが目標である。

履修上の留意点

自主的な復習・訓練が不可欠である。欠席・遅刻は極力避けること。授業は学生と教員が協力して作るものである。授業に非協力的な者、私語する者、携帯電話を鳴らす者の受講は認めない。

成績評価の方法

前期後期の期末考査と二回程度の小テストによる。欠席、遅刻はその数に応じて減点する。

教科書

牧田英二・楊立明『新編・例文中心初級中国語』（同学社）2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA	天野節	仏教1年	2
中国語ⅠB	下出宣子		2

講義の内容・
授業スケジュール

はじめの1ヶ月を目途に発音の基礎を学び、その後ⅠAで文法事項の説明を、ⅠBで聞きとり・作文・会話の練習を行なう。正確な発音を身につけ、比較的容易な文章が読め、簡単な会話と聞きとりができるようになることを目指す。

履修上の留意点

授業に積極的に取り組むこと。復習をしっかりとすること。

成績評価の方法

評価はⅠA・ⅠBそれぞれに行なう。出席、授業態度、課題提出、小テストによる平常点と期末試験の結果を合わせ総合的に評価する。

教科書

牧田英二・楊立明『新編・例文中心初級中国語』（同学社）2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA	戸張嘉勝	禅・仏教1年	2
中国語ⅠB	釜屋修		2

講義のねらい

戸張（A）、釜屋（B）が同一の教科書で行う授業です。正確な発音、ピンイン表記、基本文法を習得する。大声で発声し、中国語の基本構造をみつめ、「漢字だからわかるだろう」の誤解から自分を解放し、異文化へのアプローチを積極的に試みて欲しい。

履修上の留意点

予・復習につとめ、教室では集中して学習にとりくむこと。授業中は大学生として守るべきルールに徹すること。初級外国語はつき重ねがたいせつ、出席を重視する。

成績評価の方法

平常点、小テスト、前・後期の期末テスト、出席点等で総合的に判断する。

教科書

沈国威・内田慶一『新・チャイニーズステーション』（好文社）テープ付2,400円

参考書等

辞書は開講後に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA	佐藤普美子	禅・仏教1年	2
中国語ⅠB	佐藤普美子		2

講義のねらい

中国語の基礎になる文法と発音のしかたを学ぶ。

履修上の留意点

4・5月は発音のためのローマ字表記（ピンイン）を重点的に学ぶ。この最初の関門をぜひ突破してほしい。

成績評価の方法

平常点（出席及び小テスト）と学期末テストを合わせて評価。

教科書

楊凱榮・張麗群『身につく中国語』（白帝社）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡA	釜屋修 <small>かまや おさむ</small>	禅・仏教2年	2

講義のねらい

中国語Ⅰで学んだ発音をより正確にするための復習、文法事項のより体系的な把握をめざす。簡単な文の中国語訳へも積極的にとりくんでもらう。

履修上の留意点

漢字表記だから易しいという誤った常識から、日本語とは異なった系列の外国語としての中国語の特質を楽しむ積極性を発揮してほしい。自主的学習を求める。

成績評価の方法

平常点、出席状況、宿題、小テスト、期末テスト（前後期各一回）により総合判定する。

教科書

荒川清秀『中国語文法システム』（同学社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡA	櫻庭和典 <small>さくらば かずのり</small>	禅・仏教2年	2

講義のねらい

やさしい長文の文章の読解と、日常生活に使われるより多くの語彙を習得し、実践会話の習得を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

文章を正しく読めるよう、音読のトレーニングと文章の理解力を高める。受講者には一人一人読みと訳をしてもらい、さらに、日常生活に使われる語彙を実際につかって会話のトレーニングを行う。

履修上の留意点

必ず予習を行うこと。授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

平常評価（授業態度・出席日数）、小テスト、学期末テスト（前期、後期各一回）を行うが、特に平常評価に重きをおく。出席日数の足りない場合は、受験資格を失うため注意すること。

教科書

八木章好編著『漢語趣話』（白帝社）1,800円

参考書等

必要になったら授業のなかで紹介する。

その他

授業中の私語は厳禁とする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡA	李雲 <small>り うん</small>	禅・仏教2年	2

講義のねらい

講読と文法をかねたテキストを用いて、易しい読み物を通して中国語の発音、基礎的な文法の勉強を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

下記のテキストを使用し、だいたい3週間に2課の進度で授業を進めていく。

履修上の留意点

授業中、私語をしないこと。ちゃんと予習と復習をすること。

成績評価の方法

出席状況、日常の学習態度、並びに小テストによって成績評価を行います。

教科書

戸沼市子・邢玉芝・渋谷瑞江『動詞をながめて中国語』（朝日出版社）2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡA	まつもと あつとし 松 本 丁 俊	禅・仏教2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

中国の故事や民話、人民の生活、新聞記事、名作等から講読や鑑賞にふさわしい文章を選び、難易度に応じて、易しい文章から順に配列したテキストを使用。長文学習では、単に読解力の向上にとどまらず、中国人の生活、風俗習慣、ものの見方、考え方なども垣間みることができる。それによって、中国をより多く知ることができるだろう。

教 科 書

陳榮生・頼石博・蔡柱国編著『現代中文読本』（神保出版） 1,650円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡB	ちん しゅうきよ 陳 洲 拳	禅・仏教2年	2

講義のねらい

今までの学習を活かしつつ、より実用的な運用能力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

やや簡単な会話体のテキストを使用。新出単語を学生自身が辞書でしらべて、授業中、簡単に文法事項と本文の内容を説明してから、学生に二人一組で大きな声で読んでもらう。そして、本文の内容をある程度書き直して、暗記してから発表してもらう。その時、発音と発表した内容の訂正を行う。

履修上の留意点

本文のカセットテープをよく聞き、まねをして練習して欲しい。

成績評価の方法

後期のテストの成績を重視。

教 科 書

授業の初日に指定する。テキストがそろうまでプリントを配布します。

参 考 書 等

『簡明中日、日中学習詞典』（中国文化出版センター）3,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡB	ひらいし よしこ 平 石 淑 子	禅・仏教2年	2

講義のねらい

初級で習得した事柄を実際にコミュニケーションの手段として活用できるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

中国語の多様な動詞の使い方を中心に学習する。正しい発音の習得にも力を入れる。

履修上の留意点

①四分の三以上の出席を求める。②必ず予習をしてこること。③授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

平常点、及び期末試験による。

教 科 書

戸沼市子他著 『動詞をながめて中国語』（朝日出版社） 2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	ひろかね かなこ 弘 兼 加奈子	禅・仏教2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

一年次で学んだことを定着させ、更に発展させることを目標とする。
 課文は会話体の本文、文法、口答練習のためのトレーニング問題、ヒアリング問題から構成されている。実践的な中国語を学んでほしい。

成績評価の方法

成績は年数回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

塚本慶一・劉穎 『2年生のコミュニケーション中国語』（白水社） 2,310円

[スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA	ナバローポロ, L. S.	禅・仏教1年	2

講義のねらい

スペイン語の基本的知識・能力をもとに、スペイン語の書き言葉および話し言葉の両面にわたって理解し、表現する実力を養う。文法・語彙については網羅的ではなく、必要と思われるものを集中的に練習する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 母音の文字と発音・子音の文字と発音
2. 名詞の性・冠詞（不定冠詞・定冠詞）・名詞の数・形容詞の語尾変化
3. 動詞SER・主語人称代名詞・疑問文
4. 動詞ESTAR・SERとESTARの相違点・HAYとESTARの相違点・指示詞・否定文
5. 動詞TENER・所有詞・TAMBIENとTAMPOCO・数詞・時間についての副詞句
6. 直説法現在の規則動詞（AR動詞・ER動詞・IR動詞）・不定語
7. 直説法現在の不規則動詞1・TENER QUEとHAY QUE
8. 直説法現在の不規則動詞2・IR A+不定詞・不定詞とともに用いられる動詞
・SABER・CONOCER
9. 直接目的の人称代名詞・間接目的の人称代名詞
10. 直接目的と間接目的の人称代名詞についての規則・動詞GUSTAR
11. 前置詞の後ろに置かれる人称代名詞

履修上の留意点

定期試験-7月と1月-

教科書

石崎優子/フェリサ・レイ『スペイン語世界への窓』（芸林書房）

参考書等

『現代スペイン語辞典』（白水社）・『西和中辞典』（小学館）
『新スペイン語辞典』（研究社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA	ルイズティノコ, C.	禅・仏教1年	2

講義のねらい

この授業ではスペイン語の文章を読んで、練習をしながら文法の構造や表現に徐々に慣れ、基本的な会話能力を身につけることが目標である。

成績評価の方法

前期と後期の成績と授業参加の状態で評価します。

教科書

教科書、“ESPANOL EN DIRECTO IA” 著者、Sanchez, Rios, Dominguez 発行所、SGEL

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅠA	う え の か つ ひ ろ 上 野 勝 広	禅・仏教1年	2

講義のねらい

スペイン語の基礎（発音・文法・語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・
授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は導入部から5課まで、後期は6～10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習を行います。

履修上の留意点

新しい外国語を少しでも身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音テープのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましよう。

成績評価の方法

年間4回のテストと平常点を総合的に評価します。

教 科 書

上野勝広『新世紀のスペイン語』（同学社）2,200円

参 考 書 等

初回の授業で紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅠB	よ ね だ ひ ろ み 米 田 博 美	禅・仏教1年	2

講義のねらい

現代が直面する不確実性の時代において、確かな知恵、確かなビジョン、確かな手段をもつことは、人々に生きる勇気や自信、そして希望をもたらすものです。大学という恵まれた環境の中で、自ら知性を高め、新たな知的付加価値をつけることができることは幸せなことです。約4億の人口を有し、20カ国以上の国々で話されるスペイン語は、「神が話す言葉」と言われるほど美しい言葉であり、国連公用語の一つでもあります。スペイン語圏諸国の自然は魅力に富み、音楽、文学、芸術などの文化は多様で豊かです。こうした国々で話されるスペイン語は、発音しやすく聞きとりやすいと言われますが、言葉をマスターする上で、何よりも意欲、心構えが最も大切であります。強い目的意識をもって、授業にのぞんで下さい。

講義の内容・
授業スケジュール

年間スケジュールとして、下記テキストの1～7課までの範囲を学習します。

履修上の留意点

語学の学習は、基礎の積み重ねが特に大切であり、欠席をしないように。仮に欠席をしたとしても、自らの努力で補うことも充分可能であり、折角定めた初心を安易に放棄しないことを望みます。

成績評価の方法

成績は、一般の授業態度、出席、テストなどにより総合的に判断します。

教 科 書

細川幸夫著『英語からスペイン語へ』（芸林書房）

参 考 書 等

辞書は、各自自由に選択して下さい。参考までに、「西和中辞典」（小学館）、「現代スペイン語辞典」（白水社）、「新スペイン語辞典」（研究社）などを推薦しておきます。

そ の 他

スペイン語圏の文化を紹介したビデオや短編映画を鑑賞できる機会もつくる考えです。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠB	さとう まりの 佐藤麻里乃	禅・仏教1年	2

講義のねらい

文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的特徴を理解する。

履修上の留意点

初回の授業で述べる注意事項を必ず守ること。

成績評価の方法

出席率、授業態度、小テスト、学期末試験等を総合して評価する。詳しくは初回の授業で述べる。

教科書

寺崎英樹著 『スペイン語文法のシステム』（同学社）

参考書等

『西和中辞典』（小学館）、『現代スペイン語辞典』（白水社）
『新スペイン語辞典』（研究社）、『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）など。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠB	おぎの まさし 荻野雅司	禅・仏教1年	2

講義のねらい

スペイン本国のスペイン語に限らず、中南米で今日常用されているものも含めて、スペイン語の全体を概観することを狙いとします。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストに沿って初級スペイン語を学習して行きますが、言葉のみでなく、出来るだけヒスパニック圏の人々の物の考え方や文化、習慣を学ぶことで、communication がより容易に行えるようになります。

さらに、このクラスはスペイン語の理解を促進するために、英語の語法との対比を常時行うことを特徴の一つとしています。

成績評価の方法

原則として年2回の正規のテストを行いますが、総合的な成績の評価に当たっては、良くても、悪くてもテストの結果のみによってこれを行いません。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価します。

参考書等

使用する教科書等は開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA	おおいわ いさお 大 岩 功	禅・仏教2年	2

講義のねらい

スペイン語Iで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

初めはスペイン語Iで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりとやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教 科 書

寿里順平・大岩功『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参 考 書 等

辞書
有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA	ふくもと くみこ 福 本 久美子	禅・仏教2年	2

講義のねらい

基礎文法の終了と平易な日常会話の表現の習得を目標とする。

履修上の留意点

出席が全授業回数の2/3以下の者には評価を与えない。始業時より30分以上の遅刻は入室を認めない。但し欠席も遅刻も正当な理由がある時は考慮する。
授業を妨げるような振る舞い（私語・無断退出等）は慎むこと。場合によっては評価の対象から外す。

成績評価の方法

前・後期テストと授業中の平常点（宿題・小テスト）の合計に拠る。

教 科 書

佐藤惣平『楽しいスペイン旅行』（大学書林）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡB	みやち たつろう 宮 地 達 郎	禅・仏教2年	2

講義のねらい

英語と比較して再度スペイン語に対する興味を持たせる。

履修上の留意点

最低復習をして、質問あれば次週にそれを行うことはしてほしい。

成績評価の方法

前・後期のテスト及び出席点。

教 科 書

『新日本語の基礎Ⅰ 分冊スペイン語訳』（スリーエーネットワーク）

ロシア語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学べば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキア語、セルビア語、マケドニア語等、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです。これからの国際的時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多いに価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。駒澤大学での必修クラスのロシア語は1週間に2度しかありませんが、与えられた時間を最大限に有効に使うべく、次のような目標と年間スケジュールで授業はすすめられます。

なお、ここで参考までに辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』（研究社）東郷正延他著
- 『露和辞典』（岩波書店）和 久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』（博友社）木村彰一他編
- 『和露辞典』（研究社）藤沼 貴著
- 『和露辞典』（講談社）佐藤 勇著

外国語科目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅠA	佐野朝子	禅・仏教1年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

戸辺又方 編『1年生のロシア語』（白水社）
杉山秀子他『やさしいロシア語読本』（大学書林）1,600円

参考書等

『露和辞典』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅠB	<small>ひろた ひでやす</small> 廣 田 英 靖	禪・仏教1年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つ型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返し練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・
授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。
平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教 科 書

戸辺又方 編『1年生のロシア語』（白水社）
杉山秀子他『やさしいロシア語読本』（大学書林）1,600円

参 考 書 等

『露和辞典』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅡA	<small>さ の あ さ こ</small> 佐 野 朝 子	禪・仏教2年	2

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。
ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- ・日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- ・やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- ・かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- ・中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教 科 書

1年次に使用した教科書と文法表。

そ の 他

プリント配布。教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡB	木村英明 <small>きむら ひであき</small>	禅・仏教2年	2

講義のねらい

正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。
さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- ・日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- ・やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- ・かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- ・中等文法のエッセンスを勉強をします。

教科書

1年で使用した教科書および1年のときに渡した文法表。

その他

プリント配布。

[英 語][再クラス]

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠA [再クラス]	<small>にしむら ゆうこ</small> 西 村 祐 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

英語による電子メールの書き方を修得しながら「苦手な英語」から「使える英語」を習得することをめざす。基本的なタッチタイピングから指導し、インターネットをつかって英語で海外の各地の情報を得たり電子メールをといあわせたりしてみる。

 講義の内容・
授業スケジュール

前期：自己紹介の仕方、確認、問い合わせ、お礼の英文メールなど基本的な英語表現を学ぶ。
後期：インターネットのウェブサイトをつかって実際に問い合わせ、サイトの感想のメールなどをかいてみる。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。
電子メールアドレスは商業プロバイダーのものをもちいてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、事前におこなっておくこと。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。タッチタイピング修得用にフロッピーディスクを用いるので、はじめの授業から、かならず一枚持参のこと。

成績評価の方法

成績評価：ほとんど隔週ごとに課題が与えられ、電子メールでの課題提出がある。電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。なお、出欠はすべてその場での電子メール送付によって課題提出という形態での確認となるため、学生は全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。

教 科 書

Subject : E-mail : writing effective message (南雲堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠA [再クラス]	<small>かわまた ようたろう</small> 川 股 陽 太 郎	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として英語の運用能力をやしなう。

 講義の内容・
授業スケジュール

ヒヤリング、スピーキング、ライティングの運用能力練習をする。ビデオ (VHS、DVD) 等も使用する。

履修上の留意点

3分の2以上出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

発表、小テスト、定期試験の成績を総合し評価する。

教 科 書

プリント教材を適宜配布、使用する。教科書は未定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠA [再クラス]	<small>ひろかわ おきむ</small> 広 川 治	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

映画のシナリオをテキストに使用する。

履修上の留意点

遅刻、居眠等は欠席扱いとなる厳しい授業。

成績評価の方法

平常点と前後期試験で評価。

教 科 書

授業内に購入を指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	お お た み ち こ 太 田 美 智 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

コミュニケーションの手段として英語を使えるようになることを目的とします。

講義の内容・
授業スケジュール

会話の基本フレーズを身につけ、応用する力を養いましょう。但し、大学の英語ということを加味し、表層的な会話だけでなく、もっと有意義且つ知的な英語の楽しみ方を学ぶ場にしたいと考えています。

履修上の留意点

必ず予習し、真摯な態度で授業にのぞむこと。単位の取得ではなく、各々の実力を向上させることが目的であるということを銘記してください。

成績評価の方法

平常点、授業中の態度、予習の有無、レポートの内容、等々からの総合評価。

教 科 書

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	い と う み よ こ 伊 藤 美 代 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

英語による意思伝達を可能にすることがまず第一の目的。当然、ライティングだけでなく、スピーキングの訓練も行う。ライティングは、センテンスからパラグラフまで、スピーキングは日常会話からスピーチまでをめざす。その過程で当然、ヒヤリングの訓練も行い、総合的な英語力を強化する。

講義の内容・
授業スケジュール

原則として、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用し、日本語の説明は必要最小限に抑える。

履修上の留意点

予習が絶対条件である。また、半期に4回以上欠席したものには、単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回と数える。

成績評価の方法

各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、小テスト、平常点、提出物により計算する。

教 科 書

1. Nobukazu Aoki, Haruo Erikawa『コミュニケーションのための基礎英作文』（金星堂）1,850円
2. 伊藤美代子（編著）『さらばジャパニーズイングリッシュ』（北樹出版）1,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	た か ほ し ひろし 高 橋 寛	全 学 科 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英会話を学ぶには語彙力や文法的知識を身につけることはもとより、口語体特有の言い回しも覚える必要があります。本講義では特に後者に力点を置き、なるべく多く会話に役立つ表現を覚え、それを実際に使う練習を行っていきます。

履修上の留意点

講義に臨む際、こちらがあらかじめ指定した部分については必ず予習をしておいてください。予習を怠ったもの、テキストを持ってこないものは欠席とみなします。

成績評価の方法

評価は出席点と定期試験の結果を合わせて出します。

教 科 書

『Terrific Talk』（金星堂）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	よ し え ま さ お 吉 江 正 雄	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

英文を正しく読み、発音し、その上で英文を正しく理解することを目標とする。しかし、そこには当然、構文の理解、文法的な正しい解釈も伴われなければならない。これからのことを総合的に学びながら、文明の黎明期、言語の発達段階等についても学ぶことになる。

講義の内容・
授業スケジュール

一講時に進む範囲は大体決まってくるので、その範囲の読みと、解釈を中心に据え、後に文法・構文の説明を加える。小説家による美しい文章に触れ、美しい英文の書き方に繋げたい。

履修上の留意点

大体決まってくる一講時に進む範囲の予習をしてくることを望む。

成績評価の方法

前・後期の試験の平均点をベースに、授業参加の積極度、発表回数等を鑑みて評価を出す。ただし、授業総数の三分の一を超える欠席のある学生の評価は出ないから注意すること。

教 科 書

『A Short History of the World』（こびあん書房）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	前 期：八十木 裕 幸 後 期：中 尾 俊 光	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

ことばの習得には誤りがつきものである。特に日本人がおかしやすい誤りを選び、これまで気付かずしていた誤りを訂正し、活用して総合的な技能の向上を計る。

講義の内容・
授業スケジュール

文法項目の点から分類。特に述語動詞、準動詞、助動詞、時制、名詞、代名詞、形容詞、限定詞等を取り扱う。

履修上の留意点

参考書、辞書等を用いてよく調べてくること。

成績評価の方法

前期テスト、小テスト、レポート、出席状況、発表成果等を総合して評価します。

教 科 書

J. B. HEATON 『誤りから学ぶ英語演習』（英潮社） 1,400円（税別）

参 考 書 等

ND Turton 『Longman Dictionary of Common Errors—New Edition—』 Longman Corpus Network

そ の 他

授業は演習形式で行ないます。かならず毎時間一回は発表してもらいますので予習を忘れることなく行ってきて下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	つ か も と と し お 塚 本 利 男	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

絶えず文法・語彙などの知識の増強を図りながら、英語の語順・文章構造を確実に理解し、日常生活の様々な事柄について英語で表現する事を目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

各章で①基本文法事項②練習問題③発展問題さらに学習した事柄についての確認をする④復習問題をやりながら、運用の能力の練習をします。授業の最後に、毎回総仕上げとして、日常の身近な事柄、例えば、日本の四季、大学生生活、コンパなどについて意見・考えを英語で記述してもらう小テスト（15～20分）を行います。

成績評価の方法

授業における発表・小テスト・前・後期の定期試験に基づく。全評価のうち授業時での発表・小テストが、50%、前・後期の定期試験が50%で評価します。特に、平常授業を重視しますので、全授業数の3分の2以上は、必ず出席して下さい。

教 科 書

『語順が身につく英作文』（朝日出版） 1,800円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠA 〔再クラス〕	かわしま ひろゆき 川 島 弘 之	全学科2年	2

講義のねらい

受験英語を生かして、英語を楽しんでもらうことを目指す。そのためには、学生が強い関心と興味を抱いているロック音楽を教材として使う。学生1人1人のロック音楽等のリクエスト曲を中心に授業を行う。

現代の若者にとって、ロック音楽の歌詞はかつての英詩にとって代っているばかりか、現代詩の一翼になっている。ロックの中には「生きがい(生きる真の目的、生きる意味、価値)」や「LOVE」について深い考え方や感性がこめられているので味わってもらいたい。ロック音楽を通して、人間の心が揺さぶられ、英語の感性が磨かれ、人間と社会、人間と自然、人間と人間を見る眼が深まることを望む。

英単語とPleaseだけで通じる超ミニ英会話を楽しんでもらう。

成績評価の方法

授業中、他の学生の発表に関心、興味、理解を抱くよう努力することを重視する。発表、レポート、前後期の定期試験に基づく。前期のテストは英語の歌を歌うことで行うこともできる。授業の欠席が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教科書

『ロックの心』(大修館書店)
『超ミニ英会話』(明日香出版社)

参考書等

『ロックで読むアメリカ』(近代文芸社)
『ロックの意味』(草思社)
『ロック・ミュージックとアメリカ』(シンコーミュージック)
『ロック音楽と現代社会』(マクミラン・ランゲージハウス)

その他

ビデオ、レーザーディスク、DVDで英語を楽しむ。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠA 〔再クラス〕	おのうえ のりこ 尾 上 典 子	全学科2年	2

講義のねらい

アメリカ合衆国の歴史的・文化的背景を理解させると同時に、実践的な英語運用能力の向上をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

Benjamin Franklin, Susan B. Anthony, Sitting Bull, Andrew Carnegie, Thomas A. Edison, Henry Ford, Helen Keller, Walt Disney, Martin L. King Jr., Elvis Presleyなどアメリカン・ドリームを形作るのに貢献してきた偉大な人々の生涯や業績を紹介した英文を取り上げ、アメリカ合衆国の歴史的・文化的背景を理解させると同時に、読解・聴解・作文などの総合的英語運用能力の向上をはかる。

また、折にふれて英米文化に関する英語ビデオを鑑賞させて、時事英語の理解力と聴解能力の増強をはかる。

履修上の留意点

正当な理由なくして年間の出席率が3分の2に満たないものおよび授業態度の非常に悪い者は落第させる。毎回、授業のための予習・復習を充分にしておいてもらいたい。

成績評価の方法

評価は、授業態度、出席率、年2回の前・後期試験および小テストによって総合的に判断する。

教科書

Roy E. Charron、宮野智晴著 『Profiles of the American Dream』 (『アメリカン・ドリームを読む』) (金星堂) 1,800円(税別)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	お お た ゆ き こ 太 田 由 紀 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

英語の基本構造の確認と応用により「書ける」楽しさを実感して貰う。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは全十二章からなる。よって一章に二回分の授業を充てる予定。ある授業で該当章の文法事項を確認した上で応用英作文問題を課す。次週その解答を皆で検討する作業を終えたら、次章の解説に入る。

履修上の留意点

とにかく熱心に授業参加すること。

成績評価の方法

平常点と前期・後期それぞれの期末試験により総合的に判断する。

教 科 書

石黒照博・山内信幸著 『「橋渡し」英作文』（金星堂） 1,600円

参 考 書 等

安井稔・角谷裕子著 『英作文要覧』（開拓社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	た か や な ぎ ふ み え 高 柳 文 江	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

この授業においては、世界の中で現在生じている様々な問題について書かれた簡潔な文章を基に、まずそのListeningとComprehensionを行います。その後、章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法を理解し、それを基にwriting、speaking両面から文章を作る事を学びます。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には、2/3以上の出席が要求されます。前期後半より慣用表現の演習が課されます。

成績評価の方法

試験（前期試験、後期試験）60%、日常点（出席、演習テスト等）40%

教 科 書

『World Today—文化の諸相』（鳳書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	や ま が た ゆ た か 山 縣 裕	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

アメリカ文化のさまざまな側面を学びながら、スピーキングの力の向上をはかる。

履修上の留意点

6回以上欠席した者には原則として単位を与えない。

成績評価の方法

出席点・中間テスト・期末テスト・小テストなどから総合的に評価する。

教 科 書

森田彰・飯尾牧子・狩野紀子・土屋武久・Jeff Martin共編 『ビデオで学ぶアメリカ文化・CD付』（成美堂） 2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠA 〔再クラス〕	<small>もり た たか みつ</small> 森 田 隆 光	全学科2年	2

講義のねらい

英語の基礎から学生諸君にわかりやすく講義を行って行きます。聞く、書く、話すを全部行ってゆきます。クラスは非常に興味のある授業になると思います。授業は日本語と英語を併用時にはフランス語でも行います。まずクラスに出席してみてください。

成績評価の方法

前期、後期の試験
レポート年1回（英文にて）

教科書

開講時指示

その他

欠席は3回まで（年間）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠA 〔再クラス〕	<small>いわはら やすお</small> 岩 原 康 夫	全学科2年	2

講義のねらい

インターネットが地球を駆け巡り、通信衛星が日常生活にまで及び、外国旅行も自国以外の人々との接触も一般化してきた。ボーダレスな国際化という現実によって、世界語とも言える英語はコミュニケーションの手段としてますますその比重を高めつつある。このような観点にたつて、このクラスの英語学習は意思伝達の向上を狙いとする。そのために、ある一定の基本的な動詞を中心にした構文と用法をマスターし、日常的なレベルでのコミュニケーション力を高めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらう。

履修上の留意点

学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。また辞書の積極的な使用を望む。

成績評価の方法

前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおけるparticipationによって判断する。

教科書

『Cultivating Writing Skills（基本語彙を使った発展英作文）』（朝日出版）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠA 〔再クラス〕	<small>にしはら かつまさ</small> 西 原 克 政	全学科2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語を話すときに役立つ表現力を中心とした作文の演習用のテキストを用いる。外国人が英語を学習する際に役立つと考えられているBasic English（850語で大体日常生活の必要な表現がすべてできるという考え方）を基本にしている。英語が書けるということは、英語が話せるということと直結しているので、その基礎を自分のものとして、会話に応用していただきたいと思います。

履修上の留意点

受講者には第一回目の授業で、成績評価方法も含めて説明するので、必ず出席のこと。

教科書

『英語表現トレーニング』（北星堂書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	まきの てるよし 牧野輝良	全学科2年	2

講義のねらい

英語の構文を再度学習し、英語の構造をしっかりと身につけること。

講義の内容・
授業スケジュール

重要な英語の構造が一単位となっているテキストを使用するので、各単元の英文を覚える努力をする。

履修上の留意点

学生は辞書を持参し、自分にわからない語句が出て来たらすぐ辞書を引き、身につけることに心掛けること。

成績評価の方法

毎時間提出のレポートと期末テストによって成績評価する。

教 科 書

石黒他編 『大学英文法A to Z』 (金星堂) 1,300円+税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	きむら かつひこ 木村克彦	全学科2年	2

講義のねらい

やや平易な英文を精読することにより、徐々に実際の運用面も補っていきたい。テキストには各課ごとに練習問題があるが、これらを、本文を再読せずに解ければ、最も望ましいであろう。また、適宜、「エコノミスト誌」や「フォーチュン誌」の記事も訳読してゆきたい。

成績評価の方法

基本的には、前・後期の定期試験に因るが、それ以上に授業態度を重視する。私語厳禁。

教 科 書

『Developing Reading Skills』(朝日出版社) 1,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	むとう ひさお 武藤久緒	全学科2年	2

講義のねらい

これまでに習得した英語知識を確実なものにしながら。語い、語法の面で難のない理解しやすい文章を読み英文に親しみ読解力を養うことを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

日常ひんぱんに使われている語、例えば、Smog, Kangaroo, Nicknameなど114の単語の由来、それぞれの持つ特有の歴史を読み、言語と文化に対する関心を高めたいと思う。

前期：1ページから44ページ

Piano から Tennis までの57の単語の由来について

後期：45ページから87ページ

Utopia から Postman に至る57の単語の由来について

履修上の留意点

授業は訳読形式で行い、受講者全員に本文を読み訳してもらいます。随時・文法を含む必要事項の説明をします。

成績評価の方法

成績評価は前後期のテストの成績；授業中の発表、出席状況などを考慮して行います。

教 科 書

Arkady Leokum and others 『Where Words Were Born』 (朝日出版)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	てじま けいこ 手 島 敬 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

本科目は発音・リズム等の音声面の指導に留意しながら、標準的な英語で書かれた文章を読む力を養うことを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは比較的平易な英語で書かれたものを使用し、短時間に効率良く、また適切に内容を読み取る練習を行っていきます。

履修上の留意点

英和辞典を必ず持参。

成績評価の方法

中間・定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などに基づき総合的に行います。

教 科 書

『日常生活の中のアメリカ文化』（マクミランランゲージハウス）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	た な か たもつ 田 中 保	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

より高度な構文の理解と文章の大意の把握に重点を置きながら読解力をつける。
また、サブ・テキストを使用して、リスニング力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は予習・復習を前提とした発表形式によって行なう。

成績評価の方法

成績評価の方法は、以下の項目を総合的に検討して評価する。

1. 授業時の発表
2. 授業時の小テスト
3. レポート
4. 前期・後期の筆記試験
5. 出席状況

教 科 書

1. 『10 Minute Basic Listening』（桐原書店） 950円
2. 『大学生のための初級英語』（STEP-UP ENGLISH）（南雲堂） 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	ま え だ おさむ 前 田 脩	全 学 科 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

テキストに戯曲をもちいて、会話の面白さと、英語の文化を学びつつ語学力をつけていきます。
毎回あてますので予習は必須です。時々、英字新聞のコピーを使用します。

成績評価の方法

授業中の発表等、日常評価と出席率、前期、後期のテストを総合評価します。

教 科 書

『フル・フォア・ラヴ』（鶴見書店）1,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	お お た ゆ き こ 太 田 由 紀 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

豊かな内容を楽しみながら語彙力・読解力を向上させる。

講義の内容・
授業スケジュール

言葉と文学、歴史、自然科学といった様々な分野・領域における英語文化の基礎知識を学ぶ。

履修上の留意点

とにかく熱心に授業参加すること。

成績評価の方法

平常点と前期・後期それぞれの期末試験により総合的に判断する。

教 科 書

E.D.Hirsch, Jr. 著 村田薫 編註 『英語で築く知の礎』（鶴見書店） 1,600円

参 考 書 等

江戸川泰一郎著 『英文法解説』（金子書房） 1,750円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	い で こう い ち 井 出 功 一	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

テキストは、私たちの身のまわりの経済生活の知恵を、平易な英語で綴った『くらしの経済学』である。「お金の役割」、「収入と支出」、「国の経済は誰が動かすか」など私たちのくらしがテーマになっている。

講義の内容・
授業スケジュール

経済学は私たちの日常生活そのものなので、そこに出てくる英文を十分聞いたり、読んだりして、英語を正しく捉える力を養う。内容は、「国の経済は家の経済と同じ」、「お金とは何か」など。

履修上の留意点

全授業日数の3分の2以上の出席、予習、辞書の携帯が必要。

成績評価の方法

前後期テスト、平常テスト、レポート、出席による総合評価。

教 科 書

George Soule 『Economics for Living (くらしの経済学)』(南雲堂)1,400円

参 考 書 等

英語を的確に理解し、表現する能力を高めるため、口語的表現と文語的表現、英米用法の相違、情報量の度合いにまで触れた文法書も使う予定。
『新しい学習英文法』（研究社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	こうべ はるき 神 戸 春 樹	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

英語は、その基礎力の鍛錬がとくに重要なものである。テキストを用いながら、さまざまな角度から、英語の実力の養成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

基本的な英文に触れることにより、英語の実践的な運用を身につけられるように、具体的に説明を加えながら進めていく。

履修上の留意点

積極的に授業に参加してもらうので、必ず予習をしてきてもらいたい。

成績評価の方法

出席率、授業態度、課題の出来具合などにより評価する。授業中の発表、そして前・後期の定期試験によって評価する。出席率と授業中の平常点が50%、前・後期の定期試験が50%で、総合的に決める。

教 科 書

最初の授業で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	まつどう ひろこ 松 堂 啓 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

最新科学に関するトピックを読み、構文の理解力を高め、大意把握の速度を上げていく。

履修上の留意点

予習が必要。

成績評価の方法

試験と出席状況で評価する。

教 科 書

『To the Future - VOA Special English Program』 (マクミランランゲージハウス)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	みうら まり 三 浦 眞 理	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

非常に平易な英語で書いてある文章を、できるだけ速読し、量を多く読むことによって、英文を読む力と内容把握力の向上を図りたいと思います。

ごく基本的な構文及び語句を中・高校生に戻ったつもりで復習し、再確認しながら学習していこうと思います。

講義の内容・授業スケジュール

英語の story を読んで、その内容がある程度把握できるようになることを目標に、ごく簡単な表現で書かれている文を多読し、基礎的にしっかり学習していこうと思います。

また、hearing の練習、さらに、時間が許す限り TOEIC 等の練習をできるだけ行いたいと思います。ごく基礎的な英語を(最初から再学習するつもりで)しっかりとおぼえてもらいます。

テストは学習した章を中心に分割して授業時間中に小テストとして行います。

後期最後に総まとめ試験実施(授業時間中の小テスト重視)

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席(厳守)、授業中の発表、小テスト(70~80%)及び後期試験の結果によりおこないます。

教 科 書

『Twenty Tales』 (成美堂) 1,600円

そ の 他

プリントを使用することもあります。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	<small>い いぬま よしなが</small> 飯 沼 好 永	全学科2年	2

講義のねらい

様々な英語の文章を読みながら、より正確な内容理解と、それに必要な基本的な文法事項も合わせて、修得することに努める。

履修上の留意点

リーディングの力を向上させるには、多くの英文に触れることが大切であるが、受け身の姿勢では、自己の英語力を向上させることは難しいので、積極的に授業に参加して下さい。特に英語に対し苦手意識のある学生は、予習に力を入れて下さい。

成績評価の方法

成績は、出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）

教科書

千葉元信・松尾秀樹・岡崎久美子『Reading Landmarks of the world (英文読解のトレーニング)』(三修社) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	<small>か い か つ こ</small> 甲 斐 捷 子	全学科2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

テキストはアメリカの文化、社会事情を様々な角度から紹介するビデオ教材です。現場の映像と生の音声を通して、臨場感を楽しみながら英語の運用能力を統合的に高めることを目的とします。毎回の授業は、「聞き」、「話し」、「読み」、「書く」総合演習ですが、このクラスでは特にリスニングに重点を置きます。

履修上の留意点

1単元終了時に小テストを行います。これは詳細な復習のためのテストで、本試験と同じような傾向のものです。このテストで70%以上得点できるよう、復習に重点を置いて勉強してください。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達しなかった場合、欠席が1/3を超えた場合、及び前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意してください。

教科書

『Century—Life in New Age』(朝日出版社) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA 〔再クラス〕	<small>ま き の て る よ し</small> 牧 野 輝 良	全学科3年	2

講義のねらい

英語の構文を再度しっかりと学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストの英文を読み、文中に現われた重要な構文、慣用句、単語を正確に習得する。そのために小テストを多く行う。

履修上の留意点

学生はよく自習しておき、指名されたら答えられるように心掛けておくこと。毎時間の練習問題は解答して全員提出すること。

成績評価の方法

成績評価は授業中の成績、小テスト、レポート、期末テスト等を総合して行う。

教科書

田本、サイモン・サナダ 『基本英語表現法』 (成美堂) 1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA 〔再クラス〕	さとう あきこ 佐藤 明子	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

リーディング・リスニング問題を中心に英語の運用能力を高めることを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは、内容読解やリスニングの問題も入った総合テキストです。1回の授業で、1章程度進む予定です。

履修上の留意点

授業ではなるべく多くの学生を指名します。毎回予習を十分にしてくることを望みます。

成績評価の方法

前期・後期試験、平常点、出席状況を総合的に評価します。(ただし出席が3分の1に満たない場合は「不合格」とします)

教 科 書

『Real Life in Britain (イギリスを感じてみよう)』(三修社) 1,850円 (税別)

参 考 書 等

辞書を持ってきて下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA 〔再クラス〕	うつのみや ひでかず 宇都宮 秀和	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

長年英語を教えてきて感じることは、多くの学生諸君が、基本的なことを理解していないということである。上台をきちんと築かないことには、何の役にも立たない。

基本的なこととは、英文の句型、時制、名詞の複数にはSをつける、などのことである。英文を書くことは、論理的な思考の訓練にもなるのである。基本的なことをしっかりとやりたい。

成績評価の方法

成績は平常点とし、期末試験行わない。出席は2/3以上。

教 科 書

プリントを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA 〔再クラス〕	いまい なつひこ 今井 夏彦	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

日常的な場面の中でライティングとオーラル・コミュニケーション能力を養成することを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストに従って1章を2回でこなすことを心がけます。

履修上の留意点

日常のことが「書いて話せる」ようになることを望みます。

成績評価の方法

成績は、出席点、平常点、レポート、期末テストの点などを総合して評価します。

教 科 書

『日常会話英作文』 (成美堂) 1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA 〔再クラス〕	え だ さ ち こ 江 田 幸 子	全 学 科 3 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

読む、書く、聞く、話すの英語運用能力を総合的にバランスよく育成していくのがこの教科の目的です。これらの四大要素を生活の上で実践的に、臨機応変に運用出来るようになることがこの授業の最終的な目標です。従って、使用するテキストを中心に、まず、reading―読解、listening―耳で読む、を徹底し、次にテキスト中の英語表現を応用したwriting―運用、口頭で簡単に発表する―oral presentation in English、の学習プロセスで授業を進めて行きます。

成績評価の方法

前期、後期の定期試験、提出物、適宜行う小テスト等を総合した平均点60点以上、全授業回数の2/3以上の出席をもって合格点としますが、平常授業内での努力点も合わせて評価しますので、授業毎の学習―予習、発表―に対して熱心な姿勢で臨むことが望まれます。語学の習得には学習の地道な積み重ねが必要不可欠なので、このことは特に強調しておきたいと思います。

教 科 書

David E. Bramley 河合忠仁『Basic English for Communication (英会話のためのコミュニケーション英作文)』(松柏社) 1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA 〔再クラス〕	さ さ く ら さ だ お 笹 倉 貞 夫	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

近年ますます国際化・ボーダーレス化していく現代社会に即応し得るような洗練された国際感覚の育成とともに、実践的な英語運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

平易な現代アメリカ口語英語で書かれたテキストを用いて、英語による文章表現を学びながら、英語による実践的な英語表現能力の育成に努めたい。従って、随時、英文による物語の内容要約を課すことがある。(リスニング教材併用)

履修上の留意点

予習・出席重視、常時英和辞典持参。

成績評価の方法

前・後期末テストの他、内容要約の英文レポート随時提出していただき、出席状況等々も勘案しながら総合的に最終評価を出す。

教 科 書

Pearl S. Buck 『The Story Bible』 (太陽社) 1,422円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA 〔再クラス〕	い い の ぶ ひ こ 井 伊 順 彦	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

バラエティに富む楽しいテキストで、言葉の4技能をのばすとともに、現代アメリカの若者文化に触れる。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回テープをいやになるほど聞いてもらう。また、速読力や文法力の養成にも力を注ぐ。ときには授業の最後にビデオを観てアメリカ文化への理解を深め、同時に聞き取りの力をつける練習もおこなう。

履修上の留意点

毎回かなりの人数の諸君に何らかの形で答えてもらい、それを平常活動とする。発音のチェックもおこないたい。

成績評価の方法

数回の小テスト、平常活動、出席数を組み合わせて評価するが、詳細は教室で。

教 科 書

『Real-life Scenes of Young Americans (アメリカの若者とライフスタイル)』 (成美堂) 1,700円+税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA 〔再クラス〕	おがさわら りゅうげん 小笠原 隆 元	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

これまで7～8年間学んだ英語力を生かして、英語による意志伝達、運用能力の向上を目標としたいが受講生の実力は各人各様と思われるので、日英両語によるレポート提出で各自の自己主張、表現力向上をめざしたい。

履修上の留意点

初回時の授業で諸資料配布と実力考査を実施したいので必ず出席してください。

成績評価の方法

再クラスは出席率が一定しないが成績は総合評価、受講者は各自、最大限の努力をして下さい。

教 科 書

テキストは『コミュニケーション ナウ』（南雲堂）1,300円
他にプリントコピーを適宜配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA 〔再クラス〕	やそぎ ひろゆき 八十木 裕 幸	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

よく使われる語彙を効果的に増やし、より豊かな英語表現ができるようになることを目的とします。プリントでは間違いや不自然な使い方の例題を取り上げライティングの向上を目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

類義語、改まった表現とくだけた表現、コミュニケーションと基本動詞の表現、比喩的表現とイデオム表現、日英表現の比較、複合語などを取り扱います。並行してプリントで補いながら授業を進めます。

履修上の留意点

毎回指名して授業展開をしますので確実に予習をしてきてください。

成績評価の方法

前期・後期のテスト、小テスト、レポート、出席状況（1回欠席＝5点減点）などを総合的に判断し評価します。

教 科 書

石黒昭博他『語彙・表現力のアップの総合演習』（英宝社）1,680円
プリント

参 考 書 等

最初の授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA 〔再クラス〕	とのいけ かずこ 外 池 一 子	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

現在日本や世界でいろいろ議論を巻き起こしているテーマを取り上げて、それらの問題について英語で自分の考えを述べられるようになることを目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

基本的にはテキストに従って進みますが、必要に応じて英字新聞や英語のニュース、討論番組のビデオなども使います。ディスカッションやディベートの意見の組み立て方についても訓練します。

履修上の留意点

テーマは皆さんの身近な問題です。授業の前にある程度自分の意見をまとめておいて積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2～3回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教 科 書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA 〔再クラス〕	いわた ようこ 岩田 洋子	全学科3年	2

講義のねらい

「文は人なり」時間・空間をこえて、書物の＝言葉＝人との出会いには、無上の喜びがある。先人達人たちの簡潔鮮明な表現から、①単なる知識だけでなく知恵を学びとること。②選び抜かれた絶対的一語一語から修辞法を学ぶ。③言葉は言霊（ことだま）。頭だけで覚えるものではない。感得するもの、体得するものである。言葉にも音色や香りや匂いがあることを学びたい。“Who Said That?”が真実なるもの、美しいもの、素晴らしいものとの出会いになれば…“The truth makes you free!”かもしれない。授業は徹底的な演習形式で行う。

成績評価の方法

毎回の出席状況、平常点、提出物、前期・後期の試験の結果等を総合して行う。

教科書

Jim Kinderson 著 九頭見一士 注 『"Who said That?" A Book of Famous Quotations (名句で英語を学ぶ)』(南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA 〔再クラス〕	やまぎし じろう 山岸 二郎	全学科3年	2

講義のねらい

大学生の日常生活を英文で表現しよう。言語学習は通常 Listening、Speaking、Reading、Writingの順に展開する。ここで四領域に分けたのも便宜上のことで、実施の学習は相互に影響し合って、すすめられる。あるレベル以上になると四技能は一体となる。そうになると言語は大きな力を発揮し、思考力の発達を促す。このときReadingは、知識の吸収と、それに基づく思索の世界を形成する上で、中心的役割を課す。Writingは、書く事柄について反省・整理し、それを説得力ある言葉で、明快にあるいは情緒的に表現する訳である。教室ではそのための準備として、日標に掲げたような身近な英語表現能力の向上を目指す。

成績評価の方法

出席を重視する。平常の学習、小テスト、テストその他総合的に評価する。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB 〔再クラス〕	やまがた ゆたか 山縣 裕	禅・仏教3年	2

講義のねらい

ビデオの助けを借りて、CNNのニュースを読む。

履修上の留意点

6回以上欠席した者には原則として単位を与えない。

成績評価の方法

出席点・中間テスト・期末テスト・小テストなどから総合的に評価する。

教科書

関西大学英語教育研究会編著『CNN：ビデオで見る世界のニュース』（朝日出版社）1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB 〔再クラス〕	おぶせ けさぞう 小布施 圭佐三	禪・仏教3年	2

講義のねらい

読むためのスキル (skill) として、英文構成の理解・語彙力・内容予測・大意把握・趣旨判別などの力を養成します。

講義の内容・
授業スケジュール

教材内容は比較文化が中心となっており、文化の裾野を広げることができます。
前期: Lesson 1 (p.1) ~Lesson 10 (p.42)
後期: Lesson 11 (p.43) ~Lesson 20 (p.86)

履修上の留意点

予習の励行・レポーター制の採用・英語の辞書持参など。

成績評価の方法

出席点/レポーター点/試験(前・後期)などを加味して総合評価します。

教 科 書

Alan Turney/川辺康男 『Seeing More of the World』 (SEIBIDO) 1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB 〔再クラス〕	いわい ひろみ 岩井 洋美	禪・仏教3年	2

講義のねらい

様々な英文を通して、実用的な英語の力をつけていく。

講義の内容・
授業スケジュール

英文を日本語に訳しながら読み進めていくリーディングだけではなく、旅行などで外国へ行った時に見るインフォメーションや案内といったものの大意を把握し、必要な情報を得るといったリーディングも行う。また、異文化についての知識も深めたい。

履修上の留意点

第一回目の授業からの出席。

成績評価の方法

出席とクラス内のテスト50%、前期、後期試験50%で評価する。

教 科 書

北尾・S・キャスリーン、北尾謙治『アメリカ実際生活一会話と読解一』 (朝日出版社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB 〔再クラス〕	かわて ひろかず 川手 浩一	禪・仏教3年	2

講義のねらい

外国語を学習する目的はその国の文化を知ることにある。
今や世界はせまくなり、自国の文化のみにとらわれては日常生活すらできなくなっている。
特に英語は世界各地で使いやすい言葉として国際語の役割をはたしている。

講義の内容・
授業スケジュール

ここでは主として読解力に重点をおいているが、重要な単語、イディオム、構文などを英文の中にちりばめて、多様性に富んだ学習ができるようにしてある。

成績評価の方法

出席、レポート、テストなど総合評価である。

教 科 書

Tuyoshi Tiba 『Prosperous Life [豊かな生活]』 (Naï Undo) 1,900円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB 〔再クラス〕	お お た み ち こ 太 田 美 智 子	禅・仏教3年	2

講義のねらい

コミュニケーションの手段として英語を使えるようになることを目的とします。
具体的には伝達内容を正しく速く把握するための訓練を行う予定です。

講義の内容・
授業スケジュール

我々人間にとっても興味深い動物の生態について読みます。さらに、毎回リスニングの練習も積みます。歌、映画、ニュースなどの様々な素材から幅広く学ぶつもりです。

履修上の留意点

必ず予習し、真摯な態度で授業にのぞむこと。単位の取得ではなく、各々の実力を向上させることが目的であるということを銘記して下さい。

成績評価の方法

平常点、授業中の態度、予習の有無、レポートの内容、等々からの総合評価。

教 科 書

『Animal Watching』 (南雲堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB 〔再クラス〕	お ち あ い か ず あ き 落 合 和 昭	禅・仏教3年	2

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級(英検準二級、二級、準一級)程度とし、現代口語英語で書かれた文章とヒヤリングを通して、口語表現に慣れ、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験(英検、TOEIC、TOEFL 等)の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階はそのなかで、使用されている慣用表現の意味や用法を、テキストを通して、確認する。第三段階は、学生に会話文の発音練習をしてもらう。

履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

成績評価の方法

前・後期定期試験が全評価の40%、課題・授業中の発表等が60%(課題は年間約10回程度提出。授業中の発表等に関しては、全員に一回の授業に最低一回は当てるつもりでいる。)出席率が三分の二を超えなければ、成績は「不可」とする。

教 科 書

- 『決まり文句書取り練習帳』(鶴見書店) 800円
- 『ネイティブ英語の慣用表現(2)』(マクミラン) 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB 〔再クラス〕	か わ ま た よ う た ろ う 川 股 陽 太 郎	禅・仏教3年	2

講義のねらい

IBを基礎として英語の読解力をやしなう。

講義の内容・
授業スケジュール

より高度な英語の読解力をやしなうと同時に、大意の把握練習をする。
ビデオ等も使用する。

履修上の留意点

3分の2以上出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

発表、小テスト、定期試験の成績を総合し評価する。

教 科 書

プリント教材を適宜配布、使用する、教科書は未定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB 〔再クラス〕	かわうち けんりゆう 河 内 賢 隆	禪・仏教3年	2

講義の内容・
授業スケジュール

本テキストは身近な話題を易しい英語で取り上げている。英字新聞の記事としては、全く初歩的なものである。再クラスだけに、文法事項や語法などを詳しく解説しながら、スローペースですすめる。

成績評価の方法

出席点と発表点（年間3回以上）を重視する。前者30、後者30に定期試験の二回の点数を加える。良い結果が出なくとも、努力している姿を見せて欲しい。

教 科 書

『やさしい英語ニュース』（成美堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB 〔再クラス〕	ほんま としかず 本 間 俊 一	禪・仏教3年	2

講義の内容・
授業スケジュール

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教 科 書

『Checknote For Business Trends』（金星堂） 1,100円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB 〔再クラス〕	あさかわ まき 朝 川 真 紀	禪・仏教3年	2

講義の内容・
授業スケジュール

国際的な視野を養いながら実用的な英語力を身につけること、英文を速く正確に読める能力を養うことを目的とする。授業ではニュース記事を扱ったテキストと、英字新聞を読んで行く。

成績評価の方法

評価は出席・平常点40%、前期後期試験60%とする。出席が3分の2に満たない者は不合格とする。

教 科 書

『やさしいニュース英語 2002/2003』（成美堂） 1,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB 〔再クラス〕	にしだ よしかず 西 田 義 和	禅・仏教3年	2

講義の内容・
授業スケジュール

この授業では質的な深さの精読だけではなく、読解力の量的幅の拡大も含めて、総合的に学習しながら、読解力を養成する。

英語に限らず、外国語を読むとき文法をはじめ語いなど重要な要素があるが、それ以外にも文化的な背景なども重要な役割を果たしている。表現や文法に注意するだけでなく、敏速に大意・要点をつかみながら授業を進める。学生諸君の知識で容易に読みこなせるテキストを採用する。時として未習の語句等があると思うが、文脈からそれらの意味は容易に理解できよう。

成績評価の方法

出席率を重要視し、中間試験・期末試験、普段の授業態度等を総合して評価する。原則として授業回数の3分の1以上欠席した場合は不合格とする。

教 科 書

開講時に指示する。

そ の 他

上記にあげたことを最初の授業でさらに詳しく説明するので必ず出席するように。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅠA 〔再クラス〕	しばのひろこ 柴 野 博 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

この授業は、初級文法の最も基本的な事柄のみを重点的に教え、ドイツ語の大枠がつかめるようにすることを目標にしています。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強には、特に初級では、一步一步積み重ねて行くことが非常に大切です。従ってできるだけ休まずに出席することを希望します。

成績評価の方法

試験は、年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教 科 書

大岩信太郎『ドイツ文法のかなめ（新装版）』（三修社） 1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅠA 〔再クラス〕	のじま としあき 野 島 利 彰	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

ドイツ語の文法を理解するにはドイツ語で簡単な作文練習をすることが非常に役に立ちます。この授業では作文問題を中心に文法の授業を行います。

成績評価の方法

教科書の作文問題を毎回宿題とします。宿題を提出して初めて出席とします。成績評価は定期試験と宿題の総合評価によります。

教 科 書

横山靖『ドイツ語の作文と文法』（郁堂文堂） 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠA 〔再クラス〕	織 田 繁 美 <small>お だ し げ み</small>	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

文法と聞くと、どうも面白くないという気持ちが先だち、勉強意欲が湧かないと思う学生が多いと思われるが、ドイツ語の会話では恐らく英語以上に正しい文法が要求されると思われる。美しいドイツ語の言葉が電話を通じて快く感じるのも、高度な文法をこなして話しかけてくるからである。

講義の内容・
授業スケジュール

この授業では教科書を用いるが、副教材としてドイツの日常生活を題材としたプリントを用いて文法事項の理解に役立てたい。前期は単純な文の構成を主に扱うが、後期になると、文体として少し複雑になるが、あくまで前期に学んだことが土台になるので、真面目に出席している学生には、演習が苦になるどころか、むしろ興味さえ感じ、楽しく思えるようになると思う。

成績評価の方法

前期、後期の試験も勿論考慮されるが、平常点に重きが置かれるので、出席が大切である。

教 科 書

高橋 『わかりやすいドイツ文法』 (芸林書房) 1,300円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠA 〔再クラス〕	栗 原 万 修 <small>くり はら かず の ぶ</small>	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

このクラスの受講者は、すでに初級ドイツ語は終了しているはずですが、〔再クラス〕ですので、最初からのつもりで、できるだけ丁寧に、わかりやすく説明します。ただし、外国語は継続的に勉強しないと習得できませんので、出席を重視します。欠席を続けると名簿から名前を抹消し、再び<再履修>となります。

成績評価の方法

成績評価は、テストのほか、平常の教場での学習意欲、さらに出欠等も含め、すべてを総合して判断します。

教 科 書

大岩信太郎 『快速ドイツ文法』 (朝日出版社) 2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠA 〔再クラス〕	い が ら し の ぶ こ 五十嵐 信 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な文法を理解し、これを身につけます。一年間で一通りの文法をマスターし、ドイツ語の文章を辞書をひきながら読むことができるようになります。そのことにより、ドイツ語圏のさまざまな文化現象への関心、理解がふかまり、一そう広い視野を獲得することができます。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) くり返しテープを聞き、また声に出して言うことで、ドイツ語の正しい発音を身につけます。
- 2) ドイツ文法の基本を理解し、文法の各項目の例文、練習問題を読み解くことでしっかり覚えこみます。
- 3) やさしいドイツ語会話ができるようになります。

履修上の留意点

学生諸君にのぞむこと
新しい言葉を学ぶことは本来楽しいことです。しかし言語は、どの部分も欠くことのできない一つの建造物に似ています。柱一本抜けても傾いてしまう、それゆえこの時間は休まず出席して下さい。

成績評価の方法

年2回の定期試験および時間内の小テスト、これに出席や授業への参加態度などを加えて評価します。

教 科 書

在間進・納谷昌宏・清野智明『明るく楽しくドイツ語を！』(改訂版)(三修社)1,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅠB 〔再クラス〕	やぶした こういち 藪 下 紘 一	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

初級ドイツ語の復習をしましょう。今年で絶対ⅠBの単位をとるぞ、と肝に銘じて、普段辞書をひいて教室に来てください。

成績評価の方法

成績は教室で、皆さんに発表してもらった平常点と、7月及び1月の試験の成績の合計で評価します。

教 科 書

佐藤洋子 他 『シュリット・フェア・シュリット』 (白水社) 1,500円

そ の 他

月曜日 5時限目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅠB 〔再クラス〕	まつおか すずむ 松 岡 晋	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

あまり難しくないドイツ文を読み通すことによって、同時に、初等文法の復習も行おう、というのがこの授業の目指すところです。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は下記の教科書に即して行われます。各課は読章(1ページからなるドイツ語の文章)、文法説明および練習問題からなっています。文法説明は最小限にとどめ、ドイツ文の読解と簡単な文章での表現練習に専念します。独和辞典を毎回、必ず持参してください。

履修上の留意点

再履修する羽目になった理由は、たいていの場合、出席不足です。今年こそ規則的に出席してください。さほど難しくない教科書をゆっくり進めますので。

成績評価の方法

成績評価は、最低限二回以上行われる筆記試験および平常点(出席率、担当箇所の和訳をきちんと行ったかどうか等々)によって行います。

教 科 書

入谷幸江ほか著『ドイツ語コミュニケーション 独検4級対応』(三修社) 2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅠB 〔再クラス〕	やぶした こういち 藪 下 紘 一	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

初級ドイツ語の復習をしましょう。今年で絶対ⅠBの単位をとるぞ、と肝に銘じて、普段辞書をひいて教室に来て下さい。

成績評価の方法

成績は、教室で皆さんに発表してもらった平常点と、7月及び1月の試験の成績の合計で評価します。

教 科 書

浦野・酒井 『ドイツユラント・ライヴ』 (有久堂) 500円

そ の 他

水曜日 2時限目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅠB 〔再クラス〕	すぎもと まさとし 杉 本 正 俊	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

「再」クラスではあるが、学生がドイツ語を「全く知らない」事を前提に、発音と文法を初めからやり直し、その知識を基礎にドイツ語の文を読む練習をする。

講義の内容・
授業スケジュール

一年でいちおう初級文法のすべてを終え、それに対応したドイツ語の文を読むつもりです。

履修上の留意点

学生諸君は、必ずしも予習は要求されない。しかし授業中は勉強に集中する。また、負担にならない程度の課題が時々出るが、きちんとこなして行けば力が付くと思う。学生の理解力に応じた授業を行うので修得すべき事項は何度でも反復説明します。

成績評価の方法

前後期2回の大テストの他、随時小テストを行う。平常点もかなり重視する。

教 科 書

桐川修 岸川良蔵 『ドイツ語のアウトライン』 (東洋出版) 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅡA 〔再クラス〕	しばのひろこ 柴 野 博 子	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

この時期は、初級文法で習った事柄を復習しながら、ある程度まとまった、やさしい文章を読んで行きます。テキストは、はじめてドイツに留学した日本の大学生の〈異文化との出会い〉を扱ったものです。

履修上の留意点

ドイツ語の学習は、一步一步積み重ねて行くことが非常に大切です。従ってできるだけ休まずに出席して下さい。

成績評価の方法

試験は、年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教 科 書

岩崎英二郎・山路朝彦・Wolf Gewehr『留学生のみたドイツ』(朝日出版社) 1,748円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅡA 〔再クラス〕	もとほし うきょう 本 橋 右 京	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

初級文法項目を確認しながら、比較的やさしいテキストを読むことで、読解力を高めてゆきます。

講義の内容・
授業スケジュール

ドイツ語のやさしい文章にできるだけ多く触れ、基本的な語彙や枠組みを習得していきます。その過程で、ドイツ語圏の社会や文化についても学びます。

毎時間CD-ROMを利用します。まずは、発音・数字・日常的な表現等から始め、徐々に基本的な語彙や表現、文法事項を確実なものにします。

履修上の留意点

みなさんの積極的な学習を希望します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教 科 書

Schlecht&三室 CD-ROMブック 『パソコンで学ぶドイツ語 ハロー、ヴィーゲーツ?』(三修社) 4,800円

そ の 他

スライド、テープなど。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅡA 〔再クラス〕	すぎもと まさとし 杉 本 正 俊	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

発音と、初級文法をはじめからやり直し、その知識を土台にして、やさしいドイツ語の文を読む練習をする。

講義の内容・
授業スケジュール

一年間でいちおう初級文法の必要知識をすべて与え、それに応じたドイツ語の文を読むつもりです。学生の理解力に応じた授業を行うので、難解な事項は何度でも反復説明します。

履修上の留意点

学生の皆さんには必ずしも予習は要求しません。しかし授業中は勉強に集中して下さい。また時々負担にならない程度のやさしい課題を出しますが、きちんとこなして行けば力がつくと思います。

成績評価の方法

前後2回の大テストの他随時小テストを行い、平常点もかなり重視する。

教 科 書

志田裕朗・羽根田知子 『コンタクトドイツ語』 (三修社) 2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	やぶした こういち 藪 下 紘 一	禅・仏教3年	2

講義のねらい

ドイツ語中級の復習をしましょう。今年こそⅡBの単位をとるぞと、肝に銘じて、普段辞書をひいて教室に来て下さい。

教 科 書

内藤 『中級・小文法読本』 (同学社) 650円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	ちもずみ いさむ 百 濟 勇	禅・仏教3年	2

講義の内容・
授業スケジュール

1991年以来、ベルリン・ドイツ経済研究所の客員研究員をしているが、そこではドイツ人以外の外国の学生、院生も実習生として研修している。そこで共通していることは、学習、研究の目的意識が明確であること、さらに外国語修得が優れていることだ。これまで習った蓄積を基礎にして、さらに使えるドイツ語の修得を目指す。ドイツ語・英会話を併存させる。毎回、何等かの形でテストを行う。

成績評価の方法

平常点で採点、期末試験は行わない。

教 科 書

プリント配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	もと はし う き よ う 本 橋 右 京	禪・仏教3年	2

講義のねらい

伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがって、やさしい文章をできるだけ多く読み、運用能力の涵養を期します。

講義の内容・
授業スケジュール

文法を初めから復習し、場合によっては補足します。文法面からドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた簡単な文法表現を覚え、練習問題でもって理解を確実なものとしします。

履修上の留意点

みなさんの予習や授業中の発表など積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教 科 書

未定

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅠA 〔再クラス〕	す が や さ と ろ 菅 谷 暁	全学科2年	2

講義のねらい

フランス語文法の基本を勉強します。

成績評価の方法

前期末と後期末の試験、および小テストによります。

教 科 書

瀬倉他著 『新世紀グラシス』（駿河台出版社） 2,500円
『基本問題集』（駿河台出版社） 300円

そ の 他

教室でのさまざまな練習を軸に授業を進めるので、休まずに出席することが非常に重要です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅠA 〔再クラス〕	あ し は ら けん 芦 原 眷	全学科2年	2

講義のねらい

1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

教 科 書

『キャロット』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語Ⅰ A 〔再クラス〕	たけだまさずみ 竹 田 正 純	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

クラスの性質上、文法の復習が中心となるが、反復練習によって基礎的事項の徹底理解を目指す。可能なかぎり、個別指導を心懸けていくつもりである。

成績評価の方法

前・後期の最終日のテストを中心に評価するが、平常授業での課題も真面目に取り組んでほしい。

教 科 書

内藤他 『フランス語へのパスポート』（白水社）1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語Ⅰ A 〔再クラス〕	こだまなりお 小 玉 齊 夫	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

フランス語文法の復習です。文の仕組みの基礎を知る授業ですから、単純に繰り返して記憶する項目が多くなりますが、可能なかぎり、多様な観点から、フランス語の表現を覚えていくようにしたいと思います。

 講義の内容・
授業スケジュール

一回の授業で一課あるいは二課ほど、進んでいくことになります。全課を終えると、同時に、フランスの各地域の概観を知ることにも出来るようになっていきます。文化的な面での知識も獲得できるようにしたいと思います。

履修上の留意点

予習・復習をきちんと行うこと。特別な場合を除いて、授業には必ず出席すること。

成績評価の方法

随時行われる小テストと、前期・後期の試験によって成績評価をします。

教 科 書

青木『エグザゴヌ』（駿河台出版社）1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語Ⅰ A 〔再クラス〕	はせがわみつあき 長 谷 川 光 明	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

フランス語の基礎の習得。

 講義の内容・
授業スケジュール

もう一度ゼロから、しっかり確認していきましょう。あまり無理をしないで、基礎力を確実に身につけることをめざします。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業における評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教 科 書

山村嘉己他 『ジュタンプラス』（朝日出版社）2,000円

参 考 書 等

そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠB 〔再クラス〕	まえだ のりかず 前 田 祝 一	全学科2年	2

講義のねらい

2年生が対象とはいえ、初めてフランス語を勉強するものとして、発音・綴字の読み方など、一番の基礎から開始します。

講義の内容・
授業スケジュール

練習問題などをていねいにクリアし、その積み重ねで少しずつ理解を深めてもらいます。

履修上の留意点

毎週の授業が、それまでの学習の成果の上に成り立っているのですから、つまり毎週新しいことの勉強が始まるのですから、欠席しないように努力してください。欠席すれば取り残されるものと覚悟すること。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストを基本に成績を評価します。しかし教室での課題、出席状況にも配慮します。

教科書

滑川他編 『ポケットにフランス語 改訂版』 (第三書房) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠB 〔再クラス〕	いませき 今 関 ア ン	全学科2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

練習問題(口頭、聞き取り、作文)を中心に進めてゆく。

履修上の留意点

学習者主体の授業なので、積極的な参加を切望する。もちろん欠席など論外である。授業終了時にその日の成果を提出してもらい、これをもって出席とみなすつもりである。

成績評価の方法

平常点により評価するので、毎回出席すること。
辞書、教科書を必ず持ってくること。

教科書

藤田裕二著 『新・えすかるご1』 (朝日出版社)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠB 〔再クラス〕	もりもと のぶこ 森 本 信 子	全学科2年	2

講義のねらい

フランス語に対する苦手意識を取り除くことが主眼。あまり複雑な文法の解説をせずに会話的な表現をどんどん使っていく、活気ある授業にしたい。学生同志のペアワーク、グループワークを活用しながら、参加型の授業にするつもりである。1年学習した後は、フランス語に対して自分なりの達成感を持てる様努力したい。

履修上の留意点

とにかく授業に欠かさず出て、毎回何かをつかんで教室を出ていけるように、積極的な参加を強く望んでいる。

成績評価の方法

授業での取り組み方、小テスト点、期末テスト点、出席点等を統合して評価する。最も重視するのは出席である。

教科書

『C'est facile!』(三修社)

参考書等

参考書等は授業内で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅠB 〔再クラス〕	はせがわ みつあき 長谷川 光 明	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

実用的な会話文を通じてフランス語の基礎を学習します。

 講義の内容・
授業スケジュール

旅行の場面と実際に活用できる表現を用いて文法事項を再確認していきます。各項目を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。練習問題の答案提出によって出欠をとります。試験は前期と後期二回行います。

履修上の留意点

フランス語にまず音からなじんでいくために、授業中はテープに従ってなるべく大きな声で発音することが望まれます。教科書付属のCDを習慣的に聴くことも必要です。辞書は必ず持参してください。

成績評価の方法

前期後期試験及び平常点。

教 科 書

林田遼右 『テキスト版 パリ散歩』 (朝日出版社) 2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅠB 〔再クラス〕	たにかわ 谷 川 かおる	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

旅行で使うフランス語を通じて、フランス語の基礎からゆっくりやり直します。

 講義の内容・
授業スケジュール

まず、旅行のさまざまな場面で必要とされるフランス語表現を暗記し、関連する文法を習得します。基本が理解できたら練習問題に取り組み、応用表現を学びます。毎週授業の最後に、暗記のための小テストを行います。

履修上の留意点

教科書に付属するカセットテープをなるべく繰り返し聴き、耳からフランス語に親しむようにして下さい。

成績評価の方法

前期・後期試験および毎週の小テスト。

教 科 書

瀬戸秀一・瀬戸和子 『街かどのフランス語』新訂版 (朝日出版社) 2,100円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA 〔再クラス〕	はたなか ちあき 畑 中 千 晶	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

フランス文化についての短い読み物を読み進めながら、同時に、話す力、書く力につながるように、文法を復習する。

履修上の留意点

出席重視。長時間にわたって、連絡もせず、また、理由なく休んだ場合は、単位を放棄したものと見なすので、注意すること。成績はクラス内の小テスト、前期末、学年末テストなどから総合的に評価する。

教 科 書

澤田直之・リリアヌ・ラタンジオ・黒川学著『アミカルマン—フランス語・フランス文化への誘い』(駿河台出版社) 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA 〔再クラス〕	ぬまくら ひろこ 沼 倉 広 子	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

辞書を使いこなして、文章を読む力をつける。

講義の内容・
授業スケジュール

文化、地理、スポーツなどを題材にフランスの現在を知る。

履修上の留意点

文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要。

成績評価の方法

前後期とも試験を行うが、平常点も重視する。

教 科 書

クリスチャン・ボームルー著『時事フランス語』（2002年度版）（朝日出版社）1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA 〔再クラス〕	たにかわ 谷 川 かおる	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

フランス語の基本文法を復習し、中級程度のフランス語が読めるようになることを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

ごく基本的な文法の復習から始め、簡単な読み物を読みます。後期には、出席者と相談の上、簡単な新聞記事など、少し本格的なフランス語に取り組む予定です。

履修上の留意点

指定の予習箇所は必ず予習してきて下さい。

成績評価の方法

前期・後期試験および小テスト。

教 科 書

牛場由紀子 『小説への旅立ち』（朝日出版社）2,100円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡB 〔再クラス〕	とおやま ひろお 遠 山 博 雄	禅・仏教3年	2

講義のねらい

ごくやさしい文章やスケッチを読み、会話的表現を覚えること。

講義の内容・
授業スケジュール

最小限の文法知識を復習して身につけ、辞書を片手に調べて読み、かつ繰り返し発声練習をしていきます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、声を出すこと。

成績評価の方法

2回の筆記もしくは口述試験を行います。

教 科 書

中井珠子他著 『発見！フランス語教室』（第三書房）2,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡB 〔再クラス〕	沼 倉 広 子 <small>ぬまくらひろこ</small>	禅・仏教3年	2

講義のねらい

辞書を使いこなして読解力をつける。

講義の内容・
授業スケジュール

フランス語圏の学生たちのために書かれた歴史、文学、文化、経済など多岐にわたる内容のテキストを使用する。

履修上の留意点

文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要。

成績評価の方法

前後期とも試験を行うが、平常点も重視する。

教 科 書

特に決めず、その都度プリントを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡB 〔再クラス〕	長 谷 川 光 明 <small>はせがわみつあき</small>	禅・仏教3年	2

講義のねらい

フランス語中級

講義の内容・
授業スケジュール

フランス語の基礎を復習・確認しながら、平易な文章を読んでいます。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教 科 書

野村訓子他『アニエスの日々』（駿河台出版社）1,800円

参 考 書 等

そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	こ ぎよくか 胡 玉 華	全学科2年	2

講義のねらい

中国語の発音の仕組み、発音の方法、中国式ローマ字の発音表記（ピンイン）を理解しながら、繰り返し聞き発音し、中国語の発音の仕方を修得する。音声を通して、基礎的な単語や単語の結び付き方、配列順序、基本的な文句や表現を学び、簡単な文章や会話を「聞き」・「話す」基礎力を養成する。コトバだけではなく、コトバの勉強を通じて中国或いは中国文化への理解を高めることを期待する。

講義の内容・授業スケジュール

前期の前半は、発音の基礎の習得が中心となり、ピンイン表記の通りに正確な発音ができるようにする。前期の後半は、発音を復習しながら、本文を通じて簡単な日常あいさつができるようにする。後期は、本文の学習によって、初級レベルの基本的な文の構造、語彙、文法を習得し、聞き、話し、読み、書く能力をバランスよく身につけるようにする。

履修上の留意点

発音の習得には授業への出席と復習がカギとなる。故に出席と復習を心掛けてほしい。

成績評価の方法

「A+α」制で評価する。「A」は、平常の小テスト（発音チェック、単語テストなど）及び定期試験による評価、「α」は、出席状況、宿題の出来具合、授業中の積極性などによる評価。学ぶ側と教える側が共に楽しい授業になるように、授業中の積極性を高く評価したい。

教科書

渡辺晴夫・楊幸雄・高村麻実 著 『(改訂版)フレッシュ中国語』 (白水社) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	ひらいし よしこ 平 石 淑 子	全学科2年	2

講義のねらい

中国語の基礎的な発音、文法の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

比較的やさしいテキストを用い、練習問題や小テストなどによって内容の習得をはかる。

履修上の留意点

①四分の三以上の出席を求める。②必ず予習・復習をすること。③授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

小テストなどを含む平常点、及び期末試験による。

教科書

方如偉他著 『中国語10課』 (白水社) 1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	まつもと あつとし 松 本 丁 俊	全学科2年	2

講義の内容・授業スケジュール

最初は発音篇1～11課まで基本発音を覚える。つづいて本篇に入るが、日本人が中国家庭を訪問するという設定で、会話を通じて文法・文型の基礎を学んでゆく。

教科書

植田渥雄著 『八木さんの中国家庭訪問—会話で学ぶ発音と文法の基礎』 (金星堂) 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	かまや おさむ 釜屋 修	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

中国語の発音、ピンイン表記、文法の基礎をあらためて再学習するが、目標はⅠA、ⅠBに同じ。

履修上の留意点

前年度ⅠA、ⅠBの挫折の原因をしっかりと総括し、前向きの学習姿勢であらたな一年に挑戦すること。散漫な出席は許されない。とりわけ高学年次生は注意されたい。

成績評価の方法

平常点、出席点、小テスト、前・後期の期末考査により総合的に判定する。

教 科 書

荒川清秀・許秋寒・上野由紀子『中国語スケッチ15』（朝日出版社）CD付き2,200円

参 考 書 等

辞書は開講後に解説する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	さと ふみこ 佐藤 普美子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

中国語の基礎になる発音、語彙、基本文法をしっかり身につける。中国式ローマ字表記（ピンイン）を正確に読み、書けるようにする。

履修上の留意点

授業時は、耳、口はもちろん、手もフルに活用して言葉の整理定着をはかるので、気力及び体力がないと継続受講は難しくなるだろう。覚悟が必要。

成績評価の方法

学期末テストも行うが、小テスト、平常点（出席、授業時の意欲）を重視する。

教 科 書

野澤俊敬監修 『中国語レッスンA・B・C』（白帝社） 2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	あまの せつ 天野 節	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

文法を踏まえ、「読む」、「聞く」、「書く」、「話す」という四技能を関連付けながら学習して行けるように援助していく。最終的には、独学でも学習を継続していけるような基本的能力を修得することがねらいである。

履修上の留意点

最後まで学習を継続する決意をして授業にのぞんで欲しい。

成績評価の方法

出席、授業態度、小テスト等の平常点と期末テストの結果を合せ、総合して評価する。

教 科 書

榎本英雄『できる中国語』（同学社）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	おぎし まさこ 根 岸 政 子	全学科2年	2

講義のねらい

中国語の正しい発音と基本文法を習得する。

履修上の留意点

最初の1ヶ月は中国語の発音を確認しながら進むので、必ず出席すること。学習したことがちゃんと身についているかを確認するために随時小テストを行う。

成績評価の方法

前期後期のテストおよび小テスト、出席状況などで評価する。

教科書

是水駿・陳薇 『中国語入門 晶子さんのホームステイ』(郁文堂) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	さくらば かずのり 櫻 庭 和 典	全学科2年	2

講義のねらい

日常生活でよく使う表現を選び、実生活に役立つ基礎的な中国語会話の習得を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

始めは、発音(四声)・ピンイン表記(中国式ローマ字)の習得に重きをおき、初歩的な語法にはいり、平易な文型を通して表現力を高める。中国語文の反復・応用練習・暗誦により基礎語学の向上を計る。

履修上の留意点

授業の開始までに、教科書・辞書を必ず購入すること。

成績評価の方法

平常評価(授業態度・出席日数)、小テスト、学期末テスト(前期、後期各一回)。出席日数の足りない場合受験資格を失うため注意すること。欠席・遅刻は日数により減点する。

教科書

小川郁夫著 『中国語初級対話64』(白帝社) 1,550円

参考書等

辞書は当然必要ないが、必要になったら授業のなかで紹介する。

その他

授業中の私語は厳禁とする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	そう た い わ 曹 泰 和	全学科2年	2

講義のねらい

中国語の基礎的な発音、基本文法をしっかり身につける。

履修上の留意点

4分の3以上の出席と、元気よく、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。

教科書

楊凱榮・張麗群著『身につく中国語』(白帝社) 2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	り 李 うん 雲	全学科2年	2

講義のねらい

基礎文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書

尹景春・竹島毅 『中国語はじめの一步』(白水社) 2,200円

その他

内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	く 工 どう 藤 さ 早 え 恵	全学科2年	2

講義のねらい

中国語学習の基礎となる発音をしっかりマスターした後、基本的な語彙や文法を身につける。

履修上の留意点

語学は積み重ねである。欠席せずに最後まできちんと授業に出ることが大切である。

成績評価の方法

出席状況、平常点、小テスト、定期試験によって総合的に評価する。

教科書

相原茂等著 『学ビテ時ニ之ヲ習フ』(好文出版) 2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	お が 小 わ 川 た か し 隆	全学科2年	2

履修上の留意点

発音と文法の基礎をゼロから学び直す。1年生のとき、なぜ失敗したか、自分でその原因をしっかり反省して授業にのぞむこと。やり直したからといってしよげる必要はないが、同じ失敗はくり返さないでほしい。授業ではまったくの基礎からていねいに学び直すので、やり直しの良い機会だと考えて、前向きに取りくんでもらいたい。

成績評価の方法

年間4～5回のテストと平常点。出席は最重視。必ず第1回の授業から出席すること。当たり前だが、遅刻・私語は厳禁。とくに卒業年次生は初回に指示を受けること。

教科書

八木・鄭 『はじめての中国語、おうとんほあ』(朝日出版社) 2,200円(CD付)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	しおはた しんいちろう 塩 旗 伸 一 郎	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

中国語は漢字を使うから簡単だと思った人ほど実は挫折しやすい。字には音を書いてないので、いつまで経っても中国語が読めないのだ。もう一度スタートラインに立ち、耳と口づくりから始めよう。でもどうしても、あの魅力あふれる音と相性が悪いという人は、せめて毎回出席し、課毎に提出してもらおうドリルで張り切ろう。

履修上の留意点

毎回出席が当然。

成績評価の方法

定期試験＋小テスト－欠席点。欠席が3回超えた場合は理由を問わず10点ずつ減点。

教 科 書

尹景春・竹島毅『新版 中国語はじめの一步』（白水社） 2,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	あまもと たすく 秋 元 翼	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

再履修者がこれまでの学習方法の欠点を自覚し、自分でその欠点を克服して当初の学習目標を達成できるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

発音入門からやり直し、初級の文法と表現を一年間でマスターする。

履修上の留意点

発音訓練が重要なので、教室では口を大きく動かし、積極的に声を出すようにしてほしい。また、基本単語を覚えることも大事なので、CD等を活用し、復習することを望む。4分の3以上の出席を要する。

成績評価の方法

平常の学習態度と理解度および前・後期の期末テストで評価する。

教 科 書

山田真『500語マスター基本中国語』（同友社） 2,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	らん めい 蘭 明	全 学 科 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

前期は最初の一ヶ月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教 科 書

董燕・遠藤光暁『話す中国語』（北京篇1）（朝日出版社） 2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	江 林 英 基 <small>こうりん ひでもと</small>	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

授業は発音とピンイン表記を再学習後、各課の文法を解説しながら本文と会話の文型を説明し、学生諸君に順番に朗読させ、正しい発音と声調を求める。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは中国人が日常生活でよく使用する単語と簡単な文型を内容とするものであり、全25課、各課の本文のあとに会話の例文を付してある。その内容も易から難へと自然な順序で配列されている。

成績評価の方法

小テスト、宿題、年2回の定期試験及び出席状況と学習態度を総合して判定する。

教 科 書

張乃方、長谷川寛 『中国語読本（初級編）』（白水社） 1,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	宮 本 厚 子 <small>みやもと あつこ</small>	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

前半は指定した教科書を用い基礎を固め、後半はプリントを配りより難しい文章を読んでいく。

履修上の留意点

授業の前に、必ず辞書をひき予習を行なうこと。

成績評価の方法

年に2～3回の筆記試験（前後期末試験を含む）と平常点で評価する。

教 科 書

董燕・遠藤光暁 『読む中国語』（朝日出版社） 2,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	天 野 節 <small>あまの せつ</small>	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

中国語Ⅰの基本を復習しながら、会話文を通し中国語Ⅰ以上の表現を学習する。最終的には、独学でも学習を継続していけるような基本的能力を習得することがねらいである。

履修上の留意点

最後まで学習を継続する決意をして、授業にのぞんで欲しい。

成績評価の方法

出席、授業態度、小テスト等の平常点と期末テストの結果を合せ、総合して評価する。

教 科 書

荒川清秀 『美香 in China』（同学社） 1,900円税別

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	<small>みたむら けいこ</small> 三田村 圭 子	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

基礎の復習をしながら、中級への橋渡しになるような文章を読む。

講義の内容・
授業スケジュール

前半は、中国語Ⅰの復習を行い、後半は比較的長い文章を読解する。

履修上の留意点

まとめてやろうとせず、毎時間課題を確実に仕上げるように。

成績評価の方法

出席重視。試験は年4回実施する。遅刻は3回で1回の欠席とする。

教 科 書

竹島金吾 『中国語さらなる一步』（白水社） 2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	<small>り 雲</small> 李 雲	禅・仏教3年	2

講義のねらい

基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教 科 書

水野蓉・渡辺安代・滝澤恭子 『元気です中国』（朝日出版社） 2,000円

そ の 他

内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	<small>みやもと あつこ</small> 宮 本 厚 子	禅・仏教3年	2

講義のねらい

一年次に学んだ文法事項を復習しつつ、実際に役立つような会話体の文を学ぶ。

履修上の留意点

学んだ文が実際に言えるようになるよう繰り返し練習を行なうので、積極的に取り組んでもらいたい。

成績評価の方法

前後期末試験、中間試験（2回）、出席点。

教 科 書

王占華・劉慶 『就職に役立つ中国語』（駿河台出版） 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	らん 蘭	めい 明	禪・仏教3年 2

講義のねらい

基礎文型を復習し、日常生活でよく使う表現を習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

発音の練習・基礎文法の確認・会話文の暗誦という三つの内容を中心に進めていく。

履修上の留意点

授業時には大きな声で読むこと。欠席しないこと。

成績評価の方法

出席を重視する。宿題など提出物も評価に加味する。

教 科 書

董燕・遠藤光暁 『話す中国語』（北京篇2）（朝日出版社） 2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	みやち たつろう 宮 地 達 郎	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

文法解説をできるだけ容易に説明する。簡単な日常会話も織込み、興味を持続させる。

履修上の留意点

最低限の復習、それに対する質問が望ましい。

成績評価の方法

前・後期のテスト及び出席点。

教 科 書

宮本博司著 『ようこそスペイン語の世界へ』（大学書林）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	おおいわ いさお 大 岩 功	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・
授業スケジュール

文法事項の解説を演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特に
つまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、なるべく予習をして授業に臨む
よう心がけてください。予習して損をすることは絶対にありません。なお、授業には辞書を必ず
持参してください。

成績評価の方法

数回のテストと日頃の出席状況、受講態度を総合して評価します。

教 科 書

寿里順平・大岩功『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参 考 書 等

辞書
有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	うえの かつひろ 上 野 勝 広	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

スペイン語の基礎（発音、文法、語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・
授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課～9課まで、後期は10課～18課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。

履修上の留意点

新しい外国語を少しでも身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音テープのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましよう。

成績評価の方法

年間4回のテストと平常点を総合的に評価します。

教 科 書

淵上英二・アルフレッド・ロベス 『確認して進むスペイン語』（朝日出版社） 2,500円

参 考 書 等

初回の授業で紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	さとう ひろこ 佐 藤 紘 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

必要最低限の文法事項に通じ、コミュニケーションのためのスペイン語運用能力の基礎を習得する。

履修上の留意点

欠席すると授業についていけなくなるので、できるだけ欠席しないように心掛けてください。

成績評価の方法

毎回授業の始めに行う小テストの成績の集計と、後期試験の成績を合わせて評価する。

教 科 書

佐々木克美著「スペイン語との出会い」（芸林書房）

参 考 書 等

最初の授業で指示する

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	さとう まりの 佐 藤 麻 里 乃	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的特徴を理解する。

履修上の留意点

初回の授業で述べる注意事項を必ず出席のこと。

成績評価の方法

出席率、授業態度、課題の出来具合などにより評価する。

教 科 書

寺崎英樹著『スペイン語文法のシステム』（同学社）

参 考 書 等

『西和辞典』（小学館）、『現代スペイン語辞典』（白水社）
『新スペイン語辞典』（研究社）、『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）など。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	ふくもと くみこ 福 本 久美子	全学科3年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕		禅・仏教3年	

講義のねらい

基礎文法の充実とスペイン語圏の文化に触れることを目的とする。前期は文法を、後期は講読を中心とした授業とする。

履修上の留意点

出席が全授業回数の2/3以下の者には評価を与えない。始業時より30分以上の遅刻は入室を認めない。但し出席も遅刻も正当な理由がある時は考慮する。
授業を妨げるような振る舞い(私語・無断退出等)は慎むこと。場合によっては評価の対象から外す。

成績評価の方法

前・後期テストと授業中の平常点(宿題・小テスト)の合計に拠る。

教科書

西川 喬著 『新スペイン語ゼミナール』(第三書房) 2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	おおいわ いさお 大 岩 功	全学科3年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕		禅・仏教3年	

講義のねらい

スペイン語Iで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Iで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教科書

寿里順平・大岩功『読む・書く・話すスペイン語』(教材マルコ社)
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

辞書
有本紀明編『西和辞典』(白水社) 4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社) 4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』(研究社) 4,860円
桑名一博編『西和中辞典』(小学館) 6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	さとう ひろこ 佐 藤 紘 子	全学科3年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕		禅・仏教3年	

講義のねらい

1年次で学習した基礎文法を復習し、更にそれを広げていく。同時にスペイン・中南米の現代事情について基礎的な理解をめざす。

履修上の留意点

欠席すると授業についていけなくなるので、できるだけ欠席しないように心掛けてください。

成績評価の方法

毎回授業の始めに行う小テストの成績の集計と、後期試験の成績を合わせて評価する。

教科書

堀田英夫著『現代感覚でおぼえるスペイン語のエッセンス』(朝日出版社)

参考書等

最初の授業で指示する

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	^{ひろた ひでやす} 廣 田 英 靖	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つ型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・
授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。
平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教 科 書

戸部又方編 『1年生のロシア語』 (白水社)
杉山秀子他 『やさしいロシア語読本』 (大学書林) 1,600円

参 考 書 等

『露和辞典』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	^{さの あさこ きむら ひであき} 佐野 朝子・木村 英明	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいます。
会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教 科 書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	安徳ニーナ <small>あん とく</small>	全学科2年	2

講義のねらい

基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。

 講義の内容・
授業スケジュール

教科書に基づいて講義を勧める。

履修上の留意点

要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法

講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教 科 書

桑野隆 『はじめてのロシア語』（白水社）

参 考 書 等

必要に応じてその都度資料を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	クロチコフ, Y.	全学科3年	2
ロシア語ⅡB〔再クラス〕		禅・仏教3年	

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習する。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教 科 書

プリント配布。

参 考 書 等

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	安徳ニーナ <small>あん とく</small>	全学科2年	2
ロシア語ⅡB〔再クラス〕		禅・仏教3年	

講義のねらい

基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。

 講義の内容・
授業スケジュール

教科書に基づいて講義を勧める。

履修上の留意点

要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法

講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教 科 書

桑野隆 『はじめてのロシア語』（白水社）

参 考 書 等

必要に応じてその都度資料を配布する。

〔選択科目〕〔英 語〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英文講読	はやし 林 明 人	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義の内容・
授業スケジュール

現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるようにになれば幸いです。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、発表、レポート、小テスト、出席の総合評価。

教 科 書

教員が作成したものを用います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英文講読	まえだ 前 田 脩	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義の内容・
授業スケジュール

イギリス風景庭園を主題としますが、まずはじめに、イギリス及びヨーロッパの庭園の概略を知ってもらうため、簡単な庭園史のテキストを使います。その後、イギリス庭園と対比されるフランス庭園の概念を知るためのテキストのコピーを使用します。最後にイギリス風景庭園の成立の原因をさぐるために適すると思われる本を読みませう。庭園の概念についての説明はしますが、授業はあくまでも購読です。

成績評価の方法

授業中の発表等日常評価を重視します。後期テストも評価に入れます。

教 科 書

- 1) 『イギリス庭園物語』（南雲堂）1,200円
- 2) コピーを使用

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英文講読	まさの 牧 野 輝 良	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

内容のある英文を読み、正しく内容を理解すること。

講義の内容・
授業スケジュール

高い教養の持主である筆者の歴史や文化の見方を学ぶ。特に結果から原因をたどる手法を学ぶ。

履修上の留意点

受講する学生はよく自習しておき、指名されたら解答出来るように心掛けること。

成績評価の方法

時間中の成績と期末テストの成績を総合して評価する。

教 科 書

ピーター・ミルワード『西欧文明をどう理解するか』（南雲堂）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語研究	竹 村 恵 都 子 <small>たけむら えつこ</small>	禪・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

今後の情報化時代に伴い、世界の動きに目を向け、国際社会の実状を的確に把握する必要があります。本授業では、基礎的な英語力を土台に、英文ニュースを学びます。新聞に使用される英語表現は、斬新な語句やイディオム、字句の省略など様々な特徴があります。日頃から内外の英字新聞を読むよう心掛けて下さい。十全な予習を望みます。

成績評価の方法

評価は前期・後期の試験を主とし、平常点（授業態度・発表も含む）、出席率及びレポートなどを総合的に判断し評価します。

教科書

テキストは最初の授業時に発表します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語研究	林 明 人 <small>はやし あきと</small>	禪・仏教1・2・3・4選	4

講義の内容・
授業スケジュール

CNN, Herald Tribune紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読んだりします。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、小テスト、レポート、出席の総合評価です。

教科書

教員が作成したものを用います。

参考書等

【Sanseido's Dictionary of News English】(三省堂)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語研究	川 手 浩 一 <small>かわて ひろかず</small>	禪・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

外国語を学習する目的はその国の文化を知ることである。しかしながら今や世界はせまくなり、自国の文化のみにとらえては日常生活すらできなくなっている。

講義の内容・
授業スケジュール

ここでは主として読解力に主眼をおいて、重要な単語、イディオム、構文などを英文の中にちりばめて、多様性に富んだ英文が学習でき生活英語としても活用できる。

成績評価の方法

成績評価は出席とテスト、レポートなど総合評価です。

教科書

Shino Sano【Health and Business [健康とビジネス]】 (Nan'Undo) 1,900円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	おちあいかずあき 落 合 和 昭	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

このクラスにタイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一の目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL等）の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、その会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞（せりふ）を再現しながら、会話練習をする。授業は徹底的した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

履修上の留意点

このクラスの受講を希望する学生は、最初の授業の時に、担当者の許可を得なければならない。教場は40名しか入れないLL教場を使用するので、40名以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

定期試験が全評価の40%（ヒヤリングが20%、会話英作文が20%）、課題・授業中の発表・小テスト等が60%（課題は年間約10回程度提出。授業中の発表等に関しては、一回の授業に、全員が最低一回は当てるようにする）。出席率が三分の二を越えなければ、成績は「不可」とする。

教 科 書

- 1) 『5分間口語英語表現(1)』(南雲堂) 900円
- 2) 『ルル・オン・ザ・ブリッジ』(松柏社) 1,900円
- 3) 『Phrasal Verbs』(洋書)(オックスフォード大学出版局) 2,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	お お ば な お き 大 庭 直 樹	全学科1・2・3・4選	2

講義の内容・
授業スケジュール

このクラスの第一の課題は、Office 2000 を使いこなすことである。Office 2000 は Word (ワープロ)、Excel (表計算)、PowerPoint (プレゼンテーション)、Schedule+ (スケジュール管理) を中心としたアプリケーションである。Word と電子辞書を使いながら、論文、公式文書、ビジネス文、手紙、英文等の書き方を訓練する。また、このソフトが持つ機能、アウトライン・プロセッサ、テンプレートを「思考の道具」として利用するノウハウをを体得する。更に、Excelでの表、グラフ、データベースの作成、また、図形、画像、デザイン文字の作成を学び、それらをリンクさせた複合文書を作成する訓練をする。

第二の課題は、インターネット (マルチメディア) の世界を探索することである。インターネットという広大な情報空間を探検し、各分野ごとに有用なサイトを紹介していく。ネット・サーフィンで大切なことは、必要な情報探索ができるようになることである。したがって、このクラスでは、受講生が様々なサーチ・エンジンを使って、学術ネットワークの情報検索のための基本的なテクニックを身につけることに重点を置く。

第三の課題は、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使いこなすことである。このソフトは、カード型のデータベースをつくることを目的とし、受講生は各自の研究、文献・資料整理等、それぞれの必要に合った「メモ・カード」の作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。

第四の課題は、ホームページの基本的な概念を理解し、受講生全員が「ホームページ・ビルダー2001」を使って、自分のホームページを作成する。出来上がったホームページは、インターネット上に流すことになる。

後期からは、受講生一人一人にプレゼンテーションをしてもらう。発表内容は、コンピュータ、インターネットについてならば何でもよるしい。発表は、コンピュータ・インターネットについての知識、情報の交換を目的とする。受講生は、前期から発表のプロジェクトを決めて、入念に発表の準備をしてほしい。

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するたするはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

そ の 他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室 (朝9時より夜9時まで開館) で補修すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	ま ち だ な お こ 町 田 尚 子	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

インターネット上のマスメディアの英語理解の上達を考えている人たちのためのコースです。

講義の内容・
授業スケジュール

4-204教場のPCで、英語新聞のウェブサイト上のオンライン記事・論説・特集等を選んで速読し、Wordで要約、さらに自分の見解をまとめ、電子メール・添付ファイルで提出し、添削指導を受けます。担当者とのメールは英文で行い、英文メール作成をマスターします。受講者のPC習熟度にあわせて、個別指導から始める予定です。

履修上の留意点

クラス人数は30名以下に限定し、メールアドレスを取得していることが前提となります。授業時間内に終了しないときは、自習室あるいは自宅で完成させて送信します。

成績評価の方法

毎授業の要約と作成メールの成績で評価します。

教 科 書

教場で指示します。

英 会 話 Ⅱ

〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFLのスコア480点、TOEICのスコア700点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話Ⅱ	プラスキー, J. C.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

The goal of this course is for students to express themselves in a range of situations beyond the most basic level.

講義の内容・ 授業スケジュール

Grammar will be presented in a communicative context. Getting the main idea, guessing vocabulary from context and drawing inferences will be practiced through speaking activities primarily with other students. Pronunciation, intonation and listening practice will be incorporated through dictation exercises and tapes/CDs.

履修上の留意点

Conversations will be practiced with other students through pair discussions and dialogues.

成績評価の方法

Assessment will be a combination of class participation (50%), homework (30%) and a final oral test (20%).

教 科 書

None.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話Ⅱ	ジトウィッツ, P. D.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

English 2 is designed to give students additional practice in basic conversational forms and to extend their range to more advanced conversational and social situations. Students will be expected to positively participate in class and prepare group presentations along with role-playing, debating, and an oral interpretation. Students will also see short passages from films and be responsible for practicing short dialogues that have been taken from these films.

履修上の留意点

Students are expected to come to class weekly and four absences in one semester will result in failure.

教 科 書

Textbook. - "Hit Parade Listening" - Macmillan Language House, 1998, Nobuhiro Kumai, Stephen Timson and a wide variety of instructor's handouts/instructors.

They will also have the opportunity to gain access to the instructor's English language practice website.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話Ⅱ (夏季集中)	ピラス, D. M.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

Elementary and Intermediate students would do well to master an ordinary conversational ability in this class. Students will spend most of the class time talking to each other in pairs or groups; it would be good to take this class together with a friend. Students will sit together with companions who have a similar degree of English ability, since English conversation is learned most quickly by practicing with people who have equal ability.

Part of the class time will be devoted to TOEFL grammar and listening comprehension problems so that students may get high scores in TOEFL and TOEIC tests. English composition will also be taught with a view to giving students an intuitive sense of how a good English sentence should sound. Learning composition will not consist of studying grammar or translating sentences. Advanced practice in listening comprehension will be conducted through short lectures on the different ways that Americans and Japanese think about work, money, marriage, politics, friendship, etc. The entire course is carefully organized and programmed in our textbook, which will be explained at the commencement of classes.

そ の 他

授業日程

英会話Ⅱ

前半	1	2	3	4	5	6	7	後半	1	2	3	4	5	6	7
8月1日 木	○	○	○	○	○			8月20日 火							
8月2日 金	○	○	○	○	○			8月21日 水							
8月5日 月	○	○	○	○	○			8月22日 木							
8月6日 火	○	○	○	○	○			8月23日 金							
8月7日 水	○	○	○	○	○			8月26日 月							
8月8日 木	○	○	○	○	○			8月27日 火							

英 会 話 Ⅲ

〈英会話Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFLのスコア500点以上、TOEICのスコア900点程度。各担当者の講義内容(syllabus)をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話Ⅲ	ウェルズ, J. K.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

WELCOME TO MY CLASS! MY CLASS IS FOR STUDENTS WHO CAN SPEAK ENGLISH SOMEWHAT FLUENTLY. YOU WILL ONLY BE ACCEPTED IF YOU CAN UNDERSTAND. YOU WILL LEARN TO SPEAK OPENLY AND QUIZZES, REPORTS, AND HOMEWORK WILL BE GIVEN.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話Ⅲ	ハバード, W. D.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

The goal of this course is to develop the skills of Research, Analysis, and Reasoning that build fluency in communication.

講義の内容・ 授業スケジュール

For successful communication Japanese students need a high English ability and the ability to convey their opinions logically and clearly. Debating issues help Japanese students develop these skills. This course develops the skills of Research, Analysis, and Reasoning through current and sensitive topics related to youth culture and ethics and morals that are discussed and debated in countries around the world. Students will also have the opportunity to practice public speaking and discuss issues related to their own fields.

履修上の留意点

Requirements: Students who take this course are strongly advise to have taken level 2.

成績評価の方法

Grading: Final grades will be based on attendance, class participation, preparation, and tests.

教 科 書

Textbook: Debating the Issues by Stephen Hesse, Macmillan Language House, Tokyo

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話Ⅲ (夏季集中)	レーン, C. M.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

There are two important aims of this course. First, and most important, is to help students develop their English conversation skills and to learn to express their opinions spontaneously on a number of topics with confidence. However, as the majority of misunderstandings between different nationalities stem, not only from language difficulties, but also from cultural ones, the second aim is to promote knowledge and awareness of the cultural heritages of other countries.

講義の内容・
授業スケジュール

This is a highly intensive class concentrated within six days. During that period a number of different themes will be covered. These will range from simple personal issues, current trends and cultural issues to deeper more involved international problems. Included within the course will be research projects where in the students will be expected to collect information and present it to the class. Individual presentations will also be required.

履修上の留意点

This course offers students an opportunity to express their ideas on a variety of everyday matters. However, as this course is based on fluency and discussion, it is not recommended for students who want to concentrate on grammar skills, or for students who are unwilling to participate fully in pair work, role plays or group activities.

成績評価の方法

Evaluation
25% attendance
25% presentations
50% participation and contribution to discussions.

参 考 書 等

Reference Books Dictionary

そ の 他

Method of Teaching.

Each lesson will have a central theme. A short explanatory lecture will introduce the topic and then students will be invited through pair work or group discussions to express their opinions. Depending on the interest generated by the topic within the groups, students will be encouraged to produce short presentations, role plays and situational conversations. All classes will be conducted entirely in English.

授業日程
英会話Ⅲ

前半	1	2	3	4	5	6	7	後半	1	2	3	4	5	6	7
8月1日 木	○	○	○	○	○			8月20日 火							
8月2日 金	○	○	○	○	○			8月21日 水							
8月5日 月	○	○	○	○	○			8月22日 木							
8月6日 火	○	○	○	○	○			8月23日 金							
8月7日 水	○	○	○	○	○			8月26日 月							
8月8日 木	○	○	○	○	○			8月27日 火							

英 語 L L II

〈英語 LL II の授業内容と履修上の留意点〉

中級：LL I 程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準1級合格、TOEFL のスコア480点、TOEIC のスコア700点程度をめざします。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 LL II	にしむら ゆうこ 西 村 祐 子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベル I を終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベル II ではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得していく。授業はすべて英語でおこない、質問もすべて英語でおこなう。学生同士の英語での話し合いなどもとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標はTOEIC700程度。難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。
電子メールアドレスは商業プロバイダーのものもちいてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなっておくことがのぞましい。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。はじめの授業からききとり力をつけるためにテープ録音をするので、カセットテープ (90分程度) をもってくる

成績評価の方法

ほとんど毎回英語でのサマリーをおこなう短い課題が与えられ、電子メールでの課題提出があり、電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。

教 科 書

Headway(pre-intermediate), Oxford Univ. Press.

参 考 書 等

使用ビデオ：Headway(elementary), および(pre-intermediate)、その他。(いずれも本学LL事務室に備え付けのものなので、予習、復習用に借り出して活用してほしい。)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語LLII	ま ち だ な お こ 町 田 尚 子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

初級程度のLL授業履修済み、または未履修の場合、英検2級程度の英語力のある学生を対象に、TOEIC、TOEFLのテストに備えた聴解力と表現力の上達を目指すコースです。

講義の内容・
授業スケジュール

4, 5月: ビデオテープを用い、TOEICの基本的な練習問題による復習。
6月と7月第1週: TOEIC スコア700程度を目指した聞き取り練習 (添削指導)。
7月第2・3週: TOEICリスニング模擬テスト。
9, 10月: TOEFLのテスト用練習問題の添削指導。
11, 12月: パラフレイズ、含意、文脈による英文理解と表現力の向上。
1月9日 (最終授業日): テスト

履修上の留意点

Emailで連絡・添削等をするので、自習室(KOMAnet)あるいは自宅のメールアドレスがあること。

成績評価の方法

毎授業のテストと最終テストで評価点を出示します。

教 科 書

LL事務室備付けの教材『Basic Skills and Strategies』『English Master Box (1)(2)』『Cambridge Preparations for the TOEFL Test』等を使用します。

参 考 書 等

教場で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語LLII	お お た ま さ こ 太 田 雅 子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

90分の授業の前半は、テキストを用いて英語の難しい音のききとりを徹底的に学習する。そして後半は、映画の中の英語をききとれるように練習を重ねる。又、その中の表現を応用して、英語での自己表現力を養成する。

履修上の留意点

全授業回数の3分の1以上欠席した者には単位を認定しない。その他履修上の注意点は、第一回目の授業で指示するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

教 科 書

プリント教材
テキストは未定

英語 LL III

<英語 LL IIIの授業内容と履修上の留意点>

上級：LL IIを修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が聞き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検1級、TOEFLのスコア500点以上、TOEICのスコア900点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容(syllabus)をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 LL III	井 伊 順 彦	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

リスニング、ボキャブラリー、発音のいずれの面でも一定水準以上にある学生を対象とし、会話などを浴びるように聞いて耳をさらにきたえるとともに、スピーキング力を開発するべくバラエティに富んだ練習をおこなう。

講義の内容・授業スケジュール

プロの通訳も取り入れているシャドーイングを重視する。また、ビデオや別のテープを用いての発展的なリスニング練習も、授業の後半におこなうことになる。

履修上の留意点

毎回一度はほぼ確実に指名したい。その答えの出来を平常点として採点する。録音用テープを各自が用意してほしい。

成績評価の方法

数回の小テスト、平常活動、出席数を組み合わせて評価するが、詳細は教室で。

教科書

【Listening, Shadowing, and Speaking】 (リスニング・シャドーイング・スピーキング)
(英潮社) 1,700円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 LL III	西 村 祐 子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

基本的な表現をつかってまず「話すこと」からはじめたLL Iのレベルに対して、レベルIIでは日常的なテーマを掘り下げ、より高度な表現をききとることをめざした。レベルIIIは一層高度な、それを利用して会話の表現力を増していくことをめざしている。授業はすべて英語でおこなわれ、質問も英語のみ受けられる。ほとんど毎回英語でのプレゼンテーションが要求され、それにもとづいた教員との応答によって授業がすすめられる。LLレベルIIを終了し、英検一級程度(TOEIC900程度)をめざす学生用なので、このレベルにみたくない学生はレベルIIを受講することをすすめる。

履修上の留意点

学生への要望：学生は課題提出用に全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。電子メールアドレスは商業プロバイダーのものもちいてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなっておくことがのぞましい。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。聞き取り練習用にテープ録音をするので、カセットテープ(90分程度)をもってくること。

成績評価の方法

ほとんど毎回英語での短い課題が与えられ、電子メールでの課題提出がある。電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。

教科書

特に指定しない。

参考書等

使用カセットテープ：Open University Program シリーズ (LL事務室備え付け)。
使用ビデオ：Mapping the Landscape (ジェムコ出版、LL事務室備え付け) その他オープンユニヴァーシティシリーズを適宜使用。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語LLⅢ	久保ひさ子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

海外旅行の場面別に、一回で通じる短い会話文を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

旅行会話の短文を、ラボを使用して、聞き取り、書き取り、反復練習、録音、再生する。さらに、応用できるように暗記する。小テストあり。

履修上の留意点

LL授業は、ラボによる実習授業のため欠席しないようにお願い致します。

成績評価の方法

小テスト合計点と授業実習点

教科書

マイケル・ブラウン『旅行でしゃべる英会話』（南雲堂）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語外国書講読	柴野博子	禅・仏教3・4選	4

講義のねらい

異文化を理解し、またそれを介して自国の文化を反省することは、国際化の進展する今日、非常に大切なことです。そこでこの授業では、日本とドイツの間の異文化理解の問題を扱ったいくつかの文章を読んで行きます。それによって、ドイツ語の文章に慣れると同時に、日独の文化の相違についても、理解を深めることができればと思っています。

成績評価の方法

年2回の試験と平常点で行います。

教科書

教科書は使用しません。教材はコピーしてお渡します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事ドイツ語	野島利彰	禅・仏教3・4選	4

講義の内容・授業スケジュール

世界的にも評価の高い高級紙であるフランクフルターアルゲマイネ紙から環境、動物保護、麻薬、外国人受け入れなどの問題を扱った記事を選び、読む。日本語での知識がないと理解が難しいので、日本の新聞や雑誌で関連記事を十分に読んでおくこと。予習しやすいよう毎回、次回の分の文法および用語の解説を行う。

成績評価の方法

成績評価は授業に対する貢献度による。

教科書

教材には記事のコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上級ドイツ語	栗原万修	禅・仏教3・4選	2

講義のねらい

上級ドイツ語は、1、2年で習得した語学力をのばし、さらに内容を文法的にも正確に読みとり、より高度なドイツ語が身につくようにするのがねらいです。継続的に1年間つづければ、かなり力がつくはずですので、欠席をしないでつづけてください。テキストは特定せず、受講者の語学力に合わせ、また受講者の希望も聞きながら、最適と思われるものをその都度、教場で配布します。

成績評価の方法

成績評価は、試験ではなく日常の勉学過程を中心に総合的に判断します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語LLI	<small>こばやし</small> 小林ゲアリンデ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。

教 科 書

テキストは教室で配布する。

そ の 他

ビデオ、カセットを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語LLII	<small>こばやし</small> 小林ゲアリンデ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語を1年(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を抜げることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。

教 科 書

『Themen I neu』

そ の 他

ビデオを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語IA(選)	<small>くりはら かずのぶ</small> 栗原万修	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語の文法を最初からやります。できるだけいねいに、わかりやすく説明します。ただし、初習の外国語は継続的につづけないと習得できませんから、出席を重視します。欠席しないように。欠席をつづけると名簿から名前を抹消します。

成績評価の方法

成績評価はテストのほか、日常の出欠、学習意欲等も含め、すべてを総合して判断します。

教 科 書

大岩信太郎『快速ドイツ文法』(朝日出版社) 2,100円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅠB (選)	お 織 だ し げ み 織 田 繁 美	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

ヨーロッパには実に沢山の言語があり、その一つ一つが歴史、文学、芸術など独自の文化を持つ。十六世紀のスペインの宮廷社会の人物を用い、十八世紀ほぼ同じ頃、一つはイタリアで、一つはドイツで別々の詩人が戯曲を書き、この二作品を土台にしてイタリアの作曲家がオペラという音楽戯曲を作曲した。事の成り行きでオリジナルはフランス語の歌詞が付き、その歌詞がイタリア語、ドイツ語等に翻訳され、しかもこれらの翻訳が同一の内容ではなく、元の内容からはみ出し、翻訳に工夫が凝らされている。このようにヨーロッパでは異なる言語でありながら、文化的には早くから一つの統一体であったかに見える。先ずその一つの砦としてのドイツ語を切り崩す一歩を踏み出す切掛けをこの授業で始めてみたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を用いるが、プリントも用い、日常生活で大切な言い回しを学び、テープレコーダーを用いて耳で聞き取る練習もする。

成績評価の方法

前期末、後期末の試験も勿論勘案するが、平常点に重きが置かれるので、出席が大切である。

教 科 書

荻野『ドイツってすてき!』(前編) (朝日出版社) 1,900円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語Ⅱ (選)	も も ず み い さ む 百 濟 勇	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

1991年以来、ベルリン・ドイツ経済研究所の客員研究員をしているが、そこではドイツ人以外の外国の学生、院生も実習生として研修している。そこで共通していることは、学習、研究の目的意識が明確であること、さらに外国語修得が優れていることだ。これまで習った蓄積を基礎にして、さらに使えるドイツ語の修得を目指す。ドイツ語・英会話を併存させる。

成績評価の方法

毎回、何等かの形でテストを行う。平常点で採点、期末試験は行わない。

教 科 書

プリント配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語外国書講読	た け だ ま さ ず み 竹 田 正 純	禅・仏教3・4選	4

講義のねらい

フランスの文学者・思想家の文章を取り上げて読むのもフランス理解のひとつの方法であるが、現在起こりつつある事柄を新聞・雑誌で読んでいくのもまたフランス理解のひとつの仕方である。『ル・モンド』紙の記事を中心に、適宜、他の雑誌記事もまじえながら、世界に起こりつつある事柄を読んでいきたい。

成績評価の方法

前・後期の最終日のテストを中心に評価するが、平常授業にも真剣に取り組んでほしい。

教 科 書

プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時事フランス語	くわ た の り あ き 桑 田 禮 彰	禅・仏教3・4選	4

講義のねらい

時事フランス語に親しむこと。

講義の内容・
授業スケジュール

フランス語の基礎を復習・確認しながら、新聞・雑誌記事を読んでいます。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教 科 書

プリント（フランス語の新聞・雑誌）配布。

参 考 書 等

そのつど授業で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上級フランス語	こ だ ま な り お 小 玉 齊 夫	禅・仏教3・4選	2

講義のねらい

「上級フランス語」クラスでは、フランス語検定試験に合格することをめざして、文法事項の再確認とともに、聞きとり、作文、ならびに会話についての実力を養うことを目指しています。さしあたっては4級および3級に受かるように、1、2年次の知識を復習し、視聴覚教材も用いて、可能なかぎり、総合的なフランス語能力を身につけるよう、勉強していく予定です。

講義の内容・
授業スケジュール

前期に、下記の教科書を終え、後期は、主としてプリントを用いて行います。詳しくは、最初の授業で。

履修上の留意点

上記の「意気込み」とは矛盾しないはずですが、出席するのが楽しい授業にしたいと思いますので、「遊び心」も持って参加して下さい。

成績評価の方法

数回の小試験・学年末の試験で評価しますが、仏検に合格することも、目標であり、従って評価に含まれることにもなります。

教 科 書

澤田・原田『ビデオで学ぶ中級フランス語－聴解から実践へ－』（第三書房）2,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語LLI	ら り あ ・ み く ら ラリア・三倉, M.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

フランス人講師や教材のフランス語を聞きながら、学生が簡単なフランス語で表現力を身につけることを学ぶ。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と簡単な口頭面接評価。

教 科 書

H. TAKAHASHI, S. GIUNTA 『P. P. P (ペーペーペー) Presenter Pratiquer Produire』（第三書房）2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 L L II	ラリア・三倉, M.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語の基礎学習の経験のある学生のためのクラスです。生徒は小さなグループにわかれ、フランス語会話をたくさんすることで発音、表現力の向上をめざします。

尚、ビデオで現在のフランスの若者の生活パターンが多く紹介されているので、それに触れながら楽しく学習できます。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と口頭面接評価。

教科書

井上美徳他『C'EST A TOI !』(仲興通商) 1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A (選)	井 田 清 子	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語の初級文法を中心に基本的知識をマスターできるように学習します。文法事項のみにかたよらず、パリの生活情景を主題とした読本としても楽しめます。文章体と会話体とを同時に身につけましょう。

講義の内容・
授業スケジュール

パリを中心とした生活が身近に感じられるよう、文章と会話を生きたフランス語として習得します。

履修上の留意点

辞書をひく手間を惜しまず、自分で面白さを味わってください。

成績評価の方法

前期・後期の試験を中心に、通常点も加味します。

教科書

山崎庸一郎他『パリのどこかで』(第三書房)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I B (選)	桑 田 禮 彰	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語の基礎の習得

講義の内容・
授業スケジュール

まず発音の基本をしっかり確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。

履修上の留意点

発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

滑川明彦、前川泰子『ポケットにフランス語』(第三書房)

参考書等

そのつと授業で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語Ⅱ (選)	こ だ ま な り お 小 玉 齊 夫	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

初級フランス語の応用・展開として、一年次での文的知識を復習しながら、文化的な要素の込められた文章を、さまざまに考えながら、読み進んでいくつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

必ずしも、教科書の構成にこだわらずに、時には調査してもらうことがらも含めて、フランス・日本間の文化的な「つながり・へだたり」を理解していきたいと思います。

履修上の留意点

特別な場合を除き、かならず出席すること。

成績評価の方法

随時行われる小テスト、前期・後期の試験によって成績評価をします。

教 科 書

コルノリエ・野村『私の日仏異文化体験』(第三書房) 1,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語外国書講読	い わ さ き ひろし 岩 崎 皇	禅・仏教3・4選	4

講義のねらい

外国語の文章は、声に出して読めなければ、たとえ意味が分かってもおもしろくありません。まず発音できるようになることが第一目標です。

中国語の文は漢字が隙間なく並んでいるので、ある程度の単語量がないと、どこが単語の切れ目なのかも分かりません。一目でそれと分かるよう単語をどんどん覚えましょう、これが第二の目標です。

最後に文法の知識を使う練習をしましょう。これが三番目です。

履修上の留意点

配布したプリントにあらかじめ目を通して、発音を調べ読む練習をしてください。何もしないで出席されては困ります。

成績評価の方法

随時ミニテストを行って単語量のチェックをします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時事中国語	し お は た しんいちろう 塩 旗 伸 一 郎	禅・仏教3・4選	4

講義のねらい

インターネットで中国の各サイトを訪れ、速読(初見)と精読の2種のアプローチにより様々な文体を読み解く力を養う。併せて中国語入力や検索の体験学習も行う。

講義の内容・授業スケジュール

見出しとリード中心の速読は、初見とはいえ画面上で自動的にピンインのルビがつくので、その場で声に出して読むことができる。精読は、文の構造を捕える練習が目玉となる。

履修上の留意点

精読部分は予習が必要である。留学を考えている人は積極的に履修されたい。

成績評価の方法

平常点。

教 科 書

ネット上で採取。

参 考 書 等

辞書は中日大辞典(大修館書店)、中日辞典(講談社or小学館)、中国語辞典(白水社)を推奨する。これらより遙かに薄いものや、中日・日中を一冊で兼ねる安直な辞書は役に立たない。

そ の 他

教場は総合情報センター。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上級中国語	かまや 釜屋 おさむ 修	禅・仏教3・4選	2

講義のねらい

中国語4科目8単位の修得を前提とする。これまでの学習成果をさらにブラッシュ・アップし、スムーズな発音、正しい構文の把握をめざす。今年度は、具体的な場面設定に基づく実践的会話力の練習に重点をおく。

履修上の留意点

中国社会、中国語に強い関心を持ち、持続的、集中的学習意欲をもった諸君と創造的で楽しい授業を展開したい。

成績評価の方法

平常点を中心として評価する。

教科書

竹島毅・徐迎新『中国語会話ルート66』（東方書店）CD付き2,400円

参考書等

辞書を必要とするが、適わしい辞書を開講後に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語L L I	さとう ふみこ 佐藤 普美子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

初級用のテープ教材を用い、会話と聴き取りの基礎訓練を行う。すでにI A - I Bの単位を取得しているか、それと同程度の学習経験のある人を対象とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では基礎的な文法・文型の音声による徹底的な習得を目指す。耳と口の反復練習を大量に行い、中国語の基礎を、文字でなく音で身につけてほしい。

履修上の留意点

予習は必要ないが、復習と自習は不可欠。また教科書付録のCDを活用して、毎日、中国語を口にし耳にしてほしい。短期留学をめざす人におすすめ。

成績評価の方法

平常点（授業への参加意欲）を重視。

教科書

楊達他『新・聞こえる中国語』（南雲堂）2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語L L II	おがわ たかし 小川 隆	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

テープを使って、中級ていどの会話と聴き取りの練習をする。週1回、年20数回の授業では、練習量が絶対的に不足なので、授業のほかに毎日の音読と暗誦を課す。それさえ怠らないなら、現在の基礎学力に自信がない人でも、充分について行けると思う。

履修上の留意点

また、短期・長期の留学をめざす人は、この科目やその他の中国語選択科目をなるべく多く履修しておいてほしい（個別に学習の相談に応じます）。

成績評価の方法

出席および暗誦の成果をもとに平常点評価。

教科書

楊凱榮『表現する中国語』（自帝社）2,400円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA（選）	かまや わさむ 釜屋 修	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

週一回一年で中国語初歩の一通りの修得をめざす。正確な発音、ピンイン表記のマスター、基本文法の理解を中心に進めるが音読を重視し、「目」にたよらない「耳」で学ぶ姿勢をたいせつにする。

履修上の留意点

初級外国語で週一回の授業ゆえ、欠席は許されない。ⅠB（選）その他とあわせて受講する人も同じ。自主的な学習を求める。

成績評価の方法

平常点、出席点、小テスト、前・後期の期末テスト等で総合的に評価する。

教科書

守屋宏則・柴森『フォーアップ初級中国語』（同学社）2,500円

参考書等

辞書については開講後に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠB（選）	さとみこ 佐藤 普美子	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

中国語入門段階で最低限の基礎知識を系統的にまとめたテキストを用い、豊富なドリルをも活用して発音の基礎をしっかり学ぶ。

履修上の留意点

休まないでテキストをじっくり読みこむこと。異文化、外国語としての中国語の魅力を発見すること。

成績評価の方法

声の大きさ+小テスト+期末テスト+出席状況により総合的に評価。

教科書

野澤俊敬監修『中国語レッスンA・B・C』（白帝社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語Ⅱ（選）	いわさき ひろし 岩崎 皇	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

新たな知識を獲得するというよりも、中国語の音声になれるということを目指します。具体的には、テキストのスキットを全て憶えて言えるように練習します。

履修上の留意点

授業での練習が大切なので、出席を重視します。欠席が既定の回数を超えた場合は成績評価をしません。また、音声の習得は人により早い遅いの差がありますから、自分の状況を見て各自で補う必要があります。

成績評価の方法

教室での学習状況および試験結果で判断します。

教科書

董燕、遠藤光暁『話す中国語-北京編1』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語外国書講読	<small>うえのかつひろ</small> 上野 勝 広	禅・仏教3・4選	4

講義のねらい

スペイン・イスパノアメリカ地域への理解と関心を深めながら、スペイン語の読解力の向上を図ります。

講義の内容・
授業スケジュール

スペイン・イスパノアメリカの社会・文化事情を論じた文章を中心に講読します。

履修上の留意点

受講者は訳読や簡単なコメントの発表が求められます。一定量の予習が必須条件です。

成績評価の方法

平常点を重視します。これに前期・後期末のテストの結果を合わせ、総合的な評価をします。

教科書

プリント使用。授業時に配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事スペイン語	<small>うりたに</small> 瓜谷 アウロラ	禅・仏教3・4選	4

講義のねらい

今までは初級文法を中心にスペイン語の基本を学んできた。これに対して時事スペイン語では、スペイン社会や文化に関する知識の学習を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回異なったテーマのプリントで学習する。よりよく理解するために、プリントは予習が前提となる。必要に応じて関連するビデオも見る。

授業内容：次のテーマに関する記事を読んで訳す。

1)言語 2)地理 3)マドリードとバルセロナ 4)歴史 5)今日のスペイン 6)マスコミ 7)社会 8)教育 9)家族 10)余暇 11)バル 12)習慣 13)食生活 14)ワイン 15)スポーツ 16)闘牛 17)祭り 18)美術 19)フラメンコ 20)クリスマス

成績評価の方法

平常点及び期末筆記試験その他から総合的に判断する。この授業では出席も非常に重視する。欠席と遅刻は減点の対象となり、欠席が7回に達すると自動的に期末試験の受験資格が失われるので、注意すること。

教科書

毎回プリントを配布する。

参考書等

特になし。

その他

受講生の積極的な参加が期待されている。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級スペイン語	<small>みやちたつろう</small> 宮 地 達 郎	禅・仏教3・4選	2

講義のねらい

日本で日本語を学んでいるスペイン語圏内の学習者が使用している、スペイン語で書かれた文法書を使い、外国語からみた日本語を観察する。

履修上の留意点

予習、復習が望ましい。漠然と教室内でのみテキストを開くだけでは学習のねらいが達成出来ない。

成績評価の方法

授業態度、出席点、前期／後期のテストで総合判断する。

教科書

『新日本語の基礎 I 文法解説書』 (スリーエーネットワーク：海外技術者研究協会編集)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語LLI	ナバロ, ホワンJ.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

授業対象者：基礎スペイン語終了者
 ※スペイン語を勉強したことがない方はご遠慮下さい。
 授業目的：ビデオ教材を使用し、音と映像を通じて実際のスペイン語会話に触れると同時に、スペインの習慣や情景を知り、スペイン語習得の上での基礎知識を増やして頂きたい。

教科書

『Viaje al español』
 テキスト及びVTR教材

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語LLII	ナバロ, ホワンJ.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

授業対象者：中級スペイン語終了者
 ※スペイン語を勉強したことのない方及び初級程度の学力の方には困難、御遠慮頂きたい。
 授業目的：ビデオ教材を使用し、音と映像を通して上級スペイン語会話に接して頂く。

教科書

『Viaje al español 上級編』
 テキスト及びビデオ教材

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語IA(選)	ナバローボロ, L. S.	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語の基本的知識・能力をもとに、スペイン語の書き言葉および話し言葉の両面にわたって理解し、表現する実力を養う。文法・語彙については網羅的ではなく、必要と思われるものを集中的に練習する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 母音の文字と発音・子音の文字と発音
2. 名詞の性・冠詞(不定冠詞・定冠詞)・名詞の数・形容詞の語尾変化
3. 動詞SER・主語人称代名詞・疑問文
4. 動詞ESTAR・SERとESTARの相違点・HAYとESTARの相違点・指示詞・否定文
5. 動詞TENER・所有詞・TAMBIENとTAMPOCO・数詞・時間についての副詞句
6. 直説法現在の規則動詞(AR動詞・ER動詞・IR動詞)・不定語
7. 直説法現在の不規則動詞1・TENER QUEとHAY QUE
8. 直説法現在の不規則動詞2・IR A+不定詞・不定詞とともに用いられる動詞
 ・SABER・CONOCER
9. 直接目的の人称代名詞・間接目的の人称代名詞
10. 直接目的と間接目的の人称代名詞についての規則・動詞GUSTAR
11. 前置詞の後ろに置かれる人称代名詞

履修上の留意点

定期試験－7月と1月－

教科書

石崎優子、フェリサ・レイ『スペイン語世界への窓』(芸林書房)

参考書等

『現代スペイン語辞典』(白水社)・『西和中辞典』(小学館)
 『新スペイン語辞典』(研究社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅠB (選)	う り た に 瓜 谷 ア ウ ロ ラ	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語の初級文法をベースに会話表現を覚える。必要に応じてプリントによる練習も行う。

講義の内容・
授業スケジュール

挨拶、自己紹介、家族紹介、職業、交通手段、食料、色、店の名前、体の調子、スポーツ、時刻、日常生活、天候。

成績評価の方法

平常点及び期末筆記試験その他から総合的に判断する。この授業では出席も非常に重視する。欠席と遅刻は減点の対象となり、欠席が7回に達すると自動的に期末試験の受験資格が失われるので、注意すること。

教 科 書

Vivir@Espana.es (生活cスペイン、スペイン語) (芸林書房)

そ の 他

読解だけではなく、口頭表現練習も重視するので、受講生の積極的な参加が期待されている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語Ⅱ (選)	お ぎ の ま さ し 荻 野 雅 司	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習したものをさらに広く深く学ぶことで実際に使えるスペイン語を習得し、3億人といわれるヒスパニック圏の人々を行うcommunicationの術を身に付けることを狙いとします。

講義の内容・
授業スケジュール

上記の目的を達成するために、一方でスペイン語Ⅰで得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んで行きます。この過程では教科書以外に、プリント、テープ、ビデオ等を通じて実際に使われている、生きたスペイン語にも接して行きます。

履修上の留意点

言葉の学習には継続が肝要ですから、年間を通じて、コンスタントに出席できる学生の受講を期待します。

成績評価の方法

成績の評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。

教 科 書

佐藤玖美子著『新・何を話しましょうか』(芸林書房)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語外国書講読	ひ ろ た ひ で や す 廣 田 英 靖	禅・仏教3・4選	4

講義のねらい

1～2年で得たロシア語の基礎力のうえにさらに読解や表現力の応用を身につけることを目標とします。最新ロシア情勢をふまえた読みもの、クロコディール、ノーヴォエ・プレーミヤ等を取りあげて様々なスタイルのロシア語文に馴れるようにします。ロシア語の文章を眼で追うだけでなく、その中に書かれている内容を正しく伝達することも重要です。このためには正しいイントネーション、発音、表現が必要なのは言うまでもありません。

授業では簡単な読みものを読むだけではなく、普通に話しているロシア人の声もきき、発話の練習もしてもらいます。

成績評価の方法

出席を重視し、平常点で評価します。

教 科 書

プリント配布

そ の 他

状況に応じて、総合情報センターの教場新システムを利用し、インターネットによるロシアのメディアをリアルタイムに解説、紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事ロシア語	木村英明 <small>きむら ひであき</small>	禅・仏教3・4選	4

講義のねらい

ソヴィエト連邦の誕生と崩壊は20世紀の世界を揺るがした一大事件でした。その影響は政治や経済のみならず、学術・文化の領域においても多大なものがありました。ロシア連邦と名称が変わった現在は、困難な経済状況の下で、新しい社会システムの模索が続けられています。混沌の中にあるとはいえ、ロシアは依然としてヨーロッパからアジアにまたがる巨大な国家として国際的に重要な地位を占めています。隣国日本にとっても、今後ロシアとのいっそうの経済的、文化的交流が進むことが予想され、じかにロシア語を通じて彼の国のアクチュアルな動向に接する練習を積むことは極めて意義深いと思われます。

 講義の内容・
授業スケジュール

ロシアの政治や経済、文化についての比較的平明な記事や論文を講読します。ビデオ教材も使用する予定です。テキストは適宜プリントの形で配布します。

履修上の留意点

各自が、授業を通じて自分の問題意識と出えるよう、積極的な態度で参加して欲しいと思います。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上級ロシア語	クロチコフ, Y.	禅・仏教3・4選	2

講義のねらい

会話練習。
簡単な新聞、雑誌の記事、文学書を辞書を用いて講読する。
講読した内容について自由会話を行う。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

教場にて指示します。プリント配布。
学生の要望も考慮してテキストを選びます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語LLI	安徳ニーナ <small>あん とく</small>	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ロシア語I、IIで学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。
日常の話題等についても自由に会話ができるようになることを目指します。

 講義の内容・
授業スケジュール

教科書にもとずいて会話形式に講義を進めます。

履修上の留意点

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

S, KHAVRONINA 著 『RUSSIAN AS SPEAK IT』 (ナウカ社)

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 L L II	あんとく 安 徳 ニーナ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

資料にもとづいて会話形式に講義を進めます。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教 科 書

新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。
(学生の希望も考慮します。)

そ の 他

講義の状況に応じビデオ等を使用し『現在のロシアとロシア語について』説明と話もします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 I A (選)	クロチコフ, Y.	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返し練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切です。

講義の内容・
授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。
平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教 科 書

プリントを配布、教場にて指示します。
『セメスターのロシア語』(白水社) 1,300円
杉山秀子他『やさしいロシア語読本』(大学書林) 1,600円

参 考 書 等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅠB(選)	木村英明 <small>きむら ひであき</small>	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

ロシアは現在、政治的、経済的に混迷の淵をさまよいつづけている観がありますが、依然として国際社会において様々な分野で多大な影響力を有しています。隣国日本との関係も、文化交流や地域間協力など確実に広がりつつあり、ロシアの人々と直接にコミュニケーションできる機会、必要性は徐々に高まっています。この授業では、言葉を通してロシアの文化や人々の暮らしなども紹介していきたいと考えています。

 講義の内容・
授業スケジュール

この授業では、簡単な日常表現に即しながら初歩のロシア語文法を学習することにします。音声面にも留意して、コミュニケーションに役立つロシア語の修得を計ります。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

桑野隆著『エクスプレス・ロシア語』(白水社)をもとに、必要に応じ適宜プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語Ⅱ(選)	安徳ニーナ <small>あん とく</small>	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ロシア語Ⅰで学んだことを基に、ロシア文学を理解できることを目標とします。

 講義の内容・
授業スケジュール

教科書にもとづいて会話を主体的に講義を進めます。

履修上の留意点

講義で時々行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

S. KHAVRONINA著『RUSSIAN AS WE SPEAK IT』(ナウカ社)

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
朝鮮語ⅠA(選)	宋美玲 <small>ソン ミリョン</small>	全学科1・2・3・4選	2
朝鮮語ⅠB(選)			

講義のねらい

同一の教員が同一の教科書で授業を行う。選択科目なのでⅠA(選)またはⅠB(選)のどちらか1科目か、必要に応じてA、B2科目選択してもよい。Aクラスは会話中心、Bクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

 講義の内容・
授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはAクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、Bクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するたいせつな時期なので、熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

野間秀樹 著『至福の朝鮮語』(朝日出版社) 2,900円

参考書等

野間秀樹 著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社) 1,000円

4. 保健体育科目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを楽しむ能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

4. 保健体育科目

健康・スポーツ実習 (フリーダンス)	〈磯崎優子〉	194
健康・スポーツ実習 (室内球技)	〈川村正義〉	195
健康・スポーツ実習 (ジョギング)	〈佐藤政之〉	196
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	〈鈴木淳平〉	197
健康・スポーツ実習 (空手道)	〈高橋俊介〉	198
健康・スポーツ実習 (体操)	〈竹田幸夫〉	199
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	〈舘岡儀秋〉	200
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	〈光永吉輝〉	201
健康・スポーツ実習 (卓球)	〈村松誠〉	202
健康・スポーツ実習 [再クラス] (室内球技)	〈竹田幸夫・田中佳孝・長濱友雄・宮沢栄作〉	203
健康・スポーツ実習 [再クラス] (簡化太極拳)	〈大石武士〉	204
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (サッカー)	〈秋田浩一〉	205
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (卓球)	〈川村正義・鈴木淳平〉	206
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (トレーニング)	〈鈴木淳平〉	207
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (空手道)	〈高橋俊介〉	208
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (バドミントン)	〈竹田幸夫・牧野茂〉	209
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (ソフトボール)	〈村松誠〉	210
生涯スポーツ実習 I~IV (簡化太極拳)	〈大石武士〉	211
生涯スポーツ実習 I~IV (バドミントン)	〈長濱友雄〉	212
生涯スポーツ実習 I~IV (室内球技)	〈牧野茂〉	213
生涯スポーツ実習 I~IV (卓球)	〈宮沢栄作〉	214
生涯スポーツ実習 I~IV (室内球技)	〈宮沢栄作〉	214
生涯スポーツ実習 I~IV (簡化太極拳)	〈大石武士〉	215
生涯スポーツ実習 I~IV (ニュースポーツ)	〈大石武士〉	216
生涯スポーツ実習 I~IV (バドミントン)	〈長濱友雄〉	217
生涯スポーツ実習 I~IV (卓球)	〈牧野茂〉	218
生涯スポーツ実習 I~IV (バドミントン)	〈牧野茂〉	219
生涯スポーツ実習 I~IV (室内球技)	〈牧野茂〉	220
生涯スポーツ実習 I~IV (室内球技)	〈宮沢栄作〉	221
生涯スポーツ実習 (集中前期) (テニス集中)	〈江口淳一〉	222
生涯スポーツ実習 (集中後期) (テニス集中)	〈江口淳一〉	223
生涯スポーツ実習 (集中後期) (ゴルフ集中)	〈三幣晴三〉	224
生涯スポーツ実習 (シーズン前期) (ゴルフ)	〈三幣晴三〉	225
生涯スポーツ演習 (シーズン後期) (スキー)	〈田中佳孝〉	226
健康・スポーツ論 1	〈佐藤政之〉	227
健康・スポーツ論 2	〈大石武士〉	228
健康・スポーツ論 2	〈牧野茂〉	229
健康・スポーツ論 2	〈宮沢栄作〉	230

「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

月曜日・1時限	※竹田	体操
	高橋	空手道
	館岡	ゴルフ
	光永	トレーニング
	村松	卓球
	川村	室内球技
	佐藤	ジョギング
	鈴木	ソフトボール
	磯崎	フリーダンス

※は、科目の主担当者

「生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ」開講種目一覧

(於：本校体育館)

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		
1時限											
2時限	長	前期・基礎	大	前期・応用	宮	前期・応用	野	前期・応用	牧	前期・応用	
		バドミントン		ニュースポーツ※				卓球		室内球技	
	後期・基礎	後期・応用		後期・応用				室内球技			
	バドミントン	ニュースポーツ※		卓球				室内球技			
3時限	長	前期・応用	大	前期・基礎	宮	前期・応用	野	前期・基礎	牧	前期・基礎	
		バドミントン		簡化太極拳※				室内球技		室内球技	
	後期・応用	後期・基礎		後期・応用				室内球技			
	バドミントン	簡化太極拳※		室内球技				室内球技			
4時限	大	前期・応用	石	宮	沢	前期・基礎	野	前期・応用	牧	バドミントン	
		簡化太極拳※						室内球技			後期・基礎
	後期・応用	沢						室内球技			後期・応用
	簡化太極拳※										室内球技

※印の科目は、本校修道館（第2体育館）にて実施し、それ以外は、本校第1体育館で実施します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (フリーダンス)	いそぎき ゆうこ 磯 崎 優 子	禅・仏教1必	2

講義のねらい

ダンスは古代の宗教舞踊に始まり、近世におけるバレエの発展を経て、現代では自由な身体表現を目指し、踊り楽しむものとして発展している。「ジャズダンス」・「HIPHOP」・「HOUSE」など、現代の舞踊のジャンルは多く、高度に発達すると、人々の鑑賞の対象となり芸術になった。この講義を通じて、簡単な基本運動や筋力トレーニングから少し難しいテクニックまでを身につけ、芸術スポーツとして踊り楽しんでほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時間目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時間目
- 3 時間目 ・ストレッチ1 (準備運動)
- 4 時間目 ・基本動作1 (クラシックバレエ含む)
- 5 時間目 ・筋力トレーニング (腹筋や腕立て伏せ)
- 6 時間目 ・ストレッチ2 (柔軟)
- 7 時間目 ・基本動作2 (肩・胸・腰など自在に動かす訓練)
- 8 時間目 ・いろいろなステップ
- 9 時間目 ・コンビネーション (毎回異なったショートダンス)
- 10 時間目
- 11 時間目 上記の順番で毎回すすめていく。
- 12 時間目
- 13 時間目：発表会用の振り付け
- 14 時間目：〃
- 15 時間目：発表会と評価

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウエアとジャズシューズ又は室内用スニーカーを用意すること。(裸足やソックスでは滑るので危険。)

成績評価の方法

毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。したがって、成績は出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は最後の発表会で個人点とグループ点の両方で評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	かわむら まさよし 川 村 正 義	禅・仏教1必	2

講義のねらい

バスケット・ボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケット・ボール)
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフ・コート2対1、ゲーム（1次リーグ）
- 4 時限目：ハーフ・コート3対2、ゲーム（1次リーグ）
- 5 時限目：ハーフ・コート4対3、ゲーム（1・2次リーグ）
- 6 時限目：ハーフ・コート3対3、ゲーム（2次リーグ）
- 7 時限目：実技テスト、ゲーム（2次リーグ）
(バレーボール)
- 8 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム（リーグ戦）
- 10 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム（リーグ戦）
- 11 時限目：実技テスト、ゲーム（トーナメント）
(バドミントン)
- 12 時限目：ラケットイング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13 時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14 時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：実技テスト、ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。時間配分を多少変更することがある。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）、60点以上を合格とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ジョギング)	さとうまさゆき 佐藤政之	禅・仏教1必	2

講義のねらい

健康、体力の維持増進を目的として行なわれる走運動、それがジョギングである。普及し始めて約25年位になる比較的新しい種目でもある。健康作りの運動はひとりひとりの体力に応じた運動処方が必要であり、指導者任せのトレーニングにすることなく、その処方を自分自身の手によって立案し、安全に実施することのできる能力を高めることを学習目標とする。実際の内容については、エクササイズ・ウォーキング（速歩）によってジョギングに必要な技術と体力を高めながら、30～60分程度のジョギングを実施することとする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：心拍数測定・諸注意・体重測定
- 2 時限目：エクササイズ・ウォーキング（速歩）
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：〃
- 5 時限目：ジョギング（時間走、距離走、初歩のインターバルランニング）
- 6 時限目：〃
- 7 時限目：〃
- 8 時限目：12分間走
- 9 時限目：ジョギング（前半より幾分高度な時間走、距離走、初歩のインターバルランニング、野外走、クロスカントリー）
- 10 時限目：〃
- 11 時限目：〃
- 12 時限目：〃
- 13 時限目：〃
- 14 時限目：12分間走
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

事前にメディカルチェック（心電図、負荷心電図、その他）を受けることが望ましいが、体調を整えて受講とする。（食事をとること、睡眠時間の充分なこと）ジョギングによって相当量の発汗を伴うため着替えの用意が必要である。

成績評価の方法

出席を最重視するが、12分間走に於ける走行距離を得点に加えて評価する。

そ の 他

雨天時は走のための補強トレーニング

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (空手道)	た か ほ し し ゅ ん す け 高 橋 俊 介	禅・仏教1必	2

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11 時限目：総合的に反復して練習
- 12 時限目：総合的に反復して練習
- 13 時限目：総合的に反復して練習
- 14 時限目：総合的に反復して練習
- 15 時限目：実技試験

履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (体操)	たけだ ゆきお 竹 田 幸 夫	禅・仏教1必	2

講義のねらい

「体操」という種目を広義に捉え、健康体操やストレッチ体操、ならびに器械運動を含めた体操の実技を行なう。健康体操については、体のバランスをチェックし矯正するための体操とマッサージ法を紹介する。器械運動では、マットや鉄棒、さらにトランポリンという種目を中心にして、初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に技を習得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび（バック転）まで発展させる。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2時限目：健康体操とストレッチ体操
- 3時限目：ク
- 4時限目：マッサージ法
- 5時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 6時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 7時限目：ストレッチ体操・男子：あん馬／女子：平均台
- 8時限目：ストレッチ体操・男子：つり輪／女子：トランポリン
- 9時限目：ストレッチ体操・男子：トランポリン／女子：鉄棒
- 10時限目：ストレッチ体操・男子：平行棒／女子：トランポリン
- 11時限目：ストレッチ体操・男女とも鉄棒
- 12時限目：発展技の練習
- 13時限目：自主練習
- 14時限目：自主練習
- 15時限目：まとめと評価

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川体育館1階アリーナの体操場で行なう。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、授業時間内の指示を守ること。

成績評価の方法

健康体操および器械運動ともに、毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。とくに器械運動は、技を習得していく過程にも魅力を見出すことのできるスポーツ種目である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、男女それぞれの課題の達成度によって評価していく。易しい技から難しい技まで約40～50の課題を設定してあるので、受講生はそこから自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。技の達成度の評価は、受講生同士で行なう。

そ の 他

授業の進行状況に応じて、課題となっている技のビデオ、ならびに体操競技の競技会のビデオを観る。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	たておか よしあき 舘 岡 儀 秋	禅・仏教1必	2

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。

生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時限目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4 時限目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 6 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 7 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 8 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 9 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11時限目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12時限目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

そ の 他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	みつなが よしてる 光 永 吉 輝	禅・仏教1必	2

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・ 授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

授業計画

- 1 時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2 時限目：カイザーカムⅡ最大筋力測定
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5 時限目：トレーニング
- 6 時限目：トレーニング
- 7 時限目：トレーニング
- 8 時限目：負荷を男子は、2kg up女子は1kg up
- 9 時限目：トレーニング
- 10時限目：トレーニング
- 11時限目：トレーニング
- 12時限目：負荷を男子は、2kg up女子は1kg up
- 13時限目：トレーニング
- 14時限目：トレーニング
- 15時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ（室内専用）、を用意すること。

成績評価の方法

出席、トレーニング内容（毎時間記録をする）、授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

そ の 他

ストレッチ体操の各種、器具のいろいろなトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (卓球)	むらまつ 村 松	まこと 誠 禪・仏教1必	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショットの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：ジングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームのやり方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム（5人組でのリーグ戦）
- 12時限目：ダブルスゲーム（5人組でのリーグ戦）
- 13時限目：ダブルスゲーム（5人組でのリーグ戦）
- 14時限目：ダブルスゲーム（5人組でのリーグ戦）
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装が良いが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行わない。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。とくにゲームの班分けをした後の授業参加は認めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 (室内球技)	竹田 幸夫・田中 佳孝 長濱 友雄・宮沢 栄作	全 学 科	2

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓 球 (ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3 時限目： 〃 (サーブとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
- 4 時限目： 〃 (シングルスゲーム)
- 5 時限目： 〃 (シングルスゲーム)
- 6 時限目： 〃 (ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7 時限目： 〃 (ダブルスゲーム)
- 8 時限目： 〃 (まとめと評価)
- 9 時限目：バドミントン (ラケットの握り方、フットワーク、半面コートでのミニゲーム)
- 10 時限目： 〃 (ストローク、ドロップショット、スマッシュの練習、シングルス)
- 11 時限目： 〃 (ルール解説、シングルスゲーム)
- 12 時限目： 〃 (ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム)
- 13 時限目： 〃 (ダブルスゲーム)
- 14 時限目： 〃 (ダブルスゲーム)
- 15 時限目： 〃 (まとめと評価)

【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：バレーボール (パスとサーブの技術、ミニゲーム)
- 3 時限目： 〃 (アタックとブロックの技術、ルール解説)
- 4 時限目： 〃 (フォーメーション、ゲーム)
- 5 時限目： 〃 (ゲーム)
- 6 時限目： 〃 (ゲーム)
- 7 時限目： 〃 (ゲーム)
- 8 時限目： 〃 (まとめと評価)
- 9 時限目：バスケットボール (パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10 時限目： 〃 (レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11 時限目： 〃 (ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12 時限目： 〃 (ゲーム)
- 13 時限目： 〃 (ゲーム)
- 14 時限目： 〃 (ゲーム)
- 15 時限目： 〃 (まとめと評価)

履修上の留意点

実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

そ の 他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項』を確認の上履修すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 (簡化太極拳)	おお いし たけ し 大 石 武 士	全 学 科	2

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

1時限目:オリエンテーション	16時限目:太極拳動作について説明
2時限目:重心の移動・腹式呼吸運動	17時限目:総合
3時限目:第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅	18時限目:総合
4時限目:第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱	19時限目:総合
5時限目:第三組 左攬雀尾・右攬雀尾	20時限目:総合
6時限目:第四組 単鞭・雲手・単鞭	21時限目:総合
7時限目:第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚	22時限目:総合
8時限目:第六組 左下勢独立・右下勢独立	23時限目:総合
9時限目:第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂	24時限目:総合
10時限目:第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・收勢	25時限目:総合
11時限目:総合	26時限目:総合
12時限目:総合	27時限目:総合
13時限目:総合	28時限目:総合
14時限目:総合	29時限目:総合
15時限目:テスト	30時限目:テスト

履修上の留意点

- 1) 定員:50名
- 2) 服装:一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場:修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 集中授業コース (サッカー)	あ き た こう い ち 秋 田 浩 一	全 学 科	2

講義のねらい

サッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことの理解度を高める。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目午前：基本技術練習(キック、トラップ、ヘディング、ドリブル) チーム分け
- 1日目午後：〃
- 2日目午前：パス練習、ゲーム
- 2日目午後：ロングキック、ゲーム
- 3日目午前：ドリブル、ゲーム
- 3日目午後：シュート、ゲーム
- 4日目午前：ルールの解説、ゲーム
- 4日目午後：ゲーム(リーグ戦)
- 5日目午前：〃
- 5日目午後：〃

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること(6本ポイントのスパイクは不可)。靴下は厚手ものがよい。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コースについて
- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(木)～22日(月)
(後期) 12月21日(土)～25日(水)
 - 7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：午前10:00～12:00
午後13:00～15:30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：『生涯スポーツ実習』と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限目
 - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 集中授業コース (卓球)	かわむら まさよし すずき じゅんぺい 川村 正義・鈴木 淳平	全 学 科	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 日目午前：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明。ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形。
- 1 日目午後：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム。
- 2 日目午前：バックハンドショットの打ち方。バックハンドゲーム。
- 2 日目午後：カットの打ち方と返球の方法。シングルスゲーム。
- 3 日目午前：シングルスゲーム。ダブルスゲームのやり方。
- 3 日目午後：ダブルスゲームの練習。
- 4 日目午前：ダブルスゲーム。
- 4 日目午後：ダブルスゲーム。
- 5 日目午前：トーナメント形式の試合。
- 5 日目午後：まとめ。

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装が良いが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は、授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点。実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月18日（木）～22日（月）
（後期）12月21日（土）～25日（水）
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：午前10：00～12：00
午後13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 集中授業コース (トレーニング)	すずき じゅんぺい 鈴 木 淳 平	全 学 科	2

講義のねらい

基礎的な体力要素である筋力、持久力、柔軟性、敏捷性を高めることを目的にして、さまざまなトレーニングを実践する。また、自分の体力の特徴を知ることによって、それに応じたトレーニングの方法を学ぶことを主なねらいとする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目 午前：オリエンテーション、体力測定
- 1日目 午後：カイザーカムⅡの使用法の説明、最大筋力の測定
- 2日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 2日目 午後：トレーニング
- 3日目 午前：ストレッチ体操、マッサージ法
- 3日目 午後：トレーニング
- 4日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 4日目 午後：12分間走
- 5日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 5日目 午後：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。実技は、おもに体育館地下のトレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(木)～22日(月)
(後期) 12月21日(土)～25日(水)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：午前10:00～12:00
午後13:00～15:30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限
 - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科保健
目育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 集中授業コース (空手道)	た か ほ し し ゅ ん す け 高 橋 俊 介	全 学 科	2

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1日：空手道の歴史と技の説明
：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 第2日：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 第3日：総合的に反復して練習
：総合的に反復して練習
：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 第4日：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
：総合的に反復して練習
：総合的に反復して練習
- 第5日：総合的に反復して練習
：総合的に反復して練習
：実技試験

履修上の留意点

服装は、一般的運動服装で身軽に動きやすいもの。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(木)～22日(月)
(後期) 12月21日(土)～25日(水)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川グランド集合
 - (2) 実施時間：午前10：00～12：00
午後13：00～15：30
 - (3) 実施場所：玉川グランド
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限
 - (5) 備 考：再クラス集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 集中授業コース (バドミントン)	たけだ ゆきお まきの しげる 竹田 幸夫・牧野 茂	全 学 科	2

講義のねらい

ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、ストロークの基本技術（回内、回外）
1日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク
①（スマッシュ、ドロップ）、コート反面のシングルス・ゲーム
2日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
②（スマッシュ、クリアー、ドライブ）、サービス
2日目午後：アンダー・ハンド・ストローク
①（クリアー、ヘアピン・ショット）、サービス、コート反面のシングルス・ゲーム
3日目午前：アンダー・ハンド・ストローク
②（ロブ、クロス、ネットショット）、シングルス・ゲーム
3日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、サービス、シングルス・ゲーム
4日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
③（カット、プッシュ）、総合練習、ダブルス・ゲーム
4日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム
5日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム
5日目午後：総合練習、トーナメント形式のゲーム

履修上の留意点

- (1) 服装は、一般的な運動服とする。
(2) 体育館シューズを用意すること。
(3) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月18日（木）～22日（月）
（後期）12月21日（土）～25日（水）
7月18日及び12月21日は更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
(2) 実施時間：午前10：00～12：00
午後13：00～15：30
(3) 実施場所：玉川体育館
(4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限
(5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 集中授業コース (ソフトボール)	むら まつ 村 松 まこと 誠	全 学 科	2

講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・ 授業スケジュール

第1日目午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスパッティング、走塁練習、その他）

午後：同上

第2日目午前：ゲーム

午後：〃

第3日目午前：〃

午後：審判法・ゲーム

第4日目午前：〃

午後：〃

第5日目午前：〃

午後：〃

履修上の留意点

一般的体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

(1) 実施期間：(前期) 7月18日(木)～22日(月)

(後期) 12月21(土)～25日(水)

7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川ぐらんど集合

(2) 実施時間：午前10:00～12:00

午後13:00～15:30

(3) 実施場所：玉川グラウンド

(4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。

土曜日・8時限

(5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (簡化太極拳)	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5時限目：第三組 左攢雀尾・右攢雀尾
- 6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7時限目：第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚
- 8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	なが はま とも お 雄 長 濱 友 雄	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・基礎)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・基礎)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (バドミントン)		全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。

また、技術課題として、以下の点に留意して行なう。

- (1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
- (2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4時限目：反面での簡易ゲーム
- 5時限目：〃
- 6時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 11時間目： }
- 12時間目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 15時間目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (室内球技)	まきの 牧野 しのぶ 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

バスケットボールとバドミントンを教材とし、基本的な技術やルールを学びながらゲームの楽しみ方を身につけるとともに、体力や運動能力の向上をはかる。また、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともにスポーツを生業にわたって、生活の中に取り入れ実践していく基礎的能力をも養うことを目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：授業内容の説明（バスケットボール）
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、ハーフコート2メン・ダッシュ
- 3 時限目：ランニング・パス、ハーフ・コート2対1、ミニゲーム
- 4 時限目：ランニング・パス、ハーフ・コート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 5 時限目：レイアップ・シュート・ドリル、フル・コート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE①、ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE②、ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：実技テスト、ゲーム（トーナメント）
- 9 時限目：（バドミントン）ラケットティング、ストロークの基本技術（回内、回外）
- 10 時限目：オーバー・ヘッド・ストローク（スマッシュ、ドロップ、クリアー）
- 11 時限目：アンダー・ハンド・ストローク（クリアー、ヘアピン）
- 12 時限目：サービス、ストロークの応用とミニゲーム、ダブルスのルール
- 13 時限目：総合練習、ダブルスのゲーム
- 14 時限目：総合練習、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：実技テスト、ダブルスのゲーム

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科 目 名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (卓 球)	みやざわ えい さく 宮 沢 栄 作	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

文明発達の著しい今日、日常生活の中での動的プログラムは、益々減少しつつある。このような生活環境を改善して、出来るだけ身体を動かすことが心身の健康につながることを認識させ、その実践をはかる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：バスケットボール競技の基本応用技術の全般についての実習
- 3 時限目：正式ゲーム
- 4 時限目：正式ゲーム
- 5 時限目：バレーボール競技の基本応用技術について
- 6 時限目：正式ゲーム（6人制）
- 7 時限目：正式ゲーム（6人制）
- 8 時限目：卓球の基礎応用技術について
- 9 時限目：シングルス、ダブルスのゲーム
- 10 時限目：シングルス、ダブルスのゲーム
- 11 時限目：バドミントン技術について
- 12 時限目：シングルス、ダブルスの正式ゲーム
- 13 時限目：シングルス、ダブルスの正式ゲーム
- 14 時限目：まとめとして、希望種目の実施
- 15 時限目：評価（全種目を通して）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 本校第1体育館で行う。
- (3) 服装は一般的な運動服装とする。体育館用シューズを用意すること。
- (4) 用具は貸与する。

成績評価の方法

出席点70%、実技点30%とする。

科 目 名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (室内球技)	みやざわ えい さく 宮 沢 栄 作	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の楽しさやゲームを通して、これからの活動欲求を高める。
- (3) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：サーブ、サーブレシーブ
- 3 時限目：サーブ、ラリー
- 4 時限目：
 - } 総合練習・シングルスゲーム
- 8 時限目：
 - } 総合練習・ダブルスゲーム
- 9 時限目：総合練習、ダブルスゲーム練習
- 10 時限目：
 - } 総合練習・ダブルスゲーム
- 13 時限目：
 - } 総合練習、シングルス勝ち抜き戦
- 14 時限目：総合練習、シングルス勝ち抜き戦
- 15 時限目：総合練習、ダブルス勝ち抜き戦

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館で行なう。
- (3) 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5) その他のものは用意しなくてよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (簡化太極拳)	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5時限目：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
- 6時限目：第四組 単鞭・雲手・單鞭
- 7時限目：第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚
- 8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9時限目：第七組 左右穿掌・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・收勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (ニュースポーツ)	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時限目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時限目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時限目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時限目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時限目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 9 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 10 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 11 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 12 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：35名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (バドミントン)	なが はま とも お 雄 長 濱 友 雄	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
また技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) スマッシュ、ドロップショットを打つことが出来る。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドライブ
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 4 時限目：総合練習
- 5 時限目：総合練習
- 6 時限目：
 - } 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10 時限目：
 - } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 11 時限目：
 - } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15 時限目：
 - } 総合練習・ゲーム（ダブルス）

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (卓 球)	まきの野 しげる茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の楽しさやゲームを通して、これからの活動欲求を高める。
- (3) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：サーブ、サーブレシーブ
- 3時限目：サーブ、ラリー
- 4時限目： }
 } 総合練習・シングルスゲーム
- 8時限目： }
- 9時限目： 総合練習、ダブルスゲーム練習
- 10時限目： }
 } 総合練習・ダブルスゲーム
- 13時限目： }
- 14時限目： 総合練習、シングルス勝ち抜き戦
- 15時限目： 総合練習、ダブルス勝ち抜き戦

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館で行なう。
- (3) 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5) その他のものは用意しなくてよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (バドミントン)	まきの 牧野 しげる 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
また技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
 - (1) スマッシュ、ドロップショットを打つことができる。
 - (2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドライブ
- 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 4時限目：総合練習
- 5時限目：総合練習
- 6時限目：
 - } 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10時間目：
 - } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 11時間目：
 - } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15時間目：
 - } 総合練習・ゲーム（ダブルス）

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (室内球技)	まきの野 しげる茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

バスケットボールとバドミントンを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を旨とする。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：授業内容の説明（バスケットボール）
- 2時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート・ドリル、ハーフ・コート2対1
- 3時限目：シューティング・ドリル、フル・コート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 4時限目：著名なマンツーマン・オフense①ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 5時限目：著名なマンツーマン・オフense②ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 6時限目：モーション・オフense・ドリル①ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 7時限目：モーション・オフense・ドリル②ハーフ・コート4対4、ゲーム（リーグ戦）
- 8時限目：実技テスト、ゲーム（トーナメント）
- 9時限目：（バドミントン）ストロークの基本技術（回内、回外）
- 10時限目：オーバー・ヘッド・ストローク（スマッシュ、ドロップ、クリアー、ドライブ、カット）
- 11時限目：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、シングルのゲーム
- 12時限目：アンダー・ハンド・ストローク（クリアー、ネット・ショット）、シングルのゲーム
- 13時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 14時限目：総合練習、ダブルスのゲーム
- 15時限目：実技テスト、ダブルスのゲーム

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科 目 名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (室内球技)	みやざわ えい さく 宮 沢 栄 作	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

文明発達の著しい今日、日常生活の中での動的プログラムは、益々減少しつつある。このような生活環境を改善して、出来るだけ身体を動かすことが心身の健康につなげることを認識させ、その実践をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：バスケットボール競技の基本応用技術の全般についての実習
- 3 時限目：正式ゲーム
- 4 時限目：正式ゲーム
- 5 時限目：バレーボール競技の基本応用技術について
- 6 時限目：正式ゲーム（6人制）
- 7 時限目：正式ゲーム（6人制）
- 8 時限目：卓球の基礎応用技術について
- 9 時限目：シングルス、ダブルスのゲーム
- 10 時限目：シングルス、ダブルスのゲーム
- 11 時限目：バドミントン技術について
- 12 時限目：シングルス、ダブルスの正式ゲーム
- 13 時限目：シングルス、ダブルスの正式ゲーム
- 14 時限目：まとめとして、希望種目の実施
- 15 時限目：評価（全種目を通して）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 本校第1体育館で行う。
- (3) 服装は一般的な運動服装とする。体育館用シューズを用意すること。
- (4) 用具は貸与する。

成績評価の方法

出席点70%、実技点30%とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) テニス集中	え ぐ ち し ゅ ん い ち 江 口 淳 一	全 学 科 選	1

講義のねらい

テニスは、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習では、フォアハンド・バックハンド グラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど打球技術の習得と、ゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより高度な次元でテニスに関わる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスは、打球技術の習得ばかりでなく《あがり》や《プレッシャー》といったメンタル面を克服することが重要視される心理ゲームで、それゆえに奥が深く、勝敗の行方が読めないスポーツとなっている。本実習においては、このテニスにおけるメンタルトレーニングの重要性を実技と解説を交えながら理解し、さらなるステップアップを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知ること目標とする。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながらHighでFullにテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目午前：フォアハンド・バックハンド グラウンドストロークの基本技術の確認
- 1日目午後：ラリーの応用練習
- 2日目午前：より高度なフォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ
- 2日目午後：より正確でスピーディーなテニスを目指して
- 3日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 3日目午後：ダブルス（平行陣への移行）
- 4日目午前：ダブルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 4日目午後：シングルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 5日目午前：団体戦形式の試合
- 5日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：12月21日（土）～25日（水）、
12月21日更衣の上、午前10時にテニスコート集合
- (2) 実施時間：午前10：00～12：00
午後13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限（後期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) ゴルフ集中	みぬさ はるみ 三 幣 晴 三	全 学 科 選	1

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。

本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講者同士とのコミュニケーションも重要なねらいである。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目 実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）
講義：スイングの基本
- 2日目 実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）
講義：マナーとエチケット
- 3日目 実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習）
講義：ゴルフルール
- 4日目 実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）
講義：ゴルフコースとラウンドについて
- 5日目 実技：打撃練習（総合的打撃練習）

履修上の留意点

- (1) 服装・用具
 - ① 一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）
 - ② グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

そ の 他

- (1) 実施期間 平成13年12月21日（土）～25日（水）
12月21日更衣の上、午前10時に玉川グラウンド集合
- (2) 実施時間 午前10：00～12：00
午後13：00～15：30
- (3) 実施場所 玉川校舎グラウンド
- (4) 費用 受講者の上達によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、2,000円程度必要である。
- (5) 定員 40名
- (6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時間で提出すること。
土曜日・8時限（後期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎／応用) ゴルフ	みぬさ はるみ 三 幣 晴 三	全 学 科 選	2

講義のねらい

「健康・スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフの基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。

ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいである。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・ 授業スケジュール

(1) 事前授業 1回目 5月18日(土) 講義：12:10～12:50 2研-101教場
「ゴルフの基本知識1、オリエンテーション」

2回目 7月20日(土) 講義：13:00～15:30 2研-101教場

「ゴルフの基礎知識2」

※上記の事前授業は、オリエンテーションを兼ねるので必ず出席すること。

(2) 実習内容

1日目 9月9日(月) 実技：14:00～17:00 《オリエンテーション・打撃練習》

講義：19:00～21:00 《ゴルフスイングの基本》

2日目 9月10日(火) 実技：9:00～12:00・13:30～16:30 《打撃練習・その他》

講義：19:00～21:00 《ゴルフのエチケット・マナー》

3日目 9月11日(水) 実技：9:00～12:00・13:30～16:30 《打撃練習・その他》

講義：19:00～21:00 《ゴルフのルール・ラウンドについて》

4日目 9月12日(木) 実技：9:00～12:00・13:30～16:30 《ラウンド・その他》

講義：19:00～21:00 《ラウンドの反省と総括》

5日目 9月13日(金) 実技：9:00～11:00・12:30～14:30 《ラウンド・その他》

履修上の留意点

(1) 服装・用具

① 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)

② ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。

③ グローブは、必ず各自で用意すること。

※ゴルフクラブ・キャディーバック等は大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

(2) 場所・宿泊

① 宿泊先：軽井沢千ヶ滝温泉ホテル 電話0267-46-1111

長野県北佐久郡軽井沢町千ヶ滝温泉

② 練習場：軽井沢ゴルフ練習場 電話0267-48-1211

③ コース：晴山ゴルフ場・ホテルコース・和美パー3コース・その他

(3) 実施期間 平成14年9月9日(月)～13日(金) 4泊5日

(4) 募集人員 定員25名(事前登録科目である。)

(5) 集合・解散 現地(軽井沢千ヶ滝温泉ホテル)。

詳細については(時間：道順など)事前授業で説明するので必ず出席すること。

(6) 費用 49,500円 ※交通費は含まれない。

(7) 納入方法 経理部窓口で、平成14年5月24日(金)～6月6日(木)までに納入すること。

成績評価の方法

出席点70%、技術の上達度および小テスト30%(ルール、マナー等)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) スキー	た な か よ し た か 田 中 佳 孝 他	全 学 科 選	2

講義のねらい

現在我が国においてスキーは、国民スポーツと言われるまでに普及し、「生涯スポーツ」として楽しむことのできるスポーツとして定着している。スキーを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーについて理解を深めていきたい。

実習は、スキーの技術レベルに応じて、1班10名程度にグループ分けして実施する。コースの内容は、以下の通りである。

基礎コース：雪面に慣れることから始まり、ブルーク更にシュテムターンの習得

応用コース：パラレル、ウェーデルンと斜面に応じた総合滑降技術の習得、および完成をめざす。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 事前授業： 5月18日(土) 12:10~12:50 2研-102教場「オリエンテーション・スキーの基礎知識1」
12月21日(土) 13:00~15:30 2研-101教場「スキーの基礎知識2」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目 <2月17日(月)> 午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スキー基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目 <2月18日(火)>
午前・午後：班別実習および全体講義「スキー応用技術解説」
 - 3日目 <2月19日(水)>
午前・午後：班別実習および全体講義「スキーと自然・ウィンタースポーツ」
 - 4日目 <2月20日(木)>
午前・午後：班別実習および班別講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5日目 <2月21日(金)>
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

シーズンコーススキーの授業は、下記の要領で実施する。

- 1) 日 程：平成15年2月17日(月)~2月21日(金)の4泊5日
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話(0195)73-5019
- 3) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
受講者は、費用を納入期間平成14年5月24日(金)~6月6日(木)までに経理部窓口で納入すること。
- 4) 定 員：90名
- 5) 『履修届(事前登録)』に関する注意：教務部窓口提出する『事前登録申請書』には、シーズンコース用に設定された『土曜日8時限(後期)』で記入すること。
- 6) オリエンテーション：上記の事前講義(5月18日(土)・12月21日(土))で実習の説明を行うので必ず出席すること。
- 7) スキー用具：スキー用具は現地でレンタル可能(有料)。
- 8) 特記事項：スキー実習日程は、卒業年次生の追再試・1~3年次生の追試験と重なっているので特に注意すること。

成績評価の方法

事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びにスキー基本技術や、理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(03-3709-0717)に連絡すること。尚、実習に不参加の場合、受講料の一部は、返却されないことがある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 1	佐 藤 政 之 <small>さとう まさゆき</small>	全 学 科 選	2

講義のねらい

現代社会は早いテンポで激しく移り変わり、新しい健康問題が次つぎと生じてきている。若年者を含む人々の中に成人病が増えてきている。もはや最先端の医療技術だけでは抑え込めぬ時期にきている。このような時代の中で、健康とは何か、なぜ大切であるのかという、しっかりした健康観を持ち、「自からの健康は自からで守る」という自覚が必要である。本講義は日常の学生生活内容を豊かにするため、運動・スポーツの基礎的な知識を正しく理解し、心身をリフレッシュし、体力、健康の維持、増進につとめるための手助けとなる事を目的にする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：講義の概要説明
- 2 ♪：現代生活と健康（食生活と健康）
- 3 ♪： ♪（食生活と栄養）
- 4 ♪： ♪（運動不足と成人病）
- 5 ♪： ♪（平均余命と寿命の伸び）
- 6 ♪： ♪（健康のための生活習慣）
- 7 ♪： ♪（喫煙・飲酒）
- 8 ♪： ♪（ストレス社会と健康障害）
- 9 ♪： ♪（ストレスと健康測定）
- 10 ♪：現代生活と運動（健康づくり運動）
- 11 ♪： ♪（スポーツマンのトレーニング）
- 12 ♪： ♪（スポーツマンの運動処方）
- 13 ♪： ♪（スポーツ医学の一般知識）
- 14 ♪： ♪（スポーツと環境・条件）
- 15 ♪：まとめ

成績評価の方法

- ① 「レポート」の提出2回
- ② 「筆記試験」
- ①・②で成績評価とする。

教 科 書

教科書は使用しない。配布プリントにて授業を進める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 2	お お い し た け し 大 石 武 士	全 学 科 選	2

講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病气や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病气・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：講義内容の説明
- 2 時限目：体育の概念
- 3 時限目：身体運動と体育運動
- 4 時限目：健康の概念、身体運動の効果
- 5 時限目：人体構造の概略、エイズ問題
- 6 時限目：救急処置の目的、一次救命処置
- 7 時限目：一次救命処置
- 8 時限目：一次救命処置実習
- 9 時限目：出血多量、ショック
- 10時限目：熱中症、やけど（熱傷）、凍傷
- 11時限目：R・I・C・E処置、創傷、創傷のない障害
- 12時限目：挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14時限目：体力について
- 15時限目：テスト

成績評価の方法

出席・実習および学期末試験で評価する。

参 考 書 等

- 1 駒澤大学保健体育部編 『保健体育概論』（カヅサ出版）1,700円
- 2 『最新図解救命救急—応急手当の手引き—』（小学館）700円

そ の 他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 2	まきの 牧野 しいげる 茂	全 学 科 選	2

講義のねらい

現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：目的と課題の把握 全体ガイダンス、アンケートとその解説
- 2 時限目：健康とは何か① 語源・定義・性格
- 3 時限目：健康とは何か②
- 4 時限目：健康とは何か③
- 5 時限目：恒常性と適応 ストレス学説
- 6 時限目：健康の成立条件 健康を規定する条件
- 7 時限目：健康の保持増進① 科学的研究、健康教育
- 8 時限目：健康の保持増進② 保健衛生サービス、健康の獲得
- 9 時限目：健康指標 WHOの総合健康指標
- 10 時限目：日常生活と健康① 運動・栄養・休養①
- 11 時限目：日常生活と健康② 〃 〃 〃 ②
- 12 時限目：日常生活と健康③ 嗜好品と健康
- 13 時限目：感染症について① インフルエンザ、結核
- 14 時限目：感染症について② 性行為感染症
- 15 時限目：筆記試験

成績評価の方法

筆記試験において、60点以上を合格とする。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参考書等

『保健体育概論』（カツサ出版部）1,700円
他は、講義のなかで紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 2	みやざわ えいざく 宮 沢 栄 作	全 学 科 選	2

講義のねらい

健康としての具備すべき条件（13項目）の追求と、それに深くかかわる体育、スポーツの本質を見つめて、その科学的、医学的知識を持って、将来の社会的な生活拡充化の意識の育成を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時間目：体育の発生と今日までの各々の時代的変遷と併わせて古代体育の目的と現代の体育の具体的目標について。
- 2 時間目：健康のための条件を再確認し、健康と身体運動の意義を人間以外の動物の寿命等を例として認識させる。
- 3 時間目：スポーツの発生経緯、発案者、命名の様相、各々の特徴、分類について
- 4 時間目：スポーツと体力の関係について
- 5 時間目：運動能力発達の原理
- 6 時間目：運動能力の領域
- 7 時間目：運動能力の構造
- 8 時間目：運動能力とスポーツ技能の分析
- 9 時間目：総合体力の定義と要素
- 10 時間目：スポーツ実施上の功罪、その一つとしてのスポーツ障害について
- 11 時間目：　　　　　　〃
- 12 時間目：トレーニング理論全般
- 13 時間目：　　　　　　〃
- 14 時間目：　　　　　　〃
- 15 時間目：まとめ

成績評価の方法

成績評価は学期末の筆記試験による。

教 科 書

不要。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 2	<small>むらまつ</small> 村 松 <small>まこと</small> 誠	全 学 科 選	2

講義のねらい

現代は健康の時代の不健康な時代と言われる。健康に関する情報は、テレビに、雑誌にと、世に溢れている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、健康とは何であるかという、しっかりした健康観をもつことは、間違った選択をしないためにも大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中でもっとも健康な時期と言われるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この学生時代より多くは始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯に渡っての健康を考えて行く。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康観の変遷
- 3 時限目：現代の健康観
- 4 時限目：健康の成立要因
- 5 時限目：健康の成立条件
- 6 時限目：病気の原因
- 7 時限目：疾病構造の変遷と病気の予防
- 8 時限目：現代の感染症
- 9 時限目：喫煙と健康
- 10 時限目：飲酒と健康
- 11 時限目：ストレスと健康
- 12 時限目：食べ物と健康
- 13 時限目：運動と健康
- 14 時限目：環境と健康
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

数回の小テストを行なう予定。

成績評価の方法

定期試験とその他を加味して評価する。

教 科 書

教科書は特に指定しないが、保健体育部編『保健体育概論』を参考図書とする。

II 專門教育科目

II. 専門教育科目

禅学序	説〈岩永正晴〉	239
仏教学序	説〈吉津宜英〉	240
仏教学序	説〈飯塚大展〉	240
坐禅	I 〈小坂機融・岩永正晴・河村孝道・晴山俊英〉	241
宗典	典〈小坂機融〉	241
宗典	典〈河村孝道〉	242
宗典	典〈石井清純〉	242
禅学研究	I 〈田中良昭〉	243
禅学研究	II 〈大谷哲夫〉	243
禅学研究	III 〈熊本英人〉	244
禅学研究	IV 〈晴山俊英〉	244
仏教研究	I 〈田上太秀〉	245
仏教研究	II 〈池田練太郎〉	245
仏教研究	III 〈長谷部八郎〉	246
仏教研究	IV 〈飯塚大展〉	246
インド仏教史	史〈田上太秀〉	247
パーリ仏教史	史〈奥平龍二〉	248
チベット仏教史	史〈四津谷孝道〉	248
中国仏教史	史〈岡部和雄〉	249
朝鮮仏教史	史〈石井公成〉	249
日本仏教史	史〈高橋秀栄〉	250
中国禅宗史	史〈田中良昭〉	250
日本禅宗史	史〈石井清純〉	251
禅籍講読	I 〈石井修道〉	251
禅籍講読	II 〈佐藤秀孝〉	252
禅籍講読	III 〈石井清純〉	252
禅籍講読	IV 〈岩永正晴〉	253
仏典講読	I 〈岡部和雄〉	253
仏典講読	II 〈四津谷孝道〉	254
仏典講読	III 〈伊藤隆壽〉	254
仏典講読	IV 〈皆川広義〉	255
宗史	史〈長谷部八郎〉	255
インド仏教文化史	史〈金沢篤篤〉	256
中国仏教文化史	史〈永井政之〉	256
日本仏教文化史	史〈袴谷憲昭〉	256
日用経典	典〈飯塚大展〉	257
禅学概論	論〈佐藤秀孝〉	257
仏教概論	論〈池田練太郎〉	258
中国古典語初級	級〈石井公成〉	258
インド哲学史	史〈金沢篤篤〉	258
中国哲学史	史〈前川亨〉	259
西洋哲学史	史〈中村友太郎〉	259
インド仏教思想史	史〈松本史朗〉	260
中国仏教思想史	史〈伊藤隆壽〉	260
原始仏教	論〈片山一良〉	260
真宗学概論	論〈休講〉	

浄土	学概	論	《金子	寬哉	261	
真言	学概	論	《松崎	惠水	262	
日蓮	教	論	《休	講		
新宗	教	說	《休	講		
神道	概	說	《三橋	健	262	
外国語	仏書	講	《四津	孝道	263	
外国語	禪書	講	《大西	龍峯	263	
禅学	特	I	《峰岸	孝哉	263	
禅学	特	II	《晴山	俊英	264	
禅学	特	III	《熊本	英人	264	
禅学	特	IV	《石井	修道	265	
仏教	特	I	《池田	魯參	265	
仏教	特	II	《飯塚	大展	266	
仏教	特	III	《四津	孝道	266	
仏教	特	IV	《奥野	光賢	267	
仏教	伝道	概	《皆川	広義	268	
仏教	伝道	研究	《皆川	広義	269	
青少年	問題	研究	《讚岐	真佐子	270	
青少年	指導	演習	《平野	学	271	
宗教	法	概	《洗	建	272	
詩書		偈道	《塩崎	幸雄	272	
現宗	と	仏	《峰岸	孝弘	273	
宗教	学	概	《長谷	八朗	273	
キリスト	教	概	《挽地	茂男	274	
イスラム	教	概	《菊地	達也	275	
哲学	概	說	《飯田	亘之	276	
宗教	哲	学	《河谷	淳	277	
現代	哲	学	《久保	陽一	277	
仏教	民	俗	《須藤	寛人	278	
宗教	教	育	《小山	一乘	279	
心理学	概	論	《間島	英俊	280	
パ	リ	語	《片山	一良	280	
パ	リ	語	《福田	孝雄	281	
サン	クリ	語	《金沢	篤	281	
サン	クリ	語	《金沢	篤	281	
チ	ベ	語	《松本	史朗	282	
チ	ベ	語	《木村	誠司	282	
中国	古	語	《小川	隆	282	
ラ	テ	ン	《上野	勝広	283	
仏教	文	献	《野沢	佳美	283	
中国	文	学	《末木	恭彦	284	
禅	美	術	《海老根	聰郎	284	
仏教	美	術	《松田	誠一郎	285	
坐禅		II	《永井	政之・石井	清純	285
演習	I	・	II	《飯塚	大展	286
演習	I	・	II	《池田	練太郎	286
演習	I	・	II	《池田	魯參	286
演習	I	・	II	《石井	修道	287

演	習	I	・	II	〈石	井	清	純	287
演	習	I	・	II	〈伊	藤	隆	壽	288
演	習	I	・	II	〈岩	永	正	晴	288
演	習	I	・	II	〈大	谷	哲	夫	289
演	習	I	・	II	〈岡	部	和	雄	289
演	習	I	・	II	〈片	山	一	良	290
演	習	I	・	II	〈金	沢		篤	290
演	習	I	・	II	〈河	村	孝	道	290
演	習	I	・	II	〈熊	本	英	人	291
演	習	I	・	II	〈小	坂	機	融	291
演	習	I	・	II	〈佐	藤	秀	孝	292
演	習	I	・	II	〈田	上	太	秀	292
演	習	I	・	II	〈田	中	良	昭	293
演	習	I	・	II	〈永	井	政	之	293
演	習	I	・	II	〈長	谷	八	朗	293
演	習	I	・	II	〈晴	山	俊	英	294
演	習	I	・	II	〈松	本	史	朗	294
演	習	I	・	II	〈皆	川	広	義	295
演	習	I	・	II	〈峰	岸	孝	哉	295
演	習	I	・	II	〈吉	津	宜	英	296
演	習	I	・	II	〈四	津	谷	道	296

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅学序説	<small>いわなが</small> 岩 永 <small>しょうせい</small> 正 晴	禅 1 必	4

講義のねらい

禅学科の諸君は卒業までの4年間、禅を研究対象とし禅学研究を行う。

この講義の目的は、諸君が学習・研究を始めるために必要な基礎的知識を提示することにある。その基礎的知識は、ひとつには対象としての禅についての知識であり、ふたつには研究の方法についての知識である。対象に関しては、禅の実践者や文献、用語、歴史などに関わるものが必要となる。また禅が仏教徒の営みである以上、仏教一般にわたる知識も含まれる。方法に関しては、禅学研究が文献の読解を基本としている現状から、禅籍を収める叢書の類や、読解に必要な辞書・索引・参考書の類の知識が必要であろう。また、多くの禅籍を取蔵する本学図書館の利用方法も必要な知識のひとつとなる。これらの知識をできるだけ煩瑣にならないように提示し、共有していきたいと考えている。

上記の目的を、学生諸君の積極的参加という協力を得ながら、なんとか達成したい。

講義の内容・授業スケジュール

初めに、いくつかの禅籍を例示して、禅をめぐる主要な人物・文献・歴史・用語を概説する。次に、叢書・辞書・索引・参考書を紹介し、あわせて図書館の利用方法についても触れたい。

履修上の留意点

積極的に参加して貰いたい。

成績評価の方法

学年末の試験の他に、出席点とレポート（1回）によって成績評価を行う。

教科書

随時資料を配付して教科書に代える。

参考書等

平川彰著『仏教入門』（春秋社）、田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版社）、柳田聖山著『禅思想—その原型をあらう—』（中公新書400）、鏡島元隆著『道元禅師』（春秋社）。
その他は適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教学序説	よ し つ よ し ひ で 吉 津 宜 英	仏 教 1 必	4

講義のねらい

この講義の眼目は仏教学の基礎を構築することにあります。仏教学とは仏教を様々な方法論に拠って学問的に研究し、その実態を明らかにすることを目的にします。全体的には仏教の5w1hを問います。仏教とは、誰が(who)、いつ(when)、どこで(where)、何を(what)、どのように(how)、なぜ(why)説いたのかと問うわけです。「誰が」の問いは仏教の開祖釈尊の存在を初め、今日まで仏教を伝えて来た仏教者たちを視野に入れます。「いつ」の問いは釈尊から今日までの仏教の歴史を検討します。「どこで」の問いはインド・中国・韓国・日本等の仏教の伝播した地域性を考慮します。「何を」の問いは仏教の真理性を対象にしますが、「どのように」の問いと関連し、具体的には阿含経から始まる各種の仏典を検討します。「なぜ」の問いは他の宗教とは異なる仏教独自の根拠を尋ねる客体的な探究であると同時に、自分自身がなぜ仏教を研究するのかという主体的な考察でもあります。仏教学序説はこのように仏教の研究を始めるに際して、人物・歴史・地域・典籍などの視点から基礎固めを行い、自分の研究課題を模索し、そのための方法論をも併せて学習する科目です。講義の全体的なねらいは、阿含経を始め多くの典籍を紹介しますが、皆さんには仏教の理解を一つ一つの知識という点から線に、線から面に、面から立体的な体系に組み上げてもらいたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容は典籍の解説を中心に据えます。典籍の説明を行いながら、自然に他の要素、すなわち人物・歴史・地域、そして方法論に言及するように考慮します。仏教の基礎は釈尊の伝記と教えです。前期は最初に阿含経などの三蔵を中心にして釈尊に関わることがらを解説します。次に釈尊滅後の部派仏教の展開から、大乘の出現の説明に移り、大乘仏教の多様性を概観します。後期は仏教が中国などに伝播して、どのような変容を遂げたかを具体的な典籍の紹介を通して概説してゆきます。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意してください。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいことを希望します。

成績評価の方法

年間で5～6回の課題提出と小テストを実施し、最後に期末試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しないが、プリントを配布します。

参考書等

高崎直道著『仏教入門』(東京大学出版会、2,200円)、山口益等編著『仏教学序説』(平楽寺書店、4,500円)、水野弘元等編著『仏典解題事典』(春秋社、4,500円)、平川彰著『インド・中国・日本、仏教通史』(春秋社、2,500円)

専科
門教
育目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教学序説	い い つ か ひ ろ の ぶ 飯 塚 大 展	仏 教 1 必	4

講義のねらい

これから仏教を学ぼうとする新入生諸君が、仏教研究に必要とされる基礎的知識を修得することを主眼とする。

講義の内容・授業スケジュール

仏教の歴史的展開を概説した後、仏教經典の主要な典籍について講義する。更に仏教の術語について、用例を挙げながら説明する予定である。

成績評価の方法

平常点、及び期末テストによって評価する。

教科書

特定の教科書は用いない。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
坐禅Ⅰ	小坂機融・岩永正晴 河村孝道・晴山俊英	禅・仏教Ⅱ必	4

講義のねらい

仏教学・禅学は、共に坐禅に基づく智慧の宗教の知的営為である。しかしこれは、単に相対的知解の究明にのみ終始するのではなく、その究極は不曾染汚の行持である坐禅の、不断の実修にこそ、その重心があることを忘れてはならない。無偏無党の坐禅なくして正遍知による見極めはありえない。従って、坐禅が、常に学問する者の上に正しく位置づけられて行くのであれば、真の仏教学・禅学とは言えない。かかる道元禅師の正伝の坐禅を実修して、自他の見を超えた無所得無所悟の仏法を行持することに勤めて行く。

講義の内容・授業スケジュール

全時間、坐禅実習・経行・講義を行い、前期は『正法眼蔵坐禅儀』と『経行軌』について、後期は『普勸坐禅儀』について講じ、道元禅師正伝の仏法を明らかにする。

履修上の留意点

仏教を学ぶ者の基本であるから、自らの節度ある生活を心掛け、実習に臨んで次を堅く守ること。

- ① 新学期最初の授業は、坐禅堂における進退・作法と席次など必要事項を指示するので、必ず出席すること。
- ② 時間厳守：始鈴10分前に全員入堂し、坐禅に入ること。遅刻・早退は全て欠席とする。
- ③ 私語・懈怠の厳禁：坐禅堂のある禅研究館の四階では、一切の私語をせず、毎時間、懈怠を戒めて真摯に精励すること。
- ④ 威儀厳正：仏制に順じて虚飾を避け、正服を基本に清楚な服装を心掛け（暑季は白のYシャツ可）、堂内の進退は作法に随い、身のすまいを正して厳肅に勤めること。
- ⑤ 直堂の当番：直堂を、毎時間2名（前策と後策）ずつ勤めるが、当番に充った者は、責任をもって、予め講本の作法をよく読んで理解し、前回の担当者からよく習って進退・作法を確認して行うこと。無責任なため叱責されるなど、全員に迷惑をかけぬよう注意すること。

成績評価の方法

- ① 全時間の「3分の2」以上の出席と、毎時間、真摯に実習したかを点検し、総合判断して評価を決める。
- ② 追試・再試等による救済措置は、全く無い。

教科書

『坐禅講本』（更生社）2,266円

参考書等

『坐禅用心記』『普勸坐禅儀不能語』

その他

授業は、40分間の坐禅、10分間の経行、40分間の講義の形式で行う。

科 専
目 門
教 教
育 育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗典	小坂機融	禅Ⅱ必	4

講義のねらい

道元・瑩山両祖の主著について概説し、その主要な巻ないし章を講読する。

講義の内容・授業スケジュール

前期では両祖の主著である『正法眼蔵』と『伝光録』の成立・伝播・研究等について概説し、次いで『伝光録』の首章と第五十一章とを講読し、後期では『正法眼蔵』『面授・身心学道』等を講読する。

履修上の留意点

本講座は、仏教学部に学ぶ者が当然熟知していなければならない最も基本的な事柄であるので、十分身を入れて真摯に取り組んで頂きたい。

成績評価の方法

理解度を知るための小テストと夏季休暇中の宿題レポートおよび定期試験、これに出席状況を加味して評価する。

教科書

『正法眼蔵』および『伝光録』の該当箇所をコピーして配布する。

参考書等

『道元禅師全集』第1・2巻（春秋社）、『瑩山禅』第1～4巻（山喜房仏書林）。その他は授業中に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗典	かわむら こうどう 河 村 孝 道	仏 教 2 必	4

講義の内容・
授業スケジュール

道元禅師の主著『正法眼蔵』（75巻、12巻他）を講読し、『正法眼蔵』の説示を通して日本曹洞禅の宗旨の要諦を学ぶ。

教 科 書

『道元禅師全集』第1巻・第2巻（『正法眼蔵』校注）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗典	い し い せいじゆん 石 井 清 純	仏 教 2 必	4

講義のねらい

曹洞宗の開祖である道元・瑩山両禅師の著作を通じて、禅籍の読解力を養いつつ、日本曹洞宗の宗風の基礎を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめに両禅師の著作を俯瞰し、日本曹洞宗における両者の位置付けと「宗典」の定義について考える。その後、『伝光録』・『正法眼蔵』の順に、テキストを読み進める。『伝光録』は、「釈迦牟尼章」及び「道元禅師章」を、『正法眼蔵』は「行持」の巻を予定している。

成績評価の方法

前期終了時にレポートを課す。それと学年末の筆記試験によって評価する。

教 科 書

プリント配布。

参 考 書 等

- ①『正法眼蔵』
 - ・河村孝道校註『道元禅師全集』巻1・2（春秋社）
 - ・水野弥穂子校註『正法眼蔵』全四冊（岩波文庫）
 - ②『伝光録』
 - ・孤峰智燦校註『伝光録』（鴻盟社）
 - ・東 隆真訳注『現代語訳 伝光録』（大蔵出版）
- この他、多くの訳注が出版されているので、それぞれに一揃いずつ用意しておくことが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅学研究Ⅰ	た な か り よ う し ょ う 田 中 良 昭	禅 2・3 選 必	4
		仏 教 2・3 選	

講義のねらい

本講座は禅の教理をその内容とする。

中国禅宗は、菩提達摩の西來に由来するものであるが、五祖弘忍下に、神秀を祖とする一派が北地に発展し、達摩正宗を自認していたのに対し、この一派を北宗と呼び、南地で活躍した慧能こそ、達摩正宗の六祖であると主張したのが慧能の弟子神会である。この神会による北宗攻撃の記録である『菩提達摩南宗定是非論』の読解によって、禅思想を教理面から理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

最近公にされた敦煌県博物館本のテキストの影印本と、楊曾文氏の校定本のコピーを配布して、田中良昭による現代語訳を参照しつつ、神会の主張する禅思想と独自の立場を明らかにしていく。

履修上の留意点

中国禅宗史を履修していること（同時でもよい）が望ましい。

成績評価の方法

学年末試験に出席を加味して評価する。

教 科 書

敦煌県博物館本の影印本（柳田聖山・椎名宏雄編『禅学典籍叢刊』別巻、臨川書店）、校定本（楊曾文『神会和尚禅話録』、中華書局）のコピーを使用する。

参 考 書 等

田中良昭・沖本克己他訳『敦煌Ⅱ』（中央公論社）に現代語訳あり。篠原寿雄・田中良昭編『敦煌仏典と禅』（大東出版社）に解説がある。

そ の 他

授業の方法は講義であり、オリジナルテキストの読解と解説が中心となる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅学研究Ⅱ	お お た に て つ お 大 谷 哲 夫	禅 2・3 選 必	4
		仏 教 2・3 選	

講義のねらい

本講座は、禅の実践的教義を通して禅における修証の真意義を参究する。

講義の内容・授業スケジュール

禅における清規の成立とその歴史的課題を背景にして、禅における修証観を、特に道元禅師の修証観に焦点を合わせ、『永平広録』、『正法眼蔵』などの実践的な面を取り上げて考察する。

履修上の留意点

関連する資料を配布し、その文献を随時講読するので、配布された資料はよく読んでおいてもらいたい。

成績評価の方法

成績評価は、出席などの平常点ならびにレポート、および期末試験にて行う。

教 科 書

特定の教科書は使用しない。

参 考 書 等

授業中に適宜指示する。

科 専
門 教
育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅学研究Ⅲ	くまもと えい にん 熊 本 英 人	禅 2・3 選 必	4
		仏 教 2・3 選	

講義のねらい

禅学研究Ⅲは、「教団」を主題とする講座である。近世における、宗学の主張や、仏教に対する批判なども視野に置きながら、明治維新以降の曹洞宗教団の近代化の諸相とその問題点を中心に講義を進める。

講義の内容・授業スケジュール

仏教の近代化とはいったい何であったのか。明治以降、仏教教団は、僧侶の世俗化や、教義の再構築など、大きく変貌してきた。さらに、近年の、檀家制度の崩壊や、「葬式仏教」への批判などまで含めて、仏教教団はさまざまな問題を抱えてきた。ここでは、近現代の曹洞宗教団の諸問題や、その変遷の持つ意味について考えてみる。

いわば、仏教教団の理想と現実の狭間を見ることによって、教団の存在意義を考える手がかりともしたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験またはレポート。

教 科 書

適宜プリントで配布する。

参 考 書 等

柏原祐泉著『日本仏教史 近代』（吉川弘文館）2,524円
池田英俊編『図説日本仏教の歴史 近代』（佼成出版社）1,942円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅学研究Ⅳ	は れ や ま し げ ん え い 晴 山 俊 英	禅 2・3 選 必	4
		仏 教 2・3 選	

講義のねらい

禅家における種々の儀軌と集団生活の規範の根本は、いわゆる清規に求められ、仏道のスタートは戒律に求められるが、日本においてこれらが現実に遵守されているとは言い難い。形式的側面に着目すれば、現代社会における戒律・清規の遵守は確かに難しいことなのかも知れない。しかし、その精神性は日常生活のあらゆる場面に想定することができよう。その意味において戒律・清規の現実的な役割を模索してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

戒律史上における清規と禪戒の特色、ならびに各清規の成立年代・背景・特徴等を概観した後、曹洞宗の清規の内容的歴史を探っていきたい。講義はノートをとる方法を中心に進める。

履修上の留意点

戒律にしても清規にしても、「何故こうなったのか」ということを考えられたい。

成績評価の方法

レポートの提出に出席の状況を加味して評価したい。

教 科 書

適宜プリントを配布する。

参 考 書 等

授業において適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教研究Ⅰ	た が み た い し ゅ う 田 上 太 秀	仏教2・3選必	4
		禅 2 ・ 3 選	

講義のねらい

千数百年に亘ってインドで教線を張った仏教教団は13世紀にインドで衰退したが、それまで仏教思想はさまざま変化を見た。釈尊の教えは周知であるが、中国や日本に伝わった仏教思想には、釈尊の思想とは少し色合いが異なるものが見られる。それは一体なぜかを説き、種々の仏教思想を紹介し、その人生観・世界観を考える糧を受講生に提供する。

講義の内容・授業スケジュール

「ブッダになる可能性」(仏性)とは何かをテーマとして、仏性思想の原点であり、原典である『大般涅槃経』曇無讖訳を中心に講義する。これは昨年大学院特殊講義で発表したものであるが、学部学生及び一般聴講者にも解り易く発表しようとするものである。

履修上の留意点

出席カード配り、出欠を取る。

成績評価の方法

期末テストだけで評価する。

教 科 書

講義の中で適時紹介する。また、資料(コピーしたもの)をその都度配布する。

参 考 書 等

授業の進度に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教研究Ⅱ	い け だ れ ん た ろ う 池 田 練 太 郎	仏教2・3選必	4
		禅 2 ・ 3 選	

講義のねらい

「仏教研究Ⅱ」の講座は、仏教における実践の問題を扱うことになっている。仏教の実践には、儀礼を含むさまざまな側面があるが、本来的には戒・定・慧の三学のうち、戒と定が仏教の実践の中心であるといえよう。

今年度は、その中の戒律に関する問題を取り上げることにする。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、仏教における戒と律について、その意味や成立過程・展開などを概説し、その後、各部派の律蔵に収められる文献をいくつか選んで参照しつつ、戒律に関する種々の問題について検討を加えていきたい。

成績評価の方法

年間2～3回行う予定の小テストと年度末の定期試験の成績によって評価する。

教 科 書

教科書は使用しない。必要に応じて参考資料を配布する。

参 考 書 等

授業において紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教研究Ⅲ	はせべ はちろう 長谷部 八 郎	仏教2・3選必	4
		禅 2・3 選	

講義のねらい

この講義は、宗教集団に関する基本的な理論の学習を踏まえつつ、我が国の仏教系諸教団にみられる種々の特徴を、歴史と現状の両面から理解することを主なねらいとしている。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめに、J.ワッハやB.R.ウィルソンほかによる宗教集団に関する所説を取り上げ、解説する。そうした宗教集団についての基礎的理解の上で、我が国の仏教系諸教団のとくに近代以降の展開を、教義・儀礼・宗教者・信者・施設などの主要な構成要件に照らして検討する予定である。

成績評価の方法

平常点と学年末の課題レポートによる総合評価。

教科書

使用しない。適宜資料を配布。

参考書等

授業で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教研究Ⅳ	いづか ひろのぶ 飯 塚 大 展	仏教2・3選必	4
		禅 2・3 選	

講義のねらい

室町時代の仏教について、仮名法語・絵巻物・お伽草子・抄物（禅籍抄物・切紙等）を用いながら、講義を行なう。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、仮名法語・絵巻物・お伽草子を中心に講義し、後期は切紙史料を用いながら、葬祭・施餓鬼会等の儀礼について、当時における意味を考察する。

履修上の留意点

本講義用のノートを準備し、授業内容を記録すること。

成績評価の方法

夏期休暇中の課題レポートと、期末試験にて評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

石川力山『禅宗相伝史料の研究』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
インド仏教史	た が み たいしゆう 田 上 太 秀	禪・仏教2・3選必	4

講義のねらい

インド仏教史はたんに仏教の歴史の講義に止まらず、インド哲学思想やインド文化史の中に位置づけられた仏教の様相を時代を追って講義しようと考えている。

たんに歴史の叙述だけでなく、それぞれの事象を残された彫刻や絵画などで紹介したり、植物や動物の関わりにも触れて説明をしたい。

講義の内容・授業スケジュール

昨年の講義に準じて本年の講義は進めるが、多くはプリントを配布し、それを資料にして講義する。

講義内容・目次

- 第1章 ゴータマ・ブッダ以前のインド
- 第2章 ゴータマ・ブッダの生きた時代の社会環境
- 第3章 ゴータマ・ブッダの生涯
ブッダの系譜、ブッダの誕生、ブッダの少年時代、出家の動機、修行生活、菩提樹下の開悟、45年間の伝道活動、死への旅
- 第4章 ブッダの根本思想 四諦八正道
- 第5章 仏教の分類
地域的区分、教理展開の時代的区分、修行の価値的区分
- 第6章 アショーカ王と仏教
- 第7章 教団分裂と部派の仏教
- 第8章 経典の成立
- 第9章 大乘仏教の起源
- 第10章 大乘仏教の思想の流れと特色
- 第11章 主な仏教文献の類型と思想

教 科 書

テキストはコピーを配布する。

参 考 書 等

佐々木教悟ほか著『仏教史概説（インド篇）』（平楽寺書店）750円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
パーリ仏教史	おくだいら 奥 平 龍 二	禪・仏教2・3選必	4

講義のねらい

インドで発祥し、スリランカで王権の庇護のもとに大成した上座部仏教（テーラヴァーダー。パーリ語を聖典用語とする「南方上座部仏教」）は、11～14世紀に東南アジア大陸部のモン、ミャンマー、タイ、クメール、ラーオなどの諸民族によって順次受容され、この地域にパーリ仏教文化が興隆する。これらの民族は上座仏教を基軸として政治的統合を行い、王権とサンガ（僧団組織）の強い結びつきのもと「仏教国家」という独特の政体を樹立したが、今日も、ミャンマー、タイ、カンボジアおよびラオスは、「上座部仏教圏」という共通の文化領域を形成している。

本授業では、まず、上記のような東南アジア大陸部の歴史文化的枠組（基層文化から「インド化」を経て「シンハラ化」への文化変容）を把握した上で、インド、スリランカを経て東南アジアに至る上座仏教史（パーリ仏教史）を各国別に概観する。次いで、東南アジア大陸部における仏教の受容と変容の問題を取り上げる。特に、ミャンマーを事例として、出家と在家、上座部仏教と民間信仰形態、女性と仏教等の関係に焦点を当てながら、東南アジア大陸部の仏教の特徴を考察する。

最後に、東南アジア地域の仏教の最近の動向を探る。

講義の内容・授業スケジュール

開講時に年間の授業計画概要を提示する。

成績評価の方法

年2回の期末レポートおよび授業への参加姿勢（ビデオ教材鑑賞後の感想文等）を総合的に判断して評価する。

教科書

教科書は特に定めず、毎授業時間にレジュメ乃至資料を配布する。

参考書等

開講時に関連文献をまとめて紹介する。

その他

授業は基本的に講義形式。ビデオ等視聴覚教材も積極的に使用する。討論も行いたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
チベット仏教史	よつや 四 津 谷 孝 道	禪・仏教2・3選必	4

講義のねらい

チベット仏教は長い間、アジアの一辺境地の特殊な仏教であると理解されてきた。しかし、近年仏教研究においてチベット仏教の理解が如何に重要であるかが明らかになってきた。本講義は、チベット仏教が仏教研究において有するその重要な意義を闡明することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

本講義においては、まず思想史的な側面よりチベット仏教の形成、そしてその変遷を説明する。次に「空性理解」、「修行の意義」等のチベット仏教史上で問題となった重要事項に焦点を当て、それらに関する議論の所在が何処にあるかを探ってみたい。その他文化的側面にも言及してゆく。

成績評価の方法

学年末のレポート

教科書

山口瑞鳳：『チベット』（下）（東洋叢書 3）、東京大学出版会

参考書等

青木文教『西藏』（芙蓉書房）1987、東京
松本史朗『チベット仏教哲学』（大蔵出版）1997、東京
山口瑞鳳『チベット』（全二巻）（東洋叢書3）（東京大学出版会）1987、東京

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国仏教史	お か べ か ず お 岡 部 和 雄	禅・仏教2・3選必	4

講義のねらい

中国における仏教の歴史的発展を時代に分けて概説的にたどり、その道すじや特色を明らかにする。いうまでもなく中国仏教という語はBuddhism in Chinaの意味で一般に用いられているが、Chinese Buddhism（「中国人の仏教」または「中国の仏教」）をも意味するのであろう。そして後者の意味するところは、インド仏教や日本仏教とは異なる“中国独自の仏教”ということになる。この観点に立てば中国仏教史とは、中国独自の仏教の形成史にはかならない。

中国仏教史を正しく理解するには、2つの前提が必要と思われる。1つはいうまでもなく仏教についての知識である。仏教はインドの起源であるから、インドのオリジナルな仏教についての予備知識が不可欠である。他の1つは中国史とくに中国思想史についての大まかな知識である。中国では紀元前にすでにインドに劣らない多彩な古典哲学（諸子百家の思想、とくに儒家と道家の思想）が開花した。インドから伝来した仏教は、それらの中国固有の伝統思想と出会い、抗争し、融合した。中国は新しい外来の宗教である仏教を受容して仏教化した。他方、受容された仏教は、それまでの仏教（インドや西域の仏教）とは相貌を異にするほど著しく中国化されてしまった。このように考えれば、中国仏教史とは「中国の仏教化」と「仏教の中国化」を同時に1つの歴史過程のなかにふくむものであり、この2つの契機を思想のダイナミズムとしてたえず注目していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

年度はじめに全体を12章に分けた講義内容を提示する。

履修上の留意点

特に教科書を指定しない。しかし中国仏教史の通史、概説書、研究書は、内外にわたって豊富なので、必要に応じて、それを紹介し、学説が対立している場合は、その問題点を集約し論評を試みる。中国史については『中国史研究入門』上下（山根幸夫編、山川出版社 1983）がすぐれている。

成績評価の方法

年度末の試験による。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
朝鮮仏教史	い し い こう せい 石 井 公 成	禅・仏教2・3選必	4

講義のねらい

仏教伝来から現代に至るまでの朝鮮仏教について概説する。

講義の内容・授業スケジュール

仏教伝来の状況と、朝鮮仏教の精華である新羅仏教に重点を置き、資料を読みながら通説を批判的に検討してゆく。その際、中国・日本・チベット・ベトナムなどの仏教受容との共通点と違いに注意したい。

履修上の留意点

漢文文献が中心となる。仏教漢文の訓練という点も考慮し、漢文の基礎力がつくような授業形態とするが、自分から積極的に漢文に取り組もうとする姿勢が必要となる。

成績評価の方法

年度末試験によって判定するが、授業中に熱心に取り組んでいた者については、平常点を加算する。

教科書

参考書は数が少ないため、授業内容に応じて関連論文の一覧を配布する。

参考書等

鎌田茂雄『朝鮮仏教史』（東京大学出版会）2,400円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本仏教史	たかほし しゆうえい 高橋 秀 栄	禅・仏教2・3選必	4

講義のねらい

仏教伝来から江戸時代までの歩みを概観する。

講義の内容・
授業スケジュール

飛鳥・奈良・平安・鎌倉・室町・江戸時代までの仏教の歩みを、信仰が育んだ文化や美術とも関連させながら講義していく予定。

履修上の留意点

日頃から仏教辞典や概説書に親しみ、基礎的な知識の修得につとめてほしい。

成績評価の方法

十枚以上のレポートを提出してもらって厳格適正に評価する。

教 科 書

随時プリントを配布して補足説明を加える。

参 考 書 等

かなりの数があるので、随時に紹介するが、今泉淑夫編『日本仏教史辞典』（吉川弘文館）は、本講義の内容を理解する上でも最適の手引きとなろう。熟読活用されたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国禅宗史	た な か りょうしょう 田 中 良 昭	禅・仏教2・3選必	4

講義のねらい

本講座は、中国の禅宗の歴史を考察するものである。仏教の実践道とされた禅が中国に伝来し、菩提達摩を初祖とする系統がやがて中国禅宗を形成し、更にそれが独自の展開を果たし、後にチベット、韓国、日本へと伝承された。この中国禅の歴史的展開を、近年出現した敦煌資料を活用しながら検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

仏教における禅の状況を序説的に第Ⅰ部とし、達摩の渡来による独特の禅法の開示から、馬祖の洪州宗、石頭の石頭宗によって禅宗が一宗として確立された中国禅宗の成立を第Ⅱ部とし、禅宗が五家七宗として各々その特性を発揮する唐末・五代から、日本の禅宗の元となった宋朝の禅、更に元代以後の禅という中国禅宗の展開を第Ⅲ部として全体を体系化する。

履修上の留意点

中国・日本の禅学や曹洞宗学を学ぼうとする学生諸君には、その基礎的な知識として歴史的な禅の流れを確かなものしておくことが、その後の学習にとって最善の方法である。

成績評価の方法

学年末試験を中心とするが、平常の授業への出席を重視し、その結果を加味して評価する。

教 科 書

現在適当なものが存在しないので、ノートを使用する。

参 考 書 等

比較的理解しやすいものに、〈講座禅〉第3巻『禅の歴史——中国——』中の柳田聖山稿『中国禅宗史』と近刊の伊吹敦『禅の歴史』がある。専門書としては、関口真大『禅宗思想史』、柳田聖山『初期禅宗史書の研究』、『禅仏教の研究』、田中良昭『敦煌禅宗文献の研究』、篠原壽雄・田中良昭編『敦煌仏典と禅』、鈴木哲雄『唐五代禅宗史』、『中国禅宗史論考』、石井修道『宋代禅宗史の研究』等が代表的なものであり、研究の手引書として田中良昭編『禅学研究入門』がある。

そ の 他

授業の方法は講義であり、ノートを使用し、必要に応じて資料を配布し、内容についての説明を可能な限り詳細に加えていきたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本禅宗史	い し い せい し ゅん 石 井 清 純	禅・仏教2・3選必	4

講義のねらい

中国において成立した禅宗は、鎌倉時代に日本に伝播し発展した。それは、ある部分では中国の叢林制度そのままの移植であり、またある部分では柔軟に日本の文化に順応して変容した。本講義では、その展開の様相を歴史的に概観し、現存する禅宗各派の成立基盤を明確化してゆく。

講義の内容・授業スケジュール

禅の伝来より、時代を追って明治時代の禅宗三派の成立までを概観する。

1. 奈良・平安時代の「禅」の伝来、2. 「禅宗」の成立、3. 五山と林下、
4. 禅宗教団の地方展開、5. 江戸幕府の宗教政策と禅宗、6. 隠元の米朝
7. 明治維新と禅宗の統合、8. 禅宗各派の再成立。

成績評価の方法

前期終了時のレポートおよび年度末の筆記試験をもって判定する。

教 科 書

講義ごとにプリントを配布。

参 考 書 等

竹貫元勝『日本禅宗史』（大蔵出版）・船岡誠『日本禅宗の成立』（吉川弘文館）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
禅籍講読Ⅰ	い し い し ゅう どう 石 井 修 道	禅3・4選必 仏教3・4選	4

講義のねらい

この講義は禅宗史話を原典テキストで味読するものである。唐代の最も魅力ある禅者を一人一人読み進めて行きたいが、年間、数限られた人数しか触れられないであろう。しかし、できるだけ数多くの禅者に触れてみたい。①菩提達磨②二祖慧可③五祖弘忍④六祖慧能⑤青原行思⑥南嶽懷讓⑦石頭希遷⑧馬祖道一⑨葉山惟儼⑩百丈懷海⑪雲巖曇晟⑫南泉普願⑬趙州從諗⑭潯山靈祐⑮黄檗希運⑯洞山良价⑰臨濟義玄⑱雪峰義存⑲玄沙師備⑳雲門文偃などを中心としたい。話は公案化されたよく知られたものを紹介したいが、興味ある行状はできるだけ触れるつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

原典にいきなり真っ正面からぶつかる。

履修上の留意点

教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。

成績評価の方法

夏期休暇後に教科書の感想文のレポート提出20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教 科 書

石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円

参 考 書 等

入矢義高『臨濟録』（岩波文庫）、入矢義高等『禅語辞典』（思文閣書店）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅籍講読II	佐 藤 秀 孝	禅 3・4 選 必	4
		仏教 3・4 選	

講義のねらい

この講義は中国禅宗でも宋代以降の禅籍（禅宗文献）を講読するものであり、それを通して宋代以降の禅宗の特質を考えていくことを目的とする。南北朝時代の菩提達磨を初祖とする中国禅宗は、唐代に独自の発展を遂げて祖師禅として定着し、唐宋五代には中国禅の五家（鴻仰・臨濟・曹洞・雲門・法眼の五宗）が起こり、北宋時代には臨濟宗が黄龍・楊岐の二派に分かれている。宋代の禅宗には、頌古などの禅文学の興隆や、公案参究の看話禅の隆盛、五山十刹などの官寺機構の制度化、さらに日本への禅宗の伝来など、究明すべき興味深い課題が多い。そうした諸問題を踏まえながら、最初に宋代の禅宗と禅籍について講義形式で概観し、その後に『碧巖録』『宏智禪師語録』『大慧正法眼蔵』などの当該の禅籍を講読していくことにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

はじめは講義形式で行ない、後半は内容の講読へと進みたい。

履修上の留意点

漢文の語録・文集であるので、読解力を増すように努力してもらいたい。

成績評価の方法

平常点（出席率や学習・発表態度）と年度末の定期試験による。

教科書

授業の折に当該のものをコピーなどに配布する。

参考書等

筑摩書房『禅の語録』シリーズの『輔教篇』『雪竇頌古』『信心銘・証道歌・十牛図・坐禅儀』『大慧書』『無門関』『禅関策進』など。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅籍講読III	石 井 清 純	禅 3・4 選 必	4
		仏教 3・4 選	

講義のねらい

この講義は、日本において禅宗が成立した当時の禅籍を講読するものである。具体的には、日本史の時代区分でいうところの中世、すなわち鎌倉時代から室町南北朝時代に編集された禅語録や法語類がこれにあたる。

禅宗は、鎌倉時代、武家政権の幕開けと共に日本に伝来したことで知られる。そしてそれは、その後、一部では中国の五山制度を導入することにより中央に進出し、また他方では、種々の宗教的要素を取り込んで地方に展開していった。つまり、この時代は、まさに日本の禅宗が生まれ、そして独り歩きを始めた時代なのである。

この講義では、まず、禅の表現形式に慣れるために、各種仏教関連の辞書を用いて丹念に禅籍を読み進める。そしてさらに、読み進んだ内容から、日本の禅林の思想的特徴を把握できると考えている。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、日本における禅思想の特徴を見出す意味から、臨濟宗大応派の日本人禅匠の語録を読み進める。この派は、後の日本禅林の展開に大きな影響を与えたものであり、その主張を知ること、禅の日本的展開の様相を知るに不可欠といえる。

講義前半は、対象となるテキストをプリントにて配布、そこに現われる禅語の意味を、一つ一つ丹念に辞書を用いて確認してゆく。これは、禅籍の独自の漢文表現と、仏教関係辞書の検索方法の双方に慣れることを意図したものである。

辞書の使用方法与漢文表記に慣れたところで、後半は、思想的内容を読解する演習へと移行してゆく予定である。

履修上の留意点

辞書や参考書類は用意するが、自己の読解力を高める意味でも、講義中に用いる基本的な辞書類は各自で用意されたい。

成績評価の方法

前期中に2回、後期中に1回、計3回の小テスト（ペーパーテスト）を行なう。それに年度末の定期試験を加えた計4回のテストを総合して成績を評価する。

教科書

講義ごとにプリントを配布。

参考書等

講義中に使用する予定の辞書類
『禅学大辞典』（大修館書店）、『中日大辞典』（大修館書店）、『禅語辞典』（思文閣）
『新字源』（角川書店）、『助字小字典』（内山書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅籍講読Ⅳ	いわなが しょうせい 岩 永 正 晴	禅 3・4 選 必 仏教 3・4 選	4

講義のねらい

この講義では日本禅宗後期の文献を講読する。今年度も、昨年度に引き続き江戸時代曹洞宗の碩学面山瑞方和尚が著し、元文3年（1738）に刊行された仮名法語『自受用三昧』を取り上げる。面山和尚自身の跋によれば、親しく坐禅を修する在家者から寄せられた、参禅の資助となる古徳の書を読みたいという要望に応じ一般の人にも読みやすい仮名書きのものをと、「我が朝古今ノ禅師」の仮名法語を検尋してみたが、ひとつとして道元禅師の坐禅の教えに合うものがなく、みづから筆を執り撰述するに至った、と云う本書の成立事情が語られている。

この書名は『弁道話』の冒頭に由来するもので道元禅師の坐禅を意味し、内容は、面山和尚の該博な知識に基づき諸経論を駆使して、懇切に坐禅の要訣を説示したものとなっている。さまざまな意味で、道元禅師の宗旨が坐禅にあるとの見極めがつけられはじめた江戸中頃という時代に相応しい書物であると考ええる。

この書物の講読を進めながら、今日にまで影響を及ぼす面山和尚の、或いは江戸時代曹洞宗の坐禅観について、共に学んでいきたい。

講義の内容・授業スケジュール

面山和尚に就いては詳細な年譜が残されているので、先ずその生涯を確認した上で本書の講読へと進んでいきたい。

履修上の留意点

下記の参考書の内、『日本の禅語録 卍山・面山』では面山瑞方の人と思想の解説を、『道元思想のあゆみ3』では「総説」を、それぞれ一読した上で参加することを望みたい。

成績評価の方法

学年末の試験と、夏期休暇明け提出のレポートによって評価する。出席点はない。

教科書

『続曹洞宗全書』所収本をコピーして配布する。

参考書等

鏡島元隆氏『日本の禅語録 卍山・面山』、 鏡島元隆氏監修・曹洞宗宗学研究所編『道元思想のあゆみ3』、 その他は講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏典講読Ⅰ	おかべ かずお 岡 部 和 雄	仏教 3・4 選 必 禅 3・4 選	4

講義のねらい

本学の片山一良教授がパリ仏典の新しい日本語訳をつぎつぎと刊行されている。そこで既刊のもの（中部経典）のなかから、適切なものを選び講読することにした。初期の仏典のもつ、みずみずしい息吹きにふれつつ、仏説の原点を探求してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに「仏典入門」の意味で、初心者向けの仏典解題をする。われわれになじみぶかい漢文仏典についても新しい角度から問題点を洗いなおしたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験による。

教科書

テキストはプリントしたものを配布する予定。

参考書等

片山一良訳『中部マッジマニカーヤ』（全6冊、既刊4冊、大蔵出版刊）
大蔵経学術用語研究会編『仏典入門事典』（永田文昌堂刊）

科 専
門 教
育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏典講読II	よつや こうどう 四津谷 孝 道	仏教3・4選必	4
		禅3・4選	

講義のねらい

本講座では、仏教において「禅定」と「洞察」（「真実」に関する知的な理解）の両者が何故に重要であるかということ考察してみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

この講義では、チベットの最も優れた学僧の一人であるツォンカパ（1359-1417）の『菩提道次第論』に述べられている上記の事項に関する系統的、組織的理解を検討する。

履修上の留意点

この演習に関しては、必ずしもチベット語やサンスクリット語等の知識を前提としない。

成績評価の方法

学年末のレポート

教 科 書

教材としては、必要に応じて、上記の書の当該箇所に関する和訳等を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏典講読III	いとう たかとし 伊 藤 隆 壽	仏教3・4選必	4
		禅3・4選	

講義のねらい

吉蔵撰『三論玄義』の講読
『三論玄義』は、中国隋代に三論（中論・百論・十二門論）の教学を大成した吉蔵（549-623）の代表的な著書である。内容は、三論宗の立場を鮮明にしつつ、インド・中国の仏教を概説しており、これを読むことによって、中国仏教のみならず日本仏教にも影響を与えた三論宗の特色を知ることができる。

講義の内容・
授業スケジュール

本年度の講読予定は次の通り
第I篇 すべての教えの根本
第1章 破邪
第1節 外道に対する批判
第2節 毘曇に対する批判
第3節 成実に対する批判
第4節 大乘仏教の執見に対する批判
第2章 顕正
第1節 人についての正義
第2節 法についての正義

履修上の留意点

テキストは漢文なので、予習をするぐらいの積極的学習を望む

成績評価の方法

年度末の筆記試験による

教 科 書

テキスト・参考書は、最初の授業において指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏典講読Ⅳ	みながわ ひろよし 皆 川 広 義	仏教3・4選必 禪 3・4選	4

講義のねらい

普寂『攝大乘論略疏』を、講読する。

『攝大乘論』は、インドの無着によって書かれた大乘仏教の代表的概論であり、唯識仏教の根本論書である。

このたびは、①阿頼耶識、②三性、③六波羅蜜説について、現代のトランスパーソナル心理学などをふまえて、平易に悟りと安心の書として考察したい。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 釈尊仏教より、大乘仏教への歩み
- II 攝大乘論と攝大乘論略疏について
- III 阿頼耶識説 生命と情報の世界
- IV 三性説 世界認識の三様式
- V 六波羅蜜説 悟りと安心の行
- VI 唯識仏教とトランスパーソナル心理学

履修上の留意点

積極的に聴講し、学習することを希望する。

仏教教理の理解を通して、自己の悟りと安心を明らかにしていただきたい。

成績評価の方法

聴講の態度（出席率など）、レポート、年度末の定期試験などによって、総合的に評価する。

教 科 書

テキストをプリントして、配布する。

参 考 書 等

- ①太田久紀著『仏教の深層心理』（有斐閣）
- ②横山紘一著『唯識思想入門』（第三文明社）
- ③安田理深著『攝大乘論聴記』（文栄堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗教史	は せ べ は ち ろ う 長 谷 部 八 朗	禪・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、仏教を中心に日本宗教史の概説を行う予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は古代、中世を、後期には近世、近代を扱う計画である。古代では、とくに天台宗、真言宗の展開に焦点を当てる。中世は、鎌倉仏教、神道流派の形成に着目する。次いで、修験道から本山派、当山派が興り、組織化を進めたことに触れる。近世では、徳川幕府の宗教政策との関連で、仏教、神道、儒教などの展開をたどる。また一向宗や日蓮宗不受不施派、隠れキリシタンなどの禁圧された宗教についても論ずる。さらに、修験系や法華系の講社が多数出現した社会的背景を探る。そして、近代においては、神仏分離、廢仏毀釈の打撃から仏教がどのように復興していったかをみる。新宗教の歴史にも言及したい。

成績評価の方法

未定である。なお、授業時に1、2回小論文を書いてもらい、評価に加算することも考えている。

教 科 書

用いない。板書を中心に進めるので、ノートの充実を望む。

参 考 書 等

授業時に必要に応じて紹介する予定である。

科 専
門 教
育

科目名	担当者名	配当学科	単 位
インド仏教文化史	かなざわ あつし 金 沢 篤	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

神や人間などが織りなす奇想天外なインドの物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰頽にまつわる文化的トピックを論究する。

履修上の留意点

仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。

成績評価の方法

年度末試験などで総合的に判断する。

教科書

指定なし（資料は教場で適宜指示する）。

参考書等

教場で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国仏教文化史	なが い ま さ し 永 井 政 之	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

ここでいう「文化」とは、現代の我々が日常的にイメージするそれではなく、「人間の営み」としての文化である。当然、「仏教」という宗教も「文化」の枠組みの中に入る。このように「仏教」をとらえるとき、それが中国の歴史の中で、どのような変化展開をしたか。それが本講義のテーマとなる。

今年度は、インドで生まれた仏教が中国に定着するさまざまな紆余曲折の中で、特に興味を引く「仏・菩薩への信仰」を取りあげて考えてみたい。

成績評価の方法

成績評価は平常点に期末試験の結果を加味する。

参考書等

必要な参考書は授業において指示する。またコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本仏教文化史	は か ま や の り あ き 袴 谷 憲 昭	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、日本に完全に定着してしまった仏教文化の実態を、江戸期に成立した仏教以外の文献を通して、分析的に考察することに主眼を置く。その目的で、文献としては、江戸初期に成立したと見做される邦人イルマン不干斎巴鼻庵の『妙貞問答』上巻と、江戸末期に富永仲基(1715-1746)によって著わされた、『翁の文』『出定後語』とを主として取り上げる。これらの講義を通して、永い鎖国政策の間の仏教が、これ以前に成立していた仏教と、明治以降今日に至る仏教との間で、いかなる意味で思想的につながっているかを再考することになるであろう。

講義の内容・
授業スケジュール

講義における文献の取り上げ方は、必ずしも通時的ではないだろうが、前期にまず『翁の文』を講読して、仲基の「加上説」が思想史における思想構築の意味をどのように認識したものであるかを検討することから開始することは決っている。

履修上の留意点

参加者は、文献を自ら読もうとしていることが要求される。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。ただし、参加者の状況によっては評価の方法も変りうる。

教科書

石浜純太郎・水田紀久・大庭脩校注『翁の文』、日本古典文学大系97、近世思想家文集（岩波書店、1966年）。ただし、入手困難かもしれないので、必要に応じてコピーを配布する。

参考書等

講義において適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日用経典	い い づ か ひ ろ の ぶ 飯 塚 大 展	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

今日既存の仏教教団、主に平安仏教二宗、及び鎌倉時代に成立した諸宗において読論される経典について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

仏教経典の成立過程を概観した後、漢訳仏典として東アジアに伝播した経典の受容形態について講義する。更に主要な経典（般若経典・法華経・浄土三部経等）について論ずる予定である。

成績評価の方法

平常点、及び期末テストによって評価する。

教科書

特定の教科書は用いない。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅学概論	さ と う し ゅ う こ う 佐 藤 秀 孝	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

禅学とは禅に関する学である。禅（禪那）という修行法はインドに発生し、仏教に取り入れられ、中国や朝鮮さらに日本など広範に展開したものである。一概には規定できないが、この講義では禅と禅宗に関する基本的な知識を歴史面と思想面から概説し、あわせてそれら禅学研究のあり方について触れるものである。禅宗は仏教の中でもっとも実践的な宗派であり、中国・日本の歴史と文化に大きな足跡を記し、今日においては国際的関心も高い。この禅を学問的に考察せんとするのが禅学であり、本講義はその概論・概説にほかならない。

はじめにインド仏教における禅（禪定）について触れ、さらに禅の歴史的考察として、菩提達磨に始まる中国禅（禪宗）の基本的な歴史（禪宗史）を禅思想の展開を踏まえつつ概観し、また日本の禅宗にも及びたい。さらに思想面としては、禅の立場、禅の人間観・修行観、禅の生活さらに禅と文化、禅の今日的課題（本覚思想・見性の問題）など、およそ禅に関する諸方面からの概説的考察をなしたい。そして、これらに並行して禅学に関するそれぞれの分野における研究方法や基本的な資料などについても解説するつもりである。

成績評価の方法

平常点（出席率や学習態度）と年度末の定期試験による。

教科書

教科書はとくに指定しないで、その都度、諸資料をコピーなどで配布する。

参考書等

参考書としては駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）や田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版）が有効であろう。

その他

授業方法としては原則として講義方式で行なう。

科 専
門 教
育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教概論	い け だ れんたろう 池 田 練 太 郎	禪・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は、仏教の基本的な要素である三宝（仏・法・僧）の体系にしたがって、開祖であるブツダ、その教義、それを維持し展開させた教団の順に仏教の基本的立場を概説していく。内容はインド仏教が中心になるが、中国・日本などの諸地域に広まった仏教にもふれていく予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書として用いる『仏教入門』の次第にしたがい、最初に「仏教とは何か」について考え、その後、①ブツダの生涯、②仏の本質、③法——仏教の真理観、④一切法——法の種類、⑤輪廻と業・煩惱、⑥悟りへの道、⑦心——実践の主体、⑧修行者の理想像、⑨戒律と教団の組織、⑩仏教の歴史（インドとその周辺・中国・朝鮮・日本）の順に進めていく。

成績評価の方法

授業中に数回行う予定の小テスト、及び年度末の定期試験によって評価する。

教 科 書

高崎直道著『仏教入門』（東京大学出版会刊）2,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国古典語初級	い し い こうせい 石 井 公 成	禪・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

漢文読解の基本的な力と、中国思想の基本的な知識を身につけることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

基本的な文法から始め、中国仏教に大きな影響を及ぼした『老子』『荘子』『易経』およびそれらの注釈を読む。

履修上の留意点

口頭での訓読、現代語訳、訓読からの漢文の復原など、学生諸君に作業を課しながら講読してゆくため、予習が必要である。

成績評価の方法

試験を行うが、授業中に上記の作業をよく担当している者については、平常点を加算する。

教 科 書

使用せず、コピーを配布する。

参 考 書 等

教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
インド哲学史	か な ざ わ あつし 金 沢 篤	禪・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

仏教を産んだインドのヴェーダ体制の内実を探り、宗教・哲学の変遷を概観する。

講義の内容・
授業スケジュール

定評ある以下の教材に沿って、ヴェーダ時代より中世に到るまでの主だったトピックを通史的に概説する。併せて、インド哲学研究の方法論・問題点なども検討する。

履修上の留意点

日頃よりインドに関心の目を向け、主体的に常にながしかの問題意識をもって授業に参加することが望ましい。

成績評価の方法

数回のレポートと年度末の筆記試験など。

教 科 書

早鳥鏡正他著『インド思想史』（東京大学出版会）

参 考 書 等

講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国哲学史	まえかわ とうる 前川 亨	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

中国人の世界観、人間観の歴史的展開を把握することを目的とする。儒教・道教・仏教の思想とその相互関係の理解が主な課題である。特に、東アジア世界の中での中国思想という視野を失わないように心掛けたい。中国人の思考様式の特徴を明らかにし、それが日本人の思考様式とどこまで共通し、どれだけ異なるかを考える機会となれば幸いである。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は孔子から始めて唐宋代に至る時代を取り扱う。その場合にも、断代史的ではなく問題史的に進めていくので、近・現代との関係も考慮することになるであろう。受講者はそこから関心のある問題を発見して行ってほしい。

履修上の留意点

中国の思想・宗教・文化・社会などに関心を有する多様な受講者の参加を希望する。古典中国語もしくは現代中国語の初歩的な知識をもっていること（少なくともそれらの語学に履修意欲をもっていること）が望ましいが、授業じたいはその方面の知識なしでも理解可能であろう。ただし、継続して出席する意志と意欲を有する者以外の登録は認めない。レポートのみ提出して単位を取得しようなどという安易な気持ちでの受講はお断りする。問題意識と積極的な意欲に富む受講者を求める。

成績評価の方法

授業の内容に関連するレポートを前期と後期に提出してもらう。

教科書

特に必要としない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

できるだけ多くの情報を提供するため、講義形式をとるが、受講者の意見を徴しながら進めたい。積極的な問題提起、討論を歓迎する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋哲学史	なかむら ともたろう 中村 友太郎	禅・仏教1・3・4選	4

講義のねらい

古典的なテキストになるべく豊かに触れる機会を設けつつ、それらの思想の背後にある精神史を探訪する。特にここでは、ユダヤ・キリスト教文化の中での哲学思索のあり方を歴史的形成の面から追求することを主眼としたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業は毎回二つの部分から成る。
 (a) テキストおよびプリント資料を参考に古代から中世にかけての哲学史の展望。
 (b) 講義内容への各自のリアクション、また教材への各自の取り組みを前提とするディスカッション。
 したがって、聴講者の積極的な取り組みが特に期待される。

成績評価の方法

上記の授業の特性に対応して、レポート及び試験の他、毎回の簡単なリアクション・ペーパーなどによる出席状況をも考慮して総合的に評価する。

教科書

開講時および授業の進捗状況に応じて指示する。

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名	担当者名	配当学科	単 位
インド仏教思想史	まつもと しろう 松 本 史 朗	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

インド仏教の思想的展開を概説することによって、仏教思想の特質を明らかにするのが、本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容・スケジュールは、ほぼ次の通りである。(a) 仏教成立以前のインド思想 (ヴェーダ・ウパニシャッド・ジャイナ教)、(b) 原始仏教の思想 (縁起説・四諦説・無我説等)、(c) 部派仏教のアビダルマ哲学、(d) 大乘經典の思想 (『般若経』『華嚴経』『法華経』『涅槃経』等の思想)、(e) 中観派の空思想、(f) 如来蔵思想、(g) 瑜伽行派の唯識思想、(h) 仏教論理学の思想。

履修上の留意点

厳正な試験を行なうので、安易な気持ちで履修することは、避けられたい。

成績評価の方法

年度末の試験により、成績を評価する。

教科書

早鳥鏡正他著『インド思想史』(東京大学出版会)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国仏教思想史	いとう たかとし 伊 藤 隆 壽	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

中国仏教思想の形成について、仏教と中国の伝統思想である儒家思想や道家思想との交流の視点から講義する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 仏教伝来以前の中国思想 2. 仏教の基本思想 3. 仏教の中国への伝来 4. 中国での仏教理解のあり方 5. 中国仏教思想の諸相

履修上の留意点

仏教のみならず中国伝統思想についても関心をもち、自主的に参加し学習してほしい。

成績評価の方法

年度末の試験による。

教科書

コピー資料を配布する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
原始仏教	かたやま いちろう 片 山 一 良	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

原始仏教とは仏教の源泉である。いわゆる大乘仏教も小乗仏教もすべてここより発している。その教えとは何か、すなわち釈尊の智慧と慈悲による教えとは何か、を原始仏典の言葉より明らかにし、我々の身近な問題をも考えたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

前半は仏伝を紹介しつつ、縁起・四諦の教え、あるいは無常・苦・無我の三相による見方について講じる。後半は原始仏典を読み、とくに中道(八正道)、戒律などの実践について講じる。全体として、智慧と慈悲の教えを「法」と「律」の立場から考えるものである。

履修上の留意点

従来の「仏教」に対する先入見を排除し、原始經典を直接に読むことを勧めたい。

成績評価の方法

レポート(夏期)および年度末テストによる。

教科書

とくに使用しない。随時、資料プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
浄土学概論	か ね こ かん さい 金 子 寛 哉	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

浄土宗の教義組織とその内容について。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第一、浄土宗の教えの概要
 - 第二、浄土宗の名称と仏教中における浄土宗の位置。
 - イ、宗の名称。
 - ロ、浄土宗の位置（立場）。
 - 第三、浄土宗の依り所とする経典、論書釈書。
 - イ、浄土宗で依り所とする三部の経典。
 - ロ、世親の往生論。
 - ハ、祖師の著作。
 - 第四、浄土宗信仰者の心構え。
 - イ、心の持ち方の意義。
 - ロ、まことの心。
 - ハ、深く信ずる心。
 - ニ、往生を願う心。
 - 第五、浄土宗信仰者の実践行。
 - イ、中心になる行とそれ以外の行。
 - ロ、中心になる五つの行。
 - ハ、五つの行の中にある二つの側面。
 - 第六、日常生活の中での念仏行。
 - イ、中心となる念仏行の実践方法。
 - ロ、四種類の方法と、三種類の場合。
 - 第七、念仏行の根拠（本願）。
 - イ、本願の意義。
 - ロ、阿弥陀仏の本願。
- まとめ

履修上の留意点

テキストをあらかじめ読んで置くこと。

成績評価の方法

出席、テスト、受講態度。

教 科 書

阿川貫達著『浄土宗義概説』（浄土宗務庁）500円

参 考 書 等

必要に応じてプリントのコピー配布。

そ の 他

授業の方法-講義中心。受講生にテキストを読んでもらう。

科 専
門 教
目 育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
真言学概論	まつざき けいすい 松 崎 恵 水	禪・仏教2・3・4選	4

講義のねらい	真言教学の概要を概説する。
講義の内容・ 授業スケジュール	真言宗の宗名の意義、教相と事相、秘密の意義、真言宗所依の聖典、真言宗の教判、顕教と密教の相違、空海の十住心思想、空海の三大思想、真言密教の教主、曼荼羅の名義、金剛界曼荼羅胎藏法曼荼羅、五智、四種法身、菩提心思想、真言密教の戒律、入壇灌頂、三句の法門、即身成仏思想、護摩法、加持と祈願の25章にわたって講義する。
履修上の留意点	出席を重視するので、やむを得ない場合以外は休まないこと。
成績評価の方法	学期末のレポートと出席点により総合的に評価する。
教 科 書	真言宗豊山派宗務所発行『新仏教綱要』第1巻、『真言宗綱要』をテキストとして用いる。第1回目の授業時に頒布する。1部200円。
参 考 書 等	その都度紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
神道概説	みつはし たけし 三 橋 健	禪・仏教2・3・4選	4

講義のねらい	神道の概説を通して、日本人の精神構造の一端を知るところにねらいがある。神道は日本の風土と歴史の中で自然に発生した宗教で、教祖も教典も教義もないが、日本人の暮らしの中に深く根をおろして広まっている。日本人に最も身近な宗教であるが、そのことがかえって神道の理解を困難にしている。日本固有の民族宗教である神道は、日本の心や文化、日本人の物の見方・考え方や生活様式を知る上のキーポイントとなる。
講義の内容・ 授業スケジュール	☆オリエンテーション。①神道とその歴史-神道という語・神道の成立と展開（4月）。 ②神道の特徴と根本聖典-神の道と人の道・八百万の神・誠の心と直き心・天津罪と国津罪・禊と祓・高天原と葦原中国と黄泉国・氏神と先祖崇拜・祝詞・記紀二典（5・6月）。 ③日本の神々と神道-日本人と神々・日本の自然神・神話に登場する神々・仏教から見た日本の神々・キリスト教から見た日本の神々（7月）。 ④神社に祀られる神々-伊勢の神々・出雲の神々・熱田・八幡・天神・稲荷など（9月）。 ⑤さまざまな神々-神になった人々・民間の神々・七福神・教派神道の神々（10月）。 ⑥神社と祭り-鎮守の森・神社の構造・神体・神社の年中行事・神職・祭礼と芸能・神輿・御札とお守りなど（11・12月）。 ⑦神道と人生-敬神生活。☆まとめ（1月）。
履修上の留意点	必ず出席し、神道概説専用のノートを用意し、常に問題意識を持って授業に望んでほしい。
成績評価の方法	最後の授業時に筆記試験を行う。教科書・参考書・白筆ノートのみ披見可とする。
教 科 書	三橋健編『わが家の宗教 神道』（大法輪閣）1,700円＋税
参 考 書 等	西田長男・三橋健共著『神々の原影』（平河出版社）1,942円＋税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外国語仏書講読	よ つ や こ う どう 四 津 谷 孝 道	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では外国語で著された仏教に関する研究論文を読解することを通して、欧米の研究者の優れた仏教理解に触れるばかりでなく、語学力の向上をもめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

今回はTilmann Vetterの“The Ideas and Meditative Practices of Early Buddhism”を教材として取り上げ、釈尊の悟りにおける諸問題についての同博士の興味深い見解を検討する。

履修上の留意点

各回の授業では、さほど多くの分量を読むつもりはないが、それだけに予習・復習は綿密にしたい。

成績評価の方法

学年末の試験

教 科 書

上記（最初の授業の際に、必要な部分を配付する）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外国語禅書講読	お お に し り ゅ う ほう 大 西 龍 峯	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

禅独特の表現や考え方を、日本語のみで触れていると、つい曖昧な形で感覚的に受けとめていたり、論理的な意味などにかまわず漠然と理解してしまっていることが少なくない。その点、英語に翻訳された禅の文献を読むことで、それらが具体的にどんな意味をもつのか、また実践的にどうとらえるべきかについて、より明確に考えてみることができよう。

講義の内容・
授業スケジュール

本年度はWalter Liebenthal: “Chao Lun” (『肇論』) を読むことにします。
本書は禅宗のみならず、中国仏教諸宗派に多大な影響を与えた重要な作品であります。原漢文を参照しつつ、思想的内容を明らかにするとともに、レトリックの特徴などについても考察を進めてみたいと思います。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教 科 書

テキスト、資料等は、授業で配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅学特講Ⅰ	み ね ぎ し こ う ざ い 峰 岸 孝 哉	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

公案禅の成立

中国禅宗を通じて「公案」の成立と展開はまことに興味深いテーマである。この成立の過程・その歴史的 성격について考えることは、中国禅を理解する上で不可欠な手段であると思われる。今年度は禅宗における公案禅について考えてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

1 「公案」の起源とその展開、2 公案禅の成立について、3 公案禅の意義について。

成績評価の方法

成績評価は期末試験の結果を中心とする。

教 科 書

テキスト・参考書は教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅学特講II	はれやま しゆんえい 晴 山 俊 英	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

禅戒のベースとなる『梵網経』を通じて、教家と禅家の立場の違いを明確にし、道元禅師ないし曹洞宗の戒律思想の特質を探る。

講義の内容・
授業スケジュール

『梵網経』の成立について講じた後、各条項を追いながら教家と禅家における戒律の解釈の違いを中心に戒律の存在意義を探ってみたい。

履修上の留意点

自らの日常生活と照らし合わせ、現実的な戒律の在り方を模索してみたい。また、寺院徒弟ならば、今後予想される僧侶としての人生に、自分なりの意義付けを試みられたい。

成績評価の方法

受講者が多い場合は期末試験に出席の状況を加味した評価を、少人数の場合はレポートの提出による評価を考えている。

教 科 書

石田瑞磨『《仏典講座14》梵網経』(大蔵出版)
その他、適宜プリントを配布する。

参 考 書 等

授業において適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅学特講III	くまもと えい にん 熊 本 英 人	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

本講座は、宗学研究史を主題とする。
宗学及び禅学の、近代以降の研究史とその分析を中心に講義を進め、さらに、宗学それ自身を思想史の一部として捉え、現代における宗学の持つ意味を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

宗学とは何か。禅学とは何か。宗乗とは何か。宗学は科学なのか、文化なのか。研究史や方法論も含め、あえてその定義を考えてみたい。

ここでは、明治以降の道元禅師の思想と伝記の研究を中心に紹介しつつ、現代における宗学の課題と問題を明らかにしていく。

また、これによって、受講者自身においても、自らの問題意識を確認し、その研究方法の基礎を身につけてもらいたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験またはレポート。

教 科 書

適宜プリントで配布する。

参 考 書 等

田中良昭編『禅学研究入門』(大東出版社) 5,825円
同編集委員会編『道元思想大系 全21巻 別巻1』(同朋舎出版)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅学特講Ⅳ	い し い し ゅ う ど う 石 井 修 道	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は公案を原典テキストで講読するものである。「禅とは何か」を学ぶ時に話題になる話は知っておく必要がある。確かに、それを学ぶにはなかなか骨が折れる。しかし、現在、安価で入手しやすい『碧巖録』三冊（岩波文庫）が刊行された。しかも、その訓読は、従来の誤読が多く訂正されている。ただし、垂示・著語にまで、細かく読み進めると興味を失うことになるかもしれない。それ故に入矢義高先生が「解説」で「初めからこの著語を飛ばして、じっくり読むという方法を取ることもあってよい」と言われたように、本則とその評唱のみを読んで、どんな禅者が有名か、伝えられる公案にはどんなものがあるか、そのようなねらいをもって、講義を進めてみよう。『従容録』や『無門関』や真字『正法眼蔵』などとの関連も注意したい。今年度は（中）の二冊目を読んでみたい。

講義の内容・授業スケジュール

『碧巖録』31則より読み始める。

履修上の留意点

今年度は『碧巖録』中巻しか講読できないが、全三冊を購入する必要がある。また、石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）を読み、予備知識を付けておくことが望ましい。

成績評価の方法

夏期休暇後に教科書の感想文のレポート提出20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

入矢義高等『碧巖録』（中）（岩波文庫）670円

参考書等

入矢義高『臨濟録』（岩波文庫）、入矢義高等『禅語辞典』（思文閣書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教特講Ⅰ	い げ だ ろ さ ん 池 田 魯 参	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

一昔前は仏教の基礎学として必読書の一つに指定されていた『天台小止観』を講読し、仏教の修行論の典型を学ぶ。長い間、多くの人々が読み難いので伝統的な読み方が確立しているので、仏教漢文を学ぶには最適であろう。本書の著者は天台山の聖者と称えられる天台智者大師（智顛538—597）である。本書は後世の坐禅儀の模範として高い評価を受け多方面に大きな影響を与えた。道元禅師や瑩山禅師の坐禅儀にもその影響の跡がみえるほどである。今日の仏教学の立場から問題点を明らかにしつつ、一年間をかけて読み終える予定で講義を行いたい。

講義の内容・授業スケジュール

最初から原文（漢文）で読んでいく。慣れて来たら当番を決め、順次、演習形式で前に出て原文について解説してもらい、それについてコメントをつけるような形にしていきたい。

履修上の留意点

仏教の専門用語を厳密に理解し、仏教の修行論を体系的に把握する習慣をつけて頂きたい。

成績評価の方法

全体的な評価は期末試験で一括して行うが、演習を担当した人や、積極的に質問し、自分の意見を表明する人には高い評価を与える。

教科書

担当者が拡大コピーしたものを使う。

参考書等

最初の講義で『天台小止観』の研究史を講義するので、その中で参考書・論文等について紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教特講Ⅱ	い い づ か ひ ろ の ぶ 飯 塚 大 展	禪・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

無住道暁（1226～1312）の著作『沙石集』『雑談集』等を通して、中世日本における仏教者の生き方とその思想について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

無住の伝記と著作について概説した上で、その著作の中からテーマ毎に用例を挙げながら講義を進める予定である。

成績評価の方法

平常点、及び期末テストによって評価する。

教 科 書

特定の教科書は用いない。

参 考 書 等

講義の中で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教特講Ⅲ	よ つ っ や こ う どう 四 津 谷 孝 道	禪・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

本講座では、中観派のインド、チベットにおける歴史的展開を思想史の立場から概観する。

講義の内容・授業スケジュール

David Seyfort Rueggが著した“The Literature of the Madhyamaka School of philosophy in India”を下敷きにして、インド、チベットにおける中観派の発展を解説し、更に思想史上での問題、即ち I 論理学の中観思想への導入、II 唯識思想、如来蔵思想との比較・検討、III 密教との関係等にも言及してゆきたい。

履修上の留意点

受講生には出来るだけの発言の機会を与えるので、自らの考えを積極的に述べてもらいたい。

成績評価の方法

学年末のレポート

教 科 書

David Seyfort Ruegg: “The Literature of the Madhyamaka School of philosophy in India”, A History of Indian Literature, vol VIII, 1981, Otto Harassowitz. (必要に応じて、同書の当該箇所和訳を授業において配布する)

参 考 書 等

梶山雄一・上山春平著『仏教思想3 空の論理<中観>』（角川文庫）
『講座・大乘仏教7 中観思想』（春秋社）
中村 元著『ナーガールジュナ』人類の知的遺産13（講談社）
中村 元著『空の論理 大乘仏教Ⅲ』中村元選集[決定版]第22巻

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教特講Ⅳ	お ぐ の み つ よ し 奥 野 光 賢	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

中国、日本仏教における如来蔵・仏性思想の思想的展開の講義を目標とする。如来蔵・仏性思想とは、「我が国の仏教諸宗派のほとんどが受け容れている教理で、大乘にとっての根元的なもの」といわれている。本講義では、こうした如来蔵・仏性思想の思想的展開を主として中国、日本仏教史上に跡づけることを目標とする。なお、近年、如来蔵・仏性思想に対しては、批判的見解も提示されているので、本講義では必然的にそれらの問題についても触れることになるであろう。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、これまでの如来蔵・仏性思想に対する研究史の概説を行なう。それを踏まえた上で各論に及ぶ。今年度は、中国、日本仏教における『法華経』受容を中心とした仏性論争を扱う予定である。

履修上の留意点

疑問点は、そのままにせず遠慮せずに質問してもらいたい。

成績評価の方法

出席点とレポートによって評価する。レポートは、学年末のレポートを含め年数回提出を求める。

教 科 書

教科書は特に指定せず、配布プリントによって講義を進める。年間を通じて相当な枚数のプリントになるはずである。

参 考 書 等

参考書はあまたある。それらの一つについては講義中に適宜指示する。さしあたって、次の書のみをあげておく。高崎直道『増補新版・仏性とは何か』（法蔵館）定価2,800円（税別）。

そ の 他

授業は、受講者の人数にもよるが受講生との対論がなされる形式になるよう努めるつもりである。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教伝道概説	みながわ ひろよし 皆 川 広 義	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

仏教における伝道について、理論と実践の二面より、概説したい。仏教伝道は、教主釈尊の生涯や教えを宣布する布教活動と、その教えにより人々を育成する教化活動よりなっている。

理論面では、まず、釈尊の教えをふまえて、仏教における伝道の原理を明らかにして、なんのために伝道をするのかを把握したい。次に、①教法、②人間（対機）、③伝道法の三点より、生死の苦悩からの解脱道としての仏教伝道を説明する。

実践面では、教えの広宣流布を中心とする布教活動と、教えにより人々を教化育成し、悟りと安心をあたえる教化活動に分け、現場における具体的実践を考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 宗教における伝道 有所得の伝道と無所得の伝道
 - II 仏教における伝道の原理
 1. 教主釈尊の伝道 悲智慈の展開としての伝道
 2. 仏教伝道の歩み インド・中国・日本・その他の国々へ
 3. 仏教伝道における①教法②人間（対機）③伝道法（布教と教化）
 - ① 教法（仏法 教理 教え）
 - 1 菩提樹下の悟り 2 根本教理 縁起説 四諦説 3 教え 対機相応の説法
 - ② 人間（対機）
 - 1 仏教における人間、生命論（縁起、無自性、空、仮説有）
 - 2 未信者と信者 3 現代人の意識と行動
 - ③ 伝道法
 - 1 伝道者の理念（自信教人信、自未得度先度他、四摂法、自利と利他の伝道）
 - 2 伝道者の資格 3 布教教化カリキュラム（信仰の誘引と形成）
 - 4 伝道組織としての教団と、伝道の場としての寺院
 - III 仏教伝道における布教活動と教化活動
 1. 布教活動（未信者を対象とした伝道活動）
 - 1 文書布教 2 唱導布教 3 視聴覚布教 4 総合布教
 - 5 無意図的布教（仏教文化、寺院の社会活動など）
 2. 教化活動（信者を対象とした伝道活動）
 - 1 自己教化 21対1の教化
 - 3 禪的合宿研修による集団教化 4 法座（講、仏青、仏婦）
 - 5 儀礼（日曜礼拝、恒例法要、葬祭法要） 6 聖典講読会
 - 7 聖地巡礼（インド釈尊聖地巡礼、中国日本祖師聖地巡礼、観音霊地巡礼）
 - 8 写経 写仏など
 - IV その他の伝道
 1. 世代別伝道
 - ①児童布教 ②青少年伝道 ③婦人伝道 ④壮年伝道 ⑤老人伝道
 2. 地域別伝道
 - ①地方伝道 ②都市伝道 ③国外伝道
- 積極的に聴講し、学習することを希望する。仏教伝道の活動は、人々への思いやりと自己の安心形成のためになされるものであることを、この授業を通して学びとっていただきたい。
- 聴講の態度（出席率など）、レポート、年度末の定期試験などによって、総合的に評価する。
- 増谷文雄編『仏教の根本聖典』（大蔵出版）定価2,500円
- 大西憲明著『現代仏教教化法』（百華苑）定価2,000円

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書

参考書等

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教伝道研究	みながわ ひろよし 皆 川 広 義	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

—対機研究と死の教育—

この仏教伝道研究では、伝道上とくに重要な課題をとりあげて、詳細にかつ深く考察する。

このたびは、「対機研究」「葬祭儀礼」「死の教育」の三点をとりあげる。

「対機研究」では、仏教論、生命論をふまえ、新しい生命、人間科学の研究成果なども参照して、現代における伝道対機としての人間を考察する。

「葬祭儀礼」では、仏教の伝統的な葬祭儀則をふまえながら、現代人の葬祭に関する意識調査などを参照して、現在の仏教的葬祭より葬祭仏教を創造する道をさぐりたい。

「死の教育」では、生死の苦悩からの解脱道としての仏教の立場より、現代の「死の教育」の歴史、その内容などを考察して、安らかな死の受容をつくりだしてゆきたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

- I 対機研究と仏教伝道
 1. 釈尊における生命論と人間論
 2. 現代科学の生命論と人間論
 - ① 生命の歴史（生命科学）
 - ② 生命の構造（分子生物学）
 - ③ 人間の歴史（文化人類学）
 - ④ 人間の生涯（生理学 医学）
 - ⑤ 人間の心（大脳生理学、心理学、社会学）
 - ⑥ 人間の苦悩（臨床心理学）
 3. 現代の人間論と伝道
- II 葬祭と仏教伝道
 1. 人間と葬祭について
 2. 仏教における葬祭の歴史
 3. 葬祭仏教 儀則と儀礼
 4. 現代人の葬祭意識
 5. 葬祭仏教の創造と伝道
- III 死の教育と仏教伝道
 1. 生老病死の教育としての仏教
 2. 「死の教育」の歴史
 3. 死に関する文化
 4. 現代人の死生観 死の不在の時代
 5. 死に対する恐怖（意識調査）
 6. 死の受容のプロセス
 7. 病名告知とターミナル・ケア
 8. ホスピス緩和ケアの理念と役割
 9. 悲嘆のケアと葬祭
 10. 脳死と臓器移植
 11. 現代における安らかな死の受容と伝道

履修上の留意点

積極的に聴講し、学習することを希望する。今年のテーマ「人間 生命論」「葬祭」「死の教育」の考察を通して、生きた仏教伝道を修得していただきたい。

成績評価の方法

聴講の態度（出席率など）、レポート、年度末の定期試験などによって、総合的に評価する。

教科書

なし

参考書等

- I 「人間 生命論」
植原和郎『人類進化学人間』（中央公論社）
『生命40億年をはるかな旅』全6巻（NHK出版）
- II 「葬祭」
圭室諦成『葬式仏教』（大法輪閣）
- III 「死の教育」
キューブラロス『死の瞬間』（読売新聞社）
近藤裕著『自分の死にそなえる』（春秋社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
青少年問題研究	さ め き ま さ こ 讃 岐 真 佐 子	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、「青少年」つまり児童期、青年期（小学生～20代前半頃）に生じ得る諸問題について、主に発達の、臨床心理学的視点から学ぶ事を目的とする。現代は不応状態や問題が低年齢化し、またその質的側面も、従来の自己葛藤型から漠然とした無気力型の増大、さらに言語で訴えるよりも身体化の傾向等、様々な変化が見られるように思う。そういう意味でも「青少年」に関わる諸現象は、その時代を映し出す一つの鏡のようにも思われる。またこの時期は、一般に親や兄弟、友人、学校や地域等の多くの人との関わりを通して子どもが大人に成っていく、まさしく自分自身を作っていく時である。それだけにこれらの人々といかなる質の関係をもてるか、そしてそこからどう自分を育てていけるかという事が、この時期の中心的テーマになると思われる。

講義では、このような問題意識を基に、この期間に発現する諸問題の実際を、発達や事例に即して具体的に学んでいきたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

まず人間の精神的発達に関する知見を、これまでの発達心理学や臨床心理学的見地から概観し、その中での青少年の発達段階の意味や位置づけを考えていく。そしてこれを踏まえ、児童期、青年期に生じる様々な状態（不登校、非行、対人緊張、思春期やせ症、無気力状態等々）について深く掘り下げて学んでいく。

履修上の留意点

出席を重視する予定。授業は講義中心となるが、その日の内容への質問や感想を毎回書いて提出してもらい、受講生同士のフィード・バックも考えていきたい。

成績評価の方法

出席状況と定期試験

教 科 書

必要な資料は適宜配布する

参 考 書 等

- ・馬場謙一・小川捷之他編『子どもの深層』『青年期の深層』
『日本人の深層分析』第9巻と10巻（有斐閣）
- ・季刊『仏教—特集癒し』No. 31（法蔵館）2,000円
- ・河合隼雄著『あなたが子どもだったころ』（楡出版）『子どもの宇宙』（岩波新書386）
- ・岩宮恵子著『生きにくい子どもたち』（岩波書店）1,200円
- ・小川捷之・村山正治編『学校の心理臨床』（心理臨床の実際2）（金子書店）4,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
青少年指導演習	ひらの 平 野 学	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

青年期を生きる学生諸君が「青少年指導」について学ぶには微妙な難しさが伴う。まずかわる側自身、自らの歩みを見つめると共に、かわりを通して更に色々なことを見つめる作業が大切になってこよう。ここではこうした認識を土台に、青年心理学や臨床心理学、カウンセリング学等の立場から、現代の青少年の状況やトピックス等論じつつ、その援助や指導のあり方について互いに学びたい。

講義の内容・
授業スケジュール

“演習”科目でもあることから、できるだけ体験学習や討議の時間を多くとって行なっていきたい。一応年間予定としては下記の通りだが、受講者の希望も適宜取り入れて進めるつもりである。

《前期》

1. 互いに知り合うための、また自己理解を深めるためのエクササイズを実施。(4回)
2. 青少年について、主に発達の見点から自らのことを振り返りつつ学ぶ。(2回)
3. 援助の基本としてのカウンセリングについて、小グループ形式で主にデモンストレーションやロールプレイを通して体験的に学ぶ。(6回)

《後期》

4. スクールカウンセラーについて及び講師自身の援助例(不登校や非行に陥った青少年及び親へのカウンセリング)の提示と討議。(3回)
5. HIV・エイズ問題やカルト問題、ストーカーやドメスティックバイオレンスの問題とそのカウンセリング(4回)
6. 夏休みレポートをもとに、受講者の様々な体験(ボランティア活動他)の報告と討議。同時にカウンセリングと仏教との接点等についても互いに理解を深めたい。(3回)
7. その他(全体の振り返り他)。(2回)

履修上の留意点

讃岐真佐子講師による『青少年問題研究』を履修済であることが望ましい。
出席して討論に加わり、感想等も適宜記してもらい、いわばコミット型の共に築き上げる授業にしていきたく、意欲的な学生の参加を望みたい。(実習も行うので安易な受講は避けてほしい。)

尚、授業の初日に年間の大まかな予定等お話するが、履修希望者からも何を学びたいか等、記してもらいたく、必ず出席願いたい。

成績評価の方法

学年末レポート(年間授業を振り返る形でのもの)、夏休みレポート(体験報告または読書感想)、平常点(出席等)の三本柱で行なう予定。

教 科 書

河合雄雄『カウンセリングを語る(上下)』(創元社)各1,300円

参 考 書 等

河合雄雄『カウンセリングを考える(上下)』(創元社)各1,300円
同 『大人になることのむずかしさ』(岩波書店)1,240円
同 『ユング心理学と仏教』(岩波書店)1,800円
佐治守夫他『カウンセリングを学ぶ』(東大出版会)2,800円
乾吉佑、平野学編『臨床心理士になるには』(べりかん社)1,230円
他にも授業の中で随時紹介していきたい。

そ の 他

VTRも多く使用して、具体的に学べるようにしたい。
授業という限られた場ではあるが、受講者それぞれに自らの成長に資するものとなるよう、心がけて参りたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗教法概説	あらい 洗 けん 建	禪・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

現代日本の宗教法制について概説する。わが国における宗教法制の根幹は、憲法の保証する宗教の自由と、政教分離の原則によって規定され、これに基づき宗教団体に法人格を賦与する目的で宗教法人法が定められている。憲法原理の意義をしっかりと理解した上で、今回の宗教法人法の一部改正問題を含めて民法と宗教法人法の間にある諸問題などを理解し、法の精神を理解することを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、現憲法の原理が導入されるまでの近代日本宗教法制史を概観する。宗教の自由の理念がいかなる背景から生まれ、どのように導入されたのか、わが国の宗教文化との間にどのような問題が存在するのかを理解して貰いたい。

後半は、宗教法人法の諸規定について概説し、民法との関係、税制との関係、法の精神とその諸問題についての理解を深める。

履修上の留意点

将来、寺院に携わる人のために実務の問題にも触れなければならないが、寺院と関係のない人も多いようであるから、法の精神やその意義に力点を置いて講義する。具体的実務問題などで質問のある人は、積極的に質問して貰いたい。

成績評価の方法

試験またはレポートと、出席点を総合して評価する。

教科書

指定しないが、後半の授業では憲法第20条、第89条、および宗教法人法の条文を、六法全書などからコピーして、持っておくようにして貰いたい。

参考書等

随時、紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
詩偈	しおざき ゆきお 塩 崎 幸 雄	禪・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

中国文化に対する関心を喚起し、漢文・漢詩に習熟させ、ひいては漢詩をもって自己の思想・感情を表現できるよう指導する。

講義の内容・授業スケジュール

漢和辞典の引き方、旧字体の読み書き、漢文訓読による文の組み立ての修得、名詩紹介、試作、各規則の説明、課題による作詩、の順に進める予定である。

履修上の留意点

各自の創作意欲の発揮を期待する。他講義と異なり、本講義は研究・鑑賞等よりも創作に主眼を置いていることを忘れないでもらいたい。無文字時代の日本人に立ち返った心境で、漢字文化圏における文化的営為というものを真摯かつ旺盛に体得してほしい。

成績評価の方法

各自の作品によって評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

鈴木虎雄『支那詩論史』
野口寧斎『寧斎詩話』
森槐南『作詩法講話』
三浦梅園『詩鞞』
何文煥編『歴代詩話』、丁福保編『続歴代詩話』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
書道	野村 宙弘 <small>のむら ちゆうこう</small>	禅・仏教①③④選	4

講義のねらい

王羲之の蘭亭序をはじめ、各種古典の臨書による、実技の指導を行う。
書道実技の為、墨、硯、筆、文鎮、下敷、半紙等の文房四宝の用意が必要。
(正しい用筆法、正しい墨のすり方等、初歩的な基礎勉強の指導と、かんたんな書道史の説明を行う)

教科書

王 羲之 『蘭亭序』 (清雅堂) 360円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代と仏教	峰岸 孝哉 <small>みねがし こうさい</small>	禅・仏教①③④選	4

講義のねらい

仏教が現代からさらに未来社会において果たす責任・役割とは何であろうか。しかもこれらの課題をすすめる立場とはどのような視点が確立されなければならないのか。この課題を、人権・反差別という視座を中心にして、検討し確認することを、この講義の目標とする。仏教が有する普遍宗教としての性格やその有効性は、こうした検討を通して、より一層発揮されると考えられるからである。

講義の内容・授業スケジュール

人権思想の世界的なながれを学習し、差別事象をとりあげていく。とりわけ仏教と差別の関係について、中心課題としたい。

履修上の留意点

単に知識としての学習ではなく、自分のくらしの中で、反差別とは何かを考えて欲しい。

成績評価の方法

レポート・期末テスト。

教科書

曹洞宗宗務庁編『差別語を考えるガイドブック』(解放出版社)

参考書等

講義の進行に合わせてその都度紹介する。

その他

必要に応じてコピーも参考にする。

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗教学概論	長谷部 八朗 <small>はせべ はちろう</small>	禅・仏教①③④選	4

講義のねらい

本講義は、日本人の宗教行動の特質を、既成宗教、新宗教、民俗宗教の比較検討を通して探究する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、宗教学の基本的な術語や概念の解説を中心に進め、この学問の特徴を把握する。後期では、それを踏まえて日本宗教の性格を理解する。とくに、神仏習合と称される我が国の宗教の習合性・重層性に着目し、種々の儀礼を通して検証すると同時に、そのような形態を生んだ理由や背景について、歴史性を考慮しながら論ずる。

また、民衆の宗教的ニーズの在り様にも言及する。主に現代社会をめぐる、諸宗教の交錯する状況の下で、人びとは宗教に何を求め、かつ宗教はそれにどう対応しているのかを、具体例に沿って探ってみたい。

成績評価の方法

評価方法は未定である。なお、授業の中で小論文を課す予定である。

教科書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』(世界書院)

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
キリスト教概論	挽 地 茂 男 <small>ひ き ち し げ お</small>	禪・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

ヨーロッパ精神は二つの源流、すなわち、ギリシア思想とキリスト教に遡ると言われる。ヨーロッパの長い文化と伝統を理解しようとするとき、その根底に流れるキリスト教の理解を欠くことができない。本講はこのキリスト教を理解の対象とする。しかし対象に接近する仕方は様々である。一つの宗教を理解しようとする場合一般に宗教を構成する4つの要素を中心に考えることができる。すなわち宗教の根幹をなす神観、人間観、世界観を形成している(1)宗教思想(ピリーフ・システム)。これはそれぞれの宗教のもつ伝承や神話や経典・教義の中心に流れている。この宗教思想を原理として実践される(2)宗教儀礼。この象徴的な行為の体系である儀礼は、集団の成員間に連帯感を高め、メンバーとしての自覚をもたらす。このように形成される。(3)宗教集団(教団)は宗教的な意味によって結ばれた一つの社会的グループである。宗教集団はそれぞれに独自のピリーフ・システムや儀礼的な行動様式とともに成員組織や物的施設を有している。(4)宗教体験はこのような宗教集団の集団的営みの内外で、集団的なものとして、また個人的なものとして経験される。実際はこの人間の内的な体験こそ、宗教現象の根本にあるものであって、それが外的に表現される場合、宗教思想、儀礼、教団といった形式をとるとも言える。

本講はこれら4つの側面から、他宗教との対比を重視しつつ、キリスト教の成立と展開、その思想と文化をとらえようとするものである。よって概ね以下のような計画にそって授業が進められる。

講義の内容・授業スケジュール

前期	1	キリスト教研究の射程	1) 宗教研究の立場と分野 (1)
	2	〃	2) 宗教研究の立場と分野 (2)
	3	〃	3) 宗教の構成要素 (1)
	4	〃	4) 宗教の構成要素 (2)
	5	聖書の思想	1) 聖書の虚無思想
	6	〃	2) 神の言の思想
	7	〃	3) 罪と救済の思想
	8	〃	4) 「赦し」の思想
	9	〃	5) キリスト教における愛の思想
	10	〃	6) 隣人愛の思想
後期	1	聖書と文学	1) 史的イエスとキリスト (1)
	2	〃	2) 史的イエスとキリスト (2)
	3	〃	3) 遠藤周作のキリスト論 (1)
	4	〃	4) 遠藤周作のキリスト論 (2)
	5	〃	5) 映画「深い河」を見る (1)
	6	〃	6) 映画「深い河」を見る (2)
	7	〃	7) ドストエフスキーと聖書 (1)
	8	〃	8) ドストエフスキーと聖書 (2)
	9	キリスト教思想と倫理の基礎	1) 生への畏敬と倫理
	10	〃	2) キリスト教的死生観

専 門 教 育 目

履修上の留意点

必ず聖書を購入し、授業で指示される当該箇所を参照すること。この講義では、キリスト教の根幹を形成する聖書に親しむことが、キリスト教理解の重要な一部として要求される。

成績評価の方法

試験と出席率

教科書

挽地茂男 『キリスト教入門A』、『キリスト教入門B』 (DTP出版)
『旧・新約聖書』(版はいずれのものでもよい)

参考書等

浅野順一編 『キリスト教概論』 (創文社)
金子晴勇 『キリスト教思想史入門』 (日本基督教団出版局)
木田、山内、土岐編 『聖書の世界』 (自由国民社)

そ の 他

授業の進め方—講義を中心とするが、講義中数回ビデオ・フィルムを教材として用いる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イスラム教概論	きくち たつや 菊 地 達 也	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

世界三大宗教の一つとされるイスラームであるが、仏教、キリスト教と比べた場合、日本人はあまりにイスラームというものに無知である。イスラームに関する限られた知識も、戦争やテロリズムといった偏ったイメージによって覆われている場合が多い。

しかし、グローバル化が進み、否が応でもムスリム（イスラーム教徒）と無関係に生きることができなくなっているこの時代に、そのような無知が許されるわけがない。そこで、この講義においては、イスラームの創生から現代に至るまでの幅広い時代を取り扱い、その全体像を解き明かすことを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

授業においては、7世紀におけるムハンマドのイスラーム創始とその後の歴史を概括し、宗教としてのイスラームの基本的なあり方について先ずは説明する。その後は、ハーデイス（伝承）学、法学、神学、哲学、スーフイズム（神秘主義）、シーア派などの個別分野を取り扱う。授業の最終段階においては、現代世界におけるイスラームの動向について概括する。

履修上の留意点

さまざまな分野を取り扱うので、自分が興味を持っている分野だけを選んで受講してもらっても構わないが、イスラームの全体像を把握するためには、なるべく全ての授業に出席してもらいたい。馴染みの薄い分野について話をする場合もありえるので、疑問がある場合には積極的に質問していただきたい。

成績評価の方法

夏休み明けに提出してもらおうレポートとテストで成績を判定する。

参 考 書 等

下記の参考書の中には、新書版や文庫版で廉価なものもあるので、自分の興味に近い著作を読んでもらいたい。

板垣雄三監修『イスラーム研究ハンドブック』（栄光教育文化研究所）

井筒俊彦『イスラーム思想史』（中公文庫）

同 『イスラーム哲学の現象』（岩波新書）

井筒俊彦訳『コーラン』（岩波文庫）

大塚和夫『イスラーム的』（日本放送出版協会）

片倉もと子『イスラームの日常生活』（岩波新書）

私市正年『イスラーム聖者』（講談社現代新書）

小杉泰『イスラームとは何か』（講談社現代新書）

小杉泰編『イスラームに何がおきているのか』（平凡社）

H. コルバン『イスラーム哲学史』（岩波書店）

東長靖『イスラームのとらえ方』（山川出版社）

中村廣治朗『イスラーム教入門』（岩波新書）

同 『イスラームと近代』（岩波新書）

同 『イスラーム思想と歴史』（東京大学出版会）

藤原和彦『イスラーム過激原理主義』（中公新書）

山内昌之、大塚和夫編『イスラームを学ぶ人のために』（世界思想社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
哲学概説	い い だ の ぶ ゆ き 飯 田 亘 之	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

人命の尊さあるいは「神聖性」と人格の尊厳について、その考え方の由来と意味を問い、現代の生命操作に、どのように対応することがそれらの価値に対する望ましい在り方か、学生諸君と共に考える。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 前期
 - ・「いのち」とは何か？
 - ・生物学的生命と人格的生命
 - ・生命の不可侵性と人格の尊厳
 - ・生命の不可侵性とその存亡
 - ・人格の尊厳とその危機
2. 後期
 - ・先端医療技術と人間
 - ・ヒト・ゲノム解読とその意味
 - ・クローン人間産生
 - その、生物学的生命と人格的生命に対する意味
 - ・人間の「いのち」とその行方

履修上の留意点

欠席をしないこと。臆することなく質問すること。

成績評価の方法

レポートと試験

教 科 書

特定のものは使用しない。

参 考 書 等

中村 元『ブッダ入門』（春秋社）
 R. ドゥオーキン『ライフズ・ドミニオン』（信山社）
 加藤尚武『脳死・クローン・遺伝子治療』（PHP）
 P. シンガー『生と死の倫理』（昭和堂）
 J. Sミル『自由論』
 カント『道徳形而上学原論』
www.fine.chiba-u.ac.jpに掲載されている論文

そ の 他

一方通行でない授業にしたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗教哲学	か わ た に 河 谷 あ つ し 淳	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

宗教 (religion) が「信じる」ことであり、哲学 (philosophy) が「知を愛する」ことであった場合によっては既存の世界観を「疑う」ことであるとするならば、両者は互いに対立するもののように見えるかもしれない。だが、そうした理解は古代ギリシア以来の西洋思想史をひとたび眺めてみるならば必ずしも事実とは言えない。宗教哲学とはそうした信と知とが織りなす「あやめ」について考える営みである。「宗教哲学」は①特定の宗教的立場に立ってそこから様々な哲学的問題について考える、あるいは、②宗教という世界についての語り方を哲学的アプローチによって考える、との少なくとも二通りの仕方で語られうる。本講義の趣旨はあくまで後者であって、授業では主に西洋の宗教哲学（とりわけキリスト教的哲学）を題材として取り上げはするものの、特定の宗教の教義についての解説を目指すというわけではなく、むしろ、「信じる」という人間の営みがどのような地平において成立しているのかについて考えてもらうところに本講義の目的はある。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では次のようなテーマを取り扱う。宗教と哲学、神話的語りと哲学的語り、信の論理構造と知の論理構造、神について語ることの意味、神の存在証明（宇宙論的証明・目的論的証明・存在論的証明）、悪の問題

成績評価の方法

中間・期末試験（それぞれ40点満点）、夏休みレポート、出欠による総合評価。

教科書

上枝美典『「神」という謎 宗教哲学入門-』（世界思想社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代哲学概説	く ぼ よう い ち 久 保 陽 一	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

現代哲学の共通な傾向として、言語の問題への強い関心がある。それは、人間が世界を認識し理解し、また情報を伝達する際の媒体が主に言語であるという事実によるだけでなく、人間存在そのものが言語的であるという理解や、近代の「意識」の立場に伴う問題点が「言語」のレベルで克服されうるという見通しに基いているからであろう。そこで、「言語」をめぐる現代の諸哲学の考え方を学び、検討してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

「言語」に関する次の三つの現代の代表的な思想潮流を取り上げる。
 (Ⅰ) フレーゲー、ムーア、ラッセル、クワイン、オースティン等の言語分析と意味論。
 (Ⅱ) デイルタイ、フッサール、ハイデッガー、ガダマーの意味論と言語思想
 (Ⅲ) カッシーラーの「象徴主義的」文化哲学。

履修上の留意点

よく出席し、ノートを取る。疑問点は遠慮なく質問すること。

成績評価の方法

出席回数とレポート等によって評価する。

教科書

河谷・久保編『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

渡辺二郎『現代哲学』（放送大学教育振興会）
 藤本隆志『ウィトゲンシュタイン』（講談社学術文庫）
 ベグラー編『解釈学の根本問題』（晃陽書房）
 カッシーラー『人間』（岩波書店）

その他

時々、講義内容についてレポートを書いてもらい、それについてコメントを付けて返すことにする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教民俗学	須 藤 寛 人 す どう ひろ と	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

葬儀や、先祖崇拜、位牌・仏壇といったものを通して、多くの日本人は仏教と接していると思われま。このような日常的な仏教との接点を手がかりとして、大宗教としての仏教が民間に浸透していった経緯を、本講義では考察したいと思います。また仏教的な営みの背景にある民族の意味と歴史とを考察することによって、仏教と新しい接し方のきっかけになればと考えています。

講義の内容・
授業スケジュール

- a. 先祖崇拜 今日日本仏教における寺院の主たる活動が、葬儀と追善供養からなっている。追善供養は、先祖祭祀という民族的背景のもとに成り立っていることから、先祖崇拜の考察は重要なテーマであると考えられる。
- b. 葬送儀礼 葬式は、多くの日本人にとって最も「仏教的」なことを感じさせる出来事である。しかし、そこで何が行われているかは、多くの場合は、一般の人に知らされていないし、また意味も解らないで葬儀を行っている僧侶も多いと思われる。本講義では、民俗的事例をあげながら、葬式の歴史と構成とを明らかにし、そこにどのような意味があるのかを考える。
- c. 日本の民俗 日本でみられる多くの民俗的事例を紹介・解説する。日本のシャーマニズムや、各地の祭、都市伝説・噂・怪談などにも触れる予定である。また授業内容に応じてタイムリーな話題もとりあげたい。

以上の三点を本講義の機軸とし、主要な概念や理論について解説をしていきたいと思ひます。

履修上の留意点

できるだけ遅刻はしないでください。私語は慎んでください。携帯電話・PHS等は授業中には着信音がならないようにするか電源を切ってください。

成績評価の方法

夏期レポートと学期末の定期試験を中心に、出欠状況とあわせて総合的に評価します。

教 科 書

教科書は用いません。要点をまとめたプリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗教教育	こやま かずのり 小 山 一 乗	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

命題「法は風土の産物」（モンテスキュー『法の精神』）を問題意識の根柢におく。世界各国の風土、風習、習慣、慣習、法、比較法の知見に示唆されつつ、いわゆる「宗教（の）教育」の法的思考（Legal mind）、そこに看取されるいわゆる宗教的思考（religious mind）、教育的思考（educational mind）の総合的考察をし、各国の宗教教育の実態も眺めつつ、これからのいわゆる宗教教育での、教授概念検討を経て、意味、目的、目標、内容、方法について具体的なデザインを試みる。特に宗教の教育における寛容の態度育成について広く深く考察したい。

いわゆる「宗教教育」論議は、政策・法律論議で、「何を教えることができないのか」の禁止事項に注意が傾斜した論議が久しく盛んでその喧しさは大である。だが、この論議に反して、同じ現行憲法・法規下で、「何を教えることができるのか」の肯定的事項に注意を向けた教育方法上の教授概念検討論議が極めて少ない。この不均衡を醸成してきた歴史的背景も検証する。

講義の内容・授業スケジュール

種々様々な事例を取り上げ考察を試みる。用語・訳語としての宗教教育、宗教、religion、畏敬等を注意深く観察する。（再）結合、宗、教、育、education、誓願、アニミズム、アニメーション等の字源・語源をさぐる。更に、何～何事、what～whatness、児童生徒の疑問態（の調査研究）、内外の種々の童謡、節分、雛祭り、節句、七夕、盆祭り、七五三、合格祈願、お守り、羽田空港長の朝、クリスマス、ターミナル・ケア等を俎上に載せる。憲法20条・教育基本法9条・初期社会科学習指導要領との絡みの中に、対日米国占領教育改革政策が胚胎していた異文化理解問題の史実も見る。

履修上の留意点

社会科・地理歴史科・公民科における宗教の教育、宗教科教育における宗教の教育、宗教教育における宗教の教育の異同点、及び、訳語としての用語「宗教」に関し熟考して欲しい。

成績評価の方法

レポート、出席点による。特に出席を尊重する。

教科書

小山一乗著『教育と寛容—宗教的事実・規範の取り扱いとのおしえ方、評価の観点—』（宣協社）2,940円

参考書等

『仏教・キリスト教・イスラーム・神道どこが違うか』（大法輪閣）1,600円

その他

定例教場での講義を中心とするが、必要に応じ、視聴覚教室でのビデオ、スライド、OHPの視聴をするので視聴覚教場の掲示に注意しておくこと。プリントを配布するのでファイル表紙を用意して欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心理学概論	まじま ひでとし 間 島 英 俊	禪・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

心理学は人間理解を科学的に究明する学問であるといえるだろう。研究方法はさまざまであるが、その目的は同じであり、人間理解をとおして自己理解に結びつくものと思われる。講義では、諸君等がその問題を考えるための基本的事実にのみ限定して話していくことにします。心理学は科学であるために多くの近接領域の学問と関わっているがために、これらの事実もやがて過去の遺物になるかも知れません。そのためにも諸君等は科学の基礎としての心理学を学び、興味と向学心をもって、さらなる目標追求に役立ててほしいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容ならびに授業スケジュールは以下のとおりである。

- 1 ひととなりを考える
- 2 発達—自己から自己へのタイムトラベリング
- 3 “こころ”のゆきづまり
- 4 人と人との絆（家族と社会）
- 5 みること・きくこと
- 6 学ぶこと・考えること
- 7 ここを動かす・行動を起こす
- 8 人・仲間とかかわる
- 9 ことばとコミュニケーション

これらのテーマに基づいて、講義を中心に簡単な調査、検査、小実験を行なう予定です。

成績評価の方法

基本的には年度末定期試験にて評価しますが、出席はもとより調査、検査、実験への参加状況からも考査されます。

教 科 書

中村昭之編『心理学概説』（八千代出版）1,800円

参 考 書 等

講義内にて紹介します。資料は都度配布しますが、欠席したものの後日配布はしません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
パーリ語初級	かたやま いちろう 片 山 一 良	禪・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

パーリ語は、原始仏教を学ぶ者にとって不可欠な「聖典語」である。本講は、パーリ語文法の確実な習得につとめ、原始仏典の正しい読解をめざすものである。

講義の内容・
授業スケジュール

前半は文法全体について講義し、後半は『シンガーラ教誡経』（Shiṅgālovāda-sutta）[六方礼経]を読みたいと思う。

履修上の留意点

習得に丁寧であることが望まれる。

成績評価の方法

レポート（夏期）および年度末テストによる。

教 科 書

コピーにて配布する。

参 考 書 等

水野弘元『パーリ語辞典』（春秋社）

そ の 他

随時、テープ等を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
パーリ語上級	ふ く だ た か お 福 田 孝 雄	禪・仏教①・③・④選	4

講義のねらい

パーリ・テキストの中から、原始仏教の基礎を構成する諸文献を選び、仏教の発展史に沿って講読していく予定である。

講義の内容・授業スケジュール

講読中のテキストに相当する他の資料なども、必要に応じて適宜参照し検討を加える。

成績評価の方法

定期試験は実施せず、平常の授業中の履修者の状態を参酌して、最終的に成績の評価を行なう。

教 科 書

講読用の資料等は、適宜必要に応じて当方で準備する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
サンスクリット語初級	か な ざ わ 金 沢	あつし 篤	禪・仏教①・③・④選
			4

講義のねらい

仏教などインド起源の宗教・哲学や文化・歴史を本格的に学ぶために不可欠の語学であるサンスクリット語の入門。

講義の内容・授業スケジュール

定評ある以下の初等文法書に沿って、サンスクリット語の特徴・概要を知ると共に、適宜練習問題などをふんだんに実習して、サンスクリット文解読のための実際の・基礎的な力を養う。

履修上の留意点

予習・復習を怠らず、常に主体的・積極的に授業に参加することが望ましい。

成績評価の方法

平常点と期末・年度末の筆記試験。

教 科 書

J・ゴンダ著『サンスクリット語初等文法』（春秋社）

参 考 書 等

辻直四郎著『サンスクリット文法』（岩波書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
サンスクリット語上級	か な ざ わ 金 沢	あつし 篤	禪・仏教①・③・④選
			4

講義のねらい

仏教などのインド起源の宗教・哲学や文化・歴史を本格的に学ぶために不可欠の語学であるサンスクリット語の上級篇。

講義の内容・授業スケジュール

定評ある以下の教本をテキストに、サンスクリット語に関係の深いデーヴァナーガリー文字に習熟し、サンスクリット文法を改めて確認すると共に、サンスクリット文解読のための実際の力を養う。演習形式。

履修上の留意点

サンスクリット語初級程度程度の修了者であることが望ましい。

教 科 書

ランマン著『サンスクリット読本』（Charles R. Lanman, A Sanskrit Reader）OUP

参 考 書 等

辻直四郎著『サンスクリット文法』（岩波書店）

科 専
門 門
教 教
育 育
目 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
チベット語初級	まつもと しろう 松 本 史 朗	禪・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

チベット語は、仏教思想の研究には不可欠な言語である。何故ならば、チベット語に訳された仏典、及び、チベット人仏教者が著した仏典を学ぶことがなければ、インド仏教の思想的研究は不可能であると、今日では考えられているからである。本講義のねらいは、このような仏教研究の目的のために、チベット語の文法を習得してもらうことである。

講義の内容・
授業スケジュール

講義のスケジュールは、教科書に従い、チベット文字の習得から、名詞・形容詞・副詞・動詞・助詞・助動詞への説明へと進み、最後に、簡単な読みもの（チベット人の著作）を読んで、文法的知識を確実なものとする。

履修上の留意点

チベット文字を習得するまで、困難ではあるが、頑張ってもらいたい。

成績評価の方法

年度末の試験により、成績を評価する。

教 科 書

授業の中で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
チベット語上級	きむら せいじ 木 村 誠 司	禪・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

チベット人学僧の著作を読む。

講義の内容・
授業スケジュール

本年度は、チャンキャの学説綱要書のアビダルマ章を扱う予定であるが、希望があれば相談の上、他のテキストに変更することもあり得る。講義はゆっくりとしたペースで行う。

成績評価の方法

成績評価は基本的に平常点に依る。

教 科 書

テキストは講義開始時に配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国古典語上級	おがわ たかし 小 川 隆	禪・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

これまで精読を主に行ってきたが、昨年度より方針を転換し、多読をめざすことにしている。昔に比べて高校・大学で接する「漢文」の量が極度に少なくなり、語学的な知識を勉強しても、それがなかなか実際の読解力に結びつかなくなってきたからである。具体的には下記の教科書を使ってひと昔前の高校漢文で読まれていたような作品を、とまどきなく読んでゆく。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書には訳や訓読や語注が詳しく載っている。教場では皆さんがすでにそれをよく読んでいるという前提に立ち、別に用意する、訓点や送りガナの無いプリントで作品を読んでもらう。予習・復習を怠らないなら、現時点で基礎学力に自信のない人でも、履修してもらってかまわない。

履修上の留意点

「中国古典語初級」か「中国語ⅠA-ⅠB」か、できれば一方はすでに学び終えていることが望ましいが、それを履修の絶対条件とはしない。しかし、もしどちらもまだなら、なるべく今年度、この科目と並行して、少くともどちらかの勉強に着手してほしい（初回の授業で個別に学習相談に応ずる）。

成績評価の方法

平常点評価。

教 科 書

藤堂明保『チャート式・漢文（普及版）』（数研出版）1,140円

参 考 書 等

辞書：『全訳・漢辞海』（三省堂）2,840円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ラテン語	うえの かつひろ 上野 勝 広	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

ラテン語の基礎文法を学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

下記のテキストを用いて、基礎文法の要点を順次概説します。その後、理解確認の練習問題に取り組みます。

履修上の留意点

練習問題については、常に指名されての回答が求められます。受身でなく、自ら学ぶ姿勢をもって授業に臨んでください。

成績評価の方法

年間4回のテストと平常点を総合的に評価します。

教 科 書

松本悦治『ラテン語入門』（駿河台出版社）1,500円

参 考 書 等

初回の授業で紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教文献学	のぞわ よし美 野 沢 佳 美	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、中国で編纂された仏教教典の一大叢書である大蔵経（一切経）の歴史とそれを取り巻く諸問題を取り上げます。

仏教が中国に伝えられて以降、様々な仏典が翻訳・書写され、その集成されたものが大蔵経です。当初大蔵経は書写されましたが、やがて印刷されるようになると、その巻数も膨大なものになり、また大蔵経の種類も次第に増えていきます。本講義では、そうした大蔵経の成立とその編纂経緯などを眺めながら、今日までアジア各国に伝えられた各種大蔵教の意義などを考えてみたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

前期では、中国における大蔵経編纂の概観をおこない、おもに宋～元代以降の印刷大蔵経の変遷と周辺諸国への伝播などを取り上げます。後期では、明代以降の大蔵経を取り上げ、とくには明初の南蔵・北蔵・嘉興蔵などの各大蔵経の編纂経緯、仏典入蔵問題などを取り上げ、その問題点などを考えていきます。

履修上の留意点

本講義では大蔵経編纂の流れを基軸とし、これに個々の大蔵経を取り巻く諸問題を取り上げますので、継続した出席が必要となります。また講義の性格上、中国や朝鮮半島、日本の歴史についての基礎知識が必要となりますので、予習を欠かさないように努めてください。

成績評価の方法

出席状況と前期末・後期末のレポート提出にて評価します。また、随時課題を求めることもあります。

教 科 書

とくには定めません。随時プリントを配布いたします。

参 考 書 等

『大蔵経-成立と変遷-』（百華苑、1989年再刊）、竺沙雅章『宋元仏教文化史研究』（汲古書院、2000）、同「大蔵経編纂」（『大谷大学通信』50号、2000）、椎名宏雄『宋元版禅籍の研究』（大東出版社、1993）、野沢佳美『明代大蔵経史の研究』（汲古書院、1998）。

そ の 他

授業は講義が中心となりますが、その都度意見を求めることがあります。

科 専
目 門
教 教
育 育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国文学講読	<small>す え き や す ひ こ</small> 末 木 恭 彦	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は中國古典學文獻講読であると理解してもらいたい。中國古典語（即ち漢文）で書かれた文獻は、現代の文獻と論理・修辭・構成が異っている。この差異を理解しなくては、中國古典文獻を読みこなすことはできない。本講義では、中國古典語で書かれた文獻を読む為の基礎的教養の獲得を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

今年度は、江戸時代の僧千丈の詩文集『幽谷餘韻』から記事類を読む。この作品は一種の奇談集であり、東アジアの伝統的な意味での小説である。日本人の手になるが、正統の漢文（中國古典語）で書かれているので取りあげる。

授業は、内容を深く掘り下げるよりも、奇談の面白さを楽しみながら、できるだけ読み進みたいと考えている。

履修上の留意点

正確に読めるように十分豫習して授業に臨んで欲しい。又、大學生にふさわしい漢和辞典を必ず携えて來ること。

成績評価の方法

以下のものを材料として成績をつける。

1. 平常點（出缺だけでなく、授業への参加の程度、豫習の有無なども重要な材料とする。）
2. 試験又はレポート
3. その他（質問く書面で出してもらおう）任意のレポートなど）

教 科 書

プリントを配布する。

参 考 書 等

講義中に適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅美術	<small>え び ね と し お</small> 海 老 根 聰 郎	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

禅美術を、禅僧の絵画活動としてとらえて述べる。

講義の内容・
授業スケジュール

禅僧の絵画活動のはじまった鎌倉時代から、南北朝、室町時代の禅僧の絵画活動をたどるが、影響を与えた中国の動きについても適宜とりあげる。毎回スライドを多数使用する。

成績評価の方法

筆記試験、授業で述べたことより出題する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教美術	まつだ せいいちろう 松 田 誠 一 郎	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

天平時代後期〔754～783〕から平安時代後期〔951～1185〕にいたる仏教彫塑の歴史を詳しく講義する。講義では、関連史料を講読して、作品が造られた歴史的背景をたどる一方、時代ごとの表現や技法の特徴を指摘し、その歴史的変遷や研究上の問題点を説明する。また、中国や朝鮮半島の作品との比較を通して、日本的な美意識の問題にも論及する。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】	【後期】
第 1 回 ガイダンス	第 1～3 回 1. 東寺講堂の諸像
第 2～3 回 1. 唐招提寺の鑑真和上像	第 4～5 回 2. 神護寺の五大虚空蔵菩薩像
第 4～5 回 2. 唐招提寺金堂の盧舎那仏像	第 6～7 回 3. 観心寺の如意輪観音像
第 6～8 回 3. 唐招提寺の天平後期木彫像	第 8～9 回 4. 室生寺金堂の諸像
第 9～10 回 4. 神護寺の薬師如来像	第 10～12 回 5. 平等院鳳凰堂の阿弥陀如来像
第 11～12 回 5. 広隆寺金堂・講堂の仏像	第 13～15 回 進度調整のための予備日
第 13～15 回 進度調整のための予備日	

履修上の留意点

仏像の本当のよさは、スライドを見ているだけではわからない。教室で講義を受けるだけでなく、できるだけ履修期間中に東京国立博物館の法隆寺宝物室や奈良・京都の古寺を訪れて、仏像に接する機会を積極的につくるように努力すること。

成績評価の方法

後期末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

教科書

水野敬三郎著『奈良・京都の古寺めぐり-仏像の見かた-』 1985年（岩波書店） 650円

参考書等

水野敬三郎監修『カラー版 日本仏像史』 2001年（美術出版社） 2,500円

その他

毎回スライドを使用する。参考文献については、講義ごとに指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
坐禅Ⅱ	ながい まさし いしい せいじゆん 永井 政之・石井 清純	禅・仏教3・4選	4
坐禅Ⅰ（再クラス）		禅・仏教（再クラス）	

講義のねらい

只管打坐の実践・学習

講義の内容・授業スケジュール

実習時間の前半は只管打坐、経行を挿んで後半は『坐禅用心記』を講じる。授業の実施要領および基本的な構え等については、「坐禅Ⅰ」に全く同じ。

履修上の留意点

科目の性格上、遅刻を認めず、追再試験やレポート提出等による救済措置は、一切講じられない。また、坐禅堂内およびその周辺における、服装・態度・言語・動作等の厳粛・整齊なるを、きびしく要求するから、これらのことを予めよく承知しておくこと。

なお、学年度最初の授業には、席次の決定や必要な諸注意をするから、受講する者は全員かならず出席すること。

成績評価の方法

授業実施時間に対する出席時間数をもって機械的に判定する。ただし、坐禅堂の内外的における服装・態度・言語・動作等に、著しく適当を欠くと思われる者、および、講本の忘失者は厳しく減点の対象とする。

教科書

『坐禅講本』（更生社）2,266円

科 専
門 教
目 育

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	い い つ が ひ ろ の ぶ 飯 塚 大 展	禪・仏教3必	4
演習Ⅱ		禪・仏教4選	

講義のねらい

『狂雲集』を読む。

林下大徳寺派の僧である一休宗純(1394~1481)の詩偈集である『狂雲集』の読解を通して、その生きた時代背景を明らかにするとともに、一休の「風狂」「風流」の意味を考察していきたい。評価は、演習時の発表と期末レポートによって判断する。

参 考 書 等

平野宗浄『一休和尚全集』第一巻『狂雲集(上)』(春秋社)
 蔭木英雄『一休和尚全集』第二巻『狂雲集(下)』(春秋社)
 平野宗浄『一休和尚全集』第三巻『一休和尚年譜』その他(春秋社)
 飯塚大展『一休和尚全集』第四巻『一休仮名法語集』(春秋社)
 寺山且中『一休和尚全集』別巻『一休墨跡』(春秋社)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	い け だ れ ん た ろ う 池 田 練 太 郎	禪・仏教3必	4
演習Ⅱ		禪・仏教4選	

講義のねらい

アビダルマ仏教の多くの論書の中で、古来もっともよく読まれてきた『俱舎論』を講読する。アビダルマとはブッダの説いた教え(法=ダルマ)に対する研究の意味であり、ここでは仏教で用いられるさまざまな重要な術語や概念が説明され、解釈が加えられている。この演習では、『俱舎論』の講読を通して仏教語の意味や概念、また多様な主張について検討し、アビダルマ哲学とその意義に関して考察していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめに『俱舎論』全体について概説した後、講読に入る。どの箇所を読むかは、授業の折に説明する。

履修上の留意点

サンスクリット語初級程度を習得していることが望ましい。

成績評価の方法

授業における発表と出席などを総合した平常点で評価する。

教 科 書

テキストは最初の授業のときに指示する

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	い け だ ろ さ ん 池 田 魯 参	禪・仏教3必	4
演習Ⅱ		禪・仏教4選	

講義のねらい

天台教学思想の特色を学ぶ。

『摩訶止観』は中国隋代の天台智顛(538~597)によって講説され、当時の南北の地で活躍した仏教者たちの実践や理論を踏まえ、独自の仏教を解明する。我が国では平安時代以後の日本仏教の展開において極めて重要な役割をはたした。禅宗の展開においても本書の学説は常に意識されている。我が道元も『摩訶止観』や最初の注釈書である『摩訶止観輔行伝弘決』から種々の考えを参照している。多くの注釈研究書があるので、本書の仏教観を多角的に検討し、仏教の現代的意義を究明したい。

講義の内容・
授業スケジュール

2年間で漢文で書かれた教理学のテキストを読解できる学力を養うために、根気よく難字難語・専門用語などを一字一句辞書を使って調べて頂き、勉強の成果を当番を決めて発表してもらう。できたらその発表事項について質疑応答してもらうとさらにいいであろう。

成績評価の方法

毎時限、休まず出席すること、演習の当番に当たったときは全力を傾注して責任を果たすこと、授業中に積極的に質疑応答をすること、等の授業態度を見て総合的に評価する。

教 科 書

池田魯参『詳解摩訶止観』現代語訳編・定本訓読編・研究註釈編全三巻(大蔵出版刊)から講読箇所を適宜コピーして渡す。

参 考 書 等

関口貞大校注『摩訶止観』上下巻(岩波文庫)。
 『天台大師全集』所収『摩訶止観』会本全五巻。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	い し い しゅう どう 石 井 修 道	禪・仏教3必	4
演習Ⅱ		禪・仏教4選	

講義のねらい

演習のテキストとして禪の究明に欠かせない『景德伝灯録』を選んだ。1004年に完成した『景德伝灯録』は、それ以前の禪とは何かを知る上でも必読の本であるし、それ以降の禪を学ぶ上には欠くべからざる指針の本である。また、道元禪師が暗記するまで読まれたことは間違いないので、道元禪師の研究をする上でも必読の本である。

講義の内容・授業スケジュール

『景德伝燈録』30巻は、世に「一千七百の公案」と呼ばれ、その一つ一つを読む。なお今年度は昨年度に続いて巻16以降の石頭系の著名な禪者を読む。

履修上の留意点

元版の序文によると、367,917字で刻まれたという。それを編集し、書写し、さらに一字一字を刻した人の苦勞を思う時、まず我々はその一字一字を辞典を使用して確かめることから出発し、意味を考え、そして意図を探りたいものである。一年間で学べる分量はわずかであるが、禪者一人一人を禪宗史の上でどのように学問的に追求したらよいかを学んで、他の研究に応用できるように身につくまでまなびたい。

できる人は中国語の発音まで調べてくること。

成績評価の方法

演習当番を担当する。その年度内に読んだ禪者の中から興味ある人を一人選び、その伝記と思想の特色をレポートに書いて最終授業の時に提出する。400字詰5枚程度（ワープロ可）。

教科書

『景德伝灯録』中央出版社 2,880円

参考書等

入矢義高監修『景德伝灯録三』『同 四』禪文化研究所 各8,500円
入矢義高監修『禅語辞典』思文閣出版 9,785円
石井修道『中国禅宗史話』禪文化研究所 3,605円

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	い し い せいじゆん 石 井 清 純	禪・仏教3必	4
演習Ⅱ		禪・仏教4選	

講義のねらい

近年、コンピュータにおける漢字表記法の発展に伴い、世界各国で仏典・禅籍の電子化が行なわれ、それがインターネットを通じて公開されるようになった。本演習は、それらの数多くの電子化情報に対する知識を養い、その有効利用の技術を身につけることを目的としたものである。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、昨年度に引き続き、英語圏の禪・仏教に関するホームページを検索し、そのリンク集を作成してゆく。

前期中は、仏教用語の英語表現や、欧米圏の禅理解の特色を把握するため、個々に欧米圏の禅関係サイトを検索し、その具体的内容を要約し発表する。後期は、それらのサイトの内容を集約し、リンク集の形式に組み上げる作業を行ってゆく予定である。

履修上の留意点

課題の提出やプレゼンテーションは、すべてコンピュータを用いるので、パソコンを自身で保有しているか、所有する予定であること、また英語の資料を中心に扱うので、基礎的な語学力を有していることを希望する。

成績評価の方法

演習中の発表内容をもって評価する。

参考書等

インターネット関連リファレンスブックが多数発売されているので、必要に応じて購入されたい。

その他

コンピュータの基本操作に関する技術指導は、講義中には行なわない。

科 専 門 教 育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	いと う たが とし 伊 藤 隆 壽	禪・仏教3必	4
演習Ⅱ		禪・仏教4選	

講義のねらい

中国仏教の特色を知ることが目的とし、中国人の書いた諸文献を読むことにより、中国の人々は仏教をどのように受け止め、どのように理解したのかを明らかにし、さらに日本仏教との関わりも考えることにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

今年度は、中国仏教特有の現象ともいえる「靈魂の滅・不滅に関する論争」をテーマに、関係する文献を読み、その展開をたどり思想的意味をさぐる。

履修上の留意点

漢文のテキストを予習することが中心となるので、主体的積極的な学習を期待する。

成績評価の方法

授業における予習内容及び期末のレポートによって評価する。

教 科 書

テキスト等の基本資料はコピーを配布する。

参 考 書 等

授業において適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	い わ な が し ょ う せ い 岩 永 正 晴	禪・仏教3必	4
演習Ⅱ		禪・仏教4選	

講義のねらい

江戸時代中期の曹洞宗僧侶が著わした『正法眼蔵』注釈書を対象として演習を行う。各注釈書の背景にある教養や、注釈態度・目的などの調査分析を通して古人の参究の成果を学ぶと共に、演習参加者自身の研究に必要な知識や方法を修得して貰いたい。

講義の内容・
授業スケジュール

今年度も前年度に引き続き、『正法眼蔵』参究の初学者がまず始めに参照すべき書として伝承されてきた『正法眼蔵聞解』（斧山玄錦述）を中心に演習を行う。

履修上の留意点

大学での学習・研究の中でも、演習が担う役割は極めて大きいと考えるので、積極的に参加して貰いたい。また我々は仏教を学ぶのであるから、私も含めた参加者全員が互いに協力し励まし合って学んで行きたい。

成績評価の方法

平常の参加態度と、学年末提出のレポートで評価する。

教 科 書

『正法眼蔵註解全書』所収本の必要箇所をコピーして配布する。

参 考 書 等

『永平正法眼蔵蒐書大成』17（大修館書店）・鏡島元隆『道元禅師とその門流』（誠信書房）・河村孝道『正法眼蔵の成立史的研究』（春秋社）など。但し以上は入手が困難であろうから、図書館を活用して貰いたい。その他は随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	おおたに てつ お 大 谷 哲 夫	禪・仏教3必	4
演習Ⅱ		禪・仏教4選	

講義のねらい

『永平広録』（10巻）は、道元禪師の弟子たちが編纂した禪師の語録であり、禪師の主著である『正法眼蔵』以外では、特に禪師晩年の宗旨吐露の大演法はまさにここに極まるので、その現代的意義を明らかにしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本演習では、祖山本『永平広録』を底本とし、それに円山本『永平広録』を対比し、現今経眼しうる江戸期の宗学者の注解をも考究し、伝灯宗学の立場をも併せ勘案しながら、そこに展開される正伝の仏法の真意義を基礎的に順次参究する。

履修上の留意点

指定する演習部分を事前に熟読してくること。

成績評価の方法

年間二度のレポート提出と出席。

教科書

祖山本『永平広録』・円山本『永平広録』。
演習箇所は適宜にコピーし配布する。

参考書等

『道元禪師 おりおりの法話』（曹洞宗宗務庁）
『祖山本 永平広録 考註集成』（上下二巻 大蔵出版）
『円山本 永平広録 考註集成』（全一卷 一穂社）
『永平広録注解全書』（上中下索四巻 鴻盟社）
その他の必要文献は適宜コピーし配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	おかべ かず お 岡 部 和 雄	禪・仏教3必	4
演習Ⅱ		禪・仏教4選	

講義のねらい

漢文仏典に親しむ。訓読や現代語訳について基礎知識を得る。英訳も参照できるような読解力を養う。玄奘の偉業について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

『大唐大慈恩寺三蔵法師伝』から主要な節を選んで読む。原文は大正蔵経第50巻に収められている。すでに刊行されている訳文（英訳・和訳）を参照する。

履修上の留意点

意欲のある人・下調べをいとわない人の参加をのぞむ。玄奘に興味ある人でもよい。

成績評価の方法

試験は行なわない。詳細は出席と平常点で行なう。

教科書

テキスト・訳文・参考文献は学年度の初めに配布する。

その他

当番をきめ演習（テキストの解説）をしよう。

科 専
門 教
目 育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	かたやま いちろう 片 山 一 良	禅・仏教3必	4
演習Ⅱ		禅・仏教4選	

講義のねらい

釈尊によって説かれた原初の教えを「原始仏教」と呼ぶ。その基本的な教えを正しく理解し、いわゆる「大乘仏教」の根本的思想を把握するための足がかりを築きたい。

講義の内容・授業スケジュール

聖典語とされるパーリ語で書かれた原始仏典を読む。本年はその最古層に属する『相應部』(サンユッタ・ニカーヤ)を選び、五蘊、縁起、中道などについて、またその教えをめぐる文化的背景を考える。

履修上の留意点

受講者はパーリ語初級程度の知識をそなえていることが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は各自の課題に基づく発表により行なう。

教科書

テキストはPTS本(Sayutta-nikya)を使用。(コピー配布)

参考書等

南伝大蔵経『相應部経典』、その他。

その他

授業は講読・討論を主とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	かなざわ あつし 金 沢 篤	禅・仏教3必	4
演習Ⅱ		禅・仏教4選	

講義のねらい

仏教の成立・展開にも大きく関わった、インドの思想史・文化史的背景を伺う種々文献資料や、いわゆる正統バラモン哲学の基礎的な文献資料を原典で読む。

履修上の留意点

テキストなど詳しいことは、教場にて適宜指示するが、受講者は、サンスクリットの初級程度の知識を有していることが望ましい。また、自分の個人的学問的関心を常時鋭化し、文献渉猟と言葉によるプレゼンテーション技術の習得を心がけて欲しい。

成績評価の方法

成績評価は、出席点を含む平常点をもってする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	かわむら こうどう 河 村 孝 道	禅・仏教3必	4
演習Ⅱ		禅・仏教4選	

講義のねらい

道元禅師による『正法眼蔵』(96巻)は、仏陀釈尊に直結する『正伝仏法』の総体系ともいえるべきもので、日本曹洞宗の宗侶の信仰実践の帰趣を説き、万人の安心の拠る辺を示した聖典である。各巻を、逐次演習することを通して、宗義の基本を正しく把握し、『正法眼蔵』撰述の動機、成立の様相等を学び、延ては仏教思想の理解をも深めることを意図するものである。

講義の内容・授業スケジュール

道元禅師の編集に関する75巻・12巻の次第に読み進めており、その演習の解釈の指針を、直弟子の参究註釈に成る『正法眼蔵聞書抄』に依拠し、さらに江戸期末に至る諸種の註解をも参考とし、あくまでも伝統的解釈の確かなる視点を通して、各巻の理解を深めてゆく。

成績評価の方法

評価に当っては、普段の学習態度、演習発表の内容・理解の程度を以てする。更に、学年末にレポートによる評価をも加味する。

教科書

- ①春秋社版『正法眼蔵』(上下二巻、『道元禅師全集』全七巻の内、第一・第二巻)
- ②『正法眼蔵註解全書』により当該演習の巻目の謄写。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	くまもと えいじん 熊 本 英 人	禪・仏教3必	4
演習Ⅱ		禪・仏教4選	

講義のねらい

『明治維新神仏分離史料』を中心に、日本の神と仏について考える

講義の内容・授業スケジュール

神仏分離（神仏判然）・廃仏毀釈は、法難の一例、歴史のひとつとして通り過ぎることが多い。しかし、明治維新を境として、日本の仏教、さらには宗教は、どこが変わりどこが変わらなかったのか。神仏分離・廃仏毀釈の前と後とでの、仏教および寺院の実態を分析する。あわせて、僧侶、宗学者および信仰者の意識の変化などもさぐってみたい。

まずはじめに、神仏習合の歴史を概観する。そのうえで、明治維新時の神仏分離の実態がどのようなものであったか、またそれが当時どう捉えられていたのかなど、『明治維新神仏分離史料』を軸として、関連史料もあわせて読み進める。テキストの神仏分離の事例については、受講者の興味も考慮して選択する。

成績評価の方法

平常点及びレポート。

教 科 書

『明治維新神仏分離史料』（東方書院刊、名著出版復刻）。テキストおよび参考史料は、必要に応じてコピーで配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	こさ か き ゆ う 小 坂 機 融	禪・仏教3必	4
演習Ⅱ		禪・仏教4選	

講義のねらい

道元禪師の宗教を特に行道の面から考察し、その真義を明らかにすることを旨とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず主著『正法眼蔵』の該当する諸巻について演習を行ない、併せて宗学史上に展開された宗義に関する論争を参考にしつつ、主題を闡明するようにしたい。

履修上の留意点

対象となる原典について各自解説に取り組み、道元禪師の説示の特徴が把握できるよう努めて貰いたい。

成績評価の方法

毎時間の演習状況によって評価する。

教 科 書

『道元禪師全集』特に「正法眼蔵」上下（春秋社刊）、『曹洞宗全書』正統（清規・戒律）。

参 考 書 等

鏡島元隆『道元禪師とその門流』、同『道元禪師とその周辺』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	さ と う し ゅ う こ う 佐 藤 秀 孝	禪・仏教3必	4
演習Ⅱ		禪・仏教4選	

講義のねらい

日本禅宗の草創期の禅僧、とくに鎌倉・南北朝時代に活躍した道元禅師から瑩山禅師やその弟子たちに至る初期曹洞宗教団の祖師方の伝記資料その他を読み進めたい。具体的には江戸時代の僧伝や禅宗灯史が成立する以前の、より素朴な中世撰述資料などをテキストとして演習する。演習を通して資料の読解力を養うだけでなく、禅僧たちの生きざまを通して彼らが目指した禅宗叢林のありかたなど、中世禅宗の息吹きを感じてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに初期曹洞宗に関して、歴史的な概要や現存する史資料について口述し、その後、特定の伝記資料について演習する。その際、学生が輪番形式で割り当てられた箇所について書き下し文と語句の説明と訳文を作って資料を発表してもらう。

履修上の留意点

資料の多くが漢文ないし漢字仮名交じり文で表現されており、しかも独特の禅宗用語や中世用語が用いられていることから、漢文（とくに禅宗漢文）や日本禅宗史の素養を深めておいて欲しい。

成績評価の方法

担当した演習箇所の内容と出席日数を換算して成績を評価するが、授業時間内の態度や意気込みなども総合的に加味したい。

教 科 書

特定の教科書は使用しない。『三大尊行状記』や古写本『建誓記』などの内容を、『曹洞宗全書』『史伝下』や『続曹洞宗全書』『寺誌・史伝』その他当該資料よりプリントして配布する。

参 考 書 等

大久保道舟『道元禅師伝の研究』や竹内道雄『道元』（人物叢書）など道元禅師に関する研究書、東隆眞『瑩山禅師の研究』など瑩山禅師に関する研究書。『永平寺史』など初期の曹洞宗に関する研究書。

そ の 他

演習では毎時間、担当者を割り当てて調べてきた成果を発表してもらい、それを教員が改めて内容を検討していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	た が み た い し ゅ う 田 上 太 秀	禪・仏教3必	4
演習Ⅱ		禪・仏教4選	

講義のねらい

本論書を読むに当り、仏性思想の原典の『涅槃経』を取り上げ、思想の原点を説明し、仏性思想の発展史を把握させたい。

講義の内容・授業スケジュール

漢文が読めるようになるまで読み方を指導し、仏教用語の独特な読み方を指導する。

履修上の留意点

予習・復習を必ず行い、必ず出席すること。

成績評価の方法

日頃の学習態度によって評価する。

教 科 書

大正蔵経所収の『仏性論』をコピーしたもの。

参 考 書 等

授業中にその都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	た な か りょうしやう 田 中 良 昭	禪・仏教3必	4
演習Ⅱ		禪・仏教4選	

講義のねらい

中国の初期禅宗の歴史を知る資料を燈史といい、その中で8世紀後半に四川省成都に展開した浄衆宗・保唐宗系の燈史である『歴代法宝記』を取りあげて、この系統が主張する禅法の内容とその特色を明らかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

この書は、1. 序文と達摩から慧能に至る6代の祖師伝、2. 伝衣の出来集と智説から無住に至る4代の祖師伝、3. 無住の禅法の3部からなっているが、本年は上記1と2を概観した上で3の無住の禅法の部分を読解することによって、この系統の禅法を検討していく。

履修上の留意点

中国禅宗史の講義を併せ受講することが望ましい。

成績評価の方法

平常の出席、学年末のレポートによって成績評価を行う。

教 科 書

金九経校定の『歴代法宝記』のコピーを使用。

参 考 書 等

柳田聖山著『初期の禅史II』（禅の語録3、筑摩書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	な が い ま さ し 永 井 政 之	禪・仏教3必	4
演習Ⅱ		禪・仏教4選	

講義のねらい

『夷堅志』を読みます。宋の洪邁の編集になるこのテキストは「小説の淵海」と評されるように、当時、巷間に流布した奇々怪々な「お話」で構成されています。

その中には、仏教に関するものが多数含まれています。

難しい理論で構築された仏教も、中国人が受容した仏教ですが、庶民が信じた仏教はもっと別の所にあったようです。でもそのような仏教について記す資料は、必ずしも多くはありません。その意味で『夷堅志』は宋代の民衆が信じた「仏教」がどのようなものであったかを知るための、貴重なテキストと言えます。

テキストは明文書局刊行本をコピーして配布します。

当番となった人は、あらかじめレジメを作って、そのコピーを配布して下さい。レジメには原文の読み下しと注を記して下さい。はじめは漢文に苦勞するかもしれませんが、丹念に辞書を引くことで、白々と読解できるようになるでしょう。

成績評価の方法

出席の回数と当番の際の発表内容によって成績評価を行います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	は せ べ は ち ろ う 長 谷 部 八 朗	禪・仏教3必	4
演習Ⅱ		禪・仏教4選	

講義のねらい

仏教をはじめとした種々の宗教儀礼を構成する道具・言説・所作などのシンボリックな解釈、あるいは曼荼羅・絵巻・聖画・偶像などのイコノロジカルな分析を通して、宗教的な行為や造形物の背景にあるところの教えに裏打ちされた意味・価値の世界を探究する。

講義の内容・授業スケジュール

上記に関する主要な文献を取り上げ、検討する。また、履修者に関連テーマを与え、調べた内容をレポートしてもらい、それに基づいて議論する機会も持ちたい。

成績評価の方法

授業態度や提出物、出席状況などを総合して評価する。

参 考 書 等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	はれやま しゅんえい 晴 山 俊 英	禪・仏教3必	4
演習Ⅱ		禪・仏教4選	

講義のねらい

まずは基礎的な辞書類の選び方・使い方を習得し、自らの手で疑問を解決できるようにする。最終的には受け身の学問から攻めの学問へ転ぜられたい。

講義の内容・授業スケジュール

曹洞宗禪戒諸資料を読む。いわゆる仏教全体の中にあつて禪宗の戒律思想は頗る特異で、教家のそれと比較し難いとされる。しかし幸いにも江戸期の先学が禪戒について詳細に議論をする中で随所に経証を試みている。この点を念頭に置きつつ、本演習では道元禪師ないし曹洞宗における戒律思想を探るべく曹洞宗関係を中心に諸資料を参究していく。今年度は面山端方師の『梵網戒口訣』を最初から読み進めることになる。

成績評価の方法

出席の状況ならびに平常点によって評価する。

教 科 書

面山端方『梵網戒口訣』（『曹洞宗全書 禪戒』所収、177～190頁）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	まつもと しろう 松 本 史 朗	禪・仏教3必	4
演習Ⅱ		禪・仏教4選	

講義のねらい

インドの大乗仏教の基本的概念・教理を理解するために、8世紀の後期中観派を代表するカマラシーラの『修習次第』を、サンスクリット語（梵語）の原典で読む。

講義の内容・授業スケジュール

原典を履修者に和訳してもらう。

履修上の留意点

テキストは、サンスクリット語なので、サンスクリット語初級を修了した程度の語学力を要する。

成績評価の方法

成績評価は、出席を含む平常点による。

教 科 書

テキストなどの詳細は、教場で指示する。

参 考 書 等

参考書として、松本史朗『チベット仏教哲学』（大蔵出版）がある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	みながわ ひろよし	禅・仏教3必	4
演習Ⅱ	皆 川 広 義	禅・仏教4選	

講義のねらい

救主釈尊の教えをふまえて、仏教の根本課題である悲と智と慈について考察する。
 悲は、すべての人々にある生死の苦悩であり、仏教の原点である。智は、釈尊の菩提樹下の悟りであり、人々を生死の苦悩より解脱させる道の発見である。慈は、生死の苦悩からの解脱道を思いやりとして人々に説示することであり、仏教伝道の力である。
 この演習では、仏教の悲と智と慈という視点より、人々の苦悩をふまえて、新しい癒しの仏教の創造をしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、悲と智と慈の人・釈尊の生涯と教えについて、概説する。その後、担当者を決めて、テキストを読み、研究を発表し、討論し、課題を明らかにする。

履修上の留意点

授業日数の三分の二以上出席すること。
 次に、テキストの予習を必ずして、演習にのぞむこと。

成績評価の方法

各自の研究発表と学習態度（出席日数など）、それに学年末の試験の成績などを、総合して評価する。

教科書

増谷文雄編『仏教の根本聖典』（大蔵出版）

参考書等

増谷文雄著『仏陀』（角川書店）

その他

夏休みの後半ごろ、合宿研究会を行う。また、随時、仏教や禅の実践的学習をすすめる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	みねざし こうさい	禅・仏教3必	4
演習Ⅱ	峰 岸 孝 哉	禅・仏教4選	

講義のねらい

「和辻とそれ以後」の道元論を読む。
 永平道元（1200～53）は今や世界的に知られている。しかしわが国の現代知識人に道元をはじめで紹介した著作は、和辻哲郎の「沙門道元」（『日本精神史研究』所収、初版1926年、改訂版1940年）であったと思われる。事実これを契機として個性ある知識人による勝れた著作が生まれている。哲学・文学・医学にまでおよぶ広い領域で、いわば「現代思想」と対峙して論じられたのである。この「異同と共時」を理解することは道元を知る上で重要な手続きであると考えられよう。このことは同時に「道元の現代性」を問うことと連動するはずである。
 以上の問題意義から、特に今年度は春日裕芳著、『道元とヴァイトゲンシュタイン』をとり上げる。

精読を通じて、両者がもつその「共時性」について考える。

講義の内容・授業スケジュール

「沙門道元」の歴史的 성격について考える。続いて春日の道元論の特色を考えてみる。

履修上の留意点

「現代思想」に対する関心を強めて欲しい。

成績評価の方法

レポート提出による評価。

教科書

和辻哲郎著『日本精神史研究』（岩波文庫）
 春日裕芳著『道元とヴァイトゲンシュタイン』（ぺりかん社）

参考書等

教場で指示。

その他

当番制による輪読。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	よ し つ よ し ひ で 吉 津 宜 英	禪・仏教3必	4
演習Ⅱ		禪・仏教4選	

講義のねらい

東アジア仏教における起信論思想の展開。
 大乘起信論はインドで成立したのか、中国の仏教者が撰述したのかについて古来からの論争がある。いずれにしても、6世紀半ばに中国に出現してから、東アジア全域で大いに依用された。私は先ず大乘起信論の教学の原点を確認し、その上で曇延・慧遠・元暎・法蔵・宗密などの諸註釈書の研究へと進みたい。彼等はそれぞれ起信論を独自に裁断し、自分流の教学に合うものに仕立て上げている。また、中国の禪者達は頓悟の典拠として起信論を依用する。また、日本仏教では起信論は本覚思想の源流ともされた。東アジアの仏教を起信論を中心に、起信論思想の展開として考察してみたい。

成績評価の方法

各自のテーマを設けさせ、1回以上は15分の小発表を要請する。司会などもゼミ生に担当させる。発表内容の評価だけではなく、質疑応答に積極的に参加するかどうか重要なポイントである。1月定期試験前日締め切りで、10枚以上の小論文を課題として提出させる。年間の出席状況も勘案し全体的に評価するものとする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	よ つ や こう どう 四 津 谷 孝 道	禪・仏教3必	4
演習Ⅱ		禪・仏教4選	

講義のねらい

この演習では、大乘仏教における、特に中観思想における「空」について検討を加える。

講義の内容・
授業スケジュール

「空」思想は、初期仏教、部派仏教、大乘仏教、そして密教と、仏教の長い歴史を通じて様々な形で説かれてきた。中でも大乘仏教の形成においてこの「空」思想は極めて重要な役割を果たしたと考えられる。その大乘仏教が主な拠り所とする經典である『般若経』において説かれた「空」思想に論理的な根拠を与え、中観派の礎を築いたのは、ナーガールジュナである。その彼の主著がここで扱うこととなる『中論』なのである。この授業では、『中論』の第24章「四諦品」(四聖諦に関する考察)を取り上げ、様々な註釈書や研究を参考にして、「空」思想に関するより深い理解をめざしたい。ここでは、教材として主に鳩摩羅什によって中国語に翻訳された『中論』を用いる。その他、諸々の注釈書や研究等に関してはその都度授業において言及する。

履修上の留意点

この授業の受講生に関しては、必ずしもサンスクリット語やチベット語等の知識を前提としない。

成績評価の方法

年度末のレポートによって評価する。

Ⅲ 他学部履修科目

Ⅲ. 他学部履修科目

〔第1部・フレックスAで開講される他学部履修科目〕

上代文学研究 I	〈小野 寛〉	303
中古文学研究 I	〈松岡 智之〉	303
中世文学研究 I	〈櫻井陽子〉	304
近世文学研究 I	〈近衛典子〉	304
近代文学研究 I	〈山崎 眞紀子〉	305
比較文学	〈満谷マーガレット〉	305
児童文学	〈国松 俊英〉	306
西洋思想史	〈柴野 博子〉	306
演劇概論	〈井上 理恵〉	306
編集実務	〈長谷川 孝〉	307
イギリス文学特講 I	〈荒井 良雄〉	307
イギリス文学特講 II	〈高野 正夫〉	308
イギリス文学特講 III	〈岡崎 寿一郎〉	308
イギリス文学特講 IV	〈中岡 洋〉	309
イギリス文学特講 V	〈富士川 義之〉	309
イギリス文学特講 VI	〈丸小 哲雄〉	310
アメリカ文学特講 I	〈東 雄一郎〉	311
アメリカ文学特講 III	〈足田 和人〉	311
演劇特講 (イギリス・アメリカ)	〈落合 和昭〉	312
時事英語	〈荒井 良雄〉	312
地理思想史	〈竹内 啓一〉	313
地形学	〈小池 一之〉	314
人口地理学	〈大友 篤〉	314
文化地理学	〈小田 匡保〉	315
応用地理学	〈高木 正博〉	315
現代地理学特論	〈長谷川 均〉	316
日本史特講 VII [近代]	〈小泉 雅弘〉	316
東洋史特講 X [近・現代]	〈 休 講 〉	
考古学特講 III	〈酒井 清治〉	317
日本仏教史 II	〈 休 講 〉	
西洋文化史 I	〈佐々木 真〉	317
日本民俗学	〈谷口 貢〉	318
歴史哲学	〈久保 陽一〉	318
産業・職業社会学	〈山田 信行〉	319
マス・コミュニケーション論	〈川本 勝〉	320
社会福祉発達史	〈林 千代〉	320
国民所得論	〈吉野 紀〉	321
日本経済史	〈橋野 知子〉	322
中小企業論	〈吉田 敬一〉	323
社会政策	〈光岡 博美〉	324
教育経済論	〈谷敷 正光〉	325
日本経済論	〈小林 正人〉	326
アジア経済論	〈鄭 章淵〉	327
中国経済論	〈小杉 修二〉	328
アメリカ経済論	〈瀬戸岡 紘〉	329

口商マ	シ	東	歐	經	論	山	縣	弘	志	330
一	業	政	政	策	山	下	弘	弘	331	
マ	ケ	テ	イ	ン	グ	曾	我	信	孝	332
經	營	管	理	論	百	田	義	治	333	
勞	務	管	理	論	堀	龍	二	334		
財	務	會	計	論	小	栗	崇	資	335	
會	計	監	査	論	森	田	佳	宏	336	
管	理	會	計	論	石	川	祐	二	336	
原	価	計	算	論	鈴	木	勝	浩	337	
貿		易		論	古	沢	紘	造	338	
銀		行		論	齊	藤	正	339		
行	政	法	各	論	齊	藤	寿	340		
比	較	憲		法	齊	藤	寿	341		
親		族		法	竹	中	智	香	342	
相		統		法	竹	中	智	香	342	
西	洋	法	制	史	北	野	かほる	343		
英		米		法	北	野	かほる	344		
經		濟		法	岡	田	外司博	345		
ヨ	一	政		論	中	野	裕	二	346	
ロ	ッ	治		学	小	堀	訓	男	347	
国	際	政		史	浦	田	早	苗	347	
ヨ	一	政		法	富	井	幸	雄	348	
地	方	自		法	前	田	英	明	348	
議	會	関		論	休	講				
立	法	過		学	三	竹	直	哉	349	
比	較	政		論	大	塚	桂		350	
現	代	国		法	休	講				
比	較	憲		論	鹿	嶋	秀	晃	351	
經	營	勞		論	茂	垣	広	志	352	
国	際	經		史	山	田	勝		352	
商	保	業		論	石	名	邦	昭	353	
保	險	經		論	渡	邊	惠	一郎	354	
財	務	會		論	片	桐	伸	夫	355	
經	營	分		論	高	木	克	己	356	
税	務	會		論	高	井	徹	雄	357	
經	營	情		論	西	村	和	夫	358	
情	報	理		計	長	国	強		359	
經	營	統		史	佐	原	作	美	359	
上	代	文		史	鈴	木	裕	子	360	
中	古	文		史	坂	口	博	規	360	
中	世	文		史	清	田	啓	子	360	
近	代	文		史	笹	瀬	王	子	361	
近	代	文		史	小	林	治		361	
現	代	文		史	小	林	治		361	
異	文	コ		ム	奥	原	淳	子	362	
時	事	ニ		ケ	岡	本	誠		363	
応	用	計		測	学	櫃	尾	英	次	363

フレックスBで開講される他学部履修科目]

商学総論	〈大吹勝男〉	364
社会思想史	〈阿部弘〉	365
国際経済論	〈休講〉	
社会政策	〈光岡博美〉	366
価値理論	〈荒木勝啓〉	367
国民所得論	〈吉野紀〉	368
銀行論	〈休講〉	
中小企業論	〈休講〉	
人口論	〈休講〉	
アメリカ経済論	〈休講〉	
ヨーロッパ経済論	〈清水卓〉	369
貿易論	〈休講〉	
会計監査論	〈森田佳宏〉	370
管理会計論	〈休講〉	
法思想史	〈高橋洋城〉	371
日本法制史	〈茂野隆晴〉	372
西洋法制史	〈休講〉	
経済法	〈岡田外司博〉	372
国際関係論	〈南山淳〉	373
地方自治法	〈富井幸雄〉	373
倒産処理法	〈奥野善彦〉	374
国際紛争解決法	〈王志安〉	374
アメリカ経営学	〈休講〉	
経営財務論	〈高田光明〉	375
経営組織論	〈伊藤信二〉	376
経営益企業論	〈園田哲男〉	376
公管理会計論	〈猿山義広〉	377
会計監査論	〈阿部一人〉	378
日本経済論	〈羽鳥茂〉	379

〔第1部・ブレックスAで開講される他学部履修科目〕

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上代文学研究Ⅰ	おののひろし 小野 寛	禅・仏教	4

講義のねらい

万葉集をよむことから、上代文学の特質を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

万葉集全20巻から、名作・問題作を選び、その作品について原文の検討、その訓みの確定、語句の研究、ことばの原義・語法、歴史的・社会的・地理的背景を詳細に調べる。授業は全面的講義方式による。毎時出欠をとる。

履修上の留意点

講義はその都度、新しく調査研究してまとめてゆくものだから、必ず出席して、ひたすらノートをとること。講義でわからないことはそのままにせず、チェックし、メモして、自分で調べてみる。質問も歓迎。

成績評価の方法

数回のレポートと学年末の筆記試験（持込一切なし）によって評価する。

教科書

小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院刊）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中古文学研究Ⅰ	まつおかともゆき 松岡 智之	禅・仏教	4

講義のねらい

平安時代の仮名文学作品では、人生のいかなる局面でいかなる詩（和歌）が生まれるのかという関心が、作品生成の基盤となっているものが多い。本講義は、こうした作品形成のあり方をさまざまな作品の分析的読解を通して考えていく。

講義の内容・
授業スケジュール

①『伊勢物語』を出発点に、和歌と歌物語的ないし歌日記的なものに関する問題提起をする。
②平安時代の和歌の特色を、前代とのつながりを考慮しながら把握する。③『伊勢集』冒頭部および『平中物語』を解読する。④『蜻蛉日記』『和泉式部』等、日記文学における和歌のあり方を考える。⑤①～④の検討を踏まえ、『源氏物語』を読解する。

成績評価の方法

レポート、筆記試験、出席状況を総合して評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中世文学研究Ⅰ	さくらい ようこ 櫻井陽子	禅・仏教	4

講義のねらい

源義経（牛若丸）像が日本の文学や芸能の中で、どのように形成され、また、変貌を遂げていったのかを追い、日本人がこの悲劇的、英雄的生涯を終えた人物に何を託したかったのかを、作品に触れながら明らかにしていく。また、知識階級の占有物ではない文学、或いは文化を考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

義経についての記載を追って、下記の各文献を読む。

平家物語
平治物語
吾妻鏡、及び歴史史料
義経記
謡曲
おとぎ草子

成績評価の方法

出席、授業態度、レポートによって総合的に評価する。

教科書

授業時に適宜プリントを用意する。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近世文学研究Ⅰ	このえのりこ 近衛典子	禅・仏教	4

講義のねらい

上田秋成の読本『雨月物語』を読む。

講義の内容・授業スケジュール

単に小説のストーリーを追うだけでなく、典拠となった中国白話小説、日本の古典作品の精読、本文との比較検討を通して、浮かび上がってくる作品の主題を考える。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席状況、受講態度、レポート等を総合し評価する。

教科書

鷲山樹心編『講読雨月物語』（和泉書院）

その他

講義

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近代文学研究Ⅰ	やま さき まき こ 山 崎 眞 紀 子	禅・仏教	4

講義のねらい

1979年『風の歌を聴け』でデビューした村上春樹は、現在も第一線で活躍している作家である。この間、日本は経済効率優先の社会システムのもとに進んできた。結果、バブル経済、サブカルチャー、家族制度の崩壊などを生みだしてきた。共闘から個人へと変換してきたことも大きいだろう。村上春樹は人々が共闘している際にも個人で、徹底的に自分の足元を見続け、たとえていえば自分の中の井戸を汲み上げるようにして書いてきた作家である。もはや、現代は経済効率優先の社会システムのままでは、各所にほころびが生じてきている。こういう時代に、村上春樹作品を読むことによって、社会システム内に無自覚に呑み込まれるのではなく、個人一人一人が自分の井戸を汲み上げ、これから先の時間をどのように構築していくのかを考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

村上春樹作品の代表作を基本的には発表時間順に読んでいく。主に文庫本をテキストとする。

履修上の留意点

事前にテキストの指定部分を必ず読んでくること。授業時間の前半は講義式で進め、後半は各自考察を深めるために課題に従って文章化したり、意見を発表して貰ったりする。従って、授業に積極的に参加する姿勢が必要となってくる。テキストを読んでこなかったり、私語をしたり、テキストを持参せず眠っている、などという態度は困るので、履修をする場合は、これらのことをしないことが条件となる。なお、携帯電話は講義中に触れることも認めません。

成績評価の方法

平常点（授業への参加度や授業時の意見や文章等）を何よりも重要視する。学年末にレポート提出を課すか、ペーパーテストを行うかは、受講者の反応に従って決定したい。全講義数のうち、3分の1以上の欠席の場合は単位を認定しないので注意すること。

教科書

新潮文庫『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』（上・下）、新潮文庫『ねじまき鳥クロニクル』（第1部～第3部 全三巻）、「図書館奇譚」（講談社文庫『カンガルー日和』所収）、「眠り」（文春文庫『TVピープル』所収）、「ねじまき鳥と火曜日の女たち」（文春文庫『パン屋再襲撃』）、「街と、その不確かな壁」（文庫本未収録なのでプリント作成）

参考書等

総合的には『村上春樹作品研究事典』（鼎書房）3,800円があるが、購入を強制するものではない。他の参考書及びサブテキストについては授業中適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
比較文学	みつたに 満谷 マーガレット	禅・仏教	4

講義のねらい

文化交流のもっとも重要な手段である翻訳の問題について考えてみたい。まず、最近話題となっているジェンダー翻訳論やポスト・コロニアル翻訳論を含めて、さまざまな翻訳論を紹介しながら、言語と文化の問題を幅広く扱う。比較文学の伝統的な主題である「影響関係」の枠を超えて、翻訳が創作活動をどう刺激したかが見えてくるはずだ。また、翻訳は「読む」ことから始まるとすれば、それは当然「誤読」を伴う。日本の近代は西洋を「誤読」することから出発したといえるだろうし、西洋も日本を「誤読」し続けているといえるだろう。小説、詩、児童文学など、具体的なテキストを読みながら、明治の翻訳者が西洋から何を、どのように取り入れようとしたのかを見るとともに、十九世紀のジャポニズム（日本趣味）から戦後のハイク・ブームにいたるまで、西洋が日本をどのように読んできたのかを見ていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業は講義を中心に進めるが、テキストを読むこともある。教科書はないが、必要に応じてプリントを配る。外国語のテキストには必ず日本語訳か解説がつく。横文字アレルギーの人は困るだろうが、英語に堪能である必要はない。

成績評価の方法

前期、後期と試験を行う。

教科書

プリント

参考書等

秋山勇造『翻訳の地平』（翰林書房）1995
日本近代思想体系15『翻訳の思想』（岩波書店）1991
西田直敏『「新体詩抄」 研究と資料』（翰林書房）1994など

他フ第
学部レ
履A1
修開
科目講部

科目名	担当者名	配当学科	単位
児童文学	くにまつ としひで 国松 俊英	禅・仏教	4

講義のねらい

童話や児童文学といえば、かつては「子どもに役立つ文学」、「子どものためになる文学」という考えが中心だった、大人が子どもに与えるものであった。けれどその考えは、時代とともに変わってきた。現代では「大人と子どもが共有できる文学」と考える人がふえてきた。大人が楽しみ、感動できる児童文学が多く生まれるようになった。この時間は、児童文学の特質、そのジャンル、作家と作品について学ぶ。

成績評価の方法

出席状況、授業態度、レポート

教科書

適宜プリントを配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋思想史	しばのひろこ 柴野 博子	禅・仏教	4

講義のねらい

生の哲学と解釈学を中心に、19世紀から20世紀の西洋思想をみてゆきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期はショーペンハウアーとニーチェの思想をとりあげ、後期はデイルタイとガダマーの解釈学をとりあげます。

成績評価の方法

年2回の筆記試験またはレポートによって評価します。

教科書

久保陽一『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
演劇概論	いのうえ よしえ 井上 理恵	禅・仏教	4

講義のねらい

演劇とは何か、演劇学とは何か、について西洋及び日本のこれまでの演劇論を検討しながら考えていく。特に戯曲と演出、俳優、演技の関係、文学と演劇の間に横たわる深く広い大河をいかに収斂すればいいのかについて考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

演劇史、ドラマトウルギー論、演劇理論史など、ギリシャからフランス、イギリス、ドイツ、そして日本の状況等について比較検討しながら触れることになろう。ビデオや舞台上で展開される演劇を観て、西洋と日本の文化の違いを理解し考えるつもりである。

履修上の留意点

個別な日本の戯曲を検討する時間はないので個別研究を学びたい者は国文学特講Xを同時に受講されることが望ましい。

また、実際の舞台を見にいった批評を書いてもらうつもりであるから本講座を受講する者は前期一回、後期一回、劇場に足を運ぶことを条件とした。

成績評価の方法

成績評価はレポート（二回の観劇批評およびその他二回）およびテスト。

教科書

授業時に販売（約500～800円）「井上理恵講義ノート」（私家版）

参考書等

毛利三彌『東西演劇の比較』（放送大学教育振興会）

その他

講義形式。ビデオ視聴や観劇後には討論をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
編集実務	はせがわ 長谷川 孝	禪・仏教	4

講義のねらい

編集とは、〈だれかに 何かを 伝える〉過程、つまり「何か」に気づき、その意味をつかみとり、表現の形を整えて、受け手に引き渡していく一連の過程に携わる仕事です。その過程で「どう」伝えるのかに必要な知識・技能とともに、そのための知的基礎体力・感覚的な力をきたえ、「何を・なぜ」伝えるのかを考えて、自分なりの「目のつけどころ」(視点・視野・視角)をつくることを目指します。また、編集のはたらきは日常生活の中でだれもが行っていることなので、それを意識的に適用し、情報化社会で多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、「よき発信人」になるために役立つことを願っています。

講義の内容・ 授業スケジュール

新聞・雑誌・書籍など印刷媒体の編集を中心に、企画・取材・原稿の執筆・現行の整理やレイアウトなど、実際の常識・技能を取り上げ、その中で「目のつけどころ」や、編集をする上での意思や責任を考えます。とくに、ものごと・できごと、文章やデータから「何か」とその意味を読み取り、感じ取り、問う力、自分の表現をつくり出す力を養うよう考えています。

履修上の留意点

授業を「取材」する(「教わる」ではなく)という構えで参加してください。また授業で「取材」した自分なりに感じ気づき考えたことを、毎時、短い文章で書いてもらいます。

成績評価の方法

自己評価点および、課題作品(B4判2つ折4ページの個人紙・誌を制作)と授業で書く短文(感想文)など平常の提出物によります。

教 科 書

プリントを使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅰ	あらいよしお 荒井良雄	禪・仏教	4

講義のねらい

シェイクスピアの全作品を中心に、エリザベス朝演劇をとりあげて、イギリス演劇の特色と思想的文化的背景を講義する。

講義の内容・ 授業スケジュール

ギリシャ・ローマ演劇やシェイクスピア以前の聖書劇や道徳劇にふれたのち、シェイクスピアの史劇、喜劇、悲劇、悲喜劇と、クリストファー・マーロウやベン・ジョンソンなどの劇をとりあげる。

履修上の留意点

イギリス演劇史の中で最も活気に満ちたルネッサンス時代の演劇を考察するので、イギリス史や演劇史の参考書を読んでおくことが望ましい。

成績評価の方法

夏休みのレポートと冬休み前の試験で評価する。

教 科 書

『イギリス文学案内』、野町二・荒井良雄著、朝日出版社、

参 考 書 等

『シェイクスピア全集』、小田島雄志訳(白水社)(全37巻各冊600円から800円)
『シェイクスピア事典』高橋康也・他編(研究社)14,000円(図書館で利用できる。)

そ の 他

演劇の講義なので、作品理解の補助手段として、イギリス演劇の映画化作品やテレビ作品、そして日本での翻訳上演などを見ることをすすめたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学特講II	たかのまさお 高野正夫	禪・仏教	4

講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心が持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのである。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、DrydenやPopeなどに代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomsonのように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward YoungやRobert BlairそしてThomas Grayなどのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年にWilliam WordsworthとSamuel Taylor Coleridgeによって出版されたLyrical Balladsという、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていく。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

成績評価の方法

前期のレポートと期末試験によって評価する。

教科書

教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学特講III	おかざきとしちろう 岡崎寿一郎	禪・仏教	4

講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代性」modernityという言葉の感覚を理解することは、むづかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出発として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T. S. エリオットの現代詩（モダニズム）、さらにD. H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

参考書等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅳ	<small>な が お か</small> 中 岡 <small>ひろし</small> 洋	禅 ・ 仏 教	4

講義のねらい

イギリス小説のなかで特異な地位を占めつつ、もはや伝統の外物とはいいがたくなっているブロンテ文学について講義する。わが国では比較的よく親しまれていると思われるが、正しく理解するためにあらゆる方面から考察を加えてみようと思う。

講義の内容・授業スケジュール

具体的にはCharlotte Bronte (1816 - 55) のJane Eyre (1847) をはじめとして、姉妹のすべての小説にふれ、初期作品から詩歌、エッセイの類まで扱う。また映画化された作品もあり、それらを上映、鑑賞する機会ももちたい。全体をほぼ把握した段階で、その周辺の作家たちとの関連に言及し、広くイギリス文学の特質を理解するように努める。

履修上の留意点

出席に励むこと。各自が自覚をもって勉強に励むことを期待している。

成績評価の方法

出席回数と試験の結果によって評価する。

教科書

特に定めないが、その都度参考書を挙げて説明するので、読んでおくようにする。

参考書等

教場で適宜指示する。

その他

真面目に受講することを期待し、不真面目な受講態度の学生は退席してもらう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅴ	<small>ふ じ か わ</small> 富 士 川 <small>よ し ゆ き</small> 義 之	禅 ・ 仏 教	4

講義のねらい

英国における文学と絵画についての講義。ロマン主義時代の風景詩と風景画、ラファエル前派から世紀末の文学と絵画の関連性についてふれる予定である。

講義の内容・授業スケジュール

講義で述べる詩人や作家の文例をコピーで読むとともに、19世紀英国の画家たちの絵画をテレビ画面に映して見ることにより、文学と絵画により親しんでほしいと願っている。

履修上の留意点

積極的に取り組んでいただきたい。毎回出席をとる。

成績評価の方法

レポートと試験。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

適宜指定する。

その他

講義が中心だが、討論の機会を随時もうけるつもりなので、ぜひ参加してほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講 VI	丸 小 哲 雄	禪 ・ 仏 教	4

講義のねらい

文学研究が感動に始まるとすれば、それは個人的・主観的です。個人的・主観的であるとは、読み手の深奥の中心から「叫びのような声」に触れることです。批評することは、実は、文学テキストと読み手とをリアル・タイムで結んでゆくネットワークのようなものです。作者の世界と読み手の世界とをリアル・タイムで結びつけることで、読み手はテキスト世界との出会いに自らの心を開き、その出合のときその世界に対して読み手は違和感を抱く。かくして読み手は自らの世界を更新してゆくモーメントを獲得することになり、批評が始まります。

批評の世界は個人的・主観的な世界から宇宙的な世界に向けて発信し、文学以外の人間のさまざまな領域と共存し対峙していくわけです。批評的行為はいつまでも文学テキストに寄生しないで、自立していきます。

であるから、初発の読書体験を大切に、主体としての自分をどう形成してゆかかを説明し、そこから文学批評方法を修得し確立して、テキストの印象や感想に価値を見出せるようにしていきます。とりわけ批評行為は、テキストの読み・解釈・批評の過程にあって、テキストの構造の折り目をゆるめて、テキストの持つ価値や姿勢に対して対立し、そのイデオロギーと対決する最後の機会であり、読み手がテキストに対してどのようにして責任をとるかを発見することです。その結果文学批評は個人の嗜好ではなく、集団的な判断の問題となってきますので、本講義は文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、テキストの印象や感想に価値を見出せるように講義してゆきます。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 文学テキストの虚構的世界とその必要性について
2. 文学的言語とは何か；日常言語と虚構言語の差異について
3. 文学テキストの機能と力について
4. 英文学研究の成立過程；文学研究制度の問題について
5. 伝統的方法とテキスト演習
6. ロシア・フォルマリズム
7. ニュー・クリティシズムとテキスト演習
8. 受容理論（読者論の立場）
9. 「精神分析批評と原型批評」とテキスト演習
10. 構造主義
11. 記号論
12. 「構造主義と記号論」とテキスト演習
13. ポスト構造主義
14. ニュー・ヒストリシズム
15. 批評精神の遍在性と批評的態度について

成績評価の方法

出席、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教科書

『Elements of fiction by R. Scholes』（英宝社）
・プリント使用；プリントのファイルを用意すること；読書リストのプリント配布

参考書等

『楽しく読めるアメリカ文学』（ミネルヴァ書房）
『楽しく読めるイギリス文学』（ミネルヴァ書房）

第7 他学部履修科目
1 A 開
部 講 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅰ	あずま 東 ゆういちろう 雄一郎	禪・仏教	4

講義のねらい

アメリカ詩の概観、アメリカン・ルネッサンス、モダニズム、ポストモダニズムの流れにそって、Walt Whitman, Emily Dickinson, Robert Frost, Wallace Stevens, W. C. Williams, Ezra Pound, T. S. Eliot, John Crowe Ransom, E. E. Cummings, Hart Crane, Langston Hughes, Elizabeth Bishop, John Berryman, Robert Lowell, Robert Bly, Allen Ginsberg, Gary Snyder, Sylvia Plath, Mark Strand等の詩人の作品を読んでゆきます。それぞれの詩人の作品を通して、アメリカの歴史、文化、人種差別、ジェンダー、宗教、自然、自我のヴィジョン、絵画、音楽等の問題を探り上げ、論じてゆきます。アメリカの自由詩をおおいに楽しんで下さい。新しい詩のスタイルは、一個人の技巧的な変革ではなく、新しい思想から生まれます。

教 科 書

新倉俊一『アメリカ詩入門』（研究社）2,200円

参 考 書 等

新倉俊一『アメリカ詩の世界』（大修館）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅲ	あしだ かずひと 足 田 和 人	禪・仏教	4

講義のねらい

ロスト・ジェネレーションといわれる作家の文学に共通した特徴を探る。また、歴史的、文学史的背景を考慮に入れながら、彼らの短編小説の技法を学んでゆく。

講義の内容・授業スケジュール

それぞれの作家の代表的な短編小説を読みながら、講義を行う。

履修上の留意点

あらかじめ指定された英文テキストを、読んでいることを前提に講義を進める。授業中に発言を求めることも少なからずあるので、積極的な参加を希望する。

成績評価の方法

毎時間、小レポートを提出してもらい出席点とし、前期・後期2回のレポートを課す。

教 科 書

プリントを配布。

参 考 書 等

必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演劇特講 (イギリス・アメリカ)	おちあいかずあき 落合和昭	禅・仏教	4

講義のねらい

主として、20世紀アメリカの著名な劇作家、および、現在、活躍中の劇作家を取り上げ、彼らの劇の特徴を、劇の構成要素（「筋」、「登場人物」、「テーマ」、「台詞」、「視覚効果（背景、照明等）」、「効果音（音楽も含む）」等を通して、できるだけ多角的に考察する。その際、演劇史における思潮も考慮に入れるつもりであるが、講義が概念的、抽象的にならないように、必ず、劇作品を通して、具体的に、劇の構成要素等を考察する。アメリカ劇作家以外にも、数人ではあるが、20世紀アイルランドやイギリスの劇作家も取り上げる予定である。さらに、一般的には、あまり知られていない劇作家、特に、一幕劇（短い劇、小説で言うなら、短編小説、通常、「場所」が一つだけの劇）を書いた劇作家も取り上げ、一幕劇の特徴やその多様性をも考察する。また、講義の中で、折に触れ、重要な演劇用語や劇場の種類等も学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

講義のなかで取り上げる主な劇作家は、アメリカでは、Susan Glaspell (1882-1948)、Alice Gerstenberg (1885-1972)、Engene O'Neill (1888-1953)、Thornton Wilder (1897-1975)、Tennessee Williams (1911-83)、Arthur Miller (1915-), Shirley Jackson (1919-65)、Edward Albee (1928-), Sam Shepard (1943-), David Mamet (1947-), アイルランドでは、John Millington Synge (1871-1909)、Samuel Beckett (1906-89)、イギリスでは、John Boynton Priestley (1894-1984)、Harold Pinter (1930-)等である。

履修上の留意点

講義の内容をふまえて、劇作品を分析してもらうので、積極的な参加が望ましい。

成績評価の方法

期末試験が全評価の40%、前期の課題が30%、後期の課題が30%とする。一回の課題は原稿用紙400字詰め5枚から10枚（ワープロの場合は、2000字から4000字）とする。出席率が3分の2以上を超えなければ、成績は不可とする。

教科書

- 1) 『The New Penguin Dictionary of Theatre』 (洋書) ペンギン
- 2) プリント

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語	あらいよしお 荒井良雄	禅・仏教	4

講義のねらい

このクラスでは、Newspaper EnglishとRadio Englishを中心に、Current Englishを学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

英字新聞、ラジオの英語、映画やテレビの英語、雑誌の英語を使って、Current Englishと英米文化の背景を研究をし、刻々と変る世界情勢を理解し、国際的視野を広げる事を目標とする。

履修上の留意点

その日のラジオの英語や英字新聞の英語を主として扱うので、各自が自習するとともに、辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法

毎時間の小テストと、夏休み前と冬休み前の2回のテストで評価する。

教科書

『International Herald Tribune』 新聞や駅の売店で発売 (150円)

参考書等

各種の時事英語辞典。

その他

テープを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地理思想史	たけうち けいいち 竹 内 啓 一	禅 ・ 仏 教	4

講義のねらい

地理学史ではなく、地理思想史の講義であり、ここで、地理思想史とは、領域、場所、環境といった空間的な生活条件に関する社会思想史であり、そのような地理思想史が、時代により、世界各地の文化により、どのように異なり、同時に普遍性、共通性を持っているかということが、まず大きなテーマになる。また地理思想史という場合、民衆レベルでの思想と実践 (folk geography) から、統治者のもの (official geography)、近代における制度化された高等教育機関でアカデミシアンとして録をはんでいる者のもの (academic geography) まで、様々な次元のものがあり、これらの社会的背景を異にする多様な地理思想の間の接続と断絶関係を明かにすることも、この講義の一つの課題である。また地理的イマジネーション、環境に対する関心、地理的実践は空間的に限定された局地的なもの (local concerns)、国家レベルのもの (national concerns)、世界的なもの (global concerns) とスケールを異にするものがあり、これら間には多様な拮抗関係があって、その解明も地理思想研究の課題となる。このような folk, official academic geographies が、local, national, global, concerns をめぐって、どのような関係にあったかを、通時的 (diachronic)、かつ通文化的 (cross-cultural) に解明するのがこの講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書、および配布資料を用いて、講述方式で講義をすすめる。まず上記の私の問題意識にしたがって、地理思想史の構造について話をして、後半の部分では地理的知識の形成と知の体系として地理学の展開、土木、軍事などにおける地理的実践の歴史を、いくつかのトピックごとに時代をおいながら話していく。

履修上の留意点

在外研究のため6月から10月にかけて休講するので、12月の補講期間に集中的補講をするので、あらかじめ心得ておいていただきたい。

成績評価の方法

学年末の持ち込み一切自由の筆記試験による。

教科書

ポール・クラヴァル (竹内訳) 『現代地理学の論理』 (大明堂) 2,500円
日本の地理思想史については、私が作成した資料を配布。

参考書等

読むべき文献・参考書等は講義中に提示するが、アカデミー地理学の歴史、地図史、探検史に関する文献を以下にかかげておく。
手塚章 (訳編) 『地理学の古典』『続・地理学の古典』 (古今書院)
西川治 (編) 『地理学総論』 (総観地理学講座1) (朝倉書店)
水津一朗 『近代地理学の開拓者たち』 (地人書房)
野沢秀樹 『フランス地理学の群像』 (地人書房)
飯塚浩二 『人文地理学説史：方法論のための学説史的反省』 (日本評論社) (『飯塚浩二著作集』 6 平凡社に収録)
野沢秀樹 『ヴィダル・ド・ラ・ブラーシュ研究』 (地人書房)
竹内啓一 『とぼろうぐ』 (古今書院)
織田武雄 『古地図の世界』 (講談社)
織田武雄 『地図の歴史』 (講談社)
長澤和俊 『世界探検史』 (白水社)
竹内啓一・杉浦芳夫編 『20世紀の地理学者』 (古今書院)
R. J. ジョンスン (竹内監訳) 『場所をめぐる問題：人文地理学の再構築のために』 (古今書院)

日本における近代地理学の発達については以下の私の著書と『地理学評論』2000年4月号の日本地理学会75周年記念号が参考になる。
Modern Japanese Geography: An Intellectual History. Kokon-Shoin

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地形学	こいけ かずゆき 小池 一之	禅・仏教	4

講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。

このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く排出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・
授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである：
地形学の成り立ち、地表を変化させる種々の営力と地形の分類、
地表水の働きと地表の変化（マズウェスティング、種々の河成地形、組織地形）
海水の働きと地形、地球内部の力によって形成させる地形（火山地形など）
地形発達

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点はあまり加味しない。

教 科 書

貝塚爽平著(1998)『発達史地形学』（東京大学出版会）3,400円＋税

参 考 書 等

貝塚爽平・小池一之ほか編(1985)『写真と図でみる地形学』（東京大学出版会）4,500円＋税
小池一之ほか訳(1984)『一般地質学 2』（東京大学出版会）3,400円＋税

そ の 他

授業は講義形式で最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともにスライド、ビデオなどを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人口地理学	おおとも あつし 大友 篤	禅・仏教	4

講義のねらい

地理学は、地域の特性や機能、地域的關係、地域間の相互作用、地域構造、あるいはこれらの変化を明らかにする学問である。しかし、地域は、地球表面上の一定の広がり（空間）と定義することができるが、きわめて抽象的な実在であるために、上記の諸要素を明らかにするためには、地球上に存在している何らかの事象を媒介にすることが必要になる。すなわち、人口地理学は、人口現象を媒介にして、上記の諸要素を明らかにしようとする学問である。したがって、人口地理学の研究にあたっては、まず、人口現象を正しく理解することが必要であり、そのためには、人口学の知識が必要となる。1年間という制約のなかでは、人口学とその知識に基づく人口地理学の2分野の講義はできないので、ここでは、人口学の基礎知識を説明しながら、これまでに人口地理学研究のなかで明らかにされた法則や理論などを並行して説明する。

講義の内容・
授業スケジュール

人口構造（基本的構造、社会的構造、文化的構造、経済的構造）、人口動態（出生、死亡）、人口移動（国内移動、国際移動）、人口の地域分布、人口変動と将来予測、人口と資源、人口と環境などの項目について、体系的に説明する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化地理学	お だ ま さ や す 小 田 匡 保	禅 ・ 仏 教	4

講義のねらい

文化地理学の内容は幅広いが、特に宗教地理学の代表的な研究テーマについて研究例に基づき述べる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文化地理学とその概要
2. 宗教地理学
3. 宗教分布
4. 宗教集落・宗教都市
5. 巡礼
6. 墓地

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、レポート、試験によって行なう。
レポートが受理されない場合は、単位も認定されない。

教 科 書

使用しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応用地理学	た か き ま さ ひ ろ 高 木 正 博	禅 ・ 仏 教	4

講義のねらい

この科目は、地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマを考えている。講義では「河川」を対象とし、これの専門分野である河川工学や農業水利学などの成果をふまえつつ、地理学として河川をどのように扱うかを考える。河川は、河道だけでなく流域全体を捉えることが必要である。流域（地域）における自然的特性とその土地の人々とのかかわりあいを利用・災害・自然環境などの視点から講ずる。

講義の内容・授業スケジュール

まず、河川の流出に関する基本特性について水文学から講ずる。つぎに、いくつかの具体的な河川を事例として、利用・災害・河川環境などの視点からそれぞれ河川特性を考える。また、都市の水環境など、川をめぐる現実的な課題について、その本質を探る。

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。

成績評価の方法

学年末試験と夏休みのレポートの他、授業中の課題など平常点も加算する。

教 科 書

授業時間にプリントを配布する。

参 考 書 等

配布プリントをとおり随時紹介する。

そ の 他

講義中心。事例紹介のためのスライドやOHP、ビデオも使用する。

他フ第
学レ
履A1
修開
科
目講部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代地理学特論	はせがわ ひとし 長谷川 均	禅・仏教	4

講義のねらい

この講義では、「オキナワ」をテーマに、島々の自然や環境、文化について地理学的なアプローチを試みたい。沖縄県では、本土復帰以降の30年間、巨額な資金が注ぎ込まれ地域振興がはかられた。そのマイナスの結果として、島々の自然がいたるところで痛めつけられてしまった。この講義では、これらの現状とその背景にある沖縄の自然を解説し、地理学の分野で試みられている環境保全の取り組みや新しい調査方法を紹介したい。また、あわせて「オキナワ」の人々の暮らしの背景にある、本土にすむ私たちから見ればかなり異質に見える文化を「創作民謡」の歌詞などから解説してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期のテーマは「沖縄の自然」、「沖縄における土地改変と自然環境の悪化」である。サンゴ礁の自然をとおして、これらの現状を解説したい。なお、後期は前期の内容を受け「リモートセンシングデータ」や「地理情報システム」を使って、地域や環境の変化を抽出する方法、地理学への応用例を沖縄での事例を中心に解説する。また、今年度から(1)の最後で述べた内容に関しても講義に取り組みたい。ただし、1、2時間の予定である。詳しいスケジュールについては、講義開始時に年間計画表(シラバス)を配布し説明する。

履修上の留意点

講義中の私語、いねむり、教室からの退席は認めない。

成績評価の方法

2回の定期試験結果により評価する。出席し講義をまじめに受けていれば単位取得は容易なはずである。

教科書

使用しない。毎回プリントを配布する。

参考書等

シラバスの付録として参考書のリストを示す予定である。

その他

VTR、スライド、PCによるプレゼンもおこなうが、基本的には講義形式の授業である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本史特講Ⅶ(近代)	こいずみ まさひろ 小泉 雅弘	禅・仏教	4

講義のねらい

近代日本の出発点となった幕末維新期の諸問題について講義し、最近の研究動向にも触れながら維新変革と近代国家の成立について考える。

講義の内容・授業スケジュール

最初に明治維新史の時代区分に関する諸説を検証し、次いで幕藩体制の崩壊から明治国家成立の過程を検討する。その際、必要に応じて史料講読を行いながら授業を進める。具体的には、ペリー来航・開国、安政の大地震と民衆、幕政改革、幕末の政治運動、江戸の都市騒擾、戊辰戦争、維新政権、民権分離問題、廃藩置県、藩閥権力の生成などを、集団・情報・国民国家といった観点も取り入れながら述べていく。

履修上の留意点

既成の歴史認識にとらわれるのではなく、史料批判や史料解釈などを基礎とした自ら歴史を考える姿勢を身につけてほしい。

成績評価の方法

定期試験により評価し、出席状況を加味する。

教科書

特にないが、必要な資料はコピーして配布する。

参考書等

講義内容に則して、適宜参考文献を紹介したい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古学特講Ⅲ	酒井清治	禅・仏教	4

講義のねらい

古墳時代から古代にかけて朝鮮半島から伝わった須恵器が作られるが、この須恵器は古墳時代の畿内政権あるいは各地の首長層と密接な関連があり、古墳時代あるいは古代を考えるに重要な土器である。この須恵器は、現在全国各地で詳細な編年ができ、考古学的な年代決定の重要な資料となっている。また、生産地である窯跡が判明しており、消費地との需給関係がわかる。さらに須恵器生産は古墳時代にあってはきわめて政治的に生産が開始されており、窯業生産地から生産体制を解明する材料となりうる。当時の手工業史としての須恵器生産史や流通史を解明することにより、須恵器から古墳時代、古代を考える。

講義の内容・授業スケジュール

須恵器に関する論文を紹介しながら、須恵器の生産・流通・歴史的背景を概観する。

履修上の留意点

遅刻しないこと。

成績評価の方法

定期試験とレポートおよび平常点

教科書

授業の中で適宜紹介する。

参考書等

中村浩『須恵器』（ニュー・サイエンス社）
中村浩『和泉陶器窯の研究』（柏書房）
山田邦和『須恵器生産の研究』（学生社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋文化史Ⅰ	佐々木真	禅・仏教	4

講義のねらい

近代社会の成立において、「管理」や「規律」といった概念が重要な役割を果たしたことは、さまざまな歴史家によって指摘されていることである。そこで、本講義では、近世末から近代にかけて、ヨーロッパ諸国において戦争や軍隊が有していた意味を考えつつ、上記の問題を検討してみたい。軍隊のあり方やその機能、国家による戦争の遂行は、近代国家や近代社会の形成に非常に大きな影響を与えており、最近ではそのような視点に立った研究が見られるようになった。本講義では、そのような研究動向をふまえ、フランスを主な題材として、近世から近代への移行において、戦争や軍隊がどのような役割を果たしたのかを考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義のサブテーマとしては、以下のものを考えている。

1. 絶対王政期の軍隊と戦争（戦術の変化、軍隊の実態、軍制改革、王権と戦争）
2. フランス革命と戦争（革命下の軍制改革、兵士と市民的自由）
3. 近代社会と戦争・軍隊（国民化・近代システムと軍隊、国家と軍隊、総力戦体制）

履修上の留意点

授業中に紹介する文献をなるべく多く読み、広い知識を身につけてほしい。

成績評価の方法

成績は学年末に行う筆記試験の成績に、不定期に調査する出席点を加算して判定する。

教科書

教科書は特に指定しない。

参考書等

参考文献は、授業中に随時紹介するが、主要なものとしては以下のようなものがある。
アルフレート・ファークツ『ミリタリズムの歴史』（福村出版）
山内進『掠奪の法観念史』（東京大学出版会）
専修大学人文科学研究所編『フランス革命とナポレオン』（未来社）
ジェフリ・パーカー『長篠合戦の世界史』（同文館）
A. J. P. テイラー『戦争はなぜ起こるか』（新評論）
マイケル・ハワード『ヨーロッパ史と戦争』（学陽書房）

その他

授業は講義形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本民俗学	たにくち みつぎ 谷口 貢	禅・仏教	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼——出産と子育て——
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

教科書

使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史哲学	くほ よういち 久保 陽一	禅・仏教	4

講義のねらい

歴史哲学は、個々の事件を理念や原理から統一的に説明したり評価する歴史形而上学や、歴史認識の可能性や方法論を問う歴史認識論とに大別される。本講義では、これらの考え方を歴史的に検討し、今日の歴史認識の方向を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 ヘルダーと和辻の風土論
- 2 ヘーゲルの歴史哲学
- 3 マルクスの史的唯物論
- 4 新カント派の文化科学方法論
- 5 デルタイの精神科学基礎論
- 6 ハイデガー、ガダマーの解釈学

履修上の留意点

ノートをよく取ること。私語はつつしむこと。

成績評価の方法

出席状況、レポート、試験。

教科書

ヘーゲル『歴史哲学』（上中下三冊）（岩波文庫）

参考書等

渡辺二郎『現代の思想的状況—歴史の哲学』（放送大学教育振興会）、シュネーデルバッハ『ヘーゲル以後の歴史哲学』（法政大学出版局）、久保陽一『初期ヘーゲル哲学研究』（東大出版会）

第7他学部履修科目
1A開講科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
産業・職業社会学	やま だ のぶ ぎ 山 田 信 行	禅 ・ 仏 教	4

講義のねらい

“労使関係”をキイ概念として、産業社会学を体系的・概論的に講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は2部から構成される。第1部（前期）では、産業社会学の主要な分野について日本の事例について紹介しながら概説する。第2部（後期）では、“国際化”をポイントにして労使関係の歴史比較分析を行う。具体的な講義プランは以下の通り。

- 第1部 現代日本の産業・労働
1. 産業社会の対象・方法・課題
 2. 労使関係とはどんな関係なのか
 3. 賃金・雇用・労働者
 4. 労働者の統制と参加
 5. 労働組合と労働運動
 6. 技術革新と技能の変化
 7. 国家と労使関係
 8. 変容する産業・労働の世界
- 第2部 労使関係の国際比較
1. グローバリゼーションと労使関係
 2. インダストリアリズムと多元的資本主義発展
 3. アメリカ合衆国と不自由労働
 4. 資本・賃労働の国際化と日本的労使関係
 5. 周辺社会とマレーシアの労使関係と資本主義発展
 6. 労使関係と社会変動

履修上の留意点

必修科目ではないので、自覚的な参加を希望する。

成績評価の方法

学年末試験による

教 科 書

山田信行 『労使関係の歴史社会学』（ミネルヴァ書房）

参 考 書 等

適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マス・コミュニケーション論	かわもと 川 本 勝	まさはる 禪 ・ 仏 教	4

講義のねらい

社会的コミュニケーションの特質を整理し、マス・コミュニケーションの社会的機能、影響過程を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、社会生活とコミュニケーションとの関連を考える。
 ・社会的コミュニケーションの諸形態と特質。
 ・情報環境の変容とコミュニケーション内容。
 ・社会生活とコミュニケーション行動。
 後期は、マス・コミュニケーション活動が社会や人々に対してどのような機能やインパクトを与えているかを考える。
 ・マス・コミュニケーション活動と諸問題。
 ・メディア・コミュニケーションの社会的機能。
 ・受容過程の特質と効果研究。

履修上の留意点

他学部・学科履修科目であるが、他学部・他学科の学生は、社会学の科目を履修して社会学の基礎知識を修得しておくこと。

成績評価の方法

講義中に課する小レポート、出席を考慮し、試験によって行う。

教 科 書

特に用いない。

参 考 書 等

講義中に適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉発達史	はやし 林 千 代	まさはる 禪 ・ 仏 教	4

講義のねらい

いつの時代にも人々の生活不安は、自然の変化と社会の変動によって生じる。社会の変動期には、常に多くの生活問題が発生し、大多数の人々は、生活困難におちいった。それに対応する社会福祉は一定の歴史的産物であること、そしてその理解に立って本質を把握し、現状と今後の方向を考える力をつけたい。

講義の内容・授業スケジュール

主に、英国と日本を中心に、資本主義社会の成立とともに生成した社会事業から社会福祉へ至る歩みを講述する。さらに、こんにちの福祉社会をも検証したい。単に事実の羅列ではなく、対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす思想、それらの関連などを立体的、構造的にとらえるというのが本講義の内容である。なお今も存在しつづける慈善（事業）をもとり上げたい。

特に日本の場合、社会福祉（事業）の前段階は、厚生事業といった。きわめて日本的特質を示すものとして深い考察が必要であると考えている。

履修上の留意点

熱心にとり組もうという意欲を持ってもらいたい。

成績評価の方法

最後にレポート提出を課す。

教 科 書

特に無い。

参 考 書 等

その都度紹介する予定である。

そ の 他

特に無し。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国民所得論	よしの 吉野 紀	禅・仏教	4

講義のねらい

わが国は法人企業だけで277万（平成3年）あり、就業者6,400万人のうちの約68%にあたる4,380万人がここで働いている。この生産活動からさまざまな財（商品）やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを1年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言ってGDP（国内総生産）にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは4,400万に昇る家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここには、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の1年間の規模は平成7暦年のGDPによって483兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとすれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数限りない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然とも言えよう。こうした取引関係は複雑に入り込んでおり、その一つ一つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上に舞い上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨視的（マクロ）分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。そこでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ（経済主体）毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」 5回
GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解すること、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。
《参考》経済企画庁「平成6年日本経済の循環図」（配布資料）
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」 4回
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。
《参考》中谷巖 『入門マクロ経済学』（日本評論社）第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」 8回
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。《参考》伊達邦春（編）『マクロ経済学』（八千代出版）第9章
4. 「金融政策、財政政策」 4回
前講までの内容が理解できれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内および国際的クラウディング・アウト効果を取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学（上）』（CAP出版）第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」 5回
ここまでで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。再試験は実施。

R. J. ゴードン『現代マクロエコノミクス（上）』（第6版）（多賀出版）

成績評価の方法

教科書

他学
部履
修課
目講
義部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本経済史	はし の と も こ 橋 野 知 子	禅 ・ 仏 教	4

講義のねらい

本講義では、近代日本における経済社会の動きを国際的な経済環境のなかに位置づけながら考察していきます。特に近年の数量経済史や経済発展論の分野における研究蓄積を利用しながら、また西欧やアジアとの比較を念頭において講義する予定です。

学生諸君には、日本経済における現代的課題や戦後経済史の重要な問題が、この講義での考察する歴史的背景のなかで生まれてきたことを理解して欲しいと思っています。よって、単なる「丸暗記」を要請するものではありません。知ることこそが重要なのです。講義の中で、第二次大戦以前の日本経済における基本的事実を理解し、大まかな流れをつかみ、重要な問題を発見して下さい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 近代日本経済史へのアプローチ1－日本経済史に対するさまざまな見方
2. 近代日本経済史へのアプローチ2－幕末の経済と開港、明治維新、近代国家の形成と経済共通基盤の整備
3. 近代経済成長の始動－殖産興業と松方財政、在来部門の成長と再編成
4. 国際政治・経済秩序「ボックス・ブリタニカ」のなかの日本経済
5. 工業化の進展1－近代工業の発展と貿易、技術移転とその担い手
6. 工業化の進展2－農業部門と非農業部門との関係
7. 日清・日露戦争と日本経済
8. 第一次世界大戦と日本経済1－世界秩序の変化と日本経済
9. 第一次世界大戦と日本経済2－動力革命、在来産業の近代化、重化学工業化の進展
10. 「慢性的不況」－金融再編成と産業合理化
11. 二重構造の発生と都市化に伴う社会の変化
12. 「ボックス・ブリタニカ」の解体と日本経済－国際金本位制度の終焉
13. 1930年代の経済成長1－政策の転換、銀行制度
14. 1930年代の経済成長2－産業構造、産業組織の変化
15. 戦後経済史への展望－市場経済の変容、戦時統制経済、太平洋戦争

履修上の留意点

重要なトピックスについては参考文献に加えて統計資料、一次資料などを配布して説明します。配布された資料を通じて、図表を理解する力を養いましょう。日本経済史への理解を深めるためにも、講義中紹介された参考文献については、できる限り読むように心がけて下さい。

現在起こっているさまざまな問題には、必ず歴史的な背景があります。日常生活の中でニュースや新聞などに積極的に慣れ親しみ、そこで感じた「なぜ？どうして？」という疑問を大切にして下さい。また、当時の社会や経済を実際に知る人の話を積極的に聞いてみて下さい。教科書では得られない新鮮な驚きや発見があるはずです。

成績評価の方法

期末試験、レポート、出席（小テストを実施）などで総合的に評価します。再試験はありません。

教科書

指定しません。毎回プリントを配布します。

参考書等

講義の中でその都度紹介します。

その他

授業は講義形式ですが、昨年度と同様に映像の利用による説明も取り入れたいと思っています。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中小企業論	よ し だ け い い ち 吉 田 敬 一	禪 ・ 仏 教	4

講義のねらい

中小企業は日本の企業総数の99%を占めており、そこで働く従業者は被雇用者全体の80%近くにも及んでいます。さらに製造業についてみると、付加価値額の50%以上は中小企業が生み出しています。そして、これらの中小企業の優れた部品加工・組み立て能力を抜きにして、日本の大企業は高品質で低価格の製品を国内・国際市場に供給することができなかった、というのが真実です。ところが、今日、経済構造転換の下での新3K現象（空洞化・価格破壊・規制緩和）により、戦後経済発展を下支えしてきた中小企業は深刻な存立危機に直面しています。日本経済に占めるこうした経済的比重を考えると、中小企業の21世紀的再生を抜きにして日本経済の復活・発展がありえないことは明確です。

そこで本講義では、戦後日本の経済発展において中小企業が果たしてきた重要な役割と、それとは逆に中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

講義の内容・授業スケジュール

講義は以下の項目を柱として行ないます。

- I 中小企業問題研究へのアプローチ
- II 戦後日本の経済発展と中小企業—自動車工業の生産分業システムを事例として—
- III 戦後日本の中小企業政策の歩み
- IV 中小企業振興の主要問題
- V 21世紀の日本経済の課題と中小企業の新たな展望

履修上の留意点

中小企業問題は、国民経済全体が抱える諸問題の集約として発現してしているので（例えば、貸し渋り問題、商工ローン問題、生産の海外移転による下請企業の苦悩など）、日々の経済動向に対する鋭い感受性が求められます。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

成績評価の方法

学年末試験とレポートで評価します。また再試験も実施します。

教 科 書

本講義では教科書は使用しません。

参 考 書 等

吉田・永山・森本編著『産業構造転換と中小企業』（ミネルヴァ書房）（レポート課題指定文献）

吉田敬一『転機に立つ中小企業』（新評論）
 中小企業庁編 『中小企業白書』（大蔵省印刷局）
 巽・佐藤編 『新中小企業論を学ぶ』（有斐閣）
 渡辺・小川・黒瀬・向山『21世紀中小企業論』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会政策	光 岡 博 美	禅 ・ 仏 教	4

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の半ばに、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対処していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問は発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととした。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上にのべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育経済論	やしきただみつ 谷 敷 正 光	禪・仏教	4

講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにするのがねらいである。

日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を解明するとともに、2000年に向けて一連の教育改革を行ってきた。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「アメリカ教育法」、イギリスの「教育改革法」「二十一世紀に向けての教育・訓練」、フランスの「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向、日本の経済と教育の現状をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確定期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した経済復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の人材教育要求と国の教育政策、産業教育政策を明らかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 先進国の経済発展と教育
 - (1) 日本の産業化とリテラシー・識字率
 - (2) 日本の経済成長と教育
 - (3) アメリカの教育最前線 (ビデオ)
 - (4) レーガン大統領の経済と教育 1 「危機に立つ国家」 (一部ビデオ)
 - (5) レーガン大統領の経済と教育 2 「国家は応える」 (一部ビデオ)
 - (6) ブッシュ大統領の経済と教育 1 「全米教育サミット」 (一部ビデオ)
 - (7) ブッシュ大統領の経済と教育 2 「2000年のアメリカ」 (一部ビデオ)
 - (8) クリントン大統領の経済と教育 「アメリカ教育法」 (一部ビデオ)
 - (9) サッチャー首相の経済と教育 「教育改革法」 (一部ビデオ)
 - (10) メージャー首相の経済と教育 「競争力白書」 (一部ビデオ)
 - (11) ブレア首相の経済と教育 「知のネットワーク」 (一部ビデオ)
- 戦前日本の経済発展と実業教育政策
 - (12) 学制時代における経済と教育 1 富国強兵・殖産興業 (映画)
 - (13) 学制時代における経済と教育 2 学制公布と「行政管理学校」
 - (14) 教育令時代における経済と教育 1 工場底下と産業の勃興 (一部ビデオ)
 - (15) 教育令時代における経済と教育 2 教育令公布と実業補習学校・徒弟学校
 - (16) 学校令時代における経済と教育 1 産業革命と産業の発展 (一部ビデオ)
 - (17) 学校令時代における経済と教育 2 学校令公布と実業教育・「機業地学校」
 - (18) 実業学校令時代における経済と教育 1 資本主義の確立 (一部ビデオ)
 - (19) 実業学校令時代における経済と教育 2 実業学校令公布と「委託教育」「企業内学校」
- 戦後日本の経済発展と産業教育政策
 - (20) 復興期の経済発展と教育 産業教育振興法公布 (一部ビデオ)
 - (21) 高度成長第1期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
 - (22) 高度成長第2期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
 - (23) 高度成長第3期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
 - (24) 高度成長終焉後の経済発展と教育

第7編
他学部履修開
科目講義部

履修上の留意点

- ① 年間5～6回程度小テストを実施し、平常点とする。
- ② 現実的理解のためにビデオ・映画を使用する。
- ③ 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。
- ④ 毎時間かなり板書するので、黒板が見えにくい人はできるだけ前に着席のこと。

成績評価の方法

- ①授業中の小テストと期末試験の成績によって評価する。
- ②再試験を実施する。

教科書

毎時間、講義の教材として年間40～50枚のプリントを配布するので、教科書は特に使用しない。

参考書等

参考文献は講義の中で適宜紹介するので、興味のある人は読んで講義の参考にして下さい。
土志田征一『レーガノミックス』(中公新書)

原田和明『ブッシュの米国経済』（日本経済新聞社）
 大原進『クリントンの米国経済』（日本経済新聞社）
 小林泰宏『アメリカで進む教育改革』（朝日新聞社）
 森嶋通夫『サッチャー時代のイギリス』（岩波新書）
 G・メイナード『サッチャーの経済革命』（日本経済新聞社）
 舟場正富『ブレアのイギリス』（PHP新書）
 ブライアン・サイモン『現代の教育改革・イギリスと日本』（エイデル）
 A・グリーン、J・ハリスン『英国病』（新評論社）
 梅西光速『日本資本主義発達史－産業資本の成立と発展－』（有斐閣）
 猪木武徳『学校と工場』（読売新聞社）
 三好信浩『日本の女性と産業教育－近代産業社会における女性の役割－』（東信堂）
 天野郁夫『教育と近代化』（玉川大学出版部）
 沼口博『学校教育と経済発展』（学文社）
 その他は講義の中で紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本経済論	こばやし まさと 小林 正 人	禅・仏教	4

講義のねらい

日本経済の（第二次世界大）戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本の経営システムの役割について検証する。さらに、平成不況のなかで浮き彫りになってきた日本の経済システムの課題について述べる。

日本経済は、高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」（とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高）をのりこえてきた。しかし今日の平成不況の中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。これまでの発展の条件が、地球規模での技術発展と競争環境の中で、逆の条件に転化したのである。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむには、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について調べる必要がある。講義ではここに力を注ぐ予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

- 戦後日本経済の展開過程
景気の現状と雇用情勢
戦後改革
日本の高度経済成長：歴史とその原因
産業政策の役割
石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
- イノベーションと産業発展
産業構造の理論と歴史
主要産業の歴史：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械
日本型経営システムの意義。欧米諸国との比較
製品の安全性とPL法
- 日本の経済発展の総括と展望
平成不況の意義
情報通信革命（インターネット）

履修上の留意点

配布した講義資料は保管をする。講義ではOHPなどをよく使うので、見やすい位置に着席すること。また、講義の節目に出席状況の調査をする。

成績評価の方法

学期末テストによる。試験は論述式である。再試験は実施する。

教科書

なし

参考書等

適時指定する。

第7他
学部履修科目
1A開
部講目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アジア経済論	ちよん 鄭 ちやんよん 章 淵	禪 ・ 仏 教	4

講義のねらい

この講義では、受講生諸君のアジア経済に対する理解を深めるために、アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、できるだけその全体像に迫る予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化したアジアの経済発展を20世紀後半期に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾のメカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来のアジア経済論のように（典型的には、新古典派開発経済学）工業化の本格化した60年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」をなす時期（特に、植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、60年代以降の工業化過程において常に経済発展をリードしてきたアジア国家の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまでもアジアに視座を置きつつも、現在に至る歴史過程において、その都度、アジア経済に決定的な影響を及ぼしてきた世界経済の動向にも注意を払いたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

1. 経済発展の前史
 - (1) 植民地経済の概要
 - (2) 戦後経済発展の初期条件
2. アジアNIEsの経済発展
 - (1) アジアNIEsの範疇と経済発展の特徴
※NIEsの用語説明、経済開発戦略の特徴、産業的特徴
 - (2) 開発独裁体制の成立
※韓国の事例、その他の開発独裁
 - (3) 経済発展と民主化の弁証法
3. ASEAN諸国の経済発展
 - (1) タイ・マレーシア・インドネシアの経済発展過程
 - (2) ASEANの歴史
 - (3) 日本企業の進出状況

〔後期〕

4. アジア社会主義諸国の開放政策
 - (1) 中国の開放政策
 - (2) その他……ベトナム、北朝鮮
5. アジア経済発展論の系譜
 - (1) アジアNIEs論
 - (2) 東アジア経済発展論
6. アジアにおける地域経済協力
 - (1) APECの発展過程
 - (2) ASEANの自由化過程
 - (3) その他の中小規模経済圏
7. アジア経済の現状
 - (1) アジア通貨危機の発生とその影響
 - (2) その他の諸問題…環境問題etc.
 - (3) 日本とアジアとの関係の展望

成績評価の方法

前後期二回のペーパーテストと夏期レポートで総合的に評価する。試験の際に自筆のノートを参照にしてもらうので、講義中ノートをよくとってもらいたい。追・再試験を実施する。

教科書

特に定めないが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。
大野健一・桜井宏二郎『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税抜き）

参考書等

参考文献については、講義中に随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国経済論	こすぎ しゅうじ 小 杉 修 二	禅 ・ 仏 教	4

講義のねらい

この講義は中国の長期的動態をとらえる。

現在の中国は対外開放、経済成長と生活の向上の結合、経済改革の試み等、新たな活気がみながるようになった。また、企業自主権の拡大、株式会社、個人営業の公認、失業・倒産の制度化、「1国2制度」「6.4天安門事件」等々話題に事欠かない状況である。

本講義ではこのような目前の変化をとらえると同時に、より長い視野と射程で問題を論じることとする。即ち、本講義のキー・ワードは、超大国志向、社会主義、発展途上国である。この三点で中国の長期的動態を論ずる。

講義の内容・授業スケジュール

この講義は3つのキー・ワードで歴史的説明をはかる。

前期授業のはじめに、キーワードを3週間分けて説明する。ここでは、地域研究が本来もっている特徴である、問題のさまざまな面をとらえる、ということと、そのうち比重の大きい側面は何であるかをつかむ、といった点に留意する。特に、私独自の見方である中国の超大国志向について詳しく説明する。

これにつづいて、中国経済の解明に取り組むが、それは一言でいえば歴史的方法をとる。すなわち、中華人民共和国の成立(1949年)から今日までを、3つの特徴的な時期に分けて、ソ連モデル(1949~57年)、毛沢東モデル(1958~78年)、小平モデル(1978~)として、それぞれの時期の特質とその変化の動因を説明する。

このような方法をとるのは、今現在の目先の出来事も何かの方向へ向かって動いている訳だが、その方向というものは、あまり近くで見ているとわかりにくいものだからである。つまり、現在および将来というのは、過去の何らかの延長であると考ええるからである。それが単純な延長である場合もあろうし、新しい条件に見合った微修正の延長である場合もあろうし、また全く過去の否定的総括に立った転換である場合もあろう。その場合も、過去の何が否定的に総括されたのかを知らねば、将来への延長線は引かれないうであろう。そこで歴史的方法をとるわけである。

上記の3つのモデルを超大国志向、社会主義、発展途上国の3つのキー・ワードを軸にして説明していくが、そこでの中国は著しく軍事大国志向、経済成長志向である。世界の他の国々がそのような志向性をもっている中で、また中国が途上国であることからして、やむを得ない面もあるが、世界が環境問題で行き詰まりつつある中での、このような志向性のもつ問題点をも相対化し得る見方をもてるように留意したいと思う。

履修上の留意点

授業の進め方は、教科書に沿った講義とビデオ上映による説明の二本立てで行っている。

教科書は専門家向けに書かれており、自明のことや初歩的なことは書かれていない。したがって、中国経済に全くの初心者であると思われる学部学生に対しては、自明とされていることや、初歩的な知識の説明を補いながら講義を行う。

また、何分にも外国のことなのでイメージがわきにくいといった問題があるので、年に数回、中国関係のビデオを見る。例えば、新日鉄宝山製鉄所、天津の用水路、長春第1自動車工場、江南億元郷、天安門激動の40年等。

成績評価の方法

受験勉強の本質は正解当てクイズである。しかし、このような方法は実社会では通用しない場合が多いし、正解も変わっていく。諸君が物事(中国経済)を自前の頭で理解し判断できるための勉強が高等教育の場である。そのために、無数にいる専門家の意見の比較、優劣判定、取捨選択、時間による検証、といった作業が必要になる。その前提になるのが、各専門家の学説の正確な理解である(学説の受入れとは異なる)。テストは基準となる一つの学説(とりあえず、私の説)の正確な理解ができたかどうかを見るものである。
<再試験あり>

教科書

小杉修二著『増補 現代中国の国家目的と経済建設——超大国志向・低開発経済・社会主義』(龍溪書舎)4,000円

その他

学習が正解当てクイズに終わるかどうかは諸君の学習意欲にも係わっている。教科書の脚注引用文献や同第5章「諸学説の検討」あるいは授業中にその都度指摘する文献を積極的に読むことを希望する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ経済論	せとおか 瀬戸岡 ひろし 紘	禪・仏教	4

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・ 授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。

◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ベンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティー、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇他国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEC、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。受講者の側からの評価や採点、改善提案なども実施します。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のたてまえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。それゆえ再試験も実施しません。

教 科 書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、グリーンバーク著『資本主義とアメリカの政治理念』（瀬戸岡訳、青木書店、1994年）をおすすめします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア・東欧経済論	やまがた ひろし 山 縣 弘 志	禅・仏教	4

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることはできないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

講義の内容・授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ?」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まざれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達しえたか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに答えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ?」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
 - (1) 社会主義論とマルクス
 - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
 - (1) 1920年代から30年代への転換
 - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と经济管理システム
 - (1) 「計画経済」の成立と実態
 - (2) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
 - (1) 経済構造の特質と軍事生産
 - (2) 工業生産力と工業技術
 - (3) 農業問題
5. 停滞からペレストロイカへ
 - (1) 経済改革の時代
 - (2) ブレジネフと停滞の時代
 - (3) ペレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
 - (1) ロシア・東欧の文化と社会
 - (2) 資本主義化の諸問題
 - (3) ロシアと日本——比較経済史——

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。再試験あり。

教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

その他

教科書はないので、授業中にノートを取るのの当然のことになるだろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商業政策	いわした 岩 下 ひろし 弘	禪 ・ 仏 教	4

講義の内容・
授業スケジュール

- 一 わが国の小売商業構造と蓄積構造
 - 1 90年代の小売商業構造
 - 2 80年代の大手小売業の資本蓄積構造
 - 3 90年代の大手小売業の資本蓄積構造
- 二 わが国の流通政策論
 - 1 中小小売商保護政策論
 - 2 流通近代化政策論
 - 3 流通システム化計画論
 - 4 流通革命論
- 三 流通ビジョンと流通政策
 - 1 70年代の流通
 - 2 80年代流通産業ビジョン
 - 3 90年代流通ビジョン
 - 4 21世紀へ向けた流通ビジョン
- 四 わが国の小売商業調整政策の展開過程
 - 1 百貨店法
 - 1) 第一次百貨店法 2) 第二次百貨店法
 - 2 中小小売商業振興法
 - 3 小売商業調整特別措置法
 - 4 大店法
 - 1) 1973年法 2) 1979年改正法
 - 3) 1991年改正法
 - 5 凍結宣言、要綱及び条例
 - 6 通産省による行政指導＝抑制措置
 - 7 規制緩和
 - 1) 規制緩和の流れ－前川レポート、行革審報告
 - 2) 日米構造問題協議 3) 適正化措置
 - 8 特定商業集積法
 - 9 街づくりと都市計画
- 五 流通政策の転換
 - 1 大店立地法
 - 2 中心市街地活性化法
- 六 海外の流通政策
 - 1 イギリス
 - 1) 出店調整政策－都市・農村計画法
 - 2) 日曜営業問題－商店法
 - 2 フランス－ロワイエ法
 - 3 ドイツ－土地利用計画
 - 4 アメリカ－ゾーニング規制

他フ第
学し
部 履A1
修開
科 開
目 講部

成績評価の方法

定期試験、レポート、出席により評価。再試験は実施しない。

教 科 書

指定しない

参 考 書 等

その都度指示する

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マーケティング	そ が の ぶ た か 曾 我 信 孝	禪 ・ 仏 教	4

講義のねらい

大規模企業が展開するマーケティング政策の原理を理解してもらい、それらが消費者にどのような影響を与え、経済さらには文化に影響を与えているかも考えてもらうことを狙いとしている。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. マーケティングの問題点
 - ・消費者の価値観とマーケティング支配
 - ・マーケティングと収奪関係
2. 製品政策
 - ・新製品開発が意味するもの（切れない電球は出来ないのか）
 - ・差別化政策、多様化政策、細分化政策（なぜブランドがあるのか）
 - ・ライフサイクルの短縮化（なぜ「モデルチェンジ」をするのか）
3. 価格政策
 - ・価格の概念（価格の内訳は何であろうか）
 - ・価格設定の方法（高級品ほど利益率が高いのはなぜか）
 - ・新製品の価格設定（価格操作による購買意欲の操作を知っていますか）
 - ・再販売価格維持（定価とオープン価格のちがいは何でしょう）
4. チャネル政策
 - ・流通組織、流通経路（商品はメーカーから消費者までどのように流れていますか）
 - ・販売チャネル（販売チャネルを支配する理由は何でしょう）
 - ・チャネルの支配形態（ディーラーって何ですか）
5. 販売促進政策
 - ・販売員管理（賃金の高低で販売員を管理できますか）
 - ・広告（貴方の潜在意識が広告にさらされているのを知っていますか）
 - ・サービス（現在存在していないようなサービスを思いつきますか）
6. 国際化戦略
 - ・現地化（なぜ日本企業は生産の現地化をする必要があったのか）
 - ・マーケティングの現地化（なぜ現地でマーケティングを展開する必要があったのか）

履修上の留意点

講義を通じて基礎理論を理解してもらうことはもちろんですが、毎時間2～4度は問題を提起します。学生諸君は、単に講義を聴くだけではなく、積極的に問題意識に取り組む姿勢を持っていただきたい。

成績評価の方法

1. 期末試験を最重視する。期末試験は年間の講義範囲から論述問題を提出する。評価の基準はその内容を十分理解でき、さらに現実の問題意識ができていのかどうかを判断する。したがって、参考文献等の抜き書き解答等には厳しい評価となる。
2. 中間期に夏休みの課題としてレポートを提出してもらい評価の参考にする。
3. 著しく授業を妨害したものは、評価対象からはずす可能性がある。
4. 再試験は実施する。

教 科 書

指定なし

参 考 書 等

1. 曾我信孝ほか3名著『現代マーケティングの基線』（同文館）3,000円
2. 曾我信孝『総合商社とマーケティング』（白桃書房）4,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営管理論	ひゃくた よしはる 百 田 義 治	禅 ・ 仏 教	4

講義のねらい

21世紀を迎えて、日本企業は大きく変貌しています。その底流には、IT革命やグローバリゼーションの進展があります。IT革命はいん石が地球に衝突した（恐竜の死滅）と同様な影響を産業構造・経営組織・労働組織に及ぼし、コア・コンピタンスを武器としたネットワーク型経営を現実化し、ビッグ・ビジネスだけが競争優位を確立できる時代に終止符を打とうとしています。また、ボーダレス化したグローバルな市場統合はメガ・コンペティション（大競争）を現出し、「グローバル・スタンダード（アメリカン・スタンダード）」が「日本的経営」の根本的変革を迫っています。頻繁かつ大規模な企業再編（合併や提携）、持株会社の解禁・普及、企業集団や下請関係の再編、猛烈なリストラ、終身雇用・年功制の崩壊、能力主義・成果主義の台頭など、日本企業の変貌が日々新聞やテレビで報じられています。本講義では、このような激動のなかにある日本企業の経営管理の問題に焦点をあて、国際比較の視点からその現状と今後の課題についてアプローチします。

講義の内容・授業スケジュール

（前期の授業スケジュール）

- ① 授業ガイダンス（経営管理論とはどのような学問か）
- ② 現代企業と経営管理（経営管理とは何か）
- ③ 大量生産体制と経営管理（テイラー・システム、フォード・システム）
- ④ 経営管理と人間性（人間関係論と行動科学、労働の人間化…）
- ⑤ 経営組織の基本形態と発展形態（ラインとスタッフ、事業部制、カンパニー制、分社化…）

（夏休みのレポート）

（後期のスケジュール）

- ⑥ IT革命の進展と企業経営の変容（ネットワーク型経営と企業間関係）
- ⑦ グローバリゼーションの進展と企業経営の課題（グローバル化、ローカル化、異文化共生）
- ⑧ 日本の企業システムの変化（所有構造、統治システム、企業と政府）
- ⑨ 日本の生産システムの再編（トヨタ・システム、製販統合システム…）
- ⑩ 日本の労働システムの変化（終身雇用、年功制、能力主義、成果主義、…）

（学年末試験）

履修上の留意点

現代の企業経営をめぐるホットな話題を取り上げ、授業テーマと関連づけて講義します。新聞・雑誌・ニュースなどを通して企業、経営、労働などに関心を向け、現代の企業経営についての問題意識をもって授業に参加してください。また、経営学総論、経営学史、労務管理論、経営戦略論、財務管理論、マーケティングなどと併せて履修することを勧めます。

成績評価の方法

出席、レポート、試験で総合的に評価します。再試験なし。

教 科 書

稲村毅・百田義治編著『経営組織の論理と変革』（ミネルヴァ書房）2002年

参 考 書 等

授業や課題レポート（夏休み）に関連して随時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
労務管理論	ほり 龍 二 堀 龍 二	禪・仏教	4

講義のねらい

最近急激な変化をみせているわが国の労務管理の基本的動向と特徴を把握することをねらいとしている。高度経済成長期に形成されたいわゆる「日本的経営」ないし「日本的労務管理」は年功賃金、終身雇用、企業別組合を柱としていた。1970年代以降、大企業は基本的にはこうした労務管理慣行ないし制度の利点と有効性を認識しながらも、他方で「画一的年功制からの脱皮」を目指して「能力主義管理」を推進して、その再編・強化を図った。こうして「日本的労務管理」は今まで「良好なパフォーマンス」を示してきた。ところが、近年における日本経済の低迷のなかで、中高年層を中心に正規従業員の大量リストラが断行されるとともに、雇用形態の多様化、年俸制の導入などにみられる賃金・処遇の成果主義化、職能資格制度の再編、採用方法の柔軟化、退職金・年金制度の改編等々、雇用と賃金・処遇に関する基本的な制度・慣行にかつてない変化が進行してきている。これらの変化は従来の「日本的労務管理」からの脱却であり、そこにみえるのは人事労務への市場原理の導入、内容的にはその流動化、個別化、成果主義化という傾向である。こうした傾向・特徴の内実を明らかにし、その背景にあるものと今後の展望を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

大略すれば、まず「日本的労務管理」の形成過程とその構造や機能についてまとめる。ついで能力主義管理に関して同様のまとめを行う。とくに、職務給、職能給・職能資格制度、人事考課といった賃金・処遇制度に焦点を当てる。これら日本的労務管理と能力主義管理の整理を踏まえて、現在進行中の労務管理の「地殻変動」の現状と特徴を把握するという段取りを考えている。なお、初回講義において具体的なガイダンスを行う予定であるが、およその予定は以下のとおりである。

- I. 労務管理論の体系と歴史
 1. 労務管理の目的、機能、対象
 2. 労務管理論の歴史
- II. 戦後日本の労務管理
 1. 電産型賃金体系
 2. 戦後初期の労使関係と労務管理
- III. 高度経済成長期の労務管理
 1. 日本的労務管理の形成と展開
 2. 労使関係の転換
 3. 能力主義管理と年功制
- IV. 現代の動向
 1. 雇用形態の多様化
 2. 賃金・処遇の成果主義化
 3. 職能資格制度とキャリア形成
 4. 成果主義と目標管理と人事考課
 5. 労働時間の弾力化
 6. 「新・日本的経営」と労使関係

成績評価の方法

原則としてレポートと定期試験で評価する。再試験は実施しない。

教科書

黒田兼一ほか著『現代の人事労務管理』（八千代出版）2001年

参考書等

講義中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財務会計論	おぐりたかし 小栗 崇 資	禅・仏教	4

講義のねらい

企業の活動内容を外部の利害関係者や投資家に報告・開示することを目的とするのが財務会計である。外部報告会計とも言われ、報告内容による社会的な影響も大きいことから、財務会計については商法や証券取引法のような法律や規則によって社会的に規制されている。日本の財務会計を規制する企業会計制度は現在、会計ビッグバンと呼ばれる大きな変化のまっただなかにある。戦後、日本独自の発展をとげてきた企業会計制度もグローバルスタンダードの影響のもとに国際的に比較可能なものへと変わりつつある。制度変化による経済やビジネスへの影響は大きく、日本の財務会計がどのような発展をとげていくかが、現在、問われているところである。

講義の前半では、そうした制度変化を理解する上で必要な、経済社会と会計との関係や会計に関する規制の仕組みなどについて論じたのち、日本の企業会計制度の歴史と会計ビッグバンの概要について学習を進める。講義の後半では財務諸表（貸借対照表、損益計算書）の基本的な構成や内容について論じ、さらに現代会計のテーマである連結会計、金融商品会計、年金会計などを取り上げ検討する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

次のような構成で進めたい。

1. 財務会計とは何か
2. 経済社会と企業会計
3. 会計規制の仕組み
4. 日本の企業会計制度と会計ビッグバン
5. 財務諸表の仕組み
6. 貸借対照表の構造と内容
7. 損益計算書の構造と内容
8. キャッシュフロー計算書の構造と内容
9. 連結財務諸表の構造と内容
10. 金融商品会計
11. 退職給付会計
12. リース会計
13. 現代会計と会計の国際化

履修上の留意点

会計学は専門知識を積み上げていく学習スタイルが必要ですし、時々、副教材としてプリントを配布しますので、欠席しないこと。

成績評価の方法

中間試験（またはレポート）および学年末試験により評価します。また、時々、小テストも実施し、成績評価に加算します。なお、再試験は行わないので注意して下さい。

教 科 書

遠藤・小栗・新谷・徳前著『新世紀の企業会計論』（白桃書房）

参 考 書 等

必要に応じて紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
会計監査論	もりた よしひろ 森 田 佳 宏	禪 ・ 仏 教	4

講義のねらい

会計監査とは、企業における会計記録および会計行為の全部または一部につき、それに関与しない独立の第三者が分析的に検討を加え、その適否または成否に関する批判的意見を表明することである。これは、会計監査の一般的意義であるが、会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。財務諸表監査とは、企業が作成する財務諸表の適否について、監査人が公正な立場から検討を加えて専門家としての意見を表明し、もって財務諸表に対する社会一般の信頼を高めるための制度であり、主として、投資者、債権者その他の利害関係者の利益擁護を目的とする監査である。

いうまでもなく、財務諸表監査は、企業が作成する財務諸表をその対象としている。財務諸表とは、周知のとおり、毎事業年度に作成される貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等の財務に関する決算書類である。

これら財務諸表の適否の検討にあたって、監査人の判断の基礎となるものが、商法、財務諸表規則、企業会計原則等の会計に関する法令および慣習規範であり、監査人の行為の尺度となるものが監査基準である。

講義の内容・
授業スケジュール

職業監査人による財務諸表監査（特に証券取引法監査）を中心として、会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度、監査基準等に関する研究を行う。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、すでに、「簿記論」、「会計学総論」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法

原則として試験の結果により評価する。なお、再試験は実施する。

教 科 書

指定しない。必要に応じて資料を配布する。

参 考 書 等

税務研究会編『企業会計規則集』（税務研究会出版局）
飯岡透、市村一之、島崎規子『会計監査概論』（中央経済社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
管理会計論	いしかわ ゆうじ 石 川 祐 二	禪 ・ 仏 教	4

講義のねらい

実務においても適応可能な管理会計上の基礎的知識と基礎的論理を身につけてもらうことが、本講義の最大の目標である。とりわけ、経済的状況が厳しい現代において、企業の生き残りのために企業管理を適切に実施する必要性が高まり、その時に管理会計情報を有効に利用することが、一つの重要な鍵になると考えられる。情報を有効に利用するためには、それを生み出す仕組みを理解し、さらに、社会的諸関係の中でその情報が果たす役割・意味を知ることが大切である。そのような理解が進むよう、講義を行いたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期：管理会計をとらえる視点を最初に明らかにし、その後、原価概念と利益概念を中心とした基礎概念を示す。さらには、管理会計上の伝統的技法をとり上げる。

後期：近年、議論の中心となっている管理会計上の技法をいくつか取り上げ、その意味を考える。

履修上の留意点

電卓を用いるので、持参すること。

成績評価の方法

小テスト・レポート・年度末試験を総合評価する。再試験は実施しない。

教 科 書

プリントを配布する。

参 考 書 等

講義において適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原価計算論	すずき かつひろ 鈴 木 勝 浩	禅 ・ 仏 教	4

講義のねらい

原価計算は「目的」に対する「手段」の体系にほかならないから、原価計算はその目的との関連において理解されなければならない。多くの企業において、原価計算システムは経営情報システムのコアを形成し、経営管理に関連するさまざまな情報ニーズに応えることができるように、システムの構築が考えられるべきである。原価計算システムに対する情報ニーズは、経営環境や経営戦略の変化に応じて絶えず変化する。特にFA化が進んだ今日、伝統的な原価計算の中にはその有用性を失いつつあるものもある。そこで本講義では、伝統的な原価計算を解説しその問題点を把握した後、原価計算の新しい潮流について話を進めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本講義の内容とスケジュールは概ね以下の通りである。

- I 原価計算の歴史
- II 原価計算総論
- III 財務諸表作成のための原価計算
- IV 経営管理のための原価計算
- V 原価計算の新しい潮流

履修上の留意点

本講義の主テーマはFA化を前提にした現代企業における原価計算である。口頃から製造業に関する問題について関心を持って欲しい。

また教科書にある計算事例を使いながら講義を進めていくので、当然のことではあるが、教科書は必ず購入すること。

成績評価の方法

出席率及び定期試験の総合評価で行う。
再試験は実施する。

教 科 書

山田庫平編著『原価計算の基礎知識』（東京経済情報出版）

参 考 書 等

毎回プリントを配布する。
参考文献については必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿易論	ふるさわ こうぞう 古 沢 紘 造	禪 ・ 仏 教	4

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまで来ています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 生産・消費と貿易
 1. 農産物と貿易
 2. 水産物と貿易
 3. 林産物と貿易
 4. 鉱物資源と貿易
 5. 工業製品と貿易
- II. 政治・経済・社会と貿易
 1. 開発援助と貿易
 2. 環境と貿易
 3. 公正と貿易
 4. グローバリゼーションと貿易
 5. 持続可能な発展と貿易

具体的な内容については、最初の講義のときに話したい。

成績評価の方法

ペーパーテスト、レポート、討論、報告発表など、できれば多面的な評価を試みたい。答案やレポートを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

再試験を実施する。

教 科 書

とくにこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参 考 書 等

講義の中で特に興味をもち、もう少し掘り下げてみたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
銀行論	さいとう 藤 正 齊 藤 正	禅 ・ 仏 教	4

講義のねらい

「フリー、フェア、グローバルな金融市場」の実現を掲げた「日本版金融ビッグバン」の展開のなかで日本の金融制度は大きく様変わりした。大手銀行の統合や合併、外資系金融機関の対日参入攻勢、異業種によるネットバンキングや決済専門銀行への参入、など、グローバル化とIT革命を背景とした激しい競争が「華々しく」繰り広げられている一方、バブル崩壊後の長期不況、不良債権処理の遅れのなかで、「銀行不倒神話」が崩壊し、金融システム不安も依然解消されていない。影響は、特に地域金融機関において厳しく、地域経済は深刻な衰退状況にある。

不良債権の「最終処理」、ペイオフ解禁への対応、など、銀行を取り巻く状況はきわめて厳しいが、銀行は依然として「貨幣の供給および決済システム」を同時に担う唯一の主体であり、社会的に不可欠の存在であることには変わりはない。それゆえ、いまこそ21世紀における「持続的成長」を保証する金融システム、銀行の健全なあり方が強く問われている。

本講義では、銀行の基礎理論に関連づけながら戦後の日本経済に果たしてきた銀行の役割を具体的に検証し、今後のあるべき銀行の姿を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) まず、講義へのガイダンスとして、1990年代以降、銀行が直面した諸問題を概観し、新聞紙上等でよく見聞きする基本的用語と「銀行論」との関連づけを行なう。
- (2) 前期は銀行の基礎理論を中心に講義する。
 - 1) 銀行経営の不振とは対照的に消費者金融会社（貸金業）は史上最高の収益を達成している。銀行制度の成立以前からすでに存在していた「金貸し業者」や「高利貸し」と「銀行」の違いがどこにあるのかを考えながら、「銀行」の基本的機能および経済社会（メーカー、流通業、消費者、さらに国家など）との関連を明らかにする。
 - 2) 銀行が一方で預金を受け入れ、他方で貸出を行っていることは広く知られている。しかし、銀行は受け入れた預金をそのまま貸し出すのではなく、「信用創造」という銀行のみに認められた方法で行い、その際「預金通貨」という「マネー」を供給する。このメカニズムを明らかにするとともに、インターネットバンキングや電子マネーなど、エレクトロニクス技術の発展にもとづいた「キャッシュレス社会」の意味について考える。
- (3) 後期は戦後の日本経済に果たした銀行の役割を時期ごとに検証する。
 - 1) 「専門的金融機関制度」といわれる戦後日本の金融制度の特徴とそれぞれの専門機関（普通銀行、長期金融機関、中小企業専門金融機関、証券会社、保険会社など）の役割を理解する。
 - 2) 時期区分は、おおまかに高度成長期（1974年まで）、低成長・自由化期（1985年まで）、バブル経済期（1990年まで）、バブル崩壊以降（1990年代以降）とし、欧米の動向も参考にしながらそれぞれの時期にどのような「銀行理論」が展開されていたのかを紹介する。
- (4) 現代の銀行制度が抱えている主要な問題を浮かび上がらせる契機となったのが80年代後半以降の「バブル経済」と90年代以降の「バブル崩壊」、「グローバル化」である。戦後銀行制度の抜本的改革目指すビッグバンを様々な角度から検討しながら望ましい銀行システムのあり方を考える。

履修上の留意点

成績は、前期試験（またはレポート）と後期試験による評価を基本とするが、出席状況、授業態度における積極性も十分に加味するので、講義に対する質問、疑問を大いに歓迎する。再試験を実施する。

成績評価の方法

成績は、前期試験（またはレポート）と後期試験による評価を基本とするが、出席状況、授業態度における積極性も十分に加味するので、講義に対する質問、疑問を大いに歓迎する。再試験を実施する。

教科書

教科書は特に指定しないが、最初の講義で紹介する。授業はレジメに沿って進める。

参考書等

大橋・小西・齊藤・田村・平沢著『日本のビッグインダストリー6 金融業』（大月書店）2001年

山田・野田編『現代日本の金融』（新日本出版社）1997年

日本銀行『新版 わが国の金融制度』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行政法各論	さいとう ひさし 斉 藤 寿	禅 ・ 仏 教	4

講義のねらい

「各種行政法原理の究明」

1年間・全体を通して、極めて楽しい雰囲気の中で、各種行政法の法理究明を、興味深く行います。特にこの講義は、生きた行政法を重視しながら行います。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 第1回 「行政組織法」の概要について。
- 第2回 国家行政組織法について。
- 第3回 内閣法について。
- 第4回 行政官庁について。
- 第5回 府・省・委員会・庁・地方支分部局について。
- 第6回 人事院と会計検査院について。
- 第7回 地方自治法について。
- 第8回 地方公共団体の種類と性質と区域と名称について。
- 第9回 大都市の特例と特別地方公共団体について。
- 第10回 公共組合と営造物法人について。
- 第11回 地方公共団体の議決機関と執行機関について。
- 第12回 地方公共団体の住民の諸権利と事務と権能について。
- 第13回 国と地方公共団体の関係について。
- 第14回 公務員法の概要について。
- 第15回 国家公務員法について。
- 第16回 地方公務員法について。
- 第17回 公物法について。
- 第18回 営造物法について。
- 第19回 「行政作用法」の概要について。
- 第20回 警察法・消防法・防衛法について。
- 第21回 警察行政における五大原則と規制手段について。
- 第22回 統制法について。
- 第23回 公企業法について。
- 第24回 公用負担法について。
- 第25回 公用収用について。
- 第26回 財政法について。
- 第27回 会計法について。
- 第28回 租税法について。
- 第29回 試験

履修上の留意点

※学生への要望

この講義は、楽しくかつ役に立つ講義です。私といっしょになって、「行政法各論」を楽しく研究してみませんか。

私が、みなさんを、「水飲み場」へ、道案内します。

目には火を、顔には光をいだいて、ついてきて下さい。

Rouse up, O, Young Men of the New Age ! (目覚めよ、新時代の若者たちよ!) との、イギリスの詩人、ウィリアム・ブレイクの叫びを、この際、みなさんに送らしましょう。

成績評価の方法

試験の成績とレポートの成績を合わせて、学年の成績とします。

教 科 書

拙者の中から、講義の際、選択・指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比較憲法	さいとう ひさし 齊 藤 寿	禪 ・ 仏 教	4

講義のねらい

人権保障制度、国会制度、内閣制度、司法制度、自治制度、財政制度など、各国の憲法制度について興味深い講義を続けながら、楽しく研究します。また、西欧主要諸国の憲法にとどまらず、アジア・アフリカ諸国や中南米諸国の憲法にもふれ、その特色を楽しく研究します。これらの講義は、1年間・全体を通して、極めて楽しい雰囲気の中でなされます。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 第1回 イギリス憲法は、どのように歩んできたか。
- 第2回 アメリカ憲法は、どのように歩んできたか。
- 第3回 フランス憲法は、どのように歩んできたか。
- 第4回 ドイツ憲法は、どのように歩んできたか。
- 第5回 東ヨーロッパ憲法は、どのように歩んできたか。
- 第6回 中国憲法は、どのように歩んできたか。
- 第7回 発展途上国憲法（アジア・アフリカ・中南米諸国憲法）はどのように歩んできたか。
- 第8回 世界各国の憲法は、どのような類型化が可能か。また、その特質は何か。
- 第9回 君主国憲法（イギリス・ベルギー・デンマーク憲法）の憲法上の特質は何か。
- 第10回 共和国憲法（アメリカ・フランス・ドイツ・イタリア・スイス憲法）の憲法上の特質は何か。
- 第11回 ロシア・中国憲法の憲法上の特質は何か。
- 第12回 発展途上国憲法の憲法上の特質は何か。
- 第13回 これまで（第1回～第12回）のreview。
- 第14回 世界各国憲法の人権保障制度は、どのようにになっているか。また、その科学的な比較研究の方法について。
- 第15回 世界各国憲法の平等権保障について。
- 第16回 世界各国憲法の自由権保障について。
- 第17回 世界各国憲法の人身保護権保障について。
- 第18回 世界各国憲法の救済権保障について。
- 第19回 世界各国憲法の参政権保障について。
- 第20回 世界各国憲法の社会権保障について。
- 第21回 世界各国憲法の統治制度は、どのようにになっているか。また、その科学的な比較研究の方法について。
- 第22回 世界各国憲法の国会制度について。
- 第23回 世界各国憲法の議院内閣制度について。
- 第24回 世界各国憲法の大統領制度について。
- 第25回 世界各国憲法の司法制度について。
- 第26回 世界各国憲法の自治制度について。
- 第27回 現代世界諸国の憲法上、人権保障制度と統治制度は、どのように運用されているか。また、今後は、どのように運用されるべきか。
- 第28回 これまで（第14回～第27回）のreview。
- 第29回 試験

履修上の留意点

※学生への要望

この講義は、楽しくかつ役に立つ講義です。私といっしょになって、「比較憲法」を楽しく研究してみませんか。

私が、みなさんを、「水飲み場」へ、ご案内します。

目には火を、顔には光をいだいて、ついてきて下さい。

Rouse up, O, Young Men of the New Age! (目覚めよ、新時代の若者たちよ!) との、イギリスの詩人、ウィリアム・ブレイクの叫びを、この際、みなさんに送ります。

成績評価の方法

試験の成績とレポートの成績を合せて、学年の成績とします。

教 科 書

拙著の中から、講義の際、選択・指示します。

他フ第
学部
履A1
修開
科
目講部

科目名	担当者名	配当学科	単位
親族法	たけなか ちか 竹中 智香	禅・仏教	4

講義のねらい

民法典第四編にあたる「親族法」の講義を行う。親族法は最も身近な家族生活を規制する部分であることから、民法の他の部分に比べて、初めて法律を勉強する者にとっても取り組みやすいと思われる。本講義では、家族という身近な問題の検討を通して民法になじみ、法的な視点・考え方を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

親族法の講義ではあるが、民法の初学者にとってわかりやすい私法入門であることも目指したい。民法の中でも親族法は、家族生活を規制する法律であるために、財産法の領域と異なる特徴を有している。この相違と親族法の特徴、さらに欧米家族法と比較したときのわが国の親族法の特徴を示しつつ、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次論説していく。また、親族法に関する今日的な問題にも、できる限り触れたい。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教科書

遠藤浩ほか編『民法（8）親族〔第4増補版〕』（有斐閣双書）1,600円

参考書等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』（有斐閣）2,200円
六法

科目名	担当者名	配当学科	単位
相続法	たけなか ちか 竹中 智香	禅・仏教	4

講義のねらい

民法典第五編にあたる「相続法」の講義を行う。わが国の相続法は、戦前の家督相続から戦後の均分共同相続へと変遷し、さらに今日においては遺言制度の利用も増加するなど、大きく変化している。本講義では、こうした動向とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を図りたい。

講義の内容・授業スケジュール

わが国の相続法の変遷とその背景を検討したうえで、相続人・相続の効力・相続の承認および放棄・財産の分離・相続人の不存在・遺言・遺留分について、順次論説していく。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教科書

遠藤浩ほか編『民法（9）相続〔第4増補版〕』（有斐閣双書）1,600円

参考書等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』（有斐閣）2,200円
六法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西洋法制史	きたの 北野かほる	禅・仏教	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066-1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造1 中世ヨーロッパの封建制
 - 第3節 社会構造2 イングランドの封建制
 - 第4節 統治構造 封建制の解体
 - 第3章 近世 (1350-1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

他フ第
学部
履修開
A1
科目講部

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英米法	北 ^{きた} 野 かほる	禅・仏教	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、司法機構と判例法を中心に考察する。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 第1編 概論
 - 第1章 法系論
 - 第1節 西洋近代法の法系
 - 第2節 英米法系の特色
 - 第2章 英米法の特徴
 - 第1節 法内容の歴史性
 - 第2節 法観念の社会性
 - 第3節 法思考の実務性
 - 第3章 判例法の理論
 - 第1節 総論：「判例法主義」
 - 第2節 先例拘束性の原理
 - 第3節 判決における「法」
 - 第4節 法形成作用
- 第2編 司法制度
 - 第1章 裁判所制度
 - 第1節 イギリス
 - 第2節 アメリカ合衆国
 - 第2章 訴訟過程
 - 第1節 英米訴訟制度の特徴
 - 第2節 陪審

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円
その他の参考書：年度当初に指示する。

そ の 他

今年度から講義進行計画に一部変更が生じるため、上記シラバス内で力点の置き方が変わる。試験準備には講義ノートが最も有効であるが、過年度のノートの有効性は大きく下がるので、各自注意して出席し、ノートをとること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済法	お か だ と し ひ ろ 岡 田 外 司 博	禅 ・ 仏 教	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえつつできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少なくともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

教 科 書

丹宗暁信・厚谷襄児編『新現代経済法入門』（法律文化社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ヨーロッパ政治論 (1)	なかの ゆうじ 中 野 裕 二	禅 ・ 仏 教	4

講義のねらい

この講義は西ヨーロッパ諸国の政治に焦点を当てる。西ヨーロッパの国々を全て網羅することは不可能であるので、平成14(2002)年度はイギリス、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、そしてEUを扱うこととする。各国の政治機構をごく簡単に理解した上で、各国政治の特徴と考えられる事象を取り上げ、考察を加え、各国の政治に対する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

講義は以下の予定で進む。ただし、現実政治や学生の理解度によって内容や進度は変更があり得る。

1. イントロダクション
講義の進め方と成績評価などについての説明
2. イギリス
政治機構
政党政治——サッチャー保守党政権とブレア労働党政権
地方問題——北アイルランド問題
3. フランス
政治機構
移民問題——社会構造と政治の関係
極右政党の台頭——グローバル時代の問題
4. ドイツ
政治機構
連邦制国家の構造——EUのモデル？
選挙制度——人物本位の比例代表制
5. イタリア
政治機構
選挙制度と政党政治
6. スペイン
政治機構
フランコ時代から民主国家へ
地域主義
7. EU
政治機構
統合のプロセス——政府間主義か超国家主義か？
「民主主義の赤字」とサブシディアリティ原則

履修上の留意点

西ヨーロッパの政治に興味のある学生はもちろんのこと、日本の政治に興味のある学生の受講を希望する。講義の中では明示的に日本の政治との比較は行わないが、常に日本との比較を念頭に置いて講義を聴いて欲しい。
授業中の私語などには厳しく対処する。

成績評価の方法

学年末試験を70点、4回程度実施予定の小テストなどを30点に換算し100点満点で評価する。ただし、授業中の質問や発言などの積極的な参加は別途高く評価する。

教科書

教科書は用いないが、下の参考書は重要。詳細は、KOMANETのシラバス詳細画面を参照。その他の参考文献は講義内で適宜紹介する。

参考書等

- 山口富久治・中谷義和編『新版 比較政治制度論』(法律文化社) 1999年
川勝平太・三好陽編『イギリスの政治』(早稲田大学出版部) 1999年
奥島孝康・中村紘一編『フランスの政治』(早稲田大学出版部) 1993年
大西建夫編『ドイツの政治』(早稲田大学出版部) 1992年
馬場康雄・岡沢憲英編『イタリアの政治』(早稲田大学出版部) 1999年
川成洋・奥島孝康編『スペインの政治』(早稲田大学出版部) 1998年
大西建夫・中曾根佐織編『EU 制度と機能』(早稲田大学出版部) 1995年
宮島喬編『現代ヨーロッパ社会論』(人文書院) 1998年

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国際政治学	こぼりのりお 小堀訓男	禅・仏教	4

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ヨーロッパ政治史	うらたさなえ 浦田早苗	禅・仏教	4

講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点が置かれている。

講義の内容・授業スケジュール

・近代の始点—ルネサンス期と18世紀—英国革命とIRA—ジャコバイトと英国王室
 ・議院内閣制の成立変遷過程—英国における政治腐敗防止過程—フランス革命と国家の概念
 ・フランス政治におけるジャコバン主義—「後発国型近代化」の問題点—ドイツの場合—
 ・統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

前期レポート——7～8×400字——は任意ではあるが、年5～6回とる出席点とともに学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した5問から2題出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

他2第
学レ
部履A1
修開
科開
目講部

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方自治法	とみいゆきお 富井幸雄	禅・仏教	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎回レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

教科書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房）2,000円

参考書等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

その他

講義では頻りに法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
議会関係法	まえだひであき 前田英明	禅・仏教	4

講義のねらい

今年度は選挙法を中心に取り上げる。
選挙は、民主政治の基盤をなすものであり、民主政治の健全な発達を期するためには選挙が公明かつ適正に行われなければならない。選挙を公明かつ適正に行うためには、その根幹をなす公職選挙法や政治資金規正法や政党助成法などの規定を国民すべてが十分理解することが最も重要なことである。

衆議院選挙制度に関しては、賛否の議論の末、小選挙区比例代表並立制が導入され、1996年秋、改正法に基づく初めての総選挙が実施されたところであり、今年も総選挙が予想される。このような情勢を踏まえて、制度改正に民間政治臨調の委員として参画した経験をまじえながら、全学開講科目として、多くの学生にわかりやすく選挙法の趣旨を講義することとし、今年度から新たに「議会関係法」をスタートさせる。

講義の内容・授業スケジュール

1 選挙制度改正の理由、2 選挙権と被選挙権、3 小選挙区比例代表並立制の内容、4 政党・政策本位の選挙、5 供託金、6 重複立候補、7 選挙運動期間、8 戸別訪問、9 連呼行為などの選挙運動、10新聞・放送による選挙運動、11選挙運動費用、12選挙運動・政治活動・選挙広告、13選挙違反と連座制、14選挙犯罪、15公務員の地位利用、16政治資金、17団体・個人の寄付制限、18政党交付金とその用途など。

履修上の留意点

できるだけ出席受講すること。

成績評価の方法

期末テスト、レポート、平常点の総合評価。

教科書

前田英昭著『選挙法・資料』（高文堂出版社）
前田英昭監修『明解選挙法・政治資金法の手引』（新日本法規出版）
前田英昭『政治腐敗防止法を考える』（信山社）
その他各種の選挙法に関する解説書

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比較政治学	み た け な お や 三 竹 直 哉	禅 ・ 仏 教	4

講義のねらい

世界のいろいろな国で起きていることを手がかりに、さまざまな政治現象がどう説明されるかを、いっしょに考える授業です。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、指定してある教科書を使い、方法論の基礎の基礎を勉強します。それから、優れたドキュメンタリーなど、かなりの数のビデオ教材を見て外国の様子を知り、随所で比較政治学分野で現在行われている最新の研究を紹介していきたいと思っています。2002年度は、移民政策の比較研究に特に力を入れたいと思っています。

前期中もしくは、後期中に、もう一冊か二冊、教科書として指定した本を買っていただく可能性があります。

この授業についての最新の情報は、下記のホームページで見られますので、ご利用ください。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

履修上の留意点

クラス全体の雰囲気や人数にもよりますが、3～4人のグループに分けて意見交換する時間を多く作りたと思いますので、そのつもりで参加してください。

なお、本を教科書として指定した場合には、授業は指定した箇所を読んできて、内容について討論する形式になります。読んできていない人は授業に参加できなくなりますので、注意してください。

成績評価の方法

学年末試験と平常点によります。詳しいことは最初の授業で説明しますし、下記のホームページにも掲載しますので、履修登録される方は<必ず>参照してください。なお、2002年3月まで掲載されているものは、あくまでも2001年度用です。2002年度用の情報は、2002年4月に入ってから確認してください。

<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

教 科 書

高根正昭『創造の方法学』（講談社）640円

他に一冊、もしくは二冊、指定する可能性があります。

参 考 書 等

適宜指示します。

そ の 他

授業では、みなさんがせっかく6年間（以上）も勉強した英語がさびつかないように、英語に接する機会を少しでも多く作るようにします。英語の資料は英語のまま見せたり配布したりします。

ホームページにこの授業用の掲示板を設けますので、質問や話し合いに使ってください。

<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代国家論	お お つ か 大 塚 桂	禪 ・ 仏 教	4

講義のねらい

福祉国家の見直しが叫ばれて久しい状況にあります。大国・日本丸はどこへすすもうとしているのでしょうか。ありうべき国家とは何か、が現代政治学にとって重要課題とされています。本講義は、諸君がいままで履修してきた政治学、憲法学などの学科目の知識をふまえて、現代国家の実相にせまるのを目的とします。

さしあたって、現代国家を理解するには、国家概念の展開を理論（史）的に整理することからはじめるのが、ベターでしょう。政治学の発達を顧みたとき、政治学＝国家論であったことがわかります。講義では、隣接科目（憲法・行政法・政治制度・政治思想史・政治史・行政学）の研究成果を積極的にとりいれながら「国家」の問題を討究していきます。国家論は総合科学としての性格を有するからです。

講義の内容・授業スケジュール

A 国家論の課題ならびに研究方法

①序論 ②官立アカデミズムの形成

B 国家学説の史的展開

①古代国家学説 ②中世国家学説 ③近代国家学説 ④現代国家学説

C 法治国家の構成原理

①法治国家論 ②政治制度 ③官僚制 ④国家緊急権

D 行政国家の構成原理

①福祉国家論 ②ネオ・コーポラティズム ③シティズンシップ ④きたるべき国家像

成績評価の方法

受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。

A方式（レポートによる単位認定）

～年4回の課題を提出してもらい成績を評価します。レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。

B方式（試験による単位認定）

～ペーパーテスト（中間・期末）による評価です。

C方式（AとBの折衷）

※ なお、B方式のみ追・再試験を実施します。

教 科 書

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）3,000円

参 考 書 等

上記教科書にかかげてある〈関連文献〉を参照のこと

そ の 他

私の研究室は、第2研究館8階（2835）にあります。電話は、3418-9377（直）です。質問など気軽に訪問してください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営労務論	か し ま ひ で あ き 鹿 嶋 秀 晃	禅 ・ 仏 教	4

講義のねらい

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本の経営論、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、労働時間問題、ホワイトカラーの労働問題、新しい労働法制と労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか？」といったように問題点を掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。

履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明をする。出席は取らないので、出席点はなし。私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるのではないこと。携帯電話は消音すること。ひどいときには退室してもらい、減点の対象とする。

成績評価の方法

評価は学期末試験のみによる。出席点、レポート、中間テストはなし。詳細はホームページでも公開。

教科書

特に指定しない。

参考書等

参考図書としては、津田真澄『人事労務管理』（ミネルヴァ書房）1993、労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』（中央経済社）1995、経営労務をより体系的に深く学習するのによい白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』（東洋経済新報社）1992、など。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。参考文献はホームページで紹介。

その他

授業は講義の形式でおこなうが、図表やグラフ、ビデオを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。ホームページでも授業に関する情報提供をしていく。この科目は、再試験は実施しない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国際経営論	もがきひろし 茂 垣 広 志	禪・仏教	4

講義のねらい

国際経営とは、国境を越えて事業を展開している企業（多国籍企業）の戦略およびマネジメントの課題に取り組んでいる経営学の一領域である。本講義のねらいとしては、経営戦略論、管理論、組織論をベースとして、比較経営や異文化マネジメントの視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントの特徴を理解することにある。つまり、国内的企業ではあまり問題とならないような、企業の国際化、多国籍化にかかわる諸問題を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて国際経営に関する基本的理解を深めることを講義の目的としている。

講義の内容・
授業スケジュール

日本企業を念頭において授業を進めるが、欧米系多国籍企業との比較、ケースを用いて理解が深められるような講義の内容を予定している。授業のスケジュールに関しては、下記のような構成となっている。

1. 国際経営論入門、2. 経営戦略の基礎と国際経営戦略、3. 企業の国際化と国際経営環境、4. 企業の多国籍化と国際化の発展段階、5. 国際競争戦略のパターン、6. 国際戦略提携、7. 国際経営組織、8. 国際経営のモデル、9. 日本企業の国際経営（日米欧多国籍企業比較）、10. 海外子会社のマネジメント、11. 異文化マネジメント、12. 海外派遣（出向）者の育成・選抜・処遇、13. 日本企業の国際経営上の課題と展望

履修上の留意点

教科書を用いて講義を進めるため、授業に教科書を携帯のこと。

成績評価の方法

成績は、期末試験の結果によるが、その際、出席状況を加味する。

教科書

茂垣広志『グローバル戦略経営』（学文社）2,800円

参考書等

必要に応じて指示する。

その他

プロジェクターを用いて講義形式で授業を進行する。また、必要に応じて資料を配布する。この科目は再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
商業史	やまだまさる 山 田 勝	禪・仏教	4

講義のねらい

商業経営の歴史的発展の過程を、文化との関係に留意しながら講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容の主なテーマは次のとおりである。

- | | |
|-----------------|---------------|
| (1) 商業史の視点 | (6) 継続性 |
| (2) 歴史研究とパラダイム論 | (7) 流通量 |
| (3) 利 潤 | (8) 大衆消費社会の特質 |
| (4) 商 品 | (9) 価格革命 |
| (5) 市 場 | (10) 情報社会と商業 |

履修上の留意点

講義を聴くことのみが学習の方法ではないが、講義は各自の学習の導きとしては有益であると思う。出席はとらないが、聴講に努めて欲しい。質問は歓迎する。教場での私語は他人の迷惑となるので厳禁とする。必要があれば教場から出て話すこと。

成績評価の方法

成績評価は定期試験による。

教科書

山田勝著『現代商業の歴史と展開』（創成社）2,850円

その他

この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保険経営論	いしなざか くにあき 石名坂 邦 昭	禅 ・ 仏 教	4

講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済学的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた「危機管理論」(リスク・マネジメント)研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況及び授業時の態度と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教科書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』(白桃書房) 3,500円

参考書等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメントと保険』(白桃書房)
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』(白桃書房)

その他

この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財務会計論	わたなべ えいちろう 渡 邊 恵 一 郎	禪 ・ 仏 教	4

講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者が、投資者、債権者その他企業に利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業財務情報を提供することにある。この主たる提供手段が、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理と表示方法を中心的課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義の内容はおおむね下記の教科書により、この授業スケジュールは次のとおりである。

- ① 4～5月 財務会計の概念（財務会計の定義、課題、制度など）、財務会計の計算構造及び会計準則と会計原則（財務会計の前提、質的特徴及び一般原則など）
- ② 6～7月、9～10月 財務会計の測定論（収益、費用、資産、負債及び資本の各構成要素に関する会計処理の具体的展開など）
- ③ 11～1月 財務会計の伝達論（個別・中間・連結の各財務諸表の作成と表示、外貨換算、財務分析、国際会計基準の動向など）

履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年1回）を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び定期試験点数の総合による。

教 科 書

染谷恭次郎著『現代財務会計』（中央経済社）

参 考 書 等

日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）

そ の 他

(1)授業の方法は、講義による。(2)簿記学・会計学の単位を修得していること。
この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営分析論	かたぎりのがお 片 桐 伸 夫	禪 ・ 仏 教	4

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
- 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
- 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
- 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
- 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、

といった内容です。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析を取りあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にあふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

- * レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」
：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」
- ☆ 提出日（授業はじめに配付するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

- * テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。
- ☆ 質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

開講時、指示します。

教 科 書

参 考 書 等

随時、紹介します。

そ の 他

この科目は再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
税務会計論	高木克己	禅・仏教	4

講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
 - (1) 企業利益と課税所得の関係
 - (2) 益金の額及び損金の額
 - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
 - (1) 引渡基準
 - (2) 特殊販売収益の計上基準
 - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
 - (1) 移転価格税制
 - (2) タックス・ヘイブン対策税制
 - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

開講時に指示する。

その他

毎回出欠をとるかどうかは、初回の講義の中で受講生諸君と相談して決めたい。この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営情報論	た か い て つ お 高 井 徹 雄	禪 ・ 仏 教	4

講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関するシステムの観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

I. 経営情報とシステムの観点（前期）

(1) 科学とシステムの観点（4月～5月：4週）

情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法とシステムのものの見方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。

(2) 情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）

情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。

(3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）

経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。まず、企業における情報利用の形態の歴史の変遷を概観する。次いで、今日から近未来において、インターネット環境下の戦略的な情報の利用はどうあるべきか。すなわち、ITを用いた意思決定と管理のあり方、

また電子商取引の現在と今後の発展について考察する。

II. 情報の利用技術（後期）

(1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）

調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで初めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ類法について、その原理と適用方法を学ぶ。

(2) シミュレーション（11月～12月：4週）

複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。まず、社会経済系に関するシステム・ダイナミクス、工学的システムに関する有限要素法などの数値シミュレーション、待ち行列現象の解析に威力を発揮する離散系シミュレーションなど、

代表的な手法についてその特徴を概観する。次いで、乱数を用いるモンテカルロ法の基礎的方法に触れた後、離散系シミュレーションの原理とモデル構築の方法について学ぶ。

(3) DSSとES（12月～1月：3週）

人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

履修上の留意点

「情報処理基礎」と「経営数学」を履修済みまたは同時に履修していることを前提として授業を行う。また、「統計原論」か「経営統計論」のいずれかを履修済みまたは同時に履修することが望ましい。

成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。その他、出席状況も評価に反映させる。

教科書

教科書は指定せず、授業の各テーマに沿って適宜プリントを配布する。

参考書等

本講義のテーマに関わりの深い参考書として、高原康彦・高津信三編、高井徹雄他著『経営情報システム』（日刊工業新聞社）3,200円を推奨しておく。

その他

この科目は再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報理論	にしむら かずお 西村和夫	禅・仏教	4

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量（情報量）を定義したシャノン（C. E. Shannon）流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として（シャノンという単位で）計算できるようになります。これによって、たとえば DNA の情報を記録するために十分なフロッピーディスクの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値（平均値）であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後で、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をしします。現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

講義の内容・授業スケジュール

- 4月3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解説
- 9月2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月2回 符号化（JISコード、国際符号化文字集合）、対数・情報量の中間試験
- 10月2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月2回 遷移確率と同時確率
- 11月1回 エントロピーの定義
- 12月2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月1回 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
- 12月1回 検査桁（CD）、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています（上表 5月参照）。

成績評価の方法

10月の中間試験（30%）と定期試験（70%）との合計点によります。

教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクトとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参考書等

そのつど紹介します。

その他

〔関連科目〕 → 経営情報論

この科目は、再試験を実施しません。

講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/du/nis/Nis/lecture/info.html>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営統計	ちよう 長 こきよ 国 強	禪 ・ 仏 教	4

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意志決定をサポートすることである。
 経営的意志決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

- 経営統計について：経営統計の役割、基礎概念
- 統計特性値：平均、分散、正規分布
- 市場調査と統計整理：調査の諸段階、標本設計、データ整理
- 経営時系列：季節指数、時系列予測
- 経営指数：物価指数、数量指数
- 統計推測：標本分布、区間推定、仮説検定
- 統計的意志決定理論：意思決定基準、期待効用理論

履修上の留意点

年間6回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

その他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。
 この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上代文学史	さ は ら さ く み 佐 原 作 美	禪 ・ 仏 教	4

講義のねらい

無文字時代の文学のありようから、文字を得て記録され、今日にまで継承されて来た飛鳥奈良時代の文学作品を中心に平安初期頃までの文学の流れを、史的背景をふまえながら考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

神話を豊富に含む『古事記』や『日本書紀』や『風土記』などの散文文学をはじめ、『万葉集』や漢詩集などの韻文学など、それぞれの作品の一端にふれながら、上代文学のおもしろさを発掘していきたい。

履修上の留意点

教科書に載っている例文や、配布されるであろうプリントの他に、上記の作品を積極的に読んで欲しいと思う。

成績評価の方法

課題のレポートや定期試験その他出席状況（重視）などを見て評価する。

教科書

山岸徳平編『作品中心 日本文学史』（新典社）1,030円

参考書等

授業時に指示する。

他7第
学部
履修A1
開
修
科
目
講
部

科目名	担当者名	配当学科	単位
中古文学史	鈴木裕子	禅・仏教	4

講義のねらい

古代後期（平安時代を中心として）の文学史を学びます。漢詩や和歌、物語や日記などの文学作品にはどのようなものがあるか、なぜそれらが千年もの時を超えて現代にまで読みつがれて来たのか、文学史に〈女性〉が果たしてきた役割とは何なのかなど一緒に考えてみましょう。

講義の内容・授業スケジュール

韻文・散文ともに実際に作品の一節を読みながら、それぞれの作品の特色や時代の思潮を理解し、古典文学に親しむ契機となるようにします。授業は教科書のほかにプリント教材を配布し、それらを用いての講義が中心となります。また、変体仮名を読む機会も設ける予定。

履修上の留意点

教師の一方通行にならないように適宜受講生に小作文や短い発表などの課題を課す予定です。

成績評価の方法

前期・後期に一度ずつ行う試験・授業態度・課題などから総合的に行います。

教科書

年表資料『中古文学史』（笠間書院）

参考書等

授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中世文学史	坂口博規	禅・仏教	4

講義のねらい

中世時代の文学の流れを考える。政治史的には鎌倉・室町時代と称される中世時代の文学史は、実はその鎌倉期と室町期とで作品傾向が大きく推移していることを考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

開講時、総論として古代からの伝統、また近世への展開を配慮して中世時代の文学を概観し、各ジャンルにわたりその史的展開を講じてゆく。

履修上の留意点

授業で取り上げられる作品や作者等について、詳細に論じられないので、文学辞典に紹介される程度の内容は読んで欲しい。

成績評価の方法

定期試験の結果と出欠状況を参考にして評価する。

教科書

乾安代・櫻井武次郎・新間一美他著『日本古典文学史』（双文社出版）1,699円

科目名	担当者名	配当学科	単位
近世文学史	清田啓子	禅・仏教	4

講義のねらい

近世（江戸時代）の文学の流れを通観する。江戸時代は、庶民が力を発揮できた時代であると同時に、政治的束縛も各分野に及ぼされた。そのような中で、文学を志した人々のあり方はどんなものであったか、どういう作品が生み出されたかを探って行きたい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書とする『近世文学史』には、作品もかなり掲載されているので、なるべく丁寧に作品の意義を見きわめつつ、近世初期から末期までの変遷を辿ることになる。

履修上の留意点

文学とは何か、を、常に念頭においてほしい。

成績評価の方法

学年末の定期試験、夏期レポート、折々の提出物等による。

教科書

佐藤毅他編『近世文学史』（双文社出版）1,800円

参考書等

教室で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近代文学史	さ さ せ お う し 笹 瀬 王 子	禅 ・ 仏 教	4

講義のねらい

日本の近代は、江戸から明治へと改元された時から始まるとされる。文学の世界も同様である。旧来の文学を一新し、近代文学としての歩みを始め、自立し、その独自性を発揮するまでの道程を知り、確認することは文学研究の上からばかりでなく、今を生きる私達現代人にとっても自ら〈近代〉を問う意味で有意義となろう。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、明治開化期の文学の考察を手始めとして以降は時代の流れに沿って文芸思潮を中心にその時々の文学運動を参看しながら個々の作品の歴史的な意味について考えていく。

履修上の留意点

講義の性格上、ともすれば作品名の羅列になりがちであるが、可能な限り数多くの作品にじかにふれるようにしたい。従って、受講者は知識として作品名を覚えればよいというのではなく、あらかじめ課題となる作品を自主的に読み、考える姿勢を強くもって講義に臨むことを要望する。

成績評価の方法

受講態度、学習意欲等の平常点、レポート、試験によって総合的に評価する。

教 科 書

岡保生、大久保典夫編『現代日本文学史』(おうふう)
吉田精一編『近代文学』(おうふう)

参 考 書 等

講義の際、適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代文学史	こ ば や し お さ む 小 林 治	禅 ・ 仏 教	4

講義のねらい

現代日本文学の流れを概観しつつ、時代との関わりの中で生成される作品の系譜を考える。現代の起点を関東大震災のあった大正12(1923)年前後に置き、以降、昭和の終り(1988)まで見ていくことになろう。

講義の内容・授業スケジュール

前期は総論と昭和20年の敗戦までを、後期にそれ以後を取り上げる予定。

履修上の留意点

授業で取り上げた作品は、できるだけ多くを授業と平行して読むことが望まれる。また、特に詳しくふれる作品はあらかじめ指示するので、必ず読んでおくこと。

成績評価の方法

定期試験の結果、レポートの内容等を総合し、さらに出欠状況を加味して評価する。

教 科 書

三好行雄編『近代文学史必携』(学燈社一別冊國文學一) 1,000円

参 考 書 等

『時代別日本文学史事典(現代編)』(東京堂出版) 6,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
異文化コミュニケーション	おくはら じゅんこ 奥 原 淳 子	禅 ・ 仏 教	4

講義のねらい

目的は「外へ目を向けること、そして同時に内を知ること」です。
「外」と「内」は、それぞれ「外国」に対する「日本」であり、「他」に対する「自己」でもあります。

近年、国際化がますます進み、異なる文化を背景とした人との交流が盛んになってきました。しかも、国籍、年齢、文化背景、ステータスなど実に多様化しています。このような状況にあって、今後必要となってくるのは、「異なる文化を理解し、受容すること」であり、同時に、「自己の文化を理解し、発信すること」だと言えます。

しかし、理解すること、受容すること、そして、発信することは容易なことではありません。それらについて、一つ一つ考えていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、以下の問題について考えていきます。

- ・「日本人」とはだれか。
- ・「コミュニケーション」とは何か。
- ・それぞれの状況での自分（相手）の態度はどのような価値判断に根ざしているのか。
- ・文化摩擦はどうして起こるのか。
- ・言語や非言語コミュニケーションは国によってどう違うのか。
- ・日本文化や日本語にはどんな特徴があるのか。
- ・異なる文化背景を持った者同士は共生していくことができるのか。また、そのためにはどうしたらいいのか。

履修上の留意点

授業は教師側からの一方的な知識の伝達ではなく、学生自身が考え、調べ、発言する形をとりたいと思います。具体的には、多くの文献を読むこと、グループでの意見交換や考察、発表などが授業の中心的な活動となります。従って、受身でなく、自ら積極的に学ぶ姿勢を持って授業に臨むことを期待します。

成績評価の方法

出席・提出物・発表・授業態度・試験

教 科 書

開講時指示します。

参 考 書 等

開講時指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語（前期）	岡本 誠 <small>おかもと まこと</small>	禅・仏教	4

講義のねらい

「時事英語」なる英語があるわけではない。英語でして言えば“Current English”ということになるか。文学作品でお目にかかるような構成や文体のものではないわけである。メディアの英語と考えてよい。

小説やドラマには起承転結というか、順を追ってプロットが展開され、終りに近くなってクライマックスに達する。時事英語では、これとは逆に、最初に話の内容を全部さらけ出し、重要な点から説明していく。この最初の部分をleadという。

かくして、内容の構成や文体の面で新聞・雑誌・放送といったメディアで接する英語についてはそれなりの認識が必要となる。本講義ではそういった分野の英語にふれることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

その日の朝のアメリカからの短波放送のニュースを聴き、そのニュースキャスターの原稿を作ってみる。インターネットも利用した内外の新聞やNewsweekなどの記事も併用する。受講する諸君はこの分野の語法であるjournaleseに親しみ、新聞英語ぐらいは読み慣れるようにしてほしい。

履修上の留意点

世界の政治・経済の動きに注意を払ってほしい。それが社会の事象に対して問題意識をもつことに通ずる。こういう態度はいよいよ社会人になるときにモノを言う。講義中にケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

受講中の発表。小テスト。出席情況。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

『時事英語講座』（研究社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用計測学（前期）	榎尾 英次 <small>かしのえいじ</small>	禅・仏教	1

講義のねらい

放射線機器工学を2年次に学習し、医用機器工学を3年次に学習するが、これらの講義で含まなかった重要な機器について行う。

医用画像診断装置を主体とするが、生体電気計測および生体磁気計測についてもそれらの基本を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 核医学診断装置
 - ・放射性核種および放射線計測の基礎
 - ・ガンマカメラ
 - ・SPECT
 - ・PET
 - ・核医学データ処理装置およびソフトウェア
- 2) 超音波診断装置
- 3) PACS（画像管理システム）
- 4) 生体電気計測
- 5) 生体磁気計測

履修上の留意点

あらかじめ放射線計測学および放射線機器工学を習得していること。国家試験で核医学機器関連に対応できるよう講義するので全員受講することが望ましい。他学科にあっては高校で物理を習得していることが望ましい。

成績評価の方法

定期試験および出席状況により評価する。

教科書

教材としてプリントを使用する。

〔フレックスBで開講される他学部履修科目〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商学総論	お お ぶ き か つ お 大 吹 勝 男	禅 ・ 仏 教	4

講義のねらい

近年、大学においてさえも、学問が軽視される風潮にあります、そして生残りをかけ、学生集めのために実用主義を売りものにする大学もあります。また、大学は社会的要請に答えねばならないという主張のもとに、その実、社会ではなく、会社・企業のために大学が存在することを主張し、かつ君たちに会社人間になることを勧めるマスコミや評論家等がいます。そして一方で、学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は入学した君たちのためにあり企業のためにあるものではありません。そして、大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学でしか学べないこと、物事の見方、考え方を学ぶことです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。実用的なことは、その場限りのものであり、また入社してから容易に身につくものなのです。何年間かキャリアを積んだビジネスマンから聞くことは、大学時代に学問をしておくべきであったということです。諸君も、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に思考する能力を身につけて下さい。そして、社会に出て現実に関難な問題に出会った時に、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、科学的経済学の立場から流通論を、そして商業論を講義するものであり、その内容からして商業経済学といいかえてもよいとおもいます。したがって、授業では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論（物流の基礎理論を含む）および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。そのためには一年間を通して授業に出席することが必要です。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策のための基礎理論を提供するとおもいます。

講義の内容・
授業スケジュール

授業内容は下記の項目の通りですが、本年度は、これらの項目について講義しながら、現代企業の経営戦略において重要性を増している物流問題を考えるうえで、その基礎となる理論について特に力を入れたいと思います。

- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
- (2) 生産過程論（労働過程論）
- (3) 流通過程論（資本の流通過程・流通時間・流通諸費用）
- (4) 資本の回転と流通資本
- (5) 商業資本の本質論
- (6) 商業資本の自立化論・電子商取引（eコマース）
- (7) 商業利潤論
- (8) 純粹流通過程論
- (9) 商業労働論
- (10) ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）
- (11) 商業資本の回転と価格
- (12) 大規模商業資本論
- (13) 独占的商業資本論
- (14) 卸売排除論
- (15) 流通系列化論

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねてレポートを課すこともありうる。また各授業項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とします。

期末試験は論述形式でおこなう。再試験は実施する。

教 科 書

1. 大吹勝男著『新版流通過程とサービス理論』（梓出版社）
2. 『経済学論集』（駒沢大学経済学部発行）第20巻第2号
3. 『経済学論集』第20巻第4号
4. 『経済学論集』第22巻第1号
5. 『経済学論集』第22巻第4号
6. 『経済学論集』第26巻第1号
7. 『経済学論集』第27巻第1号

以上、2から7までの『経済学論集』には、大吹勝男の執筆する商業資本、商業利潤および商業労働に関する論文が掲載されていますから、図書館にてコピーして利用して下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会思想史	あ べ ひろし 阿 部 弘	禅 ・ 仏 教	4

講義のねらい

「経済学」という科学は、人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持ちます。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入って、ヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一にしています。

この講義では「経済学」の成立と「市民社会」との関係を明らかにすることを目標にしていますが、「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた、「帝王学」的な政治・経済政策論に求められるから、最初にその実態を、東洋社会の「経世済民論」とインド・ヨーロッパの農業政策技術や重商主義的な政策論の展開に観ていくことにします。第2部として近代ヨーロッパ社会での、フランス革命に象徴される「ブルジョアジー」、およびその後に登場してくる「プロレタリアート」が「経済学」の成立過程にどのような影響を及ぼしたのかを考察します。そのうえで、現代社会にあって、「経済学」は何を問題提起しているのかを受講生諸君と共に考えていきたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

年間の講義は次の構成となります。

第1部：「経世済民」という考え方

第1章：古代中国での「経世済民」思想

第2章：インド・ヨーロッパ的帝王学

第3章：日本における輸入学問としての「経世済民論」

第2部：ヨーロッパ社会での「経済学」の形成過程

第1章：「個人主義」思想の形成と「道徳哲学」の新たな展開－マンデヴィル思想から「道徳感情論」へ

第2章：フランス革命と「経済学」の形成過程

第3章：マルクスの経済学体系

成績評価の方法

- 「成績評価」は年間4回のレポートの作成で行います。レポートは7月・10月・12月・1月におこないます。したがって「定期テスト」は行いません。年4回のレポートを行うのは、講義形式のばあいには評価を年1回のテストで行いますと、とかく受講生の皆さんと講師との交通がみられなくなるからです。レポートの形式は、7月の第1回目は講師が受講生全体に共通なテーマを設定し、第2回以後は作成されたそれぞれのレポートからテーマを設定します。
- 上記のように年間4回のレポートを皆さんとともに実施していくのですから、回数が少なくてもよいとか、1回だけレポートを密かに作成して「送りつけ」てきたり、私のポストに投げ入れたりしても、評価が悪くなるだけですから注意してください。
- 「評価」はレポートで行いますので、「定期試験」を実施しない関係で、それに付随した、「追試験」とか「再試験」は行いません。

そ の 他

受講生と講師が「レポート」外で連絡し得るようにするために、講師の住所を下に記しておきます。

阿部弘：〒179-0072 練馬区光が丘6-1-4 / TEL03-3976-7984

研究室：第2研究館5F No. 2538 / TEL03-3418-9360

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会政策	みつおか はくみ 光岡博美	禅・仏教	4

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の半ばに、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対峙していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問は発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

講義の内容・ 授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととしたい。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上にのべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
価格理論	あ ら き よ し ひ ろ 荒 木 勝 啓	禅 ・ 仏 教	4

講義のねらい

価格理論の目的は、経済の中でマイクロ主体が互いに競争と最適化を行うことにより、市場および経済一般がどのような方向に向かうかを研究することである。もし競争が理想的に行われ、情報や資源移動の完全性が保証されるならば、市場はパレート最適と呼ばれるある種の理想状態に達し、価格は自然に社会的厚生を最大化する水準に定められる。しかし例えば市場参加者が2という少数者で行われるならば、たとえ同様の競争自体が行われても、結果はクールノー・ナッシュ均衡とよばれるような、完全競争とは異なった市場均衡に到達するであろう。またその競争のありようによっては同じ2という参加者の競争から、シュタッケルベルク均衡と呼ばれるさらに異なった均衡状態が作り出されることになる。その点はもはやパレート最適からはほど遠い点である。

このように、価格理論は、一般に「物価水準」と呼ばれているような現実のデータとしての価格というよりも、経済の市場の枠組みやマイクロ主体の行動様式に関する様々な想定から導出されるas ifパフォーマンスとしての価格決定を調べる科目である。従ってその分析のためにはどこまでも「最適化」手法がつかまとう。しかも経済学の場合最適化はほとんどの場合「制約付き最適化」である。

制約のないところに経済は成立しない。近代経済学を生み出した限界革命の旗手であるカール・メンガーは次のように述べる。「村にわき出る泉があり、その水をだれでもが飲めるならば、その水をめぐる経済現象は生じないであろう。しかし、旅人が増えて村人が水を自由に飲めなくなったときから泉の水に経済現象が生じ始める。」

以上のように価格理論では内容の理解がほぼ制約付き最適化手法の理解如何にかかっているといてもよい。従って講義のかなりの部分があるための準備と練習に当てられるとありがたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 価格理論で学ぶこと
- (2) 多変数関数と曲面
- (3) 微分、変微分、全微分
- (4) 対数関数の微分と成長理論
- (5) 生産関数、コブ・ダグラス生産関数
- (6) ベクトルの直交と勾配ベクトル
- (7) 制約付き最適化問題のグラフィカルな理解
- (8) ラグランジュ乗数法
- (9) 加重限界効用均等の法則
- (10) 練習問題
- (11) 代替効果と所得効果の計算
- (12) 需要曲線と需要の価格弾力性
- (13) パレート最適、ボックスダイアグラム
- (14) MR曲線
- (15) 独占均衡
- (16) 消費者余剰と生産者余剰、独占均衡の死重的損失
- (17) 費用曲線と供給曲線
- (18) 生産関数から短期費用関数の導出
- (19) 生産関数から長期費用関数の導出
- (20) クールノー・ナッシュ均衡
- (21) クールノー・ナッシュ均衡解の練習問題
- (22) 等利潤曲線
- (23) シュタッケルベルク均衡解
- (24) シュタッケルベルク均衡解の練習問題
- (25) ゼロサムゲームの解法

試験はノート・教科書・参考書持ち込み可。再試験あり。

成績評価の方法

教 科 書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国民所得論	よしの 吉野 紀	禪・仏教	4

講義のねらい

わが国は法人企業だけで277万（平成3年）あり、就業者6,400万人のうちの約68%にあたる4,380万人がここで働いている。この生産活動からさまざまな財（商品）やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを1年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言ってGDP（国内総生産）にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは4,400万に昇る家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここには、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の1年間の規模は平成7暦年のGDPによって483兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとすれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数限りない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然と言える。こうした取引関係は複雑に入り込んでおり、その1つ1つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上に舞い上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨視的（マクロ）分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。ここでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ（経済主体）毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」……………5回
GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。
《参考》経済企画庁「平成6年日本経済の循環図」（配布資料）
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」……………4回
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。
《参考》中谷歳 『入門マクロ経済学』（日本評論社）第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」……………8回
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。
《参考》伊達邦春（編）『マクロ経済学』（八千代出版）第9章
4. 「金融政策、財政政策」……………4回
前講までの内容が理解できれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内および国際的クラウディング・アウト効果が取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学（上）』（CAP出版）第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」……………5回
ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。再試験は原則として実施しない。

教科書

R. J. ゴードン『現代マクロエコノミックス（上）』（第6版）（多賀出版）

他学部履修科目
L1B開講

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ヨーロッパ経済論	しみず たかし 清 水 卓	禅 ・ 仏 教	4

講義のねらい

本年1月1日から、EU諸国の統一通貨であるユーロが一般に流通するようになり、EU諸国の経済統合は高度な段階に入りました。数年のうちには10カ国を超える中欧、東欧諸国がEUに加盟することになっており、EUの機構改革も着手されました。こうして、世界におけるEUの存在はますます大きくなってきます。

本講義はEUとメンバー諸国の動きを紹介し、その意義を明らかにします。

講義の内容・授業スケジュール

前期にはEUの主な課題の経過と現状を取り上げます。

市場統合の経過と現状
市場統合への道
1992年市場統合計画
現段階における市場統合への課題

欧州通貨統合
第2次世界大戦後の国際通貨体制と欧州
欧州通貨危機と欧州統合
欧州通貨制度（EMS）
欧州中央銀行制度

市民的・社会的ヨーロッパ
欧州失業問題
地域格差問題
欧州福祉国家の現状
欧州基本権憲章

EUの安全保障問題

後期は各国経済とEUの産業分野を取り上げます

各国経済の現状
フランス
ドイツ
イギリス
イタリア
スペイン
オランダ・ベルギー・ルクセンブルグ
北欧諸国

産業分野としては
農業・農村・食料
伝統的部門
先端産業

なお、随時、EUの最新トピックスを解説します。

履修上の留意点

講義を興味深く聞き、内容を理解するためには、ある程度の基礎知識や、EUで現実起こっている出来事への関心が必要です。是非、インターネットや、新聞、雑誌で自分の興味が持てる事柄を探してください。

成績評価の方法

前期末と学年末にペーパー試験を行います。
成績評価に際しては、出席回数を考慮します。

教科書

特に指定しません。

参考書等

- 1) 田中素香、長部重康、久保広正、岩田建治『現代ヨーロッパ経済』（有斐閣）2001年
- 2) 藤井良弘『EUの知識』（日本経済新聞社）

その他

卒業年次生に対する再試験は行いません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
会計監査論	もりた よしひろ 森 田 佳 宏	禪 ・ 仏 教	4

講義のねらい

会計監査とは、企業における会計記録および会計行為の全部または一部につき、それに関与しない独立の第三者が分析的に検討を加え、その適否または正否に関する批判的意見を表明することである。これは、会計監査の一般的意義であるが、会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。財務諸表監査とは、企業が作成する財務諸表の適否について、監査人が公正な立場から検討を加えて専門家としての意見を表明し、もって財務諸表に対する社会一般の信頼を高めるための制度であり、主として、投資者、債権者その他の利害関係者の利益擁護を目的とする監査である。

いうまでもなく、財務諸表監査は、企業が作成する財務諸表をその対象としている。財務諸表とは、周知のとおり、毎事業年度に作成される貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等の財務に関する決算書類である。

これら財務諸表の適否の検討にあたって、監査人の判断の基礎となるものが、商法、財務諸表規則、企業会計原則等の会計に関する法令および慣習規範であり、監査人の行為の尺度となるものが監査基準である。

講義の内容・授業スケジュール

職業監査人による財務諸表監査（特に証券取引法監査）を中心として、会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度、監査基準等に関する研究を行う。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、すでに「簿記論」、「会計学総論」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法

原則として試験の結果により評価する。なお、再試験は実施する。

教科書

指定しない。必要に応じて資料を配布する。

参考書等

税務研究会編「企業会計規則集」（税務研究会出版局）
飯岡透、市村一之、島崎規子『会計監査概論』（中央経済社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法思想史	かわみ まこと 河 見 誠	禅 ・ 仏 教	4

講義のねらい

21世紀を迎え、あらゆる場面で20世紀的枠組みが問い直されようとしている。法や権利の在り方に関しても同様である。近代的国家という枠組み自体が疑問に付されたり、個人に生き方を近代的な法や権利という枠組みで捉えることへの倫理的批判が提起されることもしばしば見受けられる。このような時代状況の中で、法や権利の在り方を真摯に模索していくためには、「法とは何か」「権利はなぜ尊重されなければならないのか」といった、根元的な問いと格闘しなければならないだろう。しかしそういった格闘は、何も2002年現在の私たちがはじめて取り組むわけではない。過去、何千年にもわたる「法思想」の歴史があるのである。過去の「法思想」に耳を傾けることを通して、21世紀にふさわしい法や権利の在り方を、ともに模索していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

私たちが現在よって立っている法体系、とりわけその根本にある憲法の中に見られる基本的人権や民主的統治機構は、近代の自然権思想や社会契約論に源泉を持つと考えられる。従って、本講義では、近代思想を重要な軸にしたいと考えている。そのことを念頭に置きつつも、講義の進め方としては、オーソドックスに古代ギリシャの法思想からスタートして、時系列的に法思想を追っていくこととする。

近代以前：古代ギリシャの法思想（ソフィスト、ソクラテス、プラトン、アリストテレス）、
中世ローマ・キリスト教の思想（キケロ、アウグスティヌス、トマス・アクィナス）
近代：自然権・社会契約論（ホッブス、ロック、ルソー）功利主義（ベンサム、ミル）、ドイツ観念論（カント、ヘーゲル）
近代から現代へ：社会主義法思想（マルクス）新カント派法哲学（ケルゼン、ラートブルフ）、再生自然法論（コーイング、カウフマン）、分析法理学（ハート）、現代性議論とリベラリズム（ロールズ、ドゥオーキン）

成績評価の方法

定期試験（後期終了後1回）を主たる評価基準とする。その他、長期休暇中にレポートを課すかもしれない。

教 科 書

田中成明他『法思想史（第2版）』（有斐閣Sシリーズ、1997年）1,700円

参 考 書 等

随時紹介する。また、参考資料を随時配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本法制史	しげの たかはる 茂野隆晴	禅・仏教	4

講義のねらい

「法制史」は基礎法学の一つであるが、歴史学の一分野でもあるという両属性がある。私の担当する「日本法制史」は日本人の法生活の歴史的考察であり、それを時代区分をなすことによって行っているというものである。

各時代の人びとの生活を規範的側面より探求、分析していくものであるから、少しでもその実体にせまる上からも多くの史料を勉強して実際にもとの文章そのものを読んでいけば法制史の理解はより深まろう。

ともあれ、基礎法学あるいは理論法学といっても、その位置づけ、あり方については、未だ法学教育のうえで定かでないようである。ただ、基礎法学がより重視され、仮に実定法と同じような比重で科目配当されたとすれば、日本法制史について言うなら、古代・中世・近世・近現代といった名称が冠せられた講座がみられるようにもなるうか。

講義の内容・授業スケジュール

時代区分として、上古(氏族法時代)、中古(律令法時代)、中世(武家法時代前期)、近世(武家法時代後期)、近代(含む幕末)の5期に分ち、前期は、それぞれの時代の公法、刑事編を行なう。後期には、同じく時代を繰り返し、私法・民事編を行なう。

履修上の留意点

史資料に則して行なうことの多い授業です。テキストは必ずそろえて持参のこと。また、授業中の私語は厳禁ゆえに、守れないものがあれば直接にも指摘することになるう。

成績評価の方法

年間1度の定期試験の評点に出席点を加味して評価する。

教科書

大久保治男・茂野隆晴共著『日本法制史』(高文堂出版社刊) 3,000円

参考書等

大久保治男・茂野隆晴編著『日本法制史史料60選』(芦書房) 2,500円、このほかは、ばあいにより指示します。

その他

授業の方法は講義による。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済法	おかだ としひろ 岡田外司博	禅・仏教	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少くともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験(後期1回のみ)によって判定する。

教科書

丹宗暁信・厚谷襄児編『新現代経済法入門』(法律文化社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際関係論	みなみやま 南山 淳	禅・仏教	4

講義のねらい

近代ヨーロッパに成立した国民国家体系は、戦争による世界秩序の崩壊と新たな世界秩序の創造というリサイクルを描きながら、地球全体を覆うまでにその規模を拡大してきた。他方、「グローバル化」に象徴されるトランスナショナルな活動の増殖は、今日、国際関係に極めて重要な影響を及ぼすようになってきている。つまり、現代国際関係の最大の特徴は、国家間関係とトランスナショナルな関係が同一の事空間に并存し、相互に影響を与えあっているという点にある。本講義の目的は、複雑化する現代国際関係のダイナミズムのなかで、持続する領域と変容する領域を確定していく作業に他ならない。そのためには、国際関係史と国際関係理論を別々に考えるのではなく、双方を一体のものとして、有機的に理解することが不可欠となる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、主権国家、国際的アナーキー、権力政治、安全保障、相互依存など、国際関係論の基本概念の理解と主要理論の解説に重点をおき、後期は、国際組織、地域紛争、グローバル経済、地球環境、ジェンダーなど、現代国際関係における具体的な諸問題を取りあげる予定である。

履修上の留意点

政治学、近現代史、国際問題に関する基本的な知識を整理したうえで受講すること。

成績評価の方法

出席状況、レポート、学期末試験により評価する。

教科書

進藤榮一著『現代国際関係学』（有斐閣）
松岡 完著『20世紀の国際政治』（同文館）

参考書等

講義の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方自治法	とみい ゆきお 富井 幸雄	禅・仏教	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジュメを配布し、それに添って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。なお、出席は適宜とする予定である。単位認定のとき考慮することがある。

教科書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房）2,000円

参考書等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正があるので、必ず平成12年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倒産処理法	お くの よし ひ こ 奥 野 善 彦	禪 ・ 仏 教	4

講義のねらい

私が管財人として任務を遂行した更正会社日本リースの事件処理などを通じ、可能な限り実践的な視点から倒産処理法を学ぶこととする。

倒産処理手続は、通常、任意整理と法的整理に区分され、さらにその目的に従い、再建型と清算型に分けられる。

任意整理は、裁判所外で債務者と債権者間で私的に進められる整理手続で、再建型にも清算型にも利用され、法的整理手続の原型となっている。これに対し、法的整理手続は、再建型の類型に入るものとしては、会社更正、会社整理、並びに民事再生手続があり、清算型の類型に入るものとしては特別清算と破産がある。

この講義では、「倒産」に直面している人又は企業に対し、如何なる手続を選択することが債権者及び債務者にとって最も好ましいか、というようなことから始め、最高学府で倒産処理法を学んだ者として、当然身につけなければならない法的知識並びに法的技法を習得することにした。

履修上の留意点

真面目で誠実で、且つガッツのある学生に履修してもらいたい。

成績評価の方法

履修態度、レポート並びに試験（論文集）

教 科 書

追って指定

参 考 書 等

奥野善彦著『会社再建』（小学館）定価1,600円

そ の 他

前期－講義 後期－ゼミ

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国際紛争解決法	お う し ゃ ん 王 志 安	禪 ・ 仏 教	4

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能および事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決および世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査および調停といった制度の展開および適用、国連における紛争処理の制度的展開および現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続きおよび制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判および国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立およびその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。聴講ノートをしつかりと取ってもらいたい。

成績評価の方法

年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教 科 書

松田幹夫編著『現代国際法』（八千代出版）1997年 2,700円

参 考 書 等

市販されている国際条約集及び国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

そ の 他

授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることもある。板書のかわりに、powerpointを利用した講義を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営財務論	たかだみつあき 高 田 光 明	禪 ・ 仏 教	4

講義のねらい

〔財務の意味〕

経営財務は、企業という組織体の財務を研究する学問分野である。企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態では通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを生産して販売するという営業活動を遂行し、その結果として資本が自己増殖することを旨とする。このことが資本の運用であり、企業の営業活動を通じた資本の自己増殖分が利益である。企業の財務とは、現在では、企業による以上のような資本の調達と運用をいっている。

〔資本調達の位置〕

企業が資本を調達するのは、調達資本をできるだけ効率的に運用して自己増殖させ、利益を生み出すためである。その意味では、資本の運用あつての調達であるといつてよい。しかしながら、企業は、用途に合った種類の資本を、必要とする額だけ必要なときに調達できなければ、資本の運用を意図したように行い難くなる。資本運用の効率性は、企業が、資本の運用に合わせた調達がいかに行えるかに制約される。資本の運用がうまくいくかどうかの出発点は、資本をどのように調達するかにあるといえる。

資本の調達問題は、経営財務において、依然として重要な位置を占めていることに変わりがない。資本の運用あつての調達であるからといって、そのことは、資本の調達面の意義が小さくなることをけっして意味してはいないのである。この授業では、以上のような問題意識のもとで、資本の調達を中心に、必要に応じて資本の運用面と関連させながら講義するつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

基礎知識を体系的に理解し、この学問の基本的考え方を身に付けられるようにするために、まず基礎的・総論的事項から講義していく。

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 資金調達の基本原則
6. 流動・固定分類法的重要性
7. 資金概念
8. 企業利益の概念
9. キャッシュ・フロー
10. リスクとリターン
11. 資本のコスト
12. 内部資金
13. 株式資本と他人資本との相違
14. レバレッジ
15. 資金調達の手順

履修上の留意点

経営財務論を理解する上で必要となる最小限の会計的知識も授業では説明する。しかし、簿記学と会計学を前もって履修してあることが望ましい。

成績評価の方法

原則として、期末筆記試験により評価し、出席点を加味する。

教科書

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）

参考書等

染谷恭次郎著『資金計画の手引き』（日経文庫）

その他

この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営組織論	伊 藤 信 二 <small>いと う しんじ</small>	禅 ・ 仏 教	4

講義のねらい

我々は、「産業革命より大々的な文化変容」の時代に生きている。経済活動の主体である企業組織も内外に新たな問題を抱え、生き残りのため新たな方策を模索している。

本講義では、これまで企業の管理組織がどのような考え方で編成され、また、どのような変遷をたどって発展してきたかを概観した上で、今日の企業のさまざまな革新努力とその意味を理解し、新しい時代における企業組織と個人の関係のあり方を考えていく。

講義の内容・
授業スケジュール

[前期講義]

- (1) 問題意識－歴史的な変化に直面する日本企業、構造的変化と循環的变化
- (2) 20世紀の支配的な経営原理－テーラーリズムの誕生とその意味
- (3) 経営における人間的側面－人間関係論、X理論とY理論など

[後期講義]

- (1) 管理組織の発展－歴史と発展の理論
- (2) 組織構造－組織の編成原理、組織図の読み方
- (3) 管理機構モデルの意義とその限界
- (4) 新しい企業組織のあり方－革新の試みと展望

履修上の留意点

問題意識を触発し、講義内容の理解を促進するために、また理解度を把握するために小課題を時々出します。基本的には講義形式をとりませんが、受講生の意見も取り入れながら展開していく予定なので、参加意識をもって臨んでほしい。

成績評価の方法

課題への取り組み方、前後期の筆記試験によって評価します。

教 科 書

特定のテキストは用いず、参考文献は講義中に適宜指示します。

そ の 他

この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公益企業論	園 田 哲 男 <small>そのだ てつお</small>	禅 ・ 仏 教	4

講義のねらい

公益企業論の主要内容は、企業規則に関連する諸問題であり、とくに一般的企業規則と区別された意味における公益企業規則である。つまり、公益企業は、料金およびサービスに関し、規制をうけている問題であり、また、公益企業概念が、本来、制度的色彩の濃いものである。本講では、今日、企業の社会的責任の問題が論じられ、国民福祉という観点から、企業のあり方が問われ、政策事項として企業規則が問題とされている中で、公益企業の規制とは何か、また、公益企業の特質とは一体どのようなものかについて理解を深めることにある。

講義の内容・
授業スケジュール

講義のすすめ方としては、前期は、公益企業概念の発達と、その問題点および公益企業概念の再検討を行う。後期は、公益企業における持株会社の形成（前期と後期）および評価について考察し、その上で公益企業の特質について理解させる。

履修上の留意点

学問は、単に知識だけを増殖するのではなく、適切な判断と意志決定を行なうための基礎となるものと考えている。本当に学ぶ意志のある学生だけが履修してくれることを望む。

成績評価の方法

成績評価は、単元ごとに小テストやレポートをし、総合評価とするが、大学卒業レベルの知識と問題解決能力を養う努力をしない者は厳しく評価を行なうつもりである。

教 科 書

授業中に指示する。また参考文献などを挙げ、できるだけ広範な考察を行なうつもりである。

そ の 他

この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
管理会計論	さるやま よしひろ 猿 山 義 広	禪 ・ 仏 教	4

講義のねらい

この講義では、すでに「簿記学」の単位を修得していることを前提として、企業における管理会計の基本思想を学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 管理会計の意義と体系
2. 短期利益計画のためのC-V-P分析と経済性計算
3. 意思決定のための原価概念と利益概念
4. 原価管理会計
5. 予算統制
6. 投資意思決定

履修上の留意点

「管理会計論」は計算科目なので電卓を持参すること。

成績評価の方法

期末試験、夏季休業中のレポート、および平常点を考慮して、総合的に評価する。ただし、中心になるのは期末試験の結果である。

教 科 書

中原章吉編著『管理会計論』（税務経理協会）
なお、適宜、プリントを配布する。

参 考 書 等

櫻井通晴著『管理会計〔第二版〕』（同文館）

そ の 他

この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会計監査論	あ べ か ず ひ と 阿 部 一 人	禪 ・ 仏 教	4

講義のねらい

“監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”

もともと監査論は、その言葉自体のもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実には存在することは、過去の事例からも明らかであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているのかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は、財務諸表監査として特徴づけられる。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。

本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 会計監査の意義と目的（総論）（1）
 - ① 監査の必要 ② 監査の意義
 - ③ 監査の対象
2. 会計監査の意義と目的（総論）（2）
 - ① 監査の目的 ② 監査思想の変遷
 - ③ 監査の効用
3. 監査の機能
4. 会計上の誤謬と不正
5. 監査の種類
6. 会計監査と財務諸表監査
7. 我国の監査制度
 - ① 証券取引法監査 ② 商法監査
 - ③ その他の監査制度
8. 監査基準（1）
 - ① 必要性 ② 生成と展開
9. 監査基準（2）
 - ① 意義 ② 体系 ③ 一般基準
 - ④ 実施基準 ⑤ 報告基準
10. 監査人
11. 監査証拠
12. 監査計画
13. 内部統制
14. 試算
15. 監査技術と監査手続
16. 監査調書
17. 監査報告書
18. 連結財務諸表の監査
19. 中間財務諸表の監査
20. システム監査
21. 国際監査基準
22. 現代監査論の動向
 - ① 監査概念の拡大化
 - ② 監査保証に程度の差を認める監査概念

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」等の科目を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

評価方法は、前期と後期の定期試験、レポート（夏期）および出席状況を考慮して総合的に判定する。

なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験内容、試験の方法および評価の方法等について説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

教科書

大矢知浩司『監査論概説』（白桃書房）3,300円

参考書等

田島四郎『最新監査論』（税務経理協会）2,900円
 高田正淳『最新監査論』（中央経済社）2,800円
 鳥羽至英『監査基準の基礎』（白桃書房）3,900円
 三澤 一『会計監査の理論』（中央経済社）2,800円
 山樹忠恕・檜田信男『監査基準精説』（税務経理協会）3,500円
 脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』（中央経済社）3,800円

その他

この科目は再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本経済論	は と り 羽 鳥 茂	禅・仏教	4

講義のねらい

多様な経済システム（日本の経済システムもその1つ）がどのようにして生まれ、また、それらはどのように進化していくのでしょうか。このことを考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

情報・組織・契約のミクロ経済学と、それらの理論的基礎を提供するゲーム理論、およびゲーム理論のフロンティアの1つである進化ゲーム理論の新しい展開をふまえて、「講義のねらい」にチャレンジします。

履修上の留意点

受講生としての一般常識を持っていることはいうまでもないですが、下記の参考文献を必要に応じて参照し、授業内容の理解を確かなものにするよう努力してください。

成績評価の方法

後期授業終了後、筆記試験で評価します。

教科書

青木昌彦、奥野正寛編著『経済システムの比較制度分析』（東京大学出版会）1996年 3,200円

参考書等

読みやすいと思われる順になっています。

〔A〕 鶴光太郎『日本的市場経済システム』（講談社現代新書）1994年

〔B〕 ジョン・マクミラン『経営戦略のゲーム理論』（伊藤、林田訳）（有斐閣）1995年

〔C〕 中山幹夫『はじめてのゲーム理論』（有斐閣）1997年

数学はつぎの2冊が適当だと思います。

〔D〕 高橋渉『現代解析学入門』（近代科学社）1990年

〔E〕 永谷裕昭『経済数学』（有斐閣）1998年

その他

数学が必要なときにはできるだけ解説しますが、諸君達の努力は不可欠です。意欲ある皆さんの出席を期待しています。

この科目は再試験を実施しません。

IV 短大仏教科開設科目

IV. 短大仏教科開設科目

インド・チベット仏教演習	〈木村誠司〉	385
中国仏教演習	〈奥野光賢〉	385
仏教思想演習	〈袴谷憲昭〉	386
仏教文学演習	〈石井公成〉	386

科目名	担当者名	配当学科	単 位
インド・チベット仏教演習	木 村 誠 司	禪・仏教	4

講義のねらい

インド・チベット仏教の代表的原典を、ていねいに読む。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は、演習形式で行う。時間中は、自由に発言し、疑問に思ったことは、何でも質問して欲しい。本年度は、『俱舍論』を取り上げる。この書によって、仏教の本質が明らかになるはずである。

成績評価の方法

平常点と年度末の試験によって行う。

教 科 書

コピーで配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国仏教演習	奥 野 光 賢	禪・仏教	4

講義のねらい

「演習」を通じて、中国仏教の歴史と教理の把握、および仏教文献の読解力養成を主たる目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

わが国、鎌倉時代の碩学、凝然（1240－1321）の『八宗綱要』を講読する。本書は、仏教各宗の歴史と教理を要領よくまとめた名著として古来より知られているものである。部分的な誤りは指摘されているにせよ、その価値は今日においてもいささかも減ずるものではない。本演習では、本書の講読を通じて、中国仏教各宗の歴史と教理を把握することを目標としたい。今年度は本書冒頭より読み始める。最初に講義形式で基礎的事項に関する説明をなした後、毎週当番を決めて演習形式で授業を進める。

履修上の留意点

演習なので事前の下調べが必要となる。指導にしたがって、一年間継続すれば、相当な力がつくはずである。指導は懇切丁寧に行う。

成績評価の方法

純然たる演習科目なので、成績評価は通常点のみの評価となる。

教 科 書

プリントを配布する。

参 考 書 等

授業において適宜指示する。

そ の 他

事業は演習形式によって進める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教思想演習	はかまや のりあき 袴谷 憲昭	禅・仏教	4

講義のねらい

この演習は、仏教文献、特に、日本のそれを通して、仏教思想を解明せんと設けられたものである。その目的のために、当面は、源信（942-1017）に先立つことほぼ一世紀前に活躍した我が国の安然（841-?）の著わした『真言宗教時義』を講読する。本書の四一教判によって、仏教の「全一思想」ともいべき「本覚思想」が我が国においても確立されたと思われしうるのであるが、その「本覚思想」とはなにかを、この思想のその後の日本仏教へ与えた影響の大きさに鑑み、考察せんとするのが、本演習の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

原漢文を最初より順次講読していく。

履修上の留意点

漢文の読解が苦手なものであっても、「本覚思想」のなんたるかを自ら吟味してみようと思うものであれば歓迎したい。

成績評価の方法

原則として平常点であるが、状況次第により変更することもありうる。

教科書

安然『真言宗教時義』、大正新脩大藏経、第75巻、374頁上-450頁上所収のものをテキストとする。入手困難なものにはコピーを用意したい。

参考書等

国訳一切経、和漢撰述部、諸宗部18。末木文美士訳『安然・源信』（大乘仏典、中国・日本篇19、中央公論社、1991年）

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教文学演習	いし い こうせい 石井 公成	禅・仏教	4

講義のねらい

仏教は総合的な文化体系であって文学・音楽・美術・医学・建築その他の領域にまたがっており、それぞれの国の文化に大きな影響を与えている。本講義では、仏教文学と呼ばれる作品だけでなく、経典・論書・戒律などであっても文学的に価値の高い仏教文献をとりあげ、そこに現れた思想と表現の関係について検討すると同時に、それぞれの国の文化の特徴について考察を加える。漢文・古文の文献を主とするが、現代日本語訳や英訳を用いる場合もある。今年は漢詩を木版本で読む楽しさを味わうことができるようにすることを目標の一つとする。

講義の内容・授業スケジュール

男女の愛情・無常・自然観・夢その他のテーマを選び、そうしたテーマにかかわる散文や韻文の文献をいくつか比較しながら読んでゆく。テーマについては希望のものがあれば考慮する。

履修上の留意点

学生諸君への問いかけと応答を通じて検討を進めてゆくため、積極的に参加しようとする意欲が必要である。希望する文献を選んで発表してもらおう機会を持つようにしたい。

成績評価の方法

発表と日頃の応答によるが、討議などに積極的に参加していた者については評価する。

教科書

使用せず、コピーを配布する。

参考書等

テーマが決まった段階で、参考書や参考文献を指示する。

V 「日本語」・「日本事情」科目

V. 日本語・日本事情科目 (対象：外国人留学生・海外帰国子女)

《日本語科目》

日	本	語	I	〈佐野典子〉	391
日	本	語	I	〈多田羅哲子〉	391
日	本	語	II	〈佐野典子〉	391
日	本	語	II	〈多田羅哲子〉	392
日	本	語	III	〈多田羅哲子〉	392
日	本	語	III	〈湯村礼子〉	393
日	本	語	IV	〈石川守〉	393
日	本	語	IV	〈湯村礼子〉	393
日	本	語	V	〈石川守〉	394
日	本	語	V	〈多田羅哲子〉	394
日	本	語	VI	〈石川守〉	395
日	本	語	VI	〈多田羅哲子〉	395

《日本事情科目》

日本事情 I	〔地理〕	(前期)	〈須山聡〉	395
日本事情 II	〔自然〕	(前期)	〈清水善和〉	396
日本事情 III	〔歴史〕	(後期)	〈宮本由紀子〉	397
日本事情 IV	〔思想〕	(前期)	〈赤羽由規子〉	397
日本事情 V	〔社会〕	(前期)	〈山田信行〉	398
日本事情 VI	〔政治・法律〕	(後期)	〈前田英昭〉	398
日本事情 VII	〔文学〕	(後期)	〈岡田豊〉	399
日本事情 VIII	〔文化・芸術〕	(後期)	〈赤羽由規子〉	399
日本事情 IX	〔経済〕	(前期)	〈瀬戸岡紘〉	400
日本事情 X	〔経営〕	(前期)	〈鈴木幸毅〉	400

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語Ⅰ	さ の の り こ 佐 野 典 子	全 学 科	2

講義のねらい

日本語の聴解能力の向上を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の映画・TVドラマなどの内容を把握する。

成績評価の方法

試験、提出物、授業態度、出席率などにより、総合的に評価する。

教 科 書

特に教科書は使わない。聴解シートは、その都度、配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語Ⅰ	た た ら あ き こ 多 田 羅 哲 子	全 学 科	2

講義のねらい

常用漢字の読み方を中心に日本語の知識を強化する。
漢字の正確な読み書き、語彙の様々な意味・使い方、文法、表現等の練習を通して日本での生活および専門教科の学習に役立つ日本語の知識を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・常用漢字を正確に読めるようにする。そのためには読み方のルールも知る。
- ・語句の基本的意味・用法とともに学生生活に必要なと思われる派生的意味や使い方も練習する。
- ・助詞・機能語・慣用表現・文法事項等の復習もする。

成績評価の方法

平常点と期末試験の成績で評価する。

教 科 書

プリント教材（常用漢字を基本とした語彙集、および文系教科の概論、入門書、新聞等から抜粋した例文集）を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語Ⅱ	さ の の り こ 佐 野 典 子	全 学 科	2

講義のねらい

日本語の読解能力の向上を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

小説、ノンフィクション、エッセイなどを輪読する。

成績評価の方法

試験、発表、提出物、出席率などにより総合的に評価する。

教 科 書

授業で使用する教材は、担当者が、そのコピーを用意する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語II	た た ら あ き こ 多田羅 哲子	全 学 科	2

講義のねらい

- 話すことを中心に日本語の運用能力を養う。
- ・事実の説明や、スピーチ、質疑応答、討論等を通して、正しく適切な表現を用いて日本語が自由に話せるようになることを目指す。
 - ・発音、アクセント、イントネーション等、自分の日本語を自分で見直し矯正する習慣をつける。
 - ・あわせて書く練習もする。

講義の内容・授業スケジュール

- ・発音アクセントの基礎練習、朗読練習等を行う。
- ・読んだこと、聞いた内容を自分の言葉で説明したり、それに対する自分の考えを述べる練習をする。
- ・スピーチをし、その内容について質疑応答、意見交換、討論等を行う。
- ・ディベートを通して適切な表現で自己主張したり、相手を説得する練習をする。
- ・話したことを文章にまとめる。
- ・テープを聞き自分の日本語を意識し矯正する。

履修上の留意点

積極的に授業活動に参加し、提出物は必ず提出すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語III	た た ら あ き こ 多田羅 哲子	全 学 科	2

講義のねらい

- 聴きとることを中心に日本語の総合的能力を養う。
- ・話題になっていることについて生の日本語を通じて深く理解し、また的確に表現できるようになることを目指す。
 - ・一つのテーマについて聴きとる（見る）・読む・話す・書く活動を通じてバランスのとれた日本語の力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- ・今話題になっているテーマについてビデオを見たり、本・新聞・雑誌などの文章を読んで内容を把握する。
- ・その内容を説明したり、それについて自分の考えを述べたり討論したりする。
- ・また、それらを文章に表現する練習もする。

履修上の留意点

必ず出席し、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点、つまり授業中の発音や提出物を重視する。

教科書

ビデオを使用。プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語Ⅲ	湯 村 礼 子	全 学 科	2

講義のねらい

これまで修得してきた日本語能力をさらに強化し、文献を自分で調べながら読み、理解できるようにする。さらに、文献を通して、考え、自分の意見を持ち、発表・説明ができるようになることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・文学作品・専門書などから教材を選び、読み進める。読んだ後に、意見を出し合ったり、討論を行ったりし、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出してもらう。後期には、各自担当を決めて調べたり、資料を収集したりしての発表も行なう。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

試験（漢字・語彙テストetc）、内容把握小レポート、授業での発表、その他の授業活動（発言、他の人の意見を良く聴くこと・授業態度etc）を総合的に評価する。

教 科 書

授業中にプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語Ⅳ	石 川 守	全 学 科	2

講義のねらい

日本語の中上級の文型、表現、会話の表現を学ぶことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 形式名詞を中心とした表現。
2. 最近よく使われる会話文型を分析する。
3. 会話特有の表現について学ぶ。

履修上の留意点

受身の立場ではなく、できるだけ発言することが望ましい。

成績評価の方法

授業へのとりくみと期末試験等で総合的に評価する。特に出席は重視。

教 科 書

授業中に配布する。

参 考 書 等

特になし。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語Ⅳ	湯 村 礼 子	全 学 科	2

講義のねらい

書くことを中心に授業を進める。日常生活、大学生活に必要な文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

文・段落・文章の書き方、文章の種類などについて講義し、実践し学生に書いてもらう。書いたものについて再度見なおし進めていく。

履修上の留意点

講義・授業中の実践活動が重要なので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文・レポートなど（5回程度）
授業活動（発言、授業態度、授業中の提出物etc）

教 科 書

授業中にプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語Ⅴ	いしかわ まもる 石 川 守	全 学 科	2

講義のねらい

日本語の「基礎文法」についてより深く理解するために詳しく分析し、そこに潜む日本語文法の特徴を考え、ひいては話し、聞き、書き、読む際により正確に深く日本語が理解できるようになることを目指したい。したがって、基礎的な文法に特に自信のない学生に受講してもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は、テキスト「日本語基礎文法」を使って、そこに出てくる項目を中心に、ともに考え分析しながら進めていきたい。始めは、初級レベルから始め、時間が許せば中級レベルのものも分析してみたい。

履修上の留意点

扱う学習項目は主に初級文法であるが、文法的な問題は基本的なものほど難しく、また深く掘り下げて分析して行くので、内容は単なる初級であると考えないでほしい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教 科 書

教材は、授業中にプリントを配布する。

参 考 書 等

特になし

そ の 他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行なっていく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語Ⅴ	たたら あきこ 多田羅 哲子	全 学 科	2

講義のねらい

- ・読むことを中心に話す力、聴解力、作文力など日本語の総合的な能力を高める。
- ・現在マスコミ等でよく使われている表現、外来語等の語彙などを知る。

講義の内容・
授業スケジュール

本・新聞・雑誌等の生教材を読んで、今話題になっていることについて、語彙・表現・文法事項などを確認する。

テーマについて話し合ったり書いたりする。

履修上の留意点

授業中の活動が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教 科 書

プリントを配布、ビデオも使用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語VI	いしかわ まもる 石川 守	全 学 科	2

講義のねらい

「いろはがるた」にあらわれる古くから庶民に親しまれてきた日本のことわざを通し、日本人の考え、日本語の表現、文法などを学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

「いろはがるた」を読みながら、その内容について討論し、また、自国のことわざについて考えていく。

履修上の留意点

できるだけ、発言すること。

成績評価の方法

平常点と試験

教科書

コピーを配布する。

参考書等

随時、教室で指示する。

その他

特になし。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語VI	たたら あきこ 多田羅 哲子	全 学 科	2

講義のねらい

読解能力を向上させる。
文章を読むことを通して、文法や適切な語彙の使い方を確かめ、表現力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

小説・エッセイなどを中心に読み、そこに出てくる表現、語彙の使い方、文法などを確かめ、正しくより適切に使えるよう練習する。

履修上の留意点

授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点と筆記試験

教科書

プリントを配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本事情I 〔地理〕(前期)	すやま さとし 須山 聡	全 学 科	2

講義のねらい

日本のさまざまな地域についての知識を深め、日本の地域的な特徴について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

授業はゼミ形式で進める。受講者で日本の特定地域（都道府県あるいは都市）を分担し、それぞれに地域について毎回2～3人に発表してもらい、それをもとに議論する。

成績評価の方法

出席と発表内容、および議論への参加状況によって評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本事情II 〔自然〕(前期)	しみず よしかず 清水 善和	全 学 科	2

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わさり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1) アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、(2) 現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、(3) 自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や自然保護のあり方等についても適宜言及する。

講義の内容・ 授業スケジュール

- I 章 位置
 - 1. 国土の範囲
 - 2. 行政区分
 - 3. 位置の特徴
- II 章 気候
 - 1. 世界の気候帯
 - 2. 海流
 - 3. 気候の特徴
 - 4. 気団と季節
 - 5. 台風
 - 6. 天気予報
 - 7. 生物季節
 - 8. 俳句と季節
- III 章 地質・地形
 - 1. 弧状列島
 - 2. 変動の歴史
 - 3. 多様な地形
 - 4. 火山
 - 5. 地震
- IV 章 生物
 - 1. 世界の植生帯
 - 2. 日本の植生帯
 - 3. 生物地理区
 - 4. 日本の海産生物
 - 5. 帰化種の侵入
 - 6. 自然保護の制度

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

レポート(2回)と出席回数に基づいて評価する。

教 科 書

特定の教科書はなし。

参 考 書 等

参考書は適宜紹介する。

そ の 他

毎回配付する補助教材のプリントを用いて講義する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本事情Ⅲ 〔歴史〕（後期）	みやもと ゆきこ 宮 本 由 紀 子	全 学 科	2

講義のねらい	日本の歴史を学ぶことで日本民族の持つ民族性を理解する手掛りとしたい。
講義の内容・ 授業スケジュール	特に江戸時代に至る過程を講義し、鎖国制度の完成までを目安にする。
履修上の留意点	板書を中心とし、わかり安く楽しい講義をこころがけるので、ノートをとり、理解できないところは質問するなどして疑問を残さないようにすること。
成績評価の方法	出席日数を評価の参考とし、レポートまたは筆記試験で成績の評価とする。
教 科 書	なし
参 考 書 等	その都度知らせる。
そ の 他	講義のみ

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本事情Ⅳ 〔思想〕（前期）	あかば ゆきこ 赤 羽 由 規 子	全 学 科	2

講義のねらい	日本人が古くから伝承してきた民族音楽の中に、日本人の精神世界を見ていく。 民族音楽とは、古来、人々が生きていく上で、衣食住と同じように必要としてきた音楽で、それは、例えば信仰、祭り、作業、遊びなどに伴う形で存在している。ほとんどは作者不詳であり、楽譜もなく、普通の人々の間で口頭伝承されていく性質のものである。テープやビデオを用いて、実際に音楽を視聴しながら講義を進めていきたい。
履修上の留意点	第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。
成績評価の方法	出席数、筆記試験によって採点する。
そ の 他	その都度知らせる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本事情V 〔社会〕(前期)	やま だ のぶ ゆき 山 田 信 行	全 学 科	2

講義のねらい

歴史的背景を考慮しながら、現代日本社会の基本的な趨勢と問題について概説する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 戦後日本の社会変動
－高度成長から低成長へ－
2. 現代日本の基本的趨勢
－情報化・グローバル化・高齢化（少子化）－
3. 現代日本の社会問題
・景気後退と失業
・教育問題
・その他の病理現象
それぞれについて、新聞その他の記事を資料として用いる予定。

成績評価の方法

学期末レポートによる（予定）。

教 科 書

特になし。

参 考 書 等

資料を配布。

そ の 他

講義形式の予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本事情VI 〔政治・法律〕(後期)	ま え だ ひ で あ き 前 田 英 昭	全 学 科	2

講義のねらい

日本の政治状況を外国との比較において解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の政治状況をとらえた新聞記事などを読み、学生の間で意見交換する方法で勉強し、主として次のテーマの理解につとめる。
日本の国会、選挙、官僚、政策、政治史、政治文化など。

成績評価の方法

出席回数と平常点による。

教 科 書

『国会と政治改革』（小学館文庫）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本事情Ⅶ 〔文学〕（後期）	お か だ ゆたか 岡 田 豊	全 学 科	2

講義のねらい

本講義は、日本語を母語としない留学生を対象に、問題発見能力の涵養と、日本文学・日本語に対する理解を深めることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の現代作家の作品を取り上げて、現代の日本の文化事情や時代性と表現とを関わらせて考察する。扱う作家は、村上春樹・村上龍・吉本ばなな・辻仁成を予定している。各自がテーマを選定し、調査研究して発表する、という方法で授業を進める。ビデオを上映して、作品との比較を試み、討議するときもある。

履修上の留意点

受身でなく積極的な姿勢で臨むこと。

成績評価の方法

出席・提出物・発表・授業態度

教 科 書

その都度指示する。

参 考 書 等

その都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本事情Ⅷ 〔文化・芸術〕（後期）	あ か ば ゆきこ 赤 羽 由規子	全 学 科	2

講義のねらい

いわゆる「伝統邦楽」といわれている、日本の古くからの和楽器による音楽や芝居の中に、日本人の義意識を探っていく。

また、日本の伝統音楽は、そもそもアジア諸国の音楽を学ぶことから始まり、そこから次第に日本人に合った独特のものを生み出していったのであり、更に明治以後には西洋音楽からも多くの触発を受け、戦後には「現代邦楽」を目差している。そのような過程をも合わせて見て行きたい。テープやビデオを用いて、わかりやすく講義を進めていく。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参 考 書 等

その都度知らせる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本事情Ⅹ 〔経済〕(前期)	せとおか 瀬戸岡 ひろし 紘	全 学 科	2

講義のねらい

日本の経済事情のアウトラインをわかりやすく解説します。みなさんが日本にきた以上、ぜひ知って帰りたいことを、たくさん話することがねらいです。

講義の内容・
授業スケジュール

以下のようなトピックを一回の講義でひとつずつとりあげます。しかし、とりあげる順序は、みなさんの希望に応じていれかえることがあります。

◇日本の工業、◇日本の農業および水産業、◇日本のサービス業および金融、◇明治維新以前の日本経済の歴史、◇明治維新以降の日本経済の歴史、◇第2次世界大戦以降の日本経済の展開、◇日本経済とアメリカ経済、◇日本経済とアジア経済、◇日本経済と政府の役割、◇日本の労働者・サラリーマンの生活、◇日本経済と社会や文化の変化

成績評価の方法

日ごろの授業態度で評価します。具体的には、出席40%、小テスト30%、宿題30%が目安です。再試験は実施いたしません。

教 科 書

特定の教科書は使いません。授業のなかで随時適切な本を紹介します。日ごろあなたが目にするものそのものを題材として授業をすすめます。いわば、あなたの周囲にあるものそれ自体が教科書です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本事情Ⅹ 〔経営〕(前期)	すずき こうき 鈴木 幸 毅	全 学 科	2

講義のねらい

環境問題を取り上げ、外国の状況と比較しながら日本の特徴をとらえる。

成績評価の方法

出席を重視し、時々短いレポートの提出を求める。

教 科 書

教科書、参考書は、授業のはじめに指定する。

VI 随 意 科 目

VI. 随意科目

英語(海外演習)	405
中国語(海外演習)	405
日本宗教文化史(小川順敬)	405
民間信仰論(谷口貢)	406
書道史(那須吉)	406
編集実務(長谷川孝)	407

科目名	配当学科	単 位
英語（海外演習）	全 学 科	2

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校であるクインズランド大学（オーストラリア）、プリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）、エクセター大学（イギリス）、カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）における短期留学英語セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる英語随意科目である。受講対象学生は全学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に4大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

そ の 他

受講希望者は、国際センターの短期留学英語セミナーに参加申込みをする。

科目名	配当学科	単 位
中国語（海外演習）	全 学 科	2

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校である華東師範大学（中国）における短期留学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる中国語随意科目である。中国語受講対象学生は全学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に華東師範大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

そ の 他

受講希望者は、国際センターの短期留学中国語セミナーに参加申込みをする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本宗教文化史	おがわ としゆき 小 川 順 敬	禅・仏教?年次～	4

講義のねらい

日本の他界観、生死観の変遷を考える。
われわれの文化は（われわれの文化ばかりではありませんが）自分たちが生きているこの世界の他に、もう一つ別の世界や空間を創り出してきました。そして、それはわれわれに、いかに生きいかに死ぬかという問題を考えさせる文化装置として機能してきたと言えます。（現代社会においても、他界のイメージこそ異なるでしょうが、それは一定の役割を果たしていると言えるでしょう。）

ここでは、日本の伝統的な他界や仏教がもたらした他界のイメージが、生と死の文化装置として、どの様に具体化されてきたのか、すなわち他界という見えない世界がどのように表現され演出されてきたのかを考えてみることにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

最初に他界観の前提としての日本人の霊魂観について述べ、「生と死」をわれわれがどのように考えてきたのかを整理しておきたいと思います。その上で、様々な「他界」について紹介・検討して行きたいと思います。

山中他界や海上他界、あるいは浄土や地獄がどのように実現されているのか。様々な聖地や、民俗行事（祭礼や儀礼）、寺院行事、また物語、芸能などを題材（ビデオ等使用する予定）として、この世では見えないはずの他界が、この世でどのように表現されてきたのか、そしてこの世と他界がどのように結ばれているかを見て行きたいと思います。

成績評価の方法

成績は年度末のレポートその他で評価する。

教 科 書

教科書・参考書は用いない。なお授業の内容にそって資料を配布する。また参考書はそのつど紹介することにした。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民間信仰論	たにくち 谷 口 みつぎ 貢	禅・仏教?年次～	4

講義のねらい

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探っていくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題に考察を加えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、「人と神との交流」をテーマとしてとりあげ、東京都青ヶ島の神祭り、福島県会津地方の神社参拝を中心とした講集団、東北地方の巫俗文化、死霊結婚の習俗、山岳信仰と修験道、憑霊信仰などを題材にしながら、民間信仰の構造と機能を明らかにしていきたい。そして、民間信仰と成立宗教との関係や、成立宗教が地域社会に受容されて土着化していく過程で民間信仰がどのような機能を果たすのかについても分析の目を注いでいくことにしたい。

成績評価の方法

学年末に課題に基づくレポートの提出を求めて成績評価を行う予定。

教科書

使用しない。

参考書等

参考書として、桜井徳太郎著『日本民俗宗教論』（春秋社）、宮家準著『日本の民俗宗教』（講談社学術文庫）、宮田登『日本人と宗教』（岩波書店）の3冊を紹介しておきたい。

その他

授業は講義形式で行う。講義に必要な資料等については、そのつどコピーで配付する。また、講義に関連したビデオを見る予定にしている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
書道史	なす たかよし 那 須 隆 吉	禅・仏教?年次～	4

講義のねらい

東洋文化は今、世界の注目を集めている。中でも書道は文字を芸術にまで高めた特異な文化である。本講では、書道が古代よりいかなる変遷をたどってきたかを通覧し、東洋独自の文化への理解が深まるよう、出来るだけ分かりやすく講じたい。

講義の内容・授業スケジュール

殷代の亀甲獣骨文字を始めとし、時代と共に著しく変遷していく、書体、書風、書法をテキストによる書の古典、及びコピー資料により中日両国の書道史を講ずる。全授業数の約3分の2を中国書道史、残りを日本書道史にあてたい。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又教場での私語を慎むように。

成績評価の方法

出席及び随時レポートの提出、年度末に行なう筆記試験等を総合して評価する。

教科書

伏見冲敬著『書の歴史』（二玄社）
日本書道史のテキストは後期に指示する。

参考書等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
編集実務	はせがわ たかし 長谷川 孝	禅・仏教1年次～	4

講義のねらい

編集とは、<誰かに一何かを一伝える>過程、つまり「何か」に気づき、その意味をつかみとり、表現の形を整えて、受け手に引き渡していく一連の過程に携わる仕事です。その過程で「どう」伝えるのかに必要な知識・技能とともに、そのための知的基礎体力・感覚的な力をきたえ、「何を・なぜ」伝えるのかを考えて、自分なりの「目のつけどころ」(視点・視野・視角)をつくることを目指します。また、編集のはたらきは日常生活の中でだれもが行っていることなので、それを意識的に適用し、情報化社会で多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、「よき発信人」になるために役立つことを願っています。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・書籍など印刷媒体の編集を中心に、企画・取材・原稿の執筆・現行の整理やレイアウトなど、実際の常識・技能を取り上げ、その中で「目のつけどころ」や、編集をする上での意思や責任を考えます。とくに、ものごと・できごと、文章やデータから「何か」とその意味を読み取り、感じ取り、問う力、自分の表現をつくり出す力を養うよう考えています。

履修上の留意点

授業を「取材」する(「教わる」ではなく)という構えで参加してください。また授業で「取材」した自分なりに感じ気づき考えたことを、毎時、短い文章で書いてもらいます。

成績評価の方法

自己評価点および、課題作品(B4判2つ折4ページの個人紙・誌を制作)と授業で書く短文(感想文)など平常の提出物によります。

教科書

プリントを使用します。

